

演習林年報

2018年度活動報告等

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林
2019.11

はじめに

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林は、1894年の千葉演習林設置以来、120年を超える歴史を刻んできました。気候帯や地域特性に応じて全国7か所に設置された合計32,300 haの演習林は、25名の専任教員、約70名の事務職員・技術職員と非常勤職員や研究員によって、地域の自治体や市民のご理解ご協力のもとで、教育研究の場として維持・活用されています。

2018年度には、「教育研究計画2011-2020」（2010年度策定、2015年度見直し）に沿って、社会連携や国際対応の強化、教員の研究活動活発化などの課題に取り組んできました。社会連携に関しては、2018年10月に静岡県南伊豆町と農学生命科学研究科との間で連携・協力に関する協定が締結され、南伊豆町へのふるさと納税の使途に「樹芸研究所との連携推進事業」が加えられました。また、秩父演習林でも2019年3月に秩父市との間で連携協定が締結され、自然保護、森林の保全・整備、森林環境教育等に関する相互協力を進めることとしました。国際化および研究推進に関しては、日本学術振興会Core-to-Coreプログラム「アジア森林圏の環境変動と生態系応答を把握する長期観測フィールドのネットワーク構築」（最終年度）、東京大学戦略的パートナーシッププログラムなどに取り組み、シンポジウムの開催、英文書籍「Developing a network of long-term research field stations to monitor environmental changes and ecosystem responses in Asian forests」の出版などを行いました。幸い、日本学術振興会の事業は2019年度から3年間の新規提案も採択されました。また、教育については、教養学部で36科目を開講し、教育研究センターでは演習林所属の学生（大学院生、学部生、研究生）がはじめて20名を超えるなど、活発な展開がみられました。研究成果の公開については、研究科の「農学コンテンツ」事業に参画し、千葉演習林所蔵の維管束植物標本画像や、生態水文学研究所等の水文、水質の観測データなどをWEB上のデータベースとして公開しました。さらに、「教育研究計画2021-2030」の策定に向けて、2018年4月に次期計画策定委員会を組織し、2018年12月には教員総会において現行計画の総括を行いました。

2018年度の演習林は、台風による田無演習林の鉄塔への被害などはあったものの、大きな災害はなく、教育研究活動は順調に推移したと言えます。ところが、本原稿執筆を前にした2019年10月から11月にかけて、台風により千葉演習林と秩父演習林が相次いで被災し、倒木や法面崩壊で林道が随所で寸断され、川俣学生宿舎に土砂が流入するなど、今後の教育研究への影響が懸念される事態となっています。災害復旧予算への申請はもとより、「東京大学の森」育成資金において緊急の支援金募集を行うなど、早期の研究教育機能の復旧のため、教職員一丸となって取り組んでいるところです。

今後とも演習林へのご支援をお願いいたします。

2019年11月

東京大学大学院農学生命科学研究科
附属演習林長 福田健二

目次

はじめに

I. 演習林の概要	1
1. 組織図	2
2. 全演での取り組み	3
3. 演習林活動の統計	7
II. 演習林の活動	
1. 各常置委員会活動	
1) 基盤データ整備委員会	12
2) 研究推進委員会	22
3) 教育推進委員会	22
4) 環境安全管理委員会	24
5) 広報情報委員会	25
6) 国際交流委員会	26
7) 森林病虫害委員会	27
8) 「東京大学の森」育成資金委員会	27
2. 各地方演習林活動	
1) 千葉演習林	29
2) 北海道演習林	31
3) 秩父演習林	33
4) 田無演習林	35
5) 生態水文学研究所	37
6) 富士癒しの森研究所	39
7) 樹芸研究所	41
8) 教育研究センター	43
3. その他の活動	
1) 演習林技術職員等試験研究・研修会議	45
III. 資料	
1. 教育	
1) 大学院講義等	49
2) 学部講義等	51
3) 他大学の非常勤講師	54
4) その他の講義・実習対応	55
5) 4研究室の所属メンバー	58
6) 所属学生の学位論文	59
7) 森林生態圏管理学大講座ゼミ	60
8) 演習林教育研究センターゼミ	62
9) 実習等	63

2.	研究	
	1)	教職員の論文等 66
	2)	学会発表等 69
	3)	著書 78
	4)	演習林を利用して行った論文等 80
	5)	受賞・特許等 88
	6)	外部資金によって行われた研究 89
3.	社会連携	
	1)	学外各種委員会等委員 92
	2)	小中高等学校への対応 94
	3)	公開講座・セミナー等 96
	4)	学会・研究・市民教育等における講師等(招待講演を含む) 98
	5)	演習林報告・演習林 101
	6)	科学の森ニュース 102
	7)	演習林出版物 103
	8)	新聞・雑誌・放送等 105
4.	環境安全管理	
	1)	安全・防災のための講習会等 106
	2)	資格取得のための講習等 106
	3)	災害発生状況・山火事予防活動 107
5.	国際交流	
	1)	交流事業・国際シンポジウム・国際共同研究 108
	2)	海外渡航 110
	3)	外国人研究者・学生等の来訪 112
6.	管理	
	1)	管理面積集計表・林相別蓄積集計表・植栽樹種 114
	2)	立木伐採量 115
	3)	育林実行量 116
	4)	素材生産総括表・土木実行総括表・道路現況 118
	5)	予算配分収入 119
	6)	演習林林産収入細分表 119
7.	研修	
	1)	技術職員 120
	2)	事務職員 120
8.	組織図	
	1)	企画部・教育研究センター 121
	2)	千葉演習林 122
	3)	北海道演習林 123
	4)	秩父演習林 124
	5)	田無演習林 124

6)	生態水文学研究所	125
7)	富士癒しの森研究所	125
8)	樹芸研究所	125
9.	人事	126
10.	委員会・会議等	
1)	演習林規則に則って開催された委員会・会議	127
2)	その他委員会・会議	127
11.	利用状況	
1)	千葉演習林	128
2)	北海道演習林	140
3)	秩父演習林	146
4)	田無演習林	158
5)	生態水文学研究所	166
6)	富士癒しの森研究所	170
7)	樹芸研究所	174
12.	各演習林所在地および連絡先	176

I. 演習林の概要

1. 組織図 ……2
2. 全演での取り組み ……3
3. 演習林活動の統計 ……7

I. 東京大学演習林の概要

1890年に東京農林学校が帝国大学と合併して農科大学となり、1894年にはその附属施設として日本で初めての大学演習林が房総半島の南東部に位置する清澄に設けられた。これが、今日の東京大学千葉演習林の始まりである。引き続いて、教育研究目的や森林の生態的な特性を考慮しながら、北海道演習林(1899年)、秩父演習林(1916年)、生態水文学研究所(1922年)、富士癒しの森研究所(1925年)、樹芸研究所(1943年)、田無演習林(1929年(演習林への移管は1982年))が設置され、さまざまな森林帯にわたる約32,000haの広大な面積の、世界的にも貴重で多様な森林資源を守り育ててきた。さらに、2000年度には大学院重点化が行われ、従来から関係の深い森林科学専攻ならびに関連分野の研究者との教育・研究協力関係を一段と発展させながら、大学院農学生命科学研究科のほかの附属施設(農場、牧場、水産実験所、動物医療センター、緑地植物実験所)とともに生圏システム学専攻の協力講座として新たなスタートを切り、大学院教育にも主体的に参画している。現在、東京大学演習林は7つの地方演習林と企画部・教育研究センターで構成されている。各地方演習林は、演習林全体としての共通理念に立脚しつつ、独自の教育研究計画に基づいて活動を行っている。

千葉演習林は、暖温帯に位置する総面積約2,200haの日本で最初の大学演習林である。スギ、ヒノキ、マツ類などの主要造林木の育成技術と持続的森林施業に関する試験を120年余にわたって実施してきた。また、モミ、ツガや広葉樹からなる貴重な天然林を有し、学内外のさまざまな分野の研究・教育に大きく貢献している。近年では、特に自然史や生態系に関する調査・研究を幅広く行っている。

北海道演習林は、亜寒帯に位置する総面積約23,000haの、東京大学では2番目に古い演習林である。択伐施業の実証的・理論的研究によって、林学と北方林業の発展に寄与してきた。各種の試験林が造成される一方、奥地天然林には11,000haの鳥獣保護区が設けられるなど北海道の森林動植物に関する各種の調査・研究に利用されている。特に1958年以降、北海道演習林の天然林全域を対象として、北方林の持つ環境保全機能と木材生産機能との調和を図る一大森林施業実験「林分施業法」を実施しており、その成果は国内外から高い評価を受けている。

秩父演習林は、冷温帯に位置し、総面積約5,800haと東京大学では2番目、青森県以南の大学演習林では最大の面積を有する演習林である。険しく多様な山岳地形の中にあるため、森林植生は変化に富み、生物相も多様である。大面積にわたる貴重な天然林を対象に森林生態系に関する調査・研究を数多く行っている。また、急傾斜の山岳林における人工林施業法、映像情報による森林情報の収集・蓄積・利用などに関する研究も行っている。

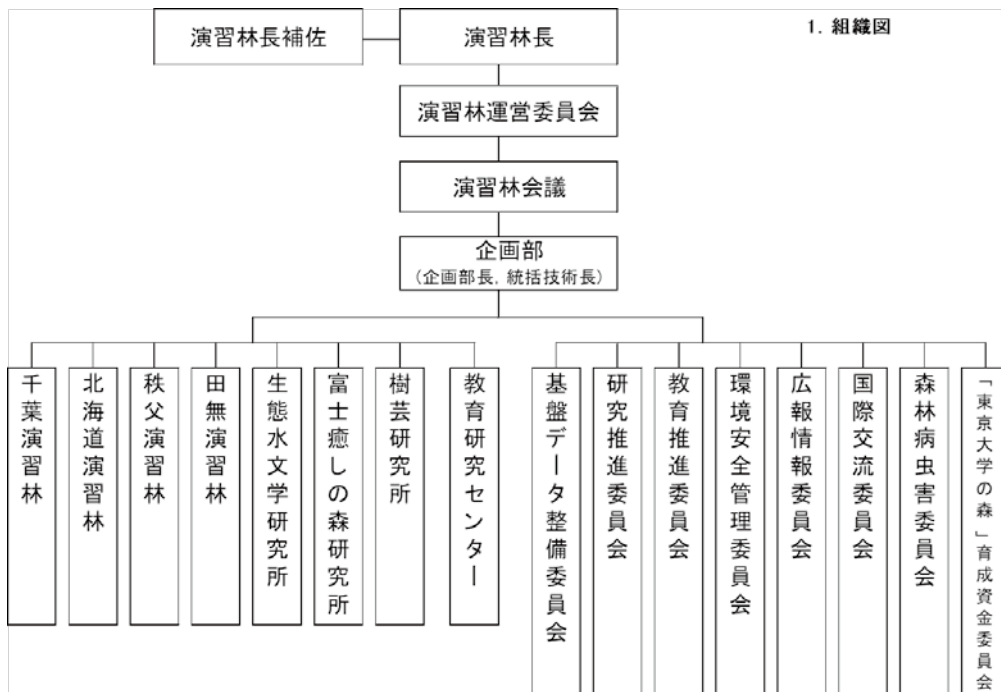
田無演習林は、本学農学部にもっとも近い西東京市に設けられている総面積約9haの演習林である。アクセスの良さや、土地が平坦なことから、圃場を中心とした造林学実験、森林動物学実験、フィールド農学応用実習、緑地環境実地実習といった生物系の実習や、都市林であることを生かした教養学部前期課程学生向けの全学ゼミナールに利用されている。樹木生理や解剖観察、微生物培養、DNA分析などのための実験設備も整備している。

生態水文学研究所は、愛知県の尾張東部・北部丘陵に位置する総面積約 1,300ha の演習林である。林種は、荒廃山地(ハゲ山)から砂防植栽等により回復し、遷移した天然生林(76%)とヒノキやスギの人工林(24%)となっている。1922年の設置後まもなく、演習林内の山地流域からの水流出量の観測が順次開始され、3流域については現在まで観測が継続している。それらの長期水文データを基礎として、森林生態系に流入・循環・移動・流出する水、栄養塩、炭素、土壌、土砂、エネルギーの収支や時間変化、プロセス、メカニズムに関するさまざまな研究が行われている。また、森と水の自然科学教育、森と水と人の関係についての人文・社会科学教育の拠点となっている。

富士癒しの森研究所は、富士山麓山中湖畔に位置する総面積約40haの演習林である。立地条件を生かして森林の保健休養機能の解析や景観評価、環境教育に関する研究を行っている。また、演習林の一部には東京大学の学生・教職員の休養施設が設置され活用されている。

樹芸研究所は、伊豆半島南端の温暖な地にある総面積約250haの演習林である。樟脳生産のために1900年初頭に植栽されたクスノキ林と1980年代に現地適応試験のために植栽されたユーカリ属70種の生き残りが特徴の一つである。一方、組織の大きな特徴はエフォートの50%を教育に割くことである。教養学部前期課程の1,2年生向けの全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ」と国際開発農学専修3年生向けの森林実習を担当している。どちらも興味を中心が必ずしも森林ではない学生に対して、森林・林業のことを自分事として捉えるキッカケを与えることを大切に考えている。ユーカリとクスノキはそれらの重要な教材となっている。

農学部(弥生)キャンパスに設置されている企画部・教育研究センターは、東京大学演習林の教育研究活動をつなぐ拠点として、演習林全体の試験研究計画の円滑な実行を支援している。さらに、多方面の演習林利用希望者の便宜をはかること、共同研究の企画調整、各地方演習林の気象等観測結果のデータベース化と観測・研究成果の公表の場としての「演習林報告」および「演習林」の編集・発行、インターネット等を利用した情報公開促進・広報等、東京大学演習林全体に関わるさまざまな役割を担っている。



2. 全演での取り組み

2018年度は東京大学演習林の「教育研究計画 2011-2020」後半5年間の3年目にあたる。2015年度に実施した外部評価の結果を踏まえて上記計画の部分的な見直しを行い、次期教育研究計画をも視野に置いた活動をスタートさせた。見直し結果の詳細は演習林59号に報告しているが、このうち「全演的な取り組み」に関する「見直しの基本方針」は表1に示した通りである。

表1に関連した2018年度の主な全演的な取り組みを以下に挙げる。

1. 地方自治体との連携協力・地域交流等に関する協定の締結と、ふるさと納税制度を利用した寄付の開始

大学院農学生命科学研究科と静岡県南伊豆町は、2018年10月29日(月)、連携・協力に関する協定を締結した。南伊豆町に立地し熱帯・亜熱帯産の特用樹木に関する教育研究を行う樹芸研究所と、農林業を活用した地域活性を目指す南伊豆町が連携と協力を強化することにより、町の農林業の発展および大学における教育研究のより一層の推進をはかることが目的。本事業の安定財源確保のため南伊豆町の「ふるさと寄附金」の用途に「東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所との連携推進事業」を追加した。これにより、ふるさと納税制度を利用して本事業を応援していただくことができるようになった。

秩父演習林と秩父市との間で地域交流に関する協定を、2019年3月26日(火)に新たに締結した。目的は自然保護、森林の保全・整備、森林環境教育等に関し、相互に協力することにより地域交流を進めるためである。

なお、附属演習林と地方自治体との協定は、千葉演習林(鴨川市、君津市)、北海道演習林(富良野市)、生態水文学研究所(瀬戸市、犬山市)、富士癒しの森研究所(山中湖村)で既に締結されている。

2. 東京大学演習林出版局の活動

2018年度は、出版局初の英文書籍として『Developing a network of long-term research field stations to monitor environmental changes and ecosystem responses in Asian forests』(Kamata N, Kuraji K, Owari T, Guan BT (eds.), 3000円+税 A4判 282pp.), 『気持ちよく納められる森林環境税とは?』(蔵治光一郎・坂井マズミ・安村直樹 編, 1,000円+税 A5判 109ページ)を新たに出版した。また、既存の書籍の改訂版として、『改訂版 はげ山が森に戻るまで—東京大学犬山研究林の砂防・緑化のあゆみ—』(東京大学演習林生態水文学研究所リーフレット・シリーズ 4, 東京大学演習林生態水文学研究所 編, 463円+税 A5判 34ページ)を出版した。

3. 「農学コンテンツ」へのコンテンツの提供

大学院農学生命科学研究科が140年を超える研究・教育活動の過程で蓄積してきた観測データ、写真、地図、動植物標本、道具機械などのさまざまな資料をデジタル化して広く公開することにより、研究領域を超えて今後の研究・教育に活用していくことを目的として、研究科ホームページに「農学コンテンツ」のページが作成され、資料が公開されている。附属演習林でこれまで整備し公開してきたコンテンツのうち以下を「農学コンテンツ」として研究科ホームページにも掲載した。

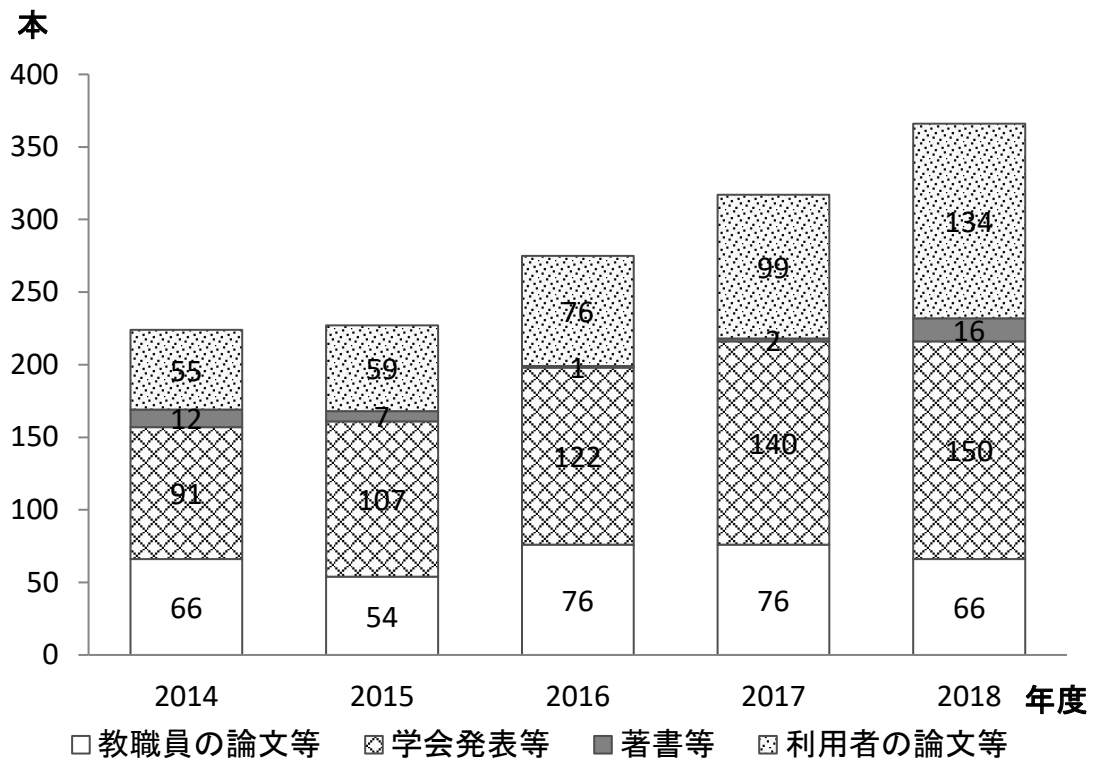
- 1) 千葉演習林所蔵 1922～1990年に採集された維管束植物標本画像データベース
 - 2) 生態水文学研究所の長期水文データ
 - 3) 東大演習林に設けた試験流域で観測した水文・水質データ
 - 4) 東京大学演習林の鳥たち
 - 5) 生態水文学研究所アーカイブズ(過去の写真)
4. 福田演習林長の地方演習林視察
- 2018年4月1日に着任した福田健二演習林長が以下の日程で地方演習林を訪問し、森林・重機・施設等の視察および教職員との意見交換を行った。
- 千葉演習林(6月18日)、北海道演習林(8月21～22日)、秩父演習林(7月23日)、田無演習林(5月25日)、生態水文学研究所(7月2日)、富士癒しの森研究所(7月14日)、樹芸研究所(7月13日)
5. 施設概算要求
- 秩父演習林川俣宿泊施設は戦前の木造建築で、地震等で倒壊の恐れがあることが想定されたため、2020年度の概算要求で「川俣宿泊施設の耐震補強」を要求した。
- なお、2019年度の概算要求で「森林生物多様性国際教育研究施設」として概算要求にあげていた秩父演習林影森地区の教育研究施設の新築要求については、採択には至らなかったが、2020年度の概算要求でも引き続き「森林生物多様性国際教育研究施設」という名称で要求を提出した。
6. 次期計画策定委員会
- 現在の教育研究計画は2020年3月までの計画であり、2020年4月から次期計画期間となる。次期計画を策定する作業を進めるため、次期計画策定委員会を立ち上げ、4月、6月、10月、12月、2月の5回、会議を開催した。メンバーは林長(委員長)、企画部長、統括技術長、地方演習林長、常置委員会委員長、教育研究センター技術主任である。12月の会議は教員総会と合同で行い、次期計画策定プロセスへの全教員の参画を試みた。

表1 「教育研究計画2011-2020」後半に向けての修正(全演の取り組み)

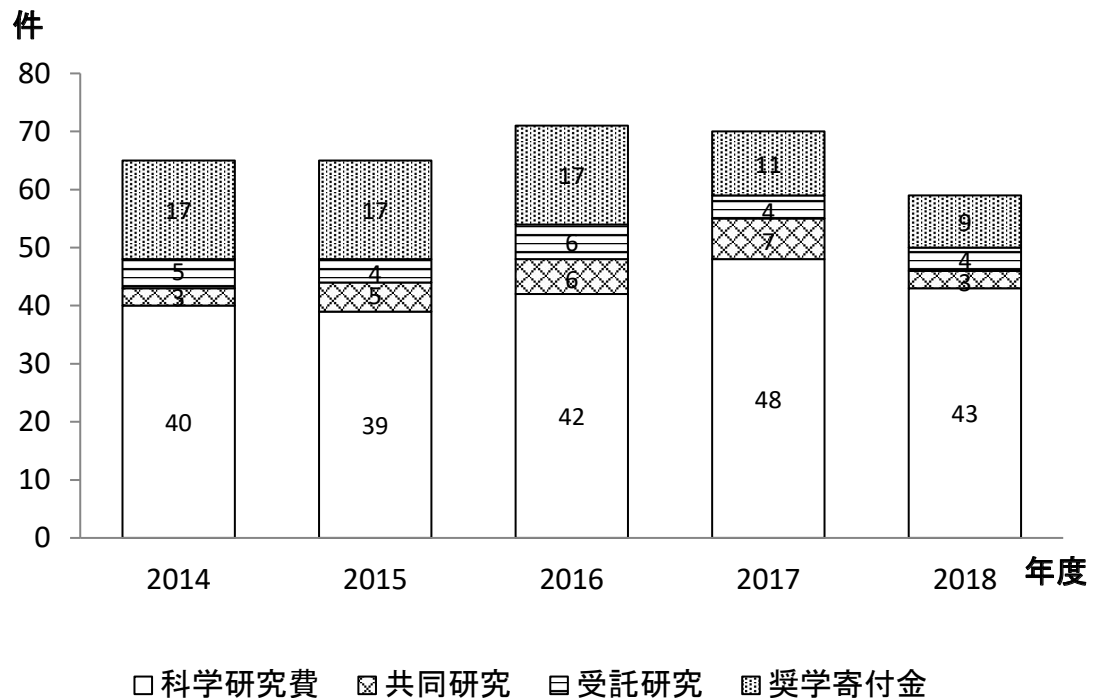
項目	見直しの基本方針等
全体	<p>○「基本的な理念」に掲げたミッション、キーワードを演習林運営の基本的な姿勢として後半5年間も堅持する。</p> <p>○7演習林体制を基礎に全演横断的な活動を常置委員会を中心として行っていく体制を後半5年間も維持する。</p> <p>○2011～2020年計画にのっとり水文・水質部門の基盤データ整備を行ってきた。後半5年間も計画に沿ってデータ取得、整備を進める。【基盤データ委員会水文・水質部門】</p> <p>○組織、バックアップを含む機器といった観測体制については整備が進んでいる。今後は、部門で確認した「気象観測指針」に基づき観測、機器および露場のメンテナンスを確実に実行し、精度の維持・向上を図る。また、データ保存状況を確認し、保存、公開、修正の体制を整える。【基盤データ整備委員会気象部門】</p> <p>○外部向けの発信力を高めるために、全演ホームページをさらに充実させる。また、研究科や大学本部の広報とも連携し、速報性のある情報をより外部に発信できる仕組みを検討する。【広報情報委員会】</p> <p>○演習林の活動をよりアピールするため、演習林年報の構成を変え、前半に当該年度の演習林全体のトピックス、視覚的な統計データなどが見えるようにする。【広報情報委員会】</p>
教育	<p>○これまで積極的に取り組んできた教養学部前期課程の全学体験ゼミナールや全学的に実施されている学生の体験活動プログラム等のフィールド体験教育を今後も推進する。</p> <p>○全国大学演習林協議会が行っている「公開森林実習」について、7番目の項目として位置づけ、企画部・教育研究センターと連携しつつ取り組む。【教育推進委員会】</p> <p>○アジア大学演習林コンソーシアムに参加している大学の学生等を対象とした国際トレーニングワークショップ、若手研究者育成プログラム等の企画・実施について、8番目の項目として位置づけて取り組む。【教育推進委員会】</p>
研究	<p>○国際交流への取り組みを積極的に進める。具体的にはアジア大学演習林コンソーシアムや台湾大学とのパートナーシップ強化などこれまで進めてきた国際交流活動をより活性化させ共同研究へと結びつけていく。また新たな国際共同研究のパートナーの開拓や共同研究者の受け入れ等の活動もほかの業務とのバランスを考慮しつつ積極的に取り組んでいく。【国際交流委員会】</p> <p>○教員の研究活動の活性化に向けエフォート管理の充実やサバティカル制度の活用について検討する。</p> <p>○地方演習林がその役割分担を果たすべく核として行っている研究活動への全演的なバックアップ体制について検討する。</p> <p>○ホームページ等で研究成果を早く、アピールするための仕組みを検討する。【広報情報委員会】</p> <p>○昆虫分野については、当初は2008年度から2010年度までの3年間で公表する予定となっていたが、同一地点での採集を2012年度まで5年間続けているため、5年間でリストを公表することにした。しかし、現在のところ、後半2年分の同定が済んでおらず、同定終了後に公表する予定である。【基盤データ整備委員会生物部門】</p> <p>○研究推進委員会の活動方針を明文化する。【研究推進委員会】</p>
社会連携・貢献	<p>○研究成果の社会への発信を含め広報活動をより活発化させる。特に学外向けの広報には新たなメディアの開拓を含めコスト増をおさえつつ効果を上げられる広報活動を検討する。</p> <p>○科学の森ニュース編集委員会の役割を明確にし、より魅力的な記事が掲載できる仕組みを作る。【広報情報委員会】</p> <p>○利用実績の集計について検討を行い、よりの確なデータを効率的に取得できるようなシステムを構築する。【広報情報委員会】</p>

管理・運営	<p>○「技術職員削減」への対応についても附属演習林の任務を果たすために必要なポストや人材の確保に取り組んでいく。</p> <p>○特に安全衛生管理面からは必要不可欠な人員の確保に取り組んでいくとともに、災害を防ぐための活動をこれまで以上に進めていく。</p> <p>○観測精度維持のため、観測機器の定期的な更新や、観測方法の講習を検討する。 【基盤データ整備委員会水文・水質部門】</p> <p>○今計画期中に千葉演習林で死亡事故が発生した。このことからこれまでの安全管理体制が完全なものではないことが明らかとなった。研究科環境安全管理室との連携の下、再発防止を含めたリスク管理の検討を行った。フィールドには危険があること、どういった危険があるかについて演習林は利用者に対して注意喚起する責任があることが確認された。 【環境安全管理委員会】</p>
その他	<p>○教員総会に関する記述について、計画当時とは位置づけが変更されているので、必要な修正を行う。 【教育推進委員会】</p>

3. 演習林活動の統計

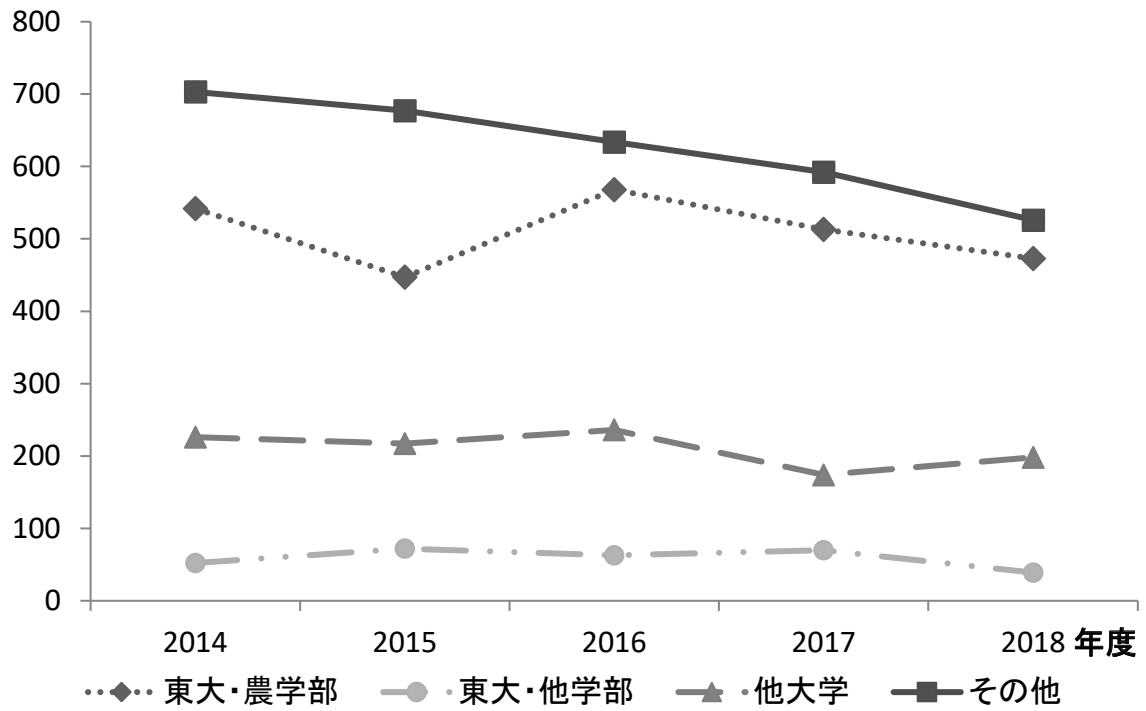


教職員の論文・学会発表・著書等の本数



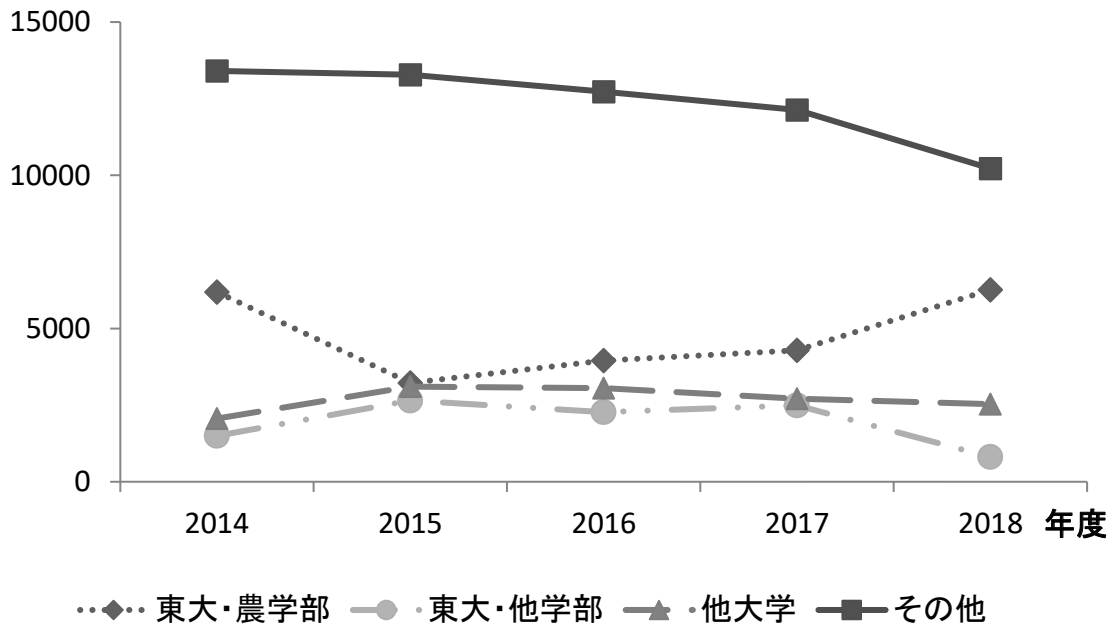
外部研究費の獲得数

件



利用件数

人・日



利用者のべ人数

ただしロードレース大会利用人数(富士癒しの森研究所 2018年度は11471名)を除く

II. 演習林の活動

1. 各常置委員会活動 ……12
2. 各地方演習林活動 ……29
3. その他の活動 ……45

1. 各常置委員会活動

1) 基盤データ整備委員会

< 気象部門 >

東京大学演習林では、これまで最長で100年を超える期間気象観測を継続してきた。現在の観測システムは2001年から稼働し、7地方演習林を網羅する合計17か所の観測地を基盤データ整備委員会気象部門で責任をもって観測を続けてきた。

2012年1月1日からは「教育研究計画2011-2020」に基づいた新体制の下での観測を継続している。すなわち、基盤データ整備委員会気象部門で責任をもつI種観測地は札郷(千葉)、前山(北海道)、小赤沢(秩父)、白坂(生態水文)、青野(樹芸)の5か所、観測項目は気温、湿度、降水量、日射量、風速、風向である。I種以外の観測地はII種として各地方演習林の裁量で観測や全演でのデータ公開を行っているが、気象部門として各地方演習林で対応の困難な案件についてのサポートは継続している。

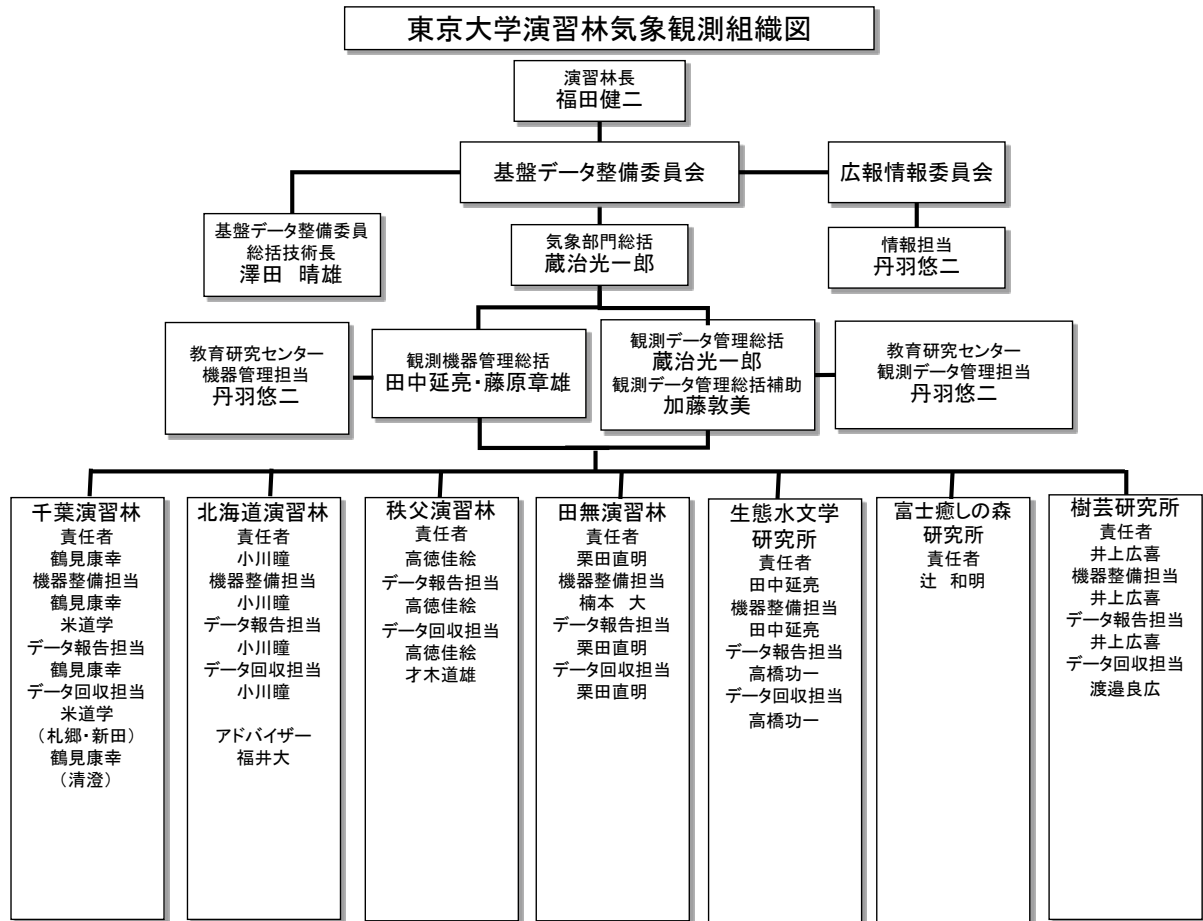
本年度は、気象部門会議を開催し、気象観測指針の確認を行ったほか、各地方演習林で抱えている課題について情報共有し、解決策を審議した。また長期メンテナンス計画に基づいて定期的・計画的に行っている5地点すべての風向風速計のメンテナンスを行ったほか、青野の観測鉄塔およびロガー収納箱を更新した。

観測データの公開については、2013年1月1日より演習林ホームページでの公開を大幅に早め、翌々月には公開している。2017年のデータは観測体制とともに「演習林」61号(2019年3月発行)に2017年気象年報・月報として掲載した。「演習林」の投稿規定に従い、月報はレポジトリのみの印刷となる。

2018年度から大学院農学生命科学研究科が推進している「農学コンテンツの情報化のためのプラットフォーム構築」事業との関連で、過去に「演習林」で公表されているがデジタルデータを公表していないデータに関して、デジタルデータを作成し、公表する作業を進めた。

表 2018年 各地方演の観測地と観測項目

演習林名	千葉演			北海道演			秩父演				田無演	生態水文学研			樹芸研		
	I	II	II	I	II	II	I	II	II	II	II	I	II	II	I	II	
観測地	札郷	清澄	新田	前山	山部	山部事務所	小赤沢	栃本	大血川	ワサビ沢	第一苗畑	白坂	東山	穴の宮	青野	加納	
観測項目	気温	○(○)	○(-)	○(-)	○(○)	○(-)		○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(-)	○(-)	○(○)	△(△)
	地温								○(-)			○(-)	○(-)				
	湿度	○(-)	○(-)	○(-)	○(-)	○(-)		○(-)	○(-)	○(-)	○(-)	○(-)	○(-)	○(-)	○(-)		
	降水量	○(○)	○(○)	○(-)	○(○)	○(-)		○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	○(-)	○(○)	○(○)	○(○)	○(○)	△(-)
	日射量	○(-)	○(-)	○(-)	○(-)	○(-)		○(-)	○(-)		○(-)		○(-)	△(-)	△(-)	○(-)	
	風速	○(-)		○(-)	○(-)	○(-)		○(-)	○(-)				○(-)	○(-)	○(-)	○(-)	
	風向	○(-)			○(-)	○(-)		○(-)	○(-)				○(-)	○(-)	○(-)	○(-)	
	降雪																
	積雪																
	降雪深																
積雪深																	



<生物部門>

○植物分野

演習林内に生育する維管束植物(自生種・導入植栽種)をリストアップし、同時にさく葉標本を1種につき3点作成する。2033年度に全演の植物目録を更新することを目標に資料の収集にあたっている。2018年度は、ハーバリウムコードの取得申請を行うと共に、標本のデータベース管理システムを作製し、データベースの入力作業を進めている。

2018年度の各演習林の活動

千葉演習林:I種の活動は、通常業務中の標本採取を継続した(表のとおり)。II種の活動は行わなかった。

北海道演習林:I種の活動は、標本リストの整理を行った。II種の活動は、通常業務として樹木フェノロジー調査を行ったほか、富良野市生涯学習センターと共同で平沢湿地林の植生調査を1日・2人工行った。また、麓郷森林資料館に保管されている古い種子標本の整理を1日・2人工行った。

秩父演習林:I種の活動は、標本のデータベースと標本整理を行った。II種の活動は、2016年より行っているクマガイソウ保全調査を継続して行った。

田無演習林:I種の活動は表の通り。II種の活動は、樹木園において自動撮影カメラによるフェノロジー調査を行った。

生態水文学研究所:I種の活動は、保管された標本リストと重複標本の確認を行った。II種の活動は行わなかった。

富士癒しの森研究所:I種の活動は行わなかった。II種の活動は古い標本の整理を1.5日・1.5人工行った。

樹芸研究所:I種の活動は標本作製・整理を133種、6日・6人工行った。II種の活動は行わなかった。

演習林名	調査日数	調査人員	2018 採取 標本種数	2018 採取 標本点数	2018 度末 総標本種数
千葉演習林	0 ^{※1}	0 ^{※1}	2	6	925 ^{※2}
北海道演習林	0	0	0	0	950
秩父演習林	0	0	0	0	942
田無演習林	9	9	20	58	288
生態水文学研究所	0	0	0	0	1,202
富士癒しの森研究所	0	0	0	0	416
樹芸研究所	0	0	0	0	628

※1ほかの通常業務中に行った。

※2 標本を確認したところ、昨年度報告の694種より増加した

○脊椎動物(鳥類を除く)分野

本年度も脊椎動物のリスト化を目的として、以下に示すI種およびII種の各調査を実施した。I種調査のうち、田無では自動撮影カメラ調査によりアカギツネを初記録した。また、田無・富士・樹芸においてコウモリ捕獲調査を初めて実施した。II種調査のうち、千葉では千葉県立中央博物館と共同で魚類相調査を開始した。北海道ではライトセンサスと目撃情報の記録方式をタブレット入力へ転換した。富士では自動撮影カメラ調査の成果を山中湖村へ提供し、地域の野生動物被害対策に貢献した。

演習林名	千葉	北海道	秩父	田無	生態水文	富士	樹芸	
調査名 I種	自動撮影カメラ調査	○ 6	○ 11	○ 11	○ 4	○ 14	○ 9	○ 8
	コウモリ調査	○ ^{※1} 3		○ 0	○ 0		○ 4	○ 2
II種	目撃情報記録	○ ^{※2} 6	○ 6	○ 6	○ 8	○ 9	○ 4	○ 3
	ライトセンサス		○ 4	○ 2				
	自動撮影カメラ調査	○ ^{※3} 7						

○は実施した調査を、数値は確認種数を示す

※1:学生実習の一環で実施

※2:魚類相調査での目撃記録を含む

※3:ニホンジカ区画法調査の代替として試行(今回のデータは2018年1月から2月にかけて行ったもの)

○昆虫分野

(1)全演共通の調査を実施

本年度もピットフォールトラップを用いた地表徘徊性甲虫相調査を実施した。2008年から各地方演習林共通の方法による定期的・定量的採集を行っており、採集された標本は北海道演習林に集められている。千葉演習林、北海道演習林、秩父演習林、田無演習林、生態水文学研究所、樹芸研究所では、

2018年度 各常置委員会活動

2013年より2017年まで調査地を移動し、2018年から当初の調査地に戻して実施した。富士癒しの森研究所では別の調査地がないため当初から同じ場所で行っている。

2018年6月7～8日に田無演習林で担当者会議と研修会を行い、甲虫相調査結果の公表時期と昆虫相のリスト化について話し合った。研修会では、ピットフォールトラップの設置・回収からタウ標本の作り方までの一連の作業を、各演習林担当者間で確認しながら行った。

2008～2010年の標本については同定結果が出ている。2011～2018年について未同定分について同定を依頼した。

2011～2012年、2013-2017年の同定が済んだところで、それぞれ、あるいはまとめて、雑誌「演習林」へ投稿する。同定の進行によるが、2008～2012年の初期5年分を2020年度中に公表、以降5年毎の公表を目標とする。

(2) 各地方演習林を利用した研究論文からの昆虫相のリスト化

各地方演習林を利用した研究論文からの昆虫相のリスト化は各地方演習林で進め、2021年度の公表を目標とする。

○鳥類分野

今年度もこれまでと同様に、各地方演習林においてI種、II種調査を行った。I種調査員のいない演習林では隔年で他演から調査員を派遣して実施するという計画のもと、今年度は田無演習林と富士癒しの森研究所においてもI種調査を行った。2018年4月から12月までの確認種数と調査回数は下記表の通りである。千葉演習林、田無演習林、富士癒しの森研究所の3演習林で5種と1亜種を新たに記録し、うち3種1亜種は全演での初記録となった。また、これまでに撮りためてきた鳥類の生態写真をインターネット上に公開し、演習林の鳥類に関する情報を発信していくことを目的としたWebサイト「東京大学演習林の鳥たち」を2019年2月に開設した。社会貢献活動として、千葉演習林では鴨川市との交流事業「野鳥の巣箱をかけよう！」を4月と11月に開催し、生態水文学研究所では犬山市の今井小学校と城東小学校にて開催された探鳥会の講師を6回担当した。成果報告として、秩父演習林から技術職員等試験研究研修会議で「下層植生衰退前後の環境音変化の評価と教育用デジタルコンテンツの作成」を発表し、生態水文学研究所から中部森林学会において「ヤマガラとシジュウカラの繁殖特性についての検討」を発表した(中部森林研究投稿済)。また、秩父演習林よりこれまでに発表されたヨタカに関する論文が「日本鳥学会内田奨学賞」を受賞した。

演習林名	確認種計		調査回数		調査人員		調査別確認種数	
	科	種	公式調査	任意調査	公式調査	任意調査	公式調査	任意調査
千葉	28	49	5	85	10	85	16	48
北海道	34	82	12	54	24	59	52	71
秩父	27	58	11	72	11	73	28	56
田無	23	30	12	10	12	13	19	20
生態水文	30	55	6	37	8	60	24	55
富士	32	63	7	56	7	58	40	62
樹芸	25	51	4	26	4	26	23	48

確認種の分類は日本鳥類目録改訂第7版(日本鳥学会2012)に従った

確認種数には演習林隣接地域での記録も含む

任意調査とは公式調査(ポイントセンサス)以外の野外業務の際に一時的に任意で行った調査・観察

基盤データ委員会生物部門組織図2018年度



<水文・水質部門>

千葉演習林, 北海道演習林, 秩父演習林, 生態水文学研究所, 樹芸研究所において, 降水量と流出量の観測を行うとともに, 降水と渓流水の水質分析を行った。千葉演習林での観測・分析は森林理水及び砂防工学研究室の協力を受けた。観測・分析結果を生態水文学研究所に集約し, 雑誌「演習林」で公表した。データは各地方演習林と生態水文学研究所で保管・管理している。今年度の観測体制と観測地点, 活動内容の詳細は以下である。

1, 降水量・流出量観測

北海道演習林, 秩父演習林, 生態水文学研究所, 樹芸研究所では各演習林にて, 千葉演習林では森林理水及び砂防工学研究室にて降水量と流出量を観測し, 日降水量・日流出量へ整理したデータを生態水文学研究所に報告した。流出量観測地点は袋山沢 A(千葉演習林), 丸山沢(北海道演習林), バケモノ沢(秩父演習林), 白坂本谷(生態水文学研究所), 3号沢(樹芸研究所), 降水量観測地点は, 新田(千葉演習林), 東郷ダム(北海道演習林), ワサビ沢(秩父演習林), 白坂(生態水文学研究所), 青野(樹芸研究所)である。

2, 降水・渓流水の試料採取と分析

北海道演習林, 秩父演習林, 生態水文学研究所では各演習林にて, 千葉演習林では森林理水及び砂防工学研究室にて降水と渓流水を月に1度採取してpHとECを計測し, 分析担当者へ送付した。ただし秩父演習林では水試料のpHとECの計測はサントリーグローバルイノベーションセンター株式会社水科学研究所で行った。降水, 渓流水の採取地点は1の降水量と流出量の観測地点とそれぞれ同じで

2018年度 各常置委員会活動

ある。樹芸研究所では、加納観測地点での降水量 1 mm 以上の降水を出勤日毎に採取するとともに、3号沢の渓流水を月に1度採取して pH と EC を計測し、分析に供した。

水試料の分析は次の研究室で行った。千葉演習林の水試料は森林理水及び砂防工学研究室で、北海道演習林と樹芸研究所は樹芸研究所で行った。秩父演習林及び生態水文学研究所の降水試料は樹芸研究所で、秩父演習林と生態水文学研究所の渓流水試料は生態水文学研究所で行った。

分析項目は渓流水については Na^+ , K^+ , Mg^{2+} , Ca^{2+} , SO_4^{2-} , NO_3^- , Cl^- , pH, EC の 9 項目、降水については、上記 9 項目に NH_4^+ を加えた 10 項目とした。

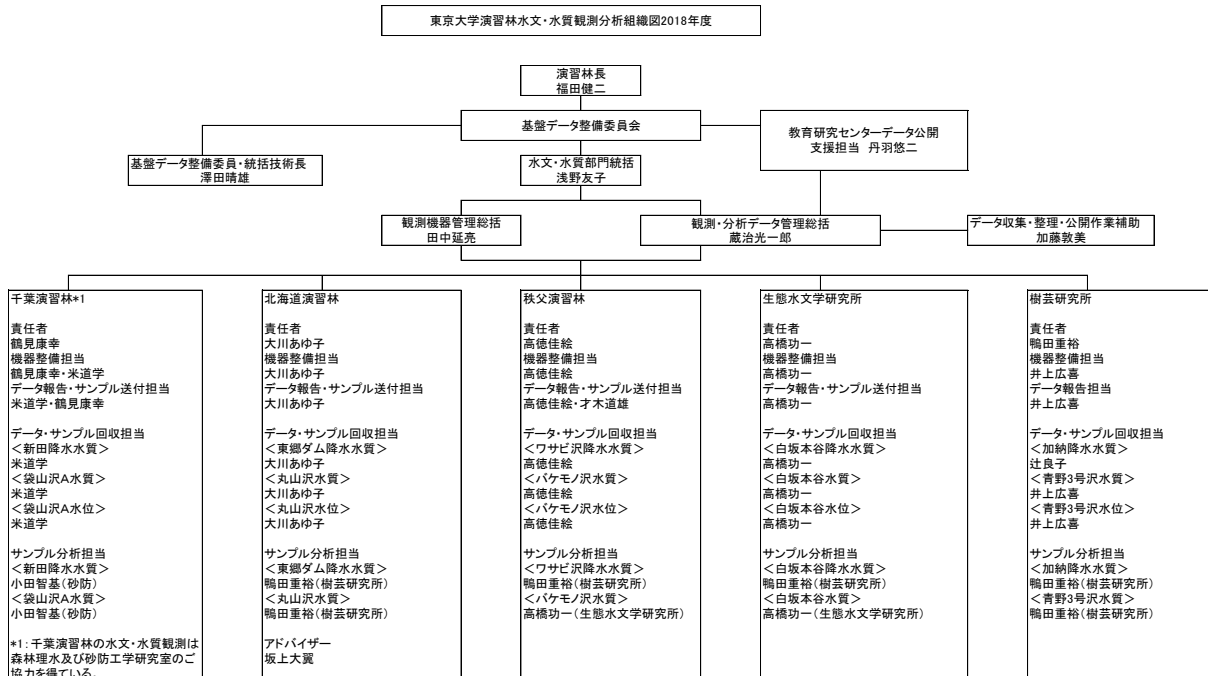
分析結果については、千葉演習林については森林理水及び砂防工学研究室から、それ以外の試料については水試料を採取した各演習林の担当者がとりまとめ、生態水文学研究所に報告した。

3, 観測結果のとりまとめと公表

日降水量, 日流出量, 降水と渓流水の水質分析結果を生態水文学研究所がとりまとめた。今年度は 2016 年 1 月～12 月の観測結果を雑誌「演習林 61 号」で公表した。

4, その他

水質・水文部門の全体会議を 2018 年 5 月 29 日に弥生キャンパスで行った。データの質を維持するための確認の方法, 過去のデータの訂正について, 降水採取方法について, 機器のメンテナンスと更新方針について, 日頃の観測における工夫や困りごとなど話し合い, 今後も精度の高い観測を維持し, 公表していくことを確認した。機器更新計画を作成した。



基盤データ整備委員会 水文水質部門 データ公表進行状況															
○2017年度までに公表済み ●2018年度公表															
日降水量															
		2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
千葉演習林	新田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
北海道演習林	東郷ダム	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
秩父演習林	トウバク沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
秩父演習林	ワサビ沢	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	●
生態水文学研究所	白坂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
樹芸研究所	青野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
日流出量															
		2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
千葉演習林	袋山沢A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
千葉演習林	袋山沢B	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●
千葉演習林	袋山沢C	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●
北海道演習林	丸山沢	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
秩父演習林	トウバク沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
秩父演習林	バケモノ沢	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	●
生態水文学研究所	白坂(本谷)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
樹芸研究所	1号沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
樹芸研究所	2号沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
樹芸研究所	3号沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
水質(降水)															
		2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
千葉演習林	新田	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	●
北海道演習林	東郷ダム	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	●
秩父演習林	ワサビ沢	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	●
生態水文学研究所	白坂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
樹芸研究所	加納	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	●
水質(渓流水)															
		2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
千葉演習林	袋山沢A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
千葉演習林	袋山沢B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
北海道演習林	丸山沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
秩父演習林	トウバク沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
秩父演習林	バケモノ沢	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	●
生態水文学研究所	白坂南谷	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
生態水文学研究所	白坂本谷	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	●
樹芸研究所	1号沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
樹芸研究所	2号沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
樹芸研究所	3号沢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

<GIS 部門>

本年度は GIS 部門第 4 期活動期間(2016～2018 年度)の最終年にあたる。前期の成果をさらに発展させるべく、①GIS データの整備と活用、②GIS 操作技術の向上、の 2 つを当期における GIS 部門の活動方針としている。

活動方針①に関して、当期はタブレット端末を利用した森林資源調査の効率化に取り組むこととし、本年度は防水タブレット端末(iPad)を全演共用機材として追加導入した。前年度にウェブページ上に公開(内部限定)した全演共用機材のリストを更新し、演習林内での情報共有と利用を促進した。また、各地方演習林が保有する GIS データのリストを更新した。千葉演習林では小型無人航空機(UAV)による空撮画像を用いたナラ枯れ被害発生の把握と新植地図面の作成、レーザーコンパスと GNSS 受信機を用いた成長測定試験地の区画測量を行った。北海道演習林では UAV 空撮画像を用いた施業計画立案の資料作成と植栽予定地面積の算定、航空レーザー測量の実施(約 8,700 ha)と CS 立体図の作成、現地検討会への GIS データ閲覧システム(タブレット端末と Collector for ArcGIS)の導入を行った。秩父演習林では大面積プロットやケヤキ人工林試験地の立木位置図作成・更新、林道・歩道等のシェープファイルの更新、林内における携帯電話各社の電波受信状況の図化を行ったほか、GIS データやタブレット端末の活用を進めた。田無演習林では ArcGIS による下刈り予定地の図面作成と面積算定を行ったほか、演習林周辺の高差を表した図面や工事履歴の活用を進めた。生態水文学研究所ではレーザーコンパスと ArcGIS を用いた量水堰の集水範囲測量・作図・面積算定、林班界データの更新を行った。富士癒しの森研究所では危険木処理にかかる情報整備や許可申請に GIS データを活用するとともに、タブレット端末を用いて森林調査区画の位置情報を取得した。樹芸研究所では試験地の周囲測量と GIS データの修正・補完を行った。

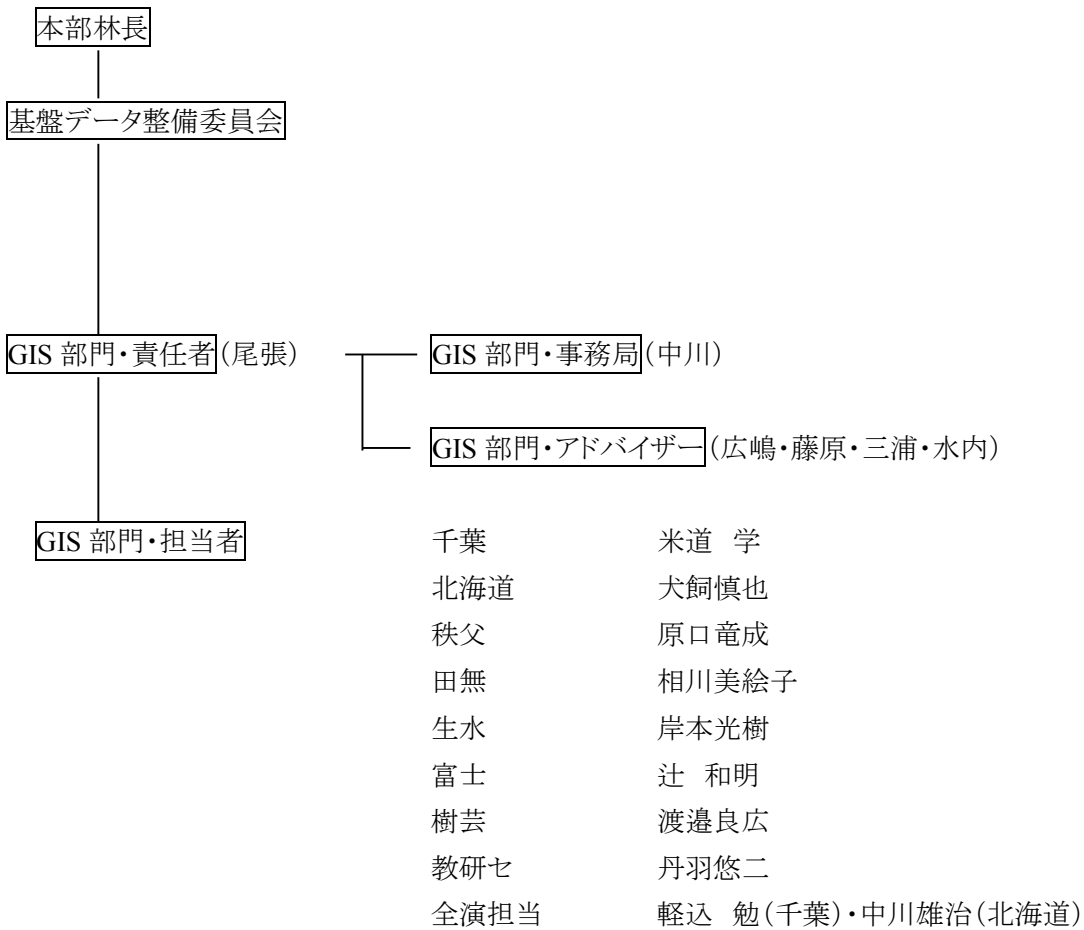
活動方針②に関して、2019 年 2 月 21 日に田無演習林で GIS 操作技術研修会を開催した。北海道演習林の中川雄治技術専門職員と犬飼慎也技術専門職員が講師を務め、「ArcGIS によるモバイル端末用マップ作成方法」をテーマに研修を実施した。演習林の教職員 9 名と生態調和農学機構の教職員 6 名の計 15 名が参加した(写真 1 左)。ArcGIS を用いたハンディ GPS 受信機用の背景データ作成方法や、タブレット端末用 GIS アプリ(Collector for ArcGIS)の使用方法を学んだ。本研修を通じて、地形や空中写真、位置情報、前回の調査記録などを野外で手軽に閲覧する方法を習得できた。また、2019 年 2 月 22 日には弥生キャンパスで GIS 技術交流会を開催した。各地方演習林の GIS 部門担当者ほか計 15 名が参加した(写真 1 右)。次期教育研究計画策定に向けた森林現況調査の効率化、および各地方演習林における UAV・タブレット端末の利用状況について情報交換を行った。

2019 年 2 月 22 日には部門会議を開催し、今年度の活動報告および第 4 期活動期間の総括を行うとともに、第 5 期活動期間(2019～2021 年度)の活動方針および 2019 年度活動計画を決定した。



写真 1 田無演習林で行われた GIS 操作技術研修会(左)と弥生キャンパスで行われた GIS 技術交流会(右)の様子

基盤データ整備委員会 GIS 部門の構成 (2018 年 4 月現在)



<固定試験地部門>

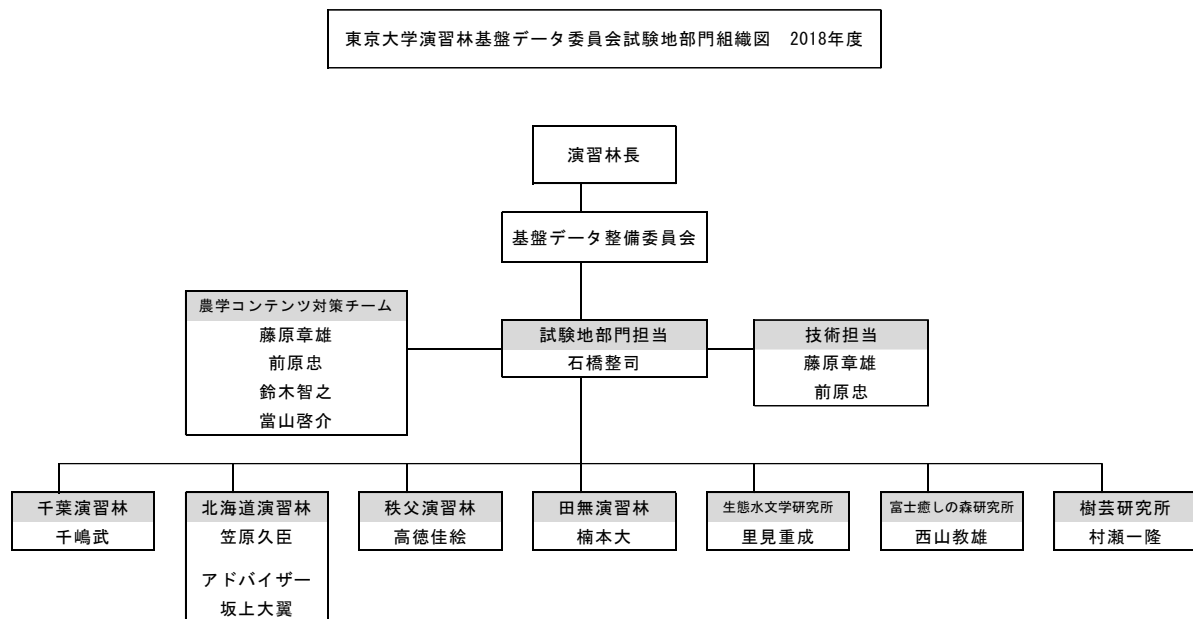
東京大学の7地方演習林には数多くの試験地が設定され測定が行われている。試験地部門では、平成23年度に決めた「試験地データの整備と公開に向けての具体的なスケジュールと方法についての基本的な方針」に基づいて一部のデータのデジタル化とデータ公開に向けて準備を進めている。

平成29年度に立ち上げた「農学コンテンツ対策チーム」の方針に則り試験地データのデジタル化および公開に向けての作業を研究科と連携して進めているが、研究科レベルでの事業として平成29年度より始まった「農学コンテンツの情報化のためのプラットフォーム構築」の活動の中で「東京大学デジタルアーカイブズ構築事業」の一部として「農学に関する歴史的資料のアーカイブおよびプラットフォーム化」が推進されており、試験地部門で扱うデータも同事業の一部として研究科ホームページでの公開を目指している。

平成30年度は農学部からの予算要求として上記の「東京大学デジタルアーカイブズ構築事業」に「森林成長に関する長期観測資料のデジタルアーカイブ化」事業180万円を申請した。この事業は「一般への訴求度は低いと想像されるが、研究利用が期待出来る」、「長期観測資料をまとめて保存する試みで、研究への利用価値が高いことが期待できる」、「森林学の分野が対象だが、教育への利用も見込めると思われ、利用体制がしっかりしているように見受けられる」、「資料のもつ価値とアーカイブ化の意義が十分に示され、準備体制も整えられていることから、信頼できる事業である」等の好意的な評価を受け平成31年度予算要求事項の中に組み込まれた。最終的に180万円満額の配分が決まったため、次年度

2018年度 各常置委員会活動

から試験地データ公開システムの構築(外注)ならびに各地方演習林におけるデータの入力作業が本格的に始まることとなる。



2) 研究推進委員会

第1回委員会を2018年4月27日に開催し、当委員会の活動方針と活動体制(前年度から変更なし)、および前年度の活動報告を確認するとともに、本年度の活動計画について議論を行った。また、12月18日の教員総会において、今期教育研究計画の総括報告を行った。総括報告資料を作成するため、11月から12月にかけて、コアメンバー(委員長, 副委員長, 各班班長)による打合せと、全委員の意見集約をメールで行った。

当委員会内に設置された企画班と評価班において、それぞれ活動計画に従い、以下の活動を実施した。

企画班では、前年度に作成したメタデータ(基盤データ整備委員会各部門が収集するデータ、および各地方演習林の試験地等データを対象としたリスト)の定期更新を行い、演習林の教職員・学生向けのホームページよりダウンロードできるようにした。演習林のデータ(主にメタデータに記した基盤データと各演データ)を研究成果に結びつけるための取り組みとして、人工林固定試験地データを利用したデータ解析研究会を立ち上げた。研究会では、千葉演習林と秩父演習林におけるスギ高齢人工林の成長特性に関する解析を行った。

評価班では、演習林教員の外部資金獲得および論文・学会発表等業績の情報を収集・リスト化し、演習林年報に掲載する研究活動資料として広報情報委員会に情報提供した。また、全演 HP に掲載された論文掲載情報(速報)をリスト化し、演習林会議で報告した。

その他、日本学術振興会(JSPS)研究拠点形成事業(B. アジア・アフリカ学術基盤形成型)における長期データ解析研究会の活動を、当委員会として引き続き支援した。3つの研究分科会(RG1:水・気候, RG2:生態系, RG3:管理)にサポート要員を配置し、分科会運営を支援した。また、同事業に関するウェブサイト(<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/c2c/>)の更新・保守を行った。

3) 教育推進委員会

1. 委員会の開催

2018年5月18日(金)、10月19日(金)、2019年2月22日(金)の3回開催した。

2. 活動報告

2-1. 教養学部講義の組織的取り組み:演習林では、2006年度より、教養学部における講義の開講に積極的に取り組んできた。近年は、年に30以上の科目を開講し、2018年度は36科目を開講した(図-1)。これらの講義を通じて演習林を訪れ、森林・農山村の現状を学ぶ機会を持った学生は毎年300~400人にのぼり、2018年度は365名が受講した(図-2)。受講者数は2017年度の水準から減少したため、学年・semester・開講形式別の要因分析が望まれる。「教育研究計画2011~2020」に例示された「演習林として戦略的な題目の設定」を目指して検討した結果、2015~16年度に総合科目「森林環境資源学」(ダムと森林)として開講してきた科目を、2017年度に総合科目「森林環境資源学」(ダムと森林, 森と癒し, 森の最終形)という科目名に変更し、生態水文学研究所, 千葉演習林, 富士癒しの森研究所で行うことで、講義内容の充実と受け入れ可能学生数の増加を実現できた。

また、教養学部前期課程2年次の学生向けに開講されている農学総合科目および農学基礎科目は、研究科全体で農学部における初年次教育と位置づけられており、これらの講義を担当することは農学部(研究科)全体への貢献として、演習林として組織的に取り組む必要がある講義等に該当すると考えられ

るので、これらの科目は駒場キャンパスで行う講義に準ずる扱いとすることとした。2018年度は農学基礎科目「森林環境科学汎論」を実施した。

2-2. 教育推進委員会予算: 演習林として組織的に取り組む教育活動に関わる費用負担が職種、指導学生の多少、講義数の多寡等によって大きく偏らないようにするために、教育推進委員会予算として、現有教員の教員経費の2%と欠員教員の教員経費の半額を原資とし、運営費からの補てん分を加え、教養学部前期課程の教育(全学体験ゼミ等)にかかる経費(遠隔地教員の講義のための旅費については研究科負担)、演習林ゼミに出席するための最低限の旅費、「演習林」として講義の担当を受け持っているオムニバス講義のための旅費、助教の教育技術の向上をはかるうえで重要な学部実習の担当に必要な旅費等を支弁した。料金体系が多様化した宿泊施設利用に対応するため、旅費減額規定を改正した。また、2015年度以降研究科から配分されている学部教育改革経費について、地方演習林からの要望に合わせて、学部教育の向上に資するよう備品・消耗品・謝金等に支弁した。

2-3. 広報情報委員会との連携: 演習林ホームページにおいて公開森林実習の情報を発信した。また公開森林実習のポスターを作成し、農学系の大学に送付して広報につとめた。

2-4. 演習林ゼミ: 演習林ゼミは、教育目的で、卒業論文、修士論文および博士論文の作成に必要な指導を行うための「特別演習」「特別実験」等の科目の一部として行われている。2018年度は4研究室ごとのアレンジおよび卒論、修論、技術職員の発表で計11回開催した。

2-5. 学生の確保: 教養学部講義担当と協力し、演習林で学ぶためにはどのような学部・専修を選択すればよいかをわかりやすく示した資料として「森林のことを専門的に学ぶには？」を教養学部の講義・ゼミで受講生に配付した。また、進学・大学院受験等のガイダンスの場で「科学の森で学ぼう」パンフレット(PDFで発行)を印刷して配布した。体験ゼミ参加者が進学してきた事例があることから、教養学部講義の実施と合わせ、一定の効果を上げていると評価できる。

2-6. 教員総会: 2018年12月18日、19日に実施された教員総会で2011年度以降の教育推進委員会の活動とりまとめを報告した。大学・大学院における高等専門教育、国際交流としてのサマースクールの開講形式について質疑がかわされた。

2-7. 公開森林実習: 全国大学演習林協議会(全演協)では、各大学が持っている演習林相互の有効活用を促進することを目的に教育関係共同利用として「公開森林実習」を実施している。東京大学は、他大学の学生に東大演習林で学ぶ機会を提供するとともに、本学学生に他大学の演習林で行われるさまざまな「公開森林実習」に参加する機会を提供するため、単位の取得にかえて「成績証明書・履修証」を発行することで、全演協の「公開森林実習」に参加している。

2018年度は、森林系2専修およびフィールド科学専修の「森林科学総合実習」、「森林保全学実習」のうち演習林で行われる部分、および国際開発農学専修の「森林実習」を「公開森林実習」として位置づけ、それぞれ「森林科学総合実習－北海道の天然林生態系とその持続的管理－」、「森林と土砂と溪流の実習－山から川に流れ出る土砂を測ろう－」、「伊豆の公開森林実習－人と森林のあり方について考える－」として開講した。その結果、「森林科学総合実習」は参加者なし、「森林と土砂」は名古屋大から1名の学生が受講し、「伊豆の公開森林実習」は参加者なしであった。

2-8. 国際交流: 9月3日から16日にかけて台湾大学サマースクールに本学大学院生3名を派遣した。7月10日から18日にかけて、海南大学学生を対象としたサマープログラムを千葉、富士、弥生で関係各位の協力を得ながら実施し、学生・大学院生10名と教員1名を受け入れた。

2-9. その他 体験活動プログラム:千葉演習林, 北海道演習林, 田無演習林(生態調和農学機構と共同で実施), 生態水文学研究所, 富士癒しの森研究所, 樹芸研究所で体験活動プログラムを実施した。

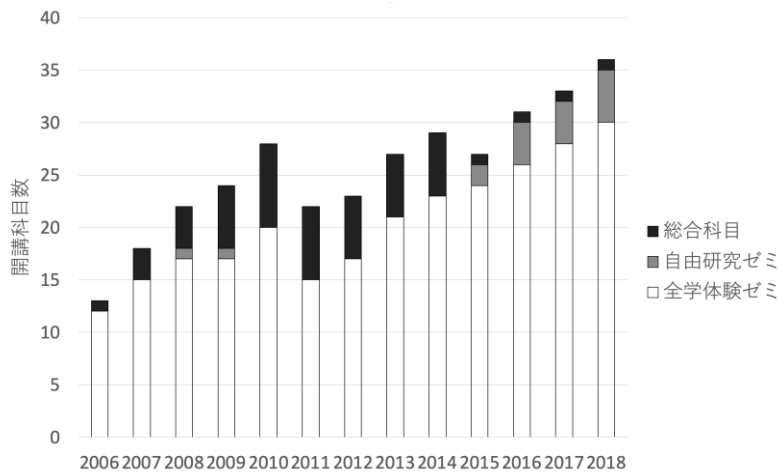


図-1 演習林における教養学部開講科目数の推移

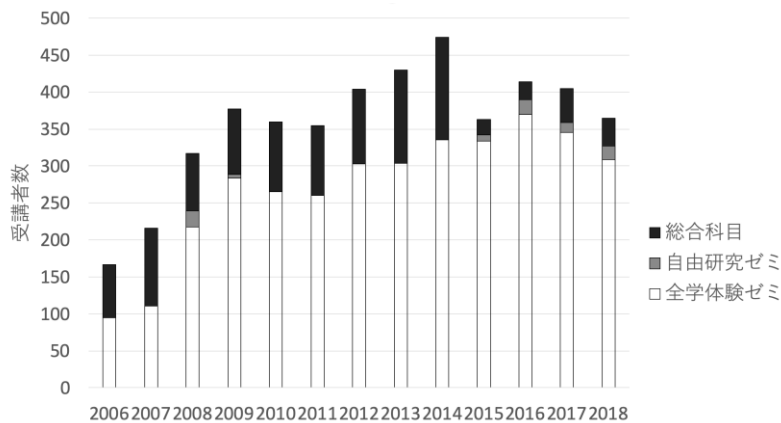


図-2 教養学部開講科目受講者数の推移

注:受講者数は、履修登録者数ではなく、実際に講義を受けた学生数。

2006~07年度の全学体験ゼミは集計されていない科目が含まれる。

4) 環境安全管理委員会

毎月開催される農学部の環境安全管理室会議に出席して、情報の収集にあたり、演習林会議を通して情報の共有をはかっている。特定化学物質障害予防規則等の改正への対応など組織で対応すべき事案が多くなっており、弥生キャンパスの研究室とは異なる立場・環境にある演習林の対応について環境安全管理室会議にて質問・説明すること、それらを演習林に持ち帰ることは本委員会の重要な活動の一つである。

教育研究安全衛生マネジメントシステムを 2007 年度より研究部(現教育研究センター)および各地方演習林をそれぞれユニットとして実施している。2018 年度も継続して、各ユニットで安全衛生計画等の作成、定期的なミーティング、リスクアセスメントと対策の検討、安全衛生に関わる各種研修、講習を行った。演習林外部の研修・講習へ職員が参加するとともに、演習林内部でも実施している。教育研究安全衛生マネジメントシステムのまとめや機械等自主検査結果の報告等は各地方演習林で自律的に実施して、100%の提出率を達成している。100%の提出は当たり前のことではあるが、演習林は常に高い意識を持って安全に配慮していることを示すものである。

2015年度に実施した外部評価では、2014年2月4日に千葉演習林で死亡事故が起きた現実を重視して、安全への一層の取り組みが必要であることと、人員削減によるリスク増があることから組織的に人材確保に取り組むべきことの重要性が指摘された。このことを受けて演習林独自の安全への取り組みを行うことを検討した。その一つとして地方演習林の安全管理体制の視察を行い、地方演習林職員と職場の安全環境に関する交流を行うこととした。今年度は田無演習林を訪ね、実験室の劇物管理状況や危険物の保管状況、危険の危惧がある万年堀の視察を行った。

細心の注意を払っても事故災害は起こり得るので、実際に事故災害が起こった時にしっかりと検証・点検を行って安全性を高めていく努力がとても重要である。

8月には収穫調査においてマサカリを持って移動中に倒木に躓き、マサカリが右大腿部下部に当たり、創傷を負うという災害が発生した。刃物やチェーンソーを持ち歩く際にはカバーを装着することが基本であるが、次の収穫木に移動する短い区間だったため刃にカバーを付けず手で持ち歩いて発生した。また災害発生時には打撲部分の痛みを気を取られ、切創に気がつくのが遅れたことも報告された。刃物の取り扱いにおいて、一層の注意喚起の必要を感じる事案と受け止める。

今年度もハチ刺され、ダニ咬傷の報告があったが、9月のダニ咬傷ではアレルギー症状があったことが報告された。ハチに比べて、やや危険性を低く見積もりがちであったので、しっかりと情報を共有すべき事案である。ハチと比較した場合、ダニとの接触ののち刺咬に至るまでに時間があることが特徴なので、調査等で山林から帰還したあとにダニチェックを入念に行うことが特に重要である。

2月にはスノーモビル2台が縦列走行中、先頭車の一時停止に、後続車が対応しきれず、車体同士が接触し、後方の運転者の右足が先頭の車体に接触して負傷するという人身事故が発生した。雪上を走行する場合、路面の凹凸や障害物に応じて急ブレーキをかけることがある。後続車は、先頭車が緊急停止する可能性を想定して、走行速度に応じて適切な車両間隔を空けることが特に重要になるが、これはスノーモビルに限らず舗装路面を走行する自動車でも当然払われるべき注意事項である点を再確認しておきたい。先頭車が後続車の存在を意識してスピードを出し過ぎないように心がけることも大切である。

5) 広報情報委員会

演習林会議の前に、図書館会議室のTV会議システムを利用して毎月1回の会議を行い、広報、情報、ネットワーク、ホームページ、会計等の各担当から報告を行うとともに、審議・議論を行った。6月、9月、12月、3月には科学の森編集委員会と合同で会議を行い、科学の森ニュースで取り上げるトピックス等について検討した。

【広報】

演習林編集委員会と連携して、雑誌「演習林報告」139号・140号、「演習林」61号を編集した。また、科学の森ニュース82号～85号、「科学の森で学ぼう」の編集、印刷、出版と配布を行った。

全演ホームページについて、寄付金の情報として、「ふるさと納税を利用した寄付」というページを新設した。また、基盤データ整備委員会(生物部門鳥類分野)主体が作成したウェブサイト「東京大学演習林の鳥」の公開を支援した。

科学の森ニュースについては、科学の森ニュース発行の3か月前に広報情報委員会と科学の森ニュース編集委員会を合同開催し、掲載する記事の情報を各地方演習林から収集するとともに、今後の科学の森ニュースの方向についても検討した。

毎月の専攻長・附属施設長会議に演習林の活動を資料として提出したほか、各地方演習林と協力しながら、広報誌(弥生など)への原稿の投稿、情報の提供を行った。

平成30年4月～平成31年3月の演習林出版局の出版物(ポストカード含む)の販売実績は、農学部生協店で69冊、生協駒場書籍部で4冊、多摩六都科学館ミュージアムショップ9冊、神林書店45冊、千葉県立中央博物館ミュージアムショップで30冊、地方演習林合計で803冊、全体では960冊、合計607,262円(消費税込)となった。

【情報】

利用者実績データベースに関する取りまとめとメンテナンスを行い、演習林年報に利用する地方演習林における教育研究活動のデータ収集を支援した。

技術職員等試験研究・研修会議報告について、とりまとめや編集、発行を行った。

演習林年報について、「演習林を利用して行った論文等」の項目について、当該演習林の教員の論文を入れるべきかどうかについて議論を行い、入れるべきということで意思統一を行った。

広報情報委員会の下部組織である演習林ネットワーク委員会では、メールアカウントの管理業務・演習林サイボウズ・Web/データベースサーバの管理・部局 CERT における担当としてコンピュータセキュリティに関する業務、地方演習林のインターネット接続・コンピュータネットワークに対する支援などを行った。

マルチメディア委員会に出席し、各地方演習林の作業所等のVPN化についての実態と要望を取りまとめて伝えるとともに、農学部が検討している附属施設のVPN化についての説明を受け、マルチメディア委員長らと意見交換を行った。

昨年度に整備した「演習林サイボウズの管理体制」に従ってサイボウズの運用を行った。

ウィルス対策ソフトに関して英語版ウィンドウズに対応したライセンスの利用ができるようにした。

地方演習林で発生した情報セキュリティインシデントに対し、地方演習林担当者と協力し、対応に当たった。UTokyo-CERT 説明会と総務省情報セキュリティ統一研修を受講し、全学の情報セキュリティの動向や管理体制、技術的基盤に関する情報収集を行った。

6) 国際交流委員会

演習林国際交流委員会は、おもに、各国の大学演習林との交流計画の作成・実施を任務としている。2018年度には、研究推進委員会との協力により2016年度から3年間で採択となった、日本学術振興会(JSPS)研究拠点形成事業(B.アジア・アフリカ学術基盤形成型)に「アジア森林圏の環境変動と生態系応答を把握する長期観測フィールドのネットワーク構築(代表:鎌田直人, 2016-2018年度)」の事業を中心に活動を行った。2018年6月には国立台湾大学実験林でワークショップとエクスカージョン、10月にはソウル国立大学校で第8回アジア大学演習林コンソーシウムシンポジウム(SAUFC)を兼ねたシンポジウムと南部演習林および関係機関にてエクスカージョンを開催した。両方とも、東大のほか、国立台湾大学・ソウル国立大学校・カセサート大学・マレーシアサバ大学から参加した。海南大学任教授を客員教授(旧客員Ⅲ種)として招聘した。12月に国立台湾大学で開催されたNTU-UTokyo Forumに教員5名が参加した。JSPS研究拠点形成事業のワーキンググループと協力して、日本学術振興会(JSPS)研究拠点形成事業(B.アジア・アフリカ学術基盤形成型)に応募し、2019年度から3年間の事業が採択された。教育推進委員会と協力して海南大学学生・大学院生を受け入れるサマースクールを国際短期プログラムとして千葉演習林・富士癒しの森研究所等で行った。また、国立台湾大学で開催されたサマースクールに

東大の大学院生を派遣した。フランスからインターンとして大学院生を 1 名、秩父演習林および生態水文学研究所で国際短期プログラム受講生として受け入れた。

演習林が中心となって 2011 年に締結されたタイ農業研究開発庁 (ARDA) と研究科との学術交流協定について、締結後 5 年間を経過してさらに 5 年間更新する手続きが、タイ側の問題で遅れていたが、2018 年 12 月 7 日にタイ側が協定書にサインし、2023 年 12 月 6 日まで 5 年間、協定を更新することとなった。

7) 森林病虫害委員会

森林病虫害委員会は森林管理において支障となる病虫害が発生し各地方演習林で対応が困難な場合に専門的な立場から管理指針を助言することになっている。

2017 年度に千葉演習林をはじめ房総半島南部でマテバシイを中心にブナ科樹木萎凋病 (通称ナラ枯れ) の発生が確認された。千葉演習林では千葉県内各機関と協議して状況の把握、対応に取り組んでおり、本委員会でも千葉演習林と情報の共有を図っている。2018 年度は、千葉県森林課をはじめ県内各機関が参集して千葉演習林で開催されたナラ枯れ情報交換会議及び現地研修 (10 月 30~31 日) に参加した。また、千葉演習林ナラ枯れ WG 打合せ (1 月 21 日) における協議内容 (調査、対策) の確認を行った。

生態水文学研究所 74 林班ではマツ枯に対する薬剤散布を継続しており、生態水文学研究所が調査した被害状況の報告を受けている。被害は抑えられていることから、今後も経過観察を続け枯死が多発した場合には対応策を検討する。2010 年度に実施したマツ枯れ予防樹幹注入試験地 (注入木約 130 本) についても 2018 年度は枯死木がなかったため、調査は実施していない。本試験地では注入後数年間、予防効果について経過観察し、注入木で枯死が多発した場合には薬剤の分布調査を行うことになっている。

その他に対応が必要な病虫害発生案件はなかった。

8) 「東京大学の森」育成資金委員会

「東京大学の森」育成資金の目的は以下の通りである。

- 1) 管理作業: 教育研究フィールドとして、多様な森林環境を保全管理する。そのために森林管理作業全般を行う。
- 2) 観測・調査: 森林の生態や動態に関する科学的データを収集整備し、それらを提供する。そのために、継続的な観測・調査を行う。
- 3) 社会教育: 森林・環境に関する理解を深める社会教育の場・機会・プログラムを提供する。

10 万円以上の寄付をした個人と 50 万円以上の寄付をした法人のうち希望者は「記念樹への銘板の設置」「記念樹見学会 (以下、寄付者イベント) への参加」という特典が与えられる。また 1 万円以上の寄付をした方には「記念品 (ポストカード)」が贈呈される。

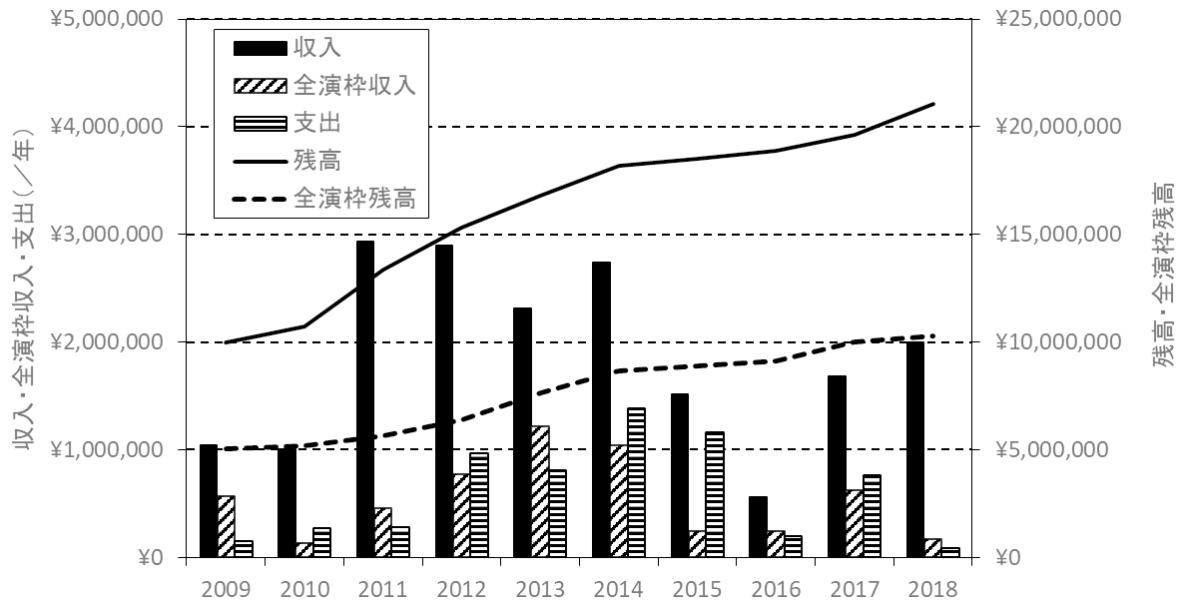
今年度当初に、これまでの運用の見直しを行い、以下の 3 つの点で運用の変更を行った。

- 1) 銘板作成費用、寄付者イベントの開催にかかる費用等は、地方演習林の運営費で賄う。
- 2) 記念樹指定がある場合に、事務局配分として寄付金の 5% を配分していたが、これを廃止し、85% を地方演習林への寄付とする。なお記念樹指定がない場合はこれまで通り 85% を事務局配分とする。

3) 10万円以上の寄付者に送付している申込書の項目のうち、寄付目的を選んでいただく部分を削除し、寄付金を3つの目的のいずれに使うかは演習林にご一任いただく、という運用を明確化した。

2018年度の寄付受入状況は10件、200万円(本部取り分含む)であり、寄付件数、寄付額とも2017年度を上回った。

「東京大学の森」育成資金の存在を広く広報するため、新しいパンフレットを作成・印刷し、弥生地区および各地方演習林において配布できる体制を整えた。



2. 各地方演習林活動

1) 千葉演習林

【教育】

教養教育として全学体験ゼミナール 5 科目(危険生物の知識(春編), フィールドで考える野生動物の保護管理, 危険生物の知識(秋編), 房総の森と生業(なりわい)を学ぶ, 君はスギとヒノキのことを本当に知っているのか?(入門編))および総合科目1科目(森林環境資源学), 加えて海南大学サマープログラムを主体的に実施した。これらの現地実習は多様なフィールド学習や課題解決型学習を含む最長3泊4日の内容であり, のべ260人日の利用があった。専門教育として, 農学部3科目(造林学実験, 森林植物学実験, 森林経理学実習), 理学部1科目(地球環境科学科野外調査実習I), 大学院農学生命科学研究科3科目(生圏システム学特論, 森圏管理学, 森林生態圏管理学特論)の計7科目を実施し, のべ434人日の利用があった。また他大学の実習5科目(宇都宮大学, 京都大学, 千葉大学, 東京都市大学)でのべ414人日の利用があった。

学生の研究活動として, 卒論研究5件, 修論研究6件, 博論研究3件の利用があり, 安全管理, 観測補助, フィールド情報等提供, データ提供などの研究支援活動を行った。

【研究】

研究課題のうち①「持続可能な人工林経営を实践する理論と技術の高度化」では, 成長測定試験地の観測および詳細測量と成長傾向の解析や, 集約的管理を実施するモデル林の運営を行った。②「林木の育種と増殖技術の開発」では, 抵抗性クロマツ選抜では一次検定で1系統が合格, 二次検定に2系統が選抜され林木育種センターにて検定を受けている段階である。接ぎ木手法の検討の結果, 従来より活着率が格段に向上し, 検定に供試するクローン数の増加が期待できるようになった。コンテナを用いた千葉演習林産抵抗性アカマツ苗木生産試験を2017年度より行い, 人工数を大幅に削減できることや個々に独立した容器を用いることで苗高の大きな苗を生産できる可能性を見いだした。抵抗性アカマツ採種園では, 再評価のための接種試験および採種園への補強植栽を行った。マツのさし木における根系評価法を検討した。③「絶滅危惧植物の保全に関する研究」では, 千葉県のヒメコマツ保全協議会としての取り組みのほかに, 引き続きさし木での増殖条件の検討を行った。④「房総丘陵における暖温帯林生態系の保全・管理」では, カメラトラップ法でのシカ生息数調査の試行の結果, 有効な方法であることを確認し, 本格的な実施を開始した。昨年度のナラ枯れ被害発見を受け, 県と協力し研修会を開催するとともに独自に被害状況調査を行った。千葉県立中央博物館にて千葉演習林で行われた動植物の調査に基づく展示会が開催された。

また, 研究利用実績として, 学生の研究活動以外に31件の研究利用があり, 中核的共同研究として主体的に関与したり, 様々な研究支援活動を行うなどした。

「基盤データ整備」として, 気象部門では札郷の風速計を更新した。水文部門では森林理水及び砂防工学研究室と連携し観測機器の更新を進めた。生物部門の植物分野では, ハーバリウムコードの申請フォームを完成させた。脊椎動物分野では, I種調査として自動撮影カメラによる調査と, ハーブトラップを用いたコウモリ捕獲調査を行った。II種調査として魚類相調査を千葉県立中央博物館と共同で開始した。鳥類分野では4~5月の繁殖シーズンに早朝のポイントセンサスと日常業務中の任意調査を実施し演習林内およびその周辺地域で12月までの合計で28科49種を確認した。基盤データとしては千葉演習林内で初観測であるアカショウビン, リュウキュウサンショウクイ, ヤマシギが確認された。昆虫分野では, 今年度より調査地を檜ノ木台に戻しピットフォールトラップを用いた地表徘徊性甲虫調査を5~10月に4回実施し, オサムシ科のタウ標本を作製した。また, 千葉演習林を利用した研究論文に基づく甲虫相のリスト化を進めた。GIS部門では, 初期のナラ枯れ発生の状態を把握するため, 被害が顕著な地域を中心

に春と秋に UAV で空撮した画像をオルソ化し、オルソフォトを用いてナラ枯れと思われる枯死個体を GIS 上で洗い出した。

【社会連携】

4 月に「春の一般公開」で郷台林道と郷台作業所を一般公開し、2 月に博物資料館を一般公開した。8 月には千葉大学海洋バイオシステム研究センターとの共催事業として「高校生のための森と海のゼミナール～大学の先生と考える環境問題と生物多様性～」を開催した。12 月に学内教職員向けイベントを郷台・猪ノ川林道と郷台作業所で行った。地域交流協定を締結している鴨川市とは共催事業「野鳥の巣箱をかけよう」と交流事業「東京大学・小石川植物園見学ツアー」を実施した。また、地元の天津小学校 5 年生とその保護者を対象とした体験型イベント「緑の教室」を実施した。本イベントは今年度で 21 年連続の開催となった。同じく地域交流協定を締結している君津市とは地元の坂畑小学校 5・6 年生を対象としたスクールミュージアム事業「演習林見学会」を実施した。千葉演習林ボランティア会 Abies とは緊密に連携をとりながら活動を行い、一般公開・緑の教室等のイベント試験地の除草作業等に協力していただいた。その他、千葉県立青葉高校「校外実習」、内浦山県民の森主催イベント、君津亀山少年自然の家主催イベント等の外部利用者の利用を受け入れた。今年度は郷台作業所がテレビで全国放送で紹介された。

【施業管理】

主伐を 10 林班 C4 小班で実施した。また、2019 年 5 月からの次期森林経営計画の策定に向けて準備を進めた。造林は、地拵え、新植、下刈り、除伐、保育間伐に関しては、表-2 のとおり直営で行った。また、造林実習を直営で行った新植地で実施し、一部に防獣柵を設置した。また、次期教育研究計画策定のための森林現況調査を 10 月より開始し、延べ 27 日 94 人工を投入した。今年度は森林経営計画の最終年であるため、今期の変更修正と次期計画の策定に伴う収穫予定地の検討等を行った。

(表-1)主伐実行量

伐採面積 (ha)	1.48
伐採材積 (m ³)	637.7

(表-2)2018年度造林実行量(2019年2月現在)

作業種	地拵え・新植	下刈り	除伐	保育間伐
林齢	-	1～3	9	19～34
面積 (ha)	0.26	1.11	0.05	1.71

【その他】

千葉演習林では 4 件の事故災害が発生した。1 件は通勤途中でのハチ刺され、1 件は調理中の火傷、1 件は間伐作業中のチェーンソー破損事故、1 件はドローン着陸時の墜落・破損事故で、いずれも重大災害には至らなかった。ハチアレルギー検査は 12 名の教職員が受診したが、新たにアレルギー反応が出た者はいなかった。配布されていたエピペンが使用期限となった 11 名の教職員は更新した。

2) 北海道演習林

【教育】

学部・大学院の専門教育として、農学部授業科目「森林科学総合実習」を担当実施し、全演協の公開森林実習として公開した。大学院の授業科目1件(農学生命科学研究科)、他大学の学部授業科目1件(同志社女子大)を受け入れ指導を行った。卒業論文研究6件(東京大, 北海道大, 帯広畜産大, 北海道教育大), 修士論文研究6件(東京大, 北海道大, 帯広畜産大, 新潟大), 博士論文研究5件(東京大, 北海道大)を受け入れてこれらの実行を支援した。その他, 東京環境工科専門学校の実習に準ずる活動を受け入れた。教養教育として, 教養学部授業科目「全学体験ゼミナール: 雪の森林に学ぶ~北海道演習林」を開講するとともに, 1件の全学体験ゼミナールの実施を支援した。体験的な機会の提供として, 体験活動プログラム「森が社会に貢献するー持続可能な森づくりへの挑戦ー」を実施して計3名の学部生(教養学部, 農学部)が参加したほか, インターンシップ計6名(マレーシア Sabah 大)を受け入れた。ICTを活用したフィールド遠隔教育の取り組みとして, 弥生キャンパスで行う農学部授業科目等で2回の遠隔ライブ講義と1回のビデオ配信講義を実施した。

【研究】

「汎針広混交林帯における森林生態系の持続的・順応的管理」を課題として掲げ, 森林生態, 森林経営, 森林生態系保全の3分野のもと活動を行った。主なトピックは以下の通りである。

森林生態分野では, 大面積長期森林生態系観測に関して, 前山プロット設定25年後の定期測定を完了した。微生物・昆虫の生態と生物間相互作用に関して, 2009年以来大発生が続いていたカラマツハラアカハバチの密度はさらに減少した。クスサンの幼虫・成虫ともに発生数は少なく, 食害を受けたウダイカンバに対するキクイムシの穿孔被害も認められなかった。野生動物の生態に関して, エゾシカのライトセンサス, コウモリ類の生息状況調査(捕獲)と音声情報の収集を継続した。生態遺伝特性と遺伝子資源の保全に関して, 採種園産トドマツ実生家系の苗畑における3年間の播種試験の結果を取りまとめ, 初期成長と暗色雪腐病への罹病性に母樹家系間差を見出した。森林生態系の基礎情報の収集に関して, 全演基盤データ整備委員会の活動とも連携しながら, 気象観測, 水文・水質観測, 主要樹種のフェノロジー観測, 動植物の生物相・分布域など生物情報の収集を継続した。気象観測については山部(樹木園)に新露場を設置し, 旧露場との並行観測を開始した。1930~2010年のフェノロジーデータを整理して公表した。

森林経営分野では, 林分施業法の科学的・技術的基盤の強化に関して, 西部の約8,700haの区域で航空機LiDARデータを取得し, DSM, DTMを作成した。空中写真や航空機LiDARを利用した施業計画策定業務(林種区分)の省力化, タブレット端末とデータベースソフトウェアを用いた標準地調査野帳の電子化と野帳集計作業の効率化を引き続き進めた。UAVリモートセンシングによる森林樹木の健全性評価を目指して, マルチスペクトル・熱赤外センサによる樹木の水分生理状態の検出特性について検討を行った。腐朽判定技術の高度化を目的に, 造材土場で非破壊機器診断の基礎となる横打撃共振周波数の資料を北海道産主要樹種について収集した。生立木の横打撃共振周波数の季節変動を明らかにするとともに, 樹幹凍結や木部含水率の変動が共振周波数に及ぼす影響を実験的に明らかにした。多様な人工林施業技術の開発に関して, 精密植栽技術の実証試験をヨーロッパトウヒ高齢級造林地で実施した。広葉樹優良木の管理・育成手法に関して, 樽材として有用なミズナラ優良木の形質と空間分布に関する調査を継続した。林産物のマーケティング手法に関して, 銘木落札業者へアンケート調査を行い付加価値評価ポイントの把握に努めた。

森林生態系保全分野では, 移入種の生息状況把握と管理手法に関して, 自動撮影装置によるアライグマの生息実態モニタリングを実施した。

【社会連携】

初等・中等教育支援として、文部科学省 SSH 事業による校外研修(札幌啓成高)を受け入れ、プログラムを作成・提供するとともに指導を行った。とわの森三愛高(獣医・理数コース)の研修を受け入れ、指導を行った。技術者教育として、国際協力機構(JICA)2件をはじめ、官公署・国有林、林業団体・企業等の研修会・視察見学等計10件を受け入れ、それぞれ指導を行った。一般公開事業として、公開セミナー「森林環境の保全と持続的な木材生産を学ぶ」および神社山自然観察路一般公開(春季・秋季に各1日)を開催した。富良野市との地域交流協定に基づき教育委員会が演習林内で展開する森林学習プログラム推進事業に全面的に協力し、プログラムの監修と森林学習サポーターの認定研修を担当した。2018年度は市内の計6校(小学校4校、中学校2校)でプログラムが実施され、計110名の児童・生徒が参加した。その他、市内中学校1校の総合学習を支援した。また、富良野市の博物館事業、南富良野町教育委員会の委託事業のほか、富良野地域日台親善協会のサポートのもと来日した台湾の私立中学校の教育旅行を受け入れた。富良野市ぶどう果樹研究所にワイン樽材用にミズナラを、公益財団法人アイヌ民族文化財団に舟材用にハリギリを提供した。国立大雪青少年交流の家と連携・協力に関する協定書を締結した。

【施業管理】

立木伐採は資材量で21,204m³(天然林17,543 m³, 人工林3,661m³)を実行し、うち1,667 m³について素材生産・販売を行った(直営1,001m³, 再生林請負446m³, 委託販売220m³)。立木および素材の販売額は合計90,879,811円で、立木が42,774,420円、素材(委託販売を除く)が21,945,582円、委託販売(銘木市売)が26,159,809円であった。山出苗生産本数は14,661本(トドマツ6,191, エゾマツ6,135, アカエゾマツ2,335本)、地拵、植付、下刈の実行面積はそれぞれ14.8, 15.7, 42.8ha、林道改良距離は51.55kmであった。森林保護に関して、春期に山火予防防活動(監視および啓発)を、春と秋に野鼠発生予察調査を、冬期に北海道猟友会富良野支部および富良野市と共同でエゾシカの有害獣駆除(2回)を、森林被害巡林調査を計3回、それぞれ実施した。特定試験林(試験地)の測定を計画に則って実行した。

不動産(土地)については、1件の土地売却(布部川護岸工事用地74.62 m²)を行った。不動産(構築物)については、昨年度工事設計を終えた戻沢橋が8月に完成した。不動産(借用地)については、2件の占用(北海道より植林地として30,885.34 m², 国土交通省より石碑用地として60.00 m²)を引き続き受けた。2012年度より開始された地籍調査事業は、昨年度に境界確認を終えた22筆(20,003 m²)の成果閲覧を行った。土地の貸付契約は、賃貸借14件(計49,444.11 m²)、使用貸借22件(計193,440.71 m²)を締結した。2011年度に締結した配電柱移設に関する覚書は、関係工事の延長に伴い履行期限内に移設ができなくなったことから期限を変更する覚書を北海道電力と新たに締結した。また、次年度に新設する林道の維持管理等に関する覚書を隣接地権者と締結した。入札不調が続いていた豪雨被害の復旧工事は、4月に工事契約を締結し、3月に完了した。

【その他】

環境安全管理について、事故災害発生件数は9件で前年度(15件)より減少した。虫刺され災害が5件(ハチ4件, ダニ1件)と8件(ハチ4件, ダニ4件)だった昨年度に比して減少し、その他に重機械やチェーンソーの事故も発生しなかった。しかし林内歩行中の転倒等による事故は、比較的軽い受傷ではあるが今年度も3件発生した。様々な状況の林内を歩行するため抜本的な防止策は見当たらないが、重大災害に繋がらないように安全装備のさらなる導入や作業方法の見直しを進めている。

また今年度は9月の北海道胆振東部地震に起因した大規模停電が発生し、森林科学総合実習で滞在中だった利用者への緊急対応が必要となった。電気・水道・通信等のライフラインが途絶した場合の対応準備がソフト・ハード両面で不足していたので、これを教訓として各種対策を進めている。

3) 秩父演習林

【教育】

1. 学位研究の受け入れ

本学の学部課程 4 名, 修士課程 3 名, 博士課程 2 名, 他大学の学部課程 4 名, 修士課程 4 名が学位取得のための研究を行い, 研究指導, 研究計画の助言, 研究地への送迎, 野外調査の補助, 試験地の維持管理などの協力を行った。

2. 大学実習の受け入れ

学部の実習 5 件, 森林植物学実験, 森林土壌学実験(森林系専修), バイオマス科学実習・森林科学実習(生物材料科学系専修), 森圏管理学実習(フィールド科学専修), 環境学フィールドワーク II(教養学部)を受け入れた。秩父演習林として全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」, 「秋の奥秩父を巡る」を開講した。他大学では, 首都大学東京動物系統学野外実習, 立教大学ゼミナールを受け入れた。また, 国外からインターンシップ学生 1 名を受け入れた。

【研究】

1. 冷温帯森林生態系に関する研究

成果として, 2017 年に計測した再生林固定試験地(15 箇所中 8 箇所)の毎木調査資料, 2014 年～2017 年に計測した人工林固定試験地(成長試験地 11 箇所および間伐試験地 32 箇所)の毎木調査資料を『演習林』61 号で公表した。定期調査として, ケヤキ人工林試験地の毎木調査, リターフォール調査(シオジ林), 環境省モニタリングサイト 1000 調査(毎木, リターフォール, 地表徘徊性昆虫)を実施した。また, 2017 年 11 月に山火事が発生した大面積プロットにおいて, 立木の被害状況を 6 月に調査した。また, 民間企業との連携によるシカ排除柵試験地(30 箇所×内外 2 調査区)の植生・土壌調査, センサーカメラによる哺乳類調査, 渓流水の水質モニタリングなど, 植生保護・生態系管理に関する実証研究を行った。

2. 情報工学分野との融合研究

前年度に続き, ライブモニタリングシステムによる森林景観と樹木フェノロジーの映像・音声記録, 鳥類相の遠隔調査, 環境教育教材の開発に関する研究が行われた。

3. 基盤データ整備

気象部門では 2017 年の観測結果を, 水文水質部門では 2016 年の観測結果(流出量・水質)をそれぞれ『演習林』61 号で公表した。GIS 部門では基盤技術指導者養成研修会(弥生)に受講生として参加したほか, 試験地や歩道等の GIS データの整備更新を行った。生物部門鳥類分野では繁殖期のポイントセンサス(I 種)のほか, 越冬期のポイントセンサスとラインセンサス(II 種), 通年で任意調査を実施した。また, これまでの調査結果をウェブサイト「東京大学演習林の鳥たち」で公開した。昆虫分野では例年実施しているピットフォール調査および埼玉昆虫談話会と連携してライトトラップ調査を実施した。脊椎動物分野では自動撮影カメラ調査およびライトセンサスを継続するとともに, かすみ網によるコウモリ調査も実施した。植物分野では, I 種の活動として標本のデータベース化と標本の整理を行った。

4. 利用者ガイダンス・利用者発表会

利用者ガイダンス・発表会を開催し, 教育・研究の促進と利用者間の調整を行った。

【社会連携】

公開講座・セミナー等として、公開講座「東大の森林で昆虫採集」(8月, 参加者 15名), 「樹木のボディランゲージ」(10月, 参加者 14名)を行い, ガイドツアーを2回開催(6月, 参加者 8名・11月, 参加者 18名)した。また, 秩父市木材加工業者主催の「木が香る秩父フェスティバル」(5月・11月, 道の駅ちちぶ)に参加, 秩父演習林の恒例行事となっている「影森祭」(12月, 来場者 81名)を秩父演習林ボランティア「しおじの会」と秩父演習林 OB 会の協力を得て実施した。しおじの会によるボランティア活動は, シカ防除柵の点検補修, 歩道巡視, 修繕, お土産(木工品)づくり, 樹木園保全活動など, のべ 313名の参加があった。さらに, 社会教育として秩父第一中学校・秩父第二中学校・影森中学校の職場体験「社会体験チャレンジ」を受け入れた。3月には秩父市と地域交流協定を締結した。

学外各種委員会では, 特別天然記念物カモシカ保護対策事業通常調査指導委員会, 埼玉県特定鳥獣保護管理検討委員会, 埼玉県環境科学国際センター客員研究員, 甲武信ユネスコエコパーク推進検討委員会, 秩父地域森林林業活性化協議会, 秩父地域鳥獣害対策協議会, モニタリングサイト 1000 検討会, JaLTER 運営委員会など様々な活動を実施した。

【施業管理】

育林実行量は枝打ちが 1.18 ha と獣害対策がクマ剥皮防除樹皮ガード保守管理 1 箇所(1.28 ha), シカ防護柵の保守管理 4 箇所(2.41 ha)であった。また, 埼玉県の水源の森事業により, 枝打ち 1 箇所(1.85 ha), 撫育間伐 3 箇所 5 小班(8.23 ha)を実施した。その他に樹木園に設置されているシカ防護柵の保守管理を 3 回実施した。土木実行量は, 車道維持が 19,826 m, 歩道維持が 35,587 m, モノレール維持が 3,067 m(3 路線)であった。また, 民間企業との協定による森林整備で, 29 林班に作業道迂回路(284.4 m), 31 林班に作業道(999.6 m)およびシカ防護柵(2 箇所 528m)を新設, 25 林班の不成績造林地で天然林化を目的とした皆伐(1.00ha)を実施した。枝打ち, シカ防護柵の保守管理, 車道・歩道維持の一部はボランティアの協力を得て実施した。モノレール設備は入山モノレール乗用台車走行装置とバケモノ沢モノレール乗用台車を交換し, 重機は油圧ショベルを更新した。工事は, 入川林道 900 m 地点路面補修工事を実施した。土地資産に関する変動はなかった。

【その他】

環境安全管理について, 今年度はヒヤリハットが 1 件あったのみで, ハチ刺されやダニ刺され等の被害もなく災害は 0 件であった。ヒヤリハットは至近距離でクマに遭遇したことによるもので, クマよけ鈴や撃退スプレーの携行を確認するとともに, 8 月には撃退スプレーを使用した講習会を行った。引き続き, 身の回りや育林作業等における基本動作の安全確認を徹底していきたい。4 月に普通救命講習会, 12 月に交通安全講話, 4・12 月に公用車自主点検, 8・1 月に消防訓練を実施した。災害時の非常食は賞味期限をもとに適宜更新した。また, 新たに東京大学の森育成資金に 5 件の寄付をいただき, 記念樹を設定した。

4) 田無演習林

【教育】

農学部の実習を3件、教養学部の実習(全学体験ゼミナールおよび全学自由研究ゼミナール)を3件、全学部生対象の体験活動プログラムを1件実施した。農学部実習のうち1件は連携する生態調和農学機構によるものである。全学体験ゼミナールの2件は田無演習林をはじめ千葉演習林、富士癒しの森研究所の教職員が主体的に関わって実施した。小中学生に対する指導体験を通じて樹木に関する知識とコミュニケーション力の向上を図ることを目標とする「都市の緑のインタープリター」、森のエネルギーを体感し森林管理の観点からその流通利用における問題点について学ぶことを目標とする「森のエネルギーを使いこなす」である。体験活動プログラムは生態調和農学機構と共同で実施した。受講者は都市林管理の実務を体験することにより、散策利用者の視点とは異なった森林管理者の視点があることを学んだ。

卒業論文研究等では修士論文6件(うち本学5件)、博士論文3件(うち本学3件)の利用があった。

【研究】

単回・通年利用を含め40件の申請があり、延べ835人(うち外国人158人)の研究利用があった。内容別には生物の生態的特性に関する研究が約7割、生理に関する研究が約2割、森林情報の収集技術等工学的研究が約1割などとなっている。

分野の異なる利用者との交流を深め、研究可能性をさらに広げることを目的とした研究利用者交流会を6月11日に開催し、8題の口頭報告のほか、4件の要旨による報告がなされた。

【社会連携】

小中学生向け講座を2件、休日公開を延べ5日間実施した。休日公開に合わせ、ツリークライミング体験会を行った。近隣の中学校から2件、延べ6日間職場体験を受け入れたほか、演習林資源を有効活用できるように学内教職員向けのリース作り講習会を1件実施した。地元小中学校による校外学習を4件指導したほか、地元の公民館、科学館、非営利団体による利用13件に対応した。

樹木剪定作業により生じた枝葉を花材・園芸資材として東京都板橋市場にて販売した。

【施業管理】

実習および研究用としてアカマツ、クロマツ、スギ、ヒノキの実生苗の育成を行った。そのほかに、研究者から委託された苗木育成のための苗畑管理(灌水や除草)を技術職員と特任専門職員で行った。また、試験地として実験用に植栽されたフィールドの適切な管理を行うため、下草刈り等の作業を行った。田無演習林は、年間を通して多数の一般利用者が来演するため、一般利用者の安全を考え、散策路沿いや樹木園の休憩場所の枯損木の伐採を小径木については直営で、大径木については請負(アカマツ2本)で行った。枯損枝・掛り枝は、スローラインや高所作業車を用いて直営で除去した。また、強風、台風時には一般見学を中止とした。

9月4～5日に通過した台風21号の強風で北側のプラタナス大径木1本が、西東京市いこいの森公園側に倒れ、越境した枝条の一部を直営で処理し、請負で全処理を行った。9月30日～10月1日に通過した台風24号では、強風により演習林内で多数の倒木、幹折れ、枝の落下の被害があった。そのほか観測鉄塔が北側に大きく傾いた(写真)。10月中に倒木、枝条等の処理を行った。敷地境界からはみ出した枝の処理や境界沿いの小径木の伐採は直営で適宜行った。また、第4期

教育研究計画で示した、隣接する民地にかかる支障樹木の伐採を請負(シラカシ3本)で行った。伐採計画木以外にも支障となると判断したシラカシ2本、プラタナス1本もあわせて伐採した。伐採した材の有効利用のため、簡易製材機による製材作業を行った(写真)。そのほか、散策路柵の修繕を定期的に行い、重機を用いて、雨水の溜りやすい場所への碎石敷や下草刈りの支障になる丸太の運搬を実施した。

【その他】

相川美絵子技術専門職員が全国大学演習林協議会の森林管理技術賞技術貢献賞を受賞した。受賞テーマは「利用者の視点に立った効率的な社会貢献活性化技術の開発に対する貢献」で、利用者向け情報の内容や発信方法の改善と効率化について評価された。

6月に開催した利用者交流会や、利用者が来演する都度、田無演習林から環境安全管理についての情報提供を行い、利用者の安全管理に努めた。5月に環境整備をアジア生物資源環境研究センターと共同で実施した。12月に生態調和農学機構と防災訓練を共同で実施し、消火器取扱い訓練や地震時の対応講習として起震車体験を行った。毎月定例会の前に行っている安全衛生マネジメントシステム会議では、ほかで発生した災害発生報告や、熱中症やハチ刺され対策など季節に応じた注意喚起を行ったが、ハチ刺されの災害が1件発生した。

「東京大学の森」育成資金に3名(5口)の方から寄付いただいた。「武蔵野に大学の森をたずねて～東京大学田無試験地の80年～」を42冊、「”森たび”東京大学演習林のみどころ100」を22冊、今年度新たに出版した「気持ちよく納められる森林環境税とは？」を166冊販売した。



台風24号の強風により傾斜した観測鉄塔



簡易製材機を用いた製材作業

5) 生態水文学研究所

【教育】

農学部森林生物科学専修・森林環境資源科学専修の森林保全学実習、測量学実習の現地実習を、田中が、それぞれ6月12～15日、8月21～25日に行い、それぞれ9名、13名の農学部生と引率教員が参加した。このうち森林保全学実習の6月13～15日について、石橋・田中・佐藤が全国大学演習林協議会の公開森林実習と位置づけて行い、名古屋大学から1名の学生が参加した。

教養学部前期課程 S セメスター総合科目 D 人間・環境「森林環境資源学」(ダムと森林)のフィールドワーク、A セメスター主題科目全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」を、田中・水内・佐藤らが代表教員の蔵治教授(企画部)と共に、それぞれ6月2～3日、3月2～4日に行い、それぞれ12名、20名の教養学部前期課程の学部生が参加した。「ダムと土砂と海」には菊池准教授(附属水産実験所)にも参加いただいた。S セメスター主題科目全学体験ゼミナール「人の手で造り管理する森林－林業・風景計画の視点から」の一部を、石橋・田中・水内らが6月23～24日に行い、14名の教養学部前期課程の学部生が参加した。体験活動プログラム「森林・水・土砂の長期モニタリング調査体験～世界の水文研究を支える90年を全身で感じてみよう～」として教養学部前期課程の学生3名を(9月3日～6日、9月25～28日)受け入れた。大学院生圏システム学専攻・森林科学専攻「森林流域管理学」の現地講義を受け入れ、田中・水内が講義をした。田中・水内が造園学会中部支部と共催でデザインワークショップ「サマースタジオ2018」を開催し、11名の大学生と2名の大学院生が参加した。

国際教育として、フランスのグランゼコール ENGEE よりインターン生1名(6月1日～7月31日)、マレーシアサバ大学よりインターン生1名(昨年度2月8日～5月31日)を受け入れた。科学技術振興機構のSATREPSプロジェクトにおいてタイのカセツァート大学の教員や大学院生、タイの河川・国立公園管理に関わる行政担当者ら11名を受け入れた。

【研究】

白坂・穴の宮・東山・犬山において気象、水文観測、雨水・溪流水サンプリング、水質分析を継続した。長期生態系プロットにおいて毎木調査、リター調査、種子調査、地上徘徊性昆虫調査、鳥類調査、ティーバッグの埋土分解実験を継続した。

水文データを対象に、過去の記録紙の読み取り、過去のデジタルデータをDVD-Rと紙媒体で永久保存する作業を進めた。また長期生態系プロットの毎木調査データを対象に、一部結果を環境省モニタリング1000事務局に提出した。また研究所に保管されている古い写真・地図のデジタルアーカイブの公開作業を進めた。

蔵治教授(企画部)、黒木を著者とする、1958～1980年の白坂流域の井戸水位観測結果が、「演習林」に掲載された。白坂の2016年の日降水量・日流出量、降水と溪流水の水質データが、基盤データ整備委員会水文水質部門によって「演習林」に掲載された。

佐藤を主著者として、ヒノキ人工林の土壌表面における細根層が土砂流出及び表面流に与える影響に関する論文が中部森林研究誌に、共著者として赤津研究林等で実施されているリター層での分解に関する研究論文が Science of Total Environment 誌に掲載された。水内を主著者として、瀬戸市内公園に関する論文がランドスケープ研究誌に受理された。梁瀬を主著者、佐藤を共著者として、ヤマガラとシジュウカラの一腹卵数を制約する要因に関する論文が中部森林研究誌に掲載された。

台湾で開催された NTU – UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis for

Ecosystem Services in Asian University Forests において、田中が赤津研究林の長期土砂流出量データ、佐藤が赤津研究林の暖温帯二次林の種構成と成長量についてそれぞれ発表した。韓国で開催された The 8th Symposium of Asian University Forests Consortium において、田中が白坂試験流域の長期流出量の弾力性解析結果、ナイナールが白坂試験流域の蒸発散量の長期変化についてそれぞれ発表した。信州大学農学部で開催された第 8 回中部森林学会大会にて、佐藤が「ヒノキ人工林の土壌表面における細根層が土砂流出及び表面流に与える影響」について、梁瀬が「ヤマガラとシジュウカラの一腹卵数を制約する要因についての検討」について発表した。新潟で開催された第 130 回森林学会大会にて、佐藤、梁瀬が共著として「気候変動がヤマガラ、シジュウカラの初卵日に及ぼす影響」について発表した。

5 月 15 日に利用者研究集会・尾張東部丘陵自然環境研究者の会を開催し、15 件のポスター発表があった。データ利用規則に基づき、東京大学の山崎氏にデータ利用申請を許可した。

【社会連携】

犬山市立今井小学校および城東小学校でそれぞれ 4 回、2 回開催された「探鳥会」に梁瀬が講師として参加した。東京大学赤津研究林サポーターズクラブ「シデコブシの会」、「犬山研究林利用者協議会」による赤津研究林、犬山研究林での主催行事、見学団体ガイド等がそれぞれ 9 件、40 件行われた。10 月に瀬戸市主催の中高生向けイベントで赤津研究林内の見学・講義で 10 名が利用した。犬山市主催の犬山市民総合大学環境学部の全 3 回講義を石橋・田中・水内が担当し、第 3 回の犬山研究林現地講義では 25 名が参加した。瀬戸市環境審議会、「せと環境塾」運営委員会、犬山市環境審議会に石橋が委員として、瀬戸市自然環境の保護及び保全特定地区選定委員会に田中が委員としてそれぞれ参加した。

【施業管理】

第 5 期生態水文学研究所教育研究計画において 4 つにゾーニングした研究林を、それぞれの施業方針に従って管理した。愛知県の保安林整備事業で 7.66ha、小規模治山事業で 2.68ha、直営で 0.50ha 森林ボランティアが 0.27ha の間伐を実施した。危険の未然防止の観点から、犬山市の公道にはみ出した枝の除去、犬山市の公道沿いに発生したナラ枯れおよびマツ枯れ木を伐採した。民有地との境界沿いの危険木を伐採した。不法投棄対策のため監視用無人カメラを設置した。74 林班においてマツ枯れ対策として湖西市と協働で地上からの予防散布(5 月 20 日)、年越し枯死木調査(4 月 9 日、被害本数 0 本)、静岡県によるマツ枯れ被害木の伐採搬出(材積 2.69m³)、枯死木調査(11 月 28 日、被害本数 18 本、うち今年度被害 18 本、材積 8.40m³)を行った。

【その他】

生態水文学研究所リーフレット No.4「はげ山が森に戻るまでー東京大学犬山研究林の砂防緑化のあゆみー」を 8 年ぶりに全面改訂した改定版を 2018 年 10 月に発行した。

6) 富士癒しの森研究所

2018年度は、科研プロジェクト、学生実習や社会連携事業など、村行政との連携を深めながら各種事業を進めた。また、第5期教育研究計画の策定に向けて、検討を開始した。

【教育】

大学の実習として、農学部の実習5件、教養学部7件、工学部2件、大学院の実習4件を受け入れた。ANESCの留学生プログラム1件および海外大学のサマープログラムを1件受け入れた。学生体験活動プログラム参加者1名受け入れた。森林風致計画学研究室のゼミに参加し、卒業論文・修士論文の研究サイトとしての利用を呼びかけた。「癒しの森プロジェクト」にもとづく教養学部開講科目として、全学体験ゼミナール「癒しの森を創る(夏)(冬)」を開講・実施した。運動会学生との共同作業で、歩道の整備を行った。ゼミ合宿を誘致した。2件の他大学実習等を受け入れた。ICTを活用した遠隔教育の実践を全学体験ゼミナール内で行った。

【研究】

実証林において、林内気象データを蓄積した。地域住民参加型で第4回の下層植生調査を実施した。保健休養機能に関する研究として、実証林における生理調査についての論文を投稿し、1件が受理となった。科研費「地域の健康を支える資源としての森林資源のポテンシャルと住民のニーズの把握」による、村民対象のアンケート調査を山中湖村と協同で実施した。関連して学会、研究会にて3件発表を行った。森の楽しみにかかわる研究素材として、フットパスに関する情報収集を行った。林内活動の楽しみに関するデータの蓄積を行うために、特別ガイドにおけるアンケート調査を行った。富士癒しの森研究所における危険木処理の現状と課題について技術職員等試験研究・研修会議で発表を行った。I林班での気象データの回収、蓄積を行った。放射性物質調査として、キノコ放射性物質調査に参加し、サンプリングを行った。基盤データに関する活動として、動物センサーカメラ調査、昆虫調査、鳥類調査、コウモリ調査を実施した。

【社会連携】

山中湖村との協定に基づき、科研プロジェクトを村との共同事業として遂行した。ほかの関係部署とも連携する中で、学生実習の企画・実施や村内森林整備計画への助言を行った。科研費プロジェクトをはじめ年度内で得られた研究成果を報告する公開講座を実施した。癒しの森の会の運営を支援した。外部団体との交流として、やまなし木質バイオマス協議会、NPO ホールアース自然学校、大学間里山交流会の活動へ貢献および参画した。村観光課などによる公共的な設備整備事業に対して、間伐材を提供した。ブログの定期的な更新を行った。ドローンを用いたプロフィール映像の撮影に着手した。淡青の「キャンパス散歩」において研究所と山中寮について記事を掲載した。一般向け書籍の執筆・編集作業を進めた。

【施業管理】

森林整備:刈払いはおおよそ計画通りに実施した。III-8 小班の間伐を秩父演習林から3名、生態水文学研究所から1名の技術職員の作業協力を得て完了することが出来たが、伐採木の搬出は未実施である。I-10 小班の間伐は、今年度は行わない事にした。村営キャンプ場との境界明瞭化の

為に、境界沿いのヒノキを交付金相当額予算により外注にて伐採した。隣接する中学校周辺のカラマツ林を簡易腐朽診断機で調査し、倒木の恐れのあるカラマツを市町村交付金相当額予算により外注にて伐採処理した。Ⅱ、Ⅲ林班公道沿いの枯損木・枯死枝処理とⅠ林班林道沿いの危険木・枯死枝の処理および台風被害木の処理を市町村交付金相当額予算で実施した。その他の枯損木については、整備の緊急性にかんがみ、予定外の区や大風や台風による風倒木処理作業を各所で行った。枝条等の移動についてはグラウンドの柵の整備に伴い行わなかった。現況調査の調査杭の現地確認作業を行い、おおよその調査地を確認する事が出来た。予算補助により更新した乗用草刈りを刈払い作業で使い、作業効率が向上した。

施設整備: 歩道、車道共に全線の整備を行った。市町村交付金相当額予算で砂利を購入し、悪路の補修に向けた準備を行った。Ⅲ 林班のパネル式看板のパネル設置は完了したが、庇の設置については未実施である。Ⅱ林班のパネル式看板は土台設置を行ったが、絵パネルを揃えることができなかった。湖畔広場四阿の壁材丸太の入れ替えは十分に実施できなかった。Ⅰ林班フェンス塗装、機械倉庫の新設、木材置場改修について、予算措置がかなわず実現できなかった。

【その他】

学内連携として、体育チームおよび山中寮との三者打ち合わせを定期的実施した。東京大学附属病院との連携を開始した。計画通り、東大教職員向け特別ガイドを春・秋・冬の 3 回実施した。新たに 1 名の寄付者があった。寄付者に研究所活動の報告を送付した。記念樹の銘板作りを開始した。Web サイトについて、こまめな情報の更新はできたが、当初予定していた抜本的な改訂はできなかった。



村と共同で実施したアンケート調査



海南大学のサマープログラムをうけいれ

7) 樹芸研究所

樹芸研究所第4期教育研究計画は大胆なスリム化と資源の集中を念頭において立て、これまで優先して実施してきた事業を更に推進して、教育と研究の特色がきらりと光る組織を目指すこととした。

第4期教育研究計画において樹芸研究所では教育分野にエフォートを大きく割くこととした。特に2006年度に開始した前期教養課程の主題科目・全学体験ゼミナールの実施に大きなエフォートを割いている。全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ」シリーズは、人と自然のつながりや、人と人のつながり、そして現代社会においては見えにくい「プロセス」を、体験を通して気付かせる仕掛けであることを基本としながら、大学受験を終えたばかりの学部1,2年生に「学ぶ」ということの原点を問うことに重きを置く講義である。「体験ゼミ」とは言うものの、考えることを最重視することを強調している。温室をメイン舞台として展開するゼミ「伊豆に学ぶー熱帯植物編ー」の中のカカオノキからカカオを収穫してチョコレートを製造するというアクティビティを発展させる格好で、チョコレート会社と共同研究を行っている。温室では、カカオ以外にも原料植物の現物を用いる教育プログラム開発に意欲的に取り組んでいる。バニラはその代表で、体験ゼミナール等の教育プログラムに供するために安定したキュアリング法を開発した。現在さらに高品位を実現したうえで再度特許申請を行うことを目指して研究に取り組んでいる。

その他、研究ではおよそ30年前に実施したユーカリ適応試験の遺産を活かして材の加工特性や製品化の方向性を探る取り組みを進め、並行して林分単位での生産性を明らかにする目的であらたに植栽試験も進めている。この様に当所では利用方法を明らかにしたうえでユーカリを林業樹種として提案したいと考えている。これら植栽した有望なユーカリたちは非常に好い成長を示し、見学した学生に日本林業の可能性を示し関心を持ってもらう魅力的な教材となっている。この様にただデータをとって報告するばかりではなく、見せる「ユーカリ林分」を造成することを重視している。今年度は森林総合研究所九州支所に近年注目を集める早生樹センダンとともにユーカリを植栽した。2015年にも九州大学篠栗演習林にはほかの早生樹と比較できる様にユーカリを植栽している。

ユーカリ以外の樹種では、クスノキ合板を製造しその性能試験を行ったほか、これまで手が回らなかった油糧植物アブラギリに関して伝統工芸木炭生産技術保存会と安定供給に関する共同研究を進めている。

第4期計画半ばに実施した外部評価では、全学体験ゼミナール等の教育に特化した取り組みとあらたな林業を見据えたユーカリ事業に関して全ての評価委員から高い評価を受けた。演習林総体の中で、実験的な取り組みを行うことを樹芸研究所の使命の一つと捉えているので、第4期計画においては更にその役割を全うしたいと考えている。教育分野での大きな改革は、主力の全学体験ゼミナールを1年生専用としたことである。夏学期の1年生受講生は少ない傾向があるが、大学での学びを学生に意識させることを目指している「伊豆に学ぶ」シリーズでは是非にも夏学期の1年生受講生を増やしていきたい。1年次の学生に演習林の存在を知ってもらうことは、特に重要なことだと考えている。

【教育】

- ・農学部 国際開発農学専修3年生

「森林実習」(他大学生に開放し、全演協「公開森林実習」としている。)

- ・教養学部前期課程1,2年生 主題科目 全学自由研究ゼミナール

「伊豆に学ぶプラス1」,「伊豆に学ぶプラス2」

- ・教養学部前期課程1,2年生 主題科目 全学体験ゼミナール

- 「伊豆に学ぶ(夏)1」, 「伊豆に学ぶ(夏)2」, 「伊豆に学ぶ(夏)3」,
 「伊豆に学ぶー熱帯植物編ー」
 「伊豆に学ぶ 1」, 「伊豆に学ぶ 2」, 「伊豆に学ぶ 3」
 「企画系さらに伊豆に学ぶ 1」「企画系さらに伊豆に学ぶ 2」
- ・東京大学体験活動 「南伊豆という一地域との連携に学ぶ」
 南伊豆地域で竹林や獣害問題に向き合う NPO の方々と連携して実物の問題に当たる

【研究】

1. 適応試験で選抜されたユーカリ 10 種を林業樹種として再検討
 - ・*E. robusta* の萌芽再生試験地を設置(木質バイオマス発電向け)
 - ・*E. smithii*, *maidenii*, *bicostata*, *radiata* を伐採し, 製材加工特性の試験(森林総合研究所)
 - ・2013 年 6 月, 12 月に実生苗を植栽した *E. saligna* の成長調査を継続して実施した。(王子)
 - ・*E. elata*, *pipperita* のクローン試験地の成長調査(日本製紙)
 - ・*E. smithii* の実生試験地の成長調査を継続して実施した。
2. 樹芸研究所産カカオ・バニラの利用法の検討
 - ・カカオ・バニラの増殖
 - ・チョコレート製造・販売。(メリーチョコレートカンパニーと共同研究)
 - ・バニラのキュアリング新手法の特許申請に向け, 改良
3. 油糧植物の植栽地整備と利用方法の検討
 - ・アブラギリの間伐試験を継続。(伝統工芸木炭生産技術保存会と共同研究)
 - ・桐油しぼり試験

【社会連携】(市民向け公開講座)

- ・南伊豆町と連携協定を結び, 記念講演を行った。
- ・「チョコレートづくりを体験しよう」(メリーチョコの協力を得た)
- ・「林業遺産・岩樟園クスノキ林見学会」

【施業管理】

- ・下賀茂寮裏のヤマグワ傾斜木伐採工事を, 市町村交付金相当額を充当して実施した。
- ・岩樟園林道路側修繕工事を, 市町村交付金相当額を充当して実施した。
- ・加納境界危険木枝処理工事を, 市町村交付金相当額を充当して実施した。
- ・岩樟園林道危険木伐採工事を, 市町村交付金相当額を充当して実施した。
- ・木製電柱撤去工事を, 市町村交付金相当額を充当して実施した。
- ・プレハブ倉庫解体工事を, 市町村交付金相当額を充当して実施した。
- ・煙突用ポール取替工事を, 市町村交付金相当額を充当して実施した。
- ・下賀茂寮テニスコート沿いのメタセコイア等伐採処理を, 市町村交付金相当額を充当して実施した。

【その他】

- ・2 名の非常勤職員を障害者雇用枠で雇用している。
- ・2018 年度 4 月 1 日付けで技術職員を新規採用した。

8) 教育研究センター

【教育】

週1回のゼミ(演習林ゼミと教育研究センターゼミ)と指導教員との連携による個別指導を通じて、演習林に所属する学生(博士課程学生8名、修士課程学生6名、4年生2名、研究生5名、合計21名)の卒論、修論、博論研究等の指導・支援を行うとともに、学生生活全般のケアを行った。教育研究センターゼミでは、統計解析の基礎となるソフトウェア R に関する演習・指導を行った。今年度は博士課程で2名(うち1名は秋修了)、修士課程で2名が修了し、学部課程では2名が卒業した。学部・大学院のガイダンス等で演習林における教育研究の説明を行った。演習林教員で担当している講義のスケジュール調整、教養学部講義、演習林ゼミ等の教育推進に関わる経費管理等を通じて、演習林の教育活動を支援した。

広報情報委員会と連携し、地方演習林の教育利用実績を取りまとめた。また、教育目的での演習林利用希望者に対して、当該地方演習林との連絡調整を行い、必要な情報を提供した。教育推進委員会と連携し、全国大学演習林協議会の公開森林実習の受付、諸手続きを支援した。

【研究】

演習林編集委員会と連携し、「演習林報告」、「演習林」の編集作業を行った。演習林内の委員会活動が円滑にできるよう、農学系事務との連絡調整を行うとともに、経費執行等の支援をした。広報情報委員会と連携し、各地方演習林の研究利用実績を取りまとめた。

研究目的で演習林を利用する利用者に情報を提供し、全演習林の研究活動を支援した。演習林教職員による投稿論文(英文要旨含む)の英文、演習林報告の目次、地方演習林の各種施設等の英文チェックを行った。

その他、所属する教員がそれぞれ関連するプロジェクト、および、そのデータ解析に向けた準備を行った。また、各自の科研費、運営費等で、個別テーマの研究に取り組んだ。

【社会連携】

広報情報委員会と連携し、ホームページ、科学の森ニュース、弥生等の機関紙を通じて、演習林の社会貢献に関する広報活動を行った。また、各地方演習林の広報活動を取りまとめ、専攻長・附属施設長会議に毎月報告した。さらに、演習林の活動報告の情報を取りまとめ、演習林年報を発行した。教職員向け特別ガイドの補助・支援を行った。

外国人教員として4月から7月末まで、海南大学の任明迅(Ren MingXun)教授が演習林教員として着任し、地方演習林、小石川樹木園などを訪問した。9月14日台湾大学演習林長のTsai教授、Min-Jer教授が来演した。7月10日～16日の海南大学サマープログラムおよび17日の東大キャンパス見学の対応を行った。

【施業管理】

学生数の増加に伴い、雑誌の整理を行うとともに、学生スペースの図書キャビネットを撤去させるなどして、学生スペースの拡充を行った。地方演習林の依頼を受け、ドローンによる撮影の補助を行った。

【その他】

2018年3月末に中山綾子技術職員が任期満了で退職し、2018年4月に近澤静恵技術専門職員が復職した。農学系事務からの各種問い合わせに対応するとともに、連絡調整を行った。安全衛生活動として、地震時の緊急避難について、教職員、学生ともに緊急避難場所を1号館と2号館の間のヒマラヤスギの近くに一次避難した後、農学部グラウンドに集合することを確認した。農学生命科学研究科の将来構想WGに出席し、意見を述べるとともに、情報収集を行った。



写真. 弥生1号館入口前に集合した演習林所属学生(2018年4月18日撮影)

3. その他の活動

1) 演習林技術職員等試験研究・研修会議

2018年11月28日(水)・29日(木)に秩父演習林で開催され、演習林本部林長をはじめ、企画部と教育研究センター、すべての地方演習林から計29名(技術職員24名、教員5名)が参加した(表-1)。

11月28日(水)は秩父演習林ワサビ沢展示室で試験研究発表会が行われ、共通テーマ『災害』には、すべての地方演習林と企画部から合わせて8件の報告があった(表-2)。各演習林の特色を生かした研究や、科学研究費助成金奨励研究で取り組んだ研究課題は、自由テーマとして4件発表があった(表-3)。

11月29日(木)は秩父演習林ワサビ沢展示室で、福田健二本部林長による講義「樹木の水ストレスと通水阻害」が行われた。講義終了後、現地研修会がバケモノ沢水文観測施設や大面積プロット試験地で行われ、観測や山火事跡地に関する説明・見学・意見交換がされた。

表-1 参加者一覧

演習林名	参加者
林長・企画部	福田健二・蔵治光一郎・澤田晴雄
千葉演習林	千嶋 武・阿達康真
北海道演習林	笠原久臣・磯崎靖雄
秩父演習林	山田利博・平尾聡秀・鈴木智之・五十嵐勇治・高德佳絵・原口竜成・藤平晃司・才木道雄・大村和也・吉田弓子・高野充広・齋藤俊浩
田無演習林	相川美絵子
生態水文学研究所	里見重成・梁瀬桐子・岸本光樹
富士癒しの森研究所	西山教雄・辻 和明
樹芸研究所	渡邊良広・辻 良子・千井野聡
教育研究センター	丹羽悠二



表-2 共通テーマ『災害』

試験研究報告	発表者全氏名(○発表者)
田無演習林北東部の冠水被害と対策	○相川美絵子・栗田直明(田無演習林)
2016年8月の連続台風による林道被害	○磯崎靖雄・及川 希・遠國正樹(北海道演習林)・阿達康眞(千葉演習林)
千葉演習林の林道災害	○阿達康眞・鈴木祐紀・塚越剛史(千葉演習林)
樹芸研究所における自然災害報告と記録方法の提案	○辻 良子・千井野聡・渡邊良広・村瀬一隆(樹芸研究所)
生態水文学研究所周辺の災害リストの作成	○岸本光樹(生態水文学研究所)
2017年11月に秩父演習林で発生した山火事	○大村和也・齋藤俊浩・五十嵐勇治・原口竜成(秩父演習林)
富士癒しの森研究所における危険木処理の現状と課題	○辻 和明・西山教雄(富士癒しの森研究所)
演習林における自然災害状況の情報集約とその後の復旧	○澤田晴雄(企画部)・犬飼 浩(北海道演習林)

表-3 自由テーマ

試験研究報告	発表者全氏名(○発表者)
東京大学北海道演習林における優良丸太の銘木販売	○笠原久臣・岡村行治・犬飼 浩・福士憲司(北海道演習林)
簡易搾油器によるアブラギリの搾油方法とその結果	○渡邊良広・千井野聡・辻 良子・村瀬一隆(樹芸研究所)・小林徹行(北海道演習林)
奥秩父山地の登山道の歴史と現状～歴史的要素を組み入れた体験プログラムの開発	○千嶋 武(千葉演習林)
下層植生衰退前後の環境音変化の評価と教育用デジタルコンテンツの作成	○齋藤俊浩(秩父演習林)

III. 資料

1.	教育	・・・49
2.	研究	・・・66
3.	社会連携	・・・92
4.	環境安全管理	・・・106
5.	国際交流	・・・108
6.	管理	・・・114
7.	研修	・・・120
8.	組織図	・・・121
9.	人事	・・・126
10.	委員会・会議等	・・・127
11.	利用状況	・・・128
12.	各演習林所在地 および連絡先	・・・176

1. 教育

1) 大学院講義等

生圏システム学専攻修士課程

教 員 名					講 義 名
鎌田直人 久本洋子	後藤 晋 福井 大	平尾聡秀	鈴木智之	前原 忠	森林圏生物動態学
鎌田直人	後藤 晋	平尾聡秀			森林圏生態学演習
山田利博	鴨田重裕	楠本 大			森林遺伝子機能開発学
山田利博	鴨田重裕	楠本 大			森林生物機能学演習
石橋整司					森林生態圏管理学特論
安村直樹	藤原章雄				森林圏管理システム学
石橋整司	安村直樹				森林圏生態社会学演習
蔵治光一郎 三浦直子	尾張敏章 水内佑輔	広嶋卓也	浅野友子	田中延亮	森林流域管理学
蔵治光一郎	尾張敏章	広嶋卓也	浅野友子		森林流域管理学演習
内山憲太郎 深野祐也 久本洋子	深澤圭太 菊地 潔 吉田 薫	齋藤 修 石橋整司 小山明日香	高田まゆら 尾張敏章	本多親子 當山啓介	生圏システム学特論
鎌田直人 鴨田重裕 安村直樹	山田利博 後藤 晋 楠本 大	石橋整司 広嶋卓也	尾張敏章 平尾聡秀	蔵治光一郎 浅野友子	生圏システム学実験・研究

森林科学専攻修士課程

教 員 名					講 義 名
鎌田直人 久本洋子	後藤 晋 福井 大	平尾聡秀	鈴木智之	前原 忠	森林圏生物動態学
山田利博	鴨田重裕	楠本 大			森林遺伝子機能開発学
安村直樹	藤原章雄				森林圏管理システム学
石橋整司					森林生態圏管理学特論
蔵治光一郎 三浦直子	尾張敏章 水内佑輔	広嶋卓也	浅野友子	田中延亮	森林流域管理学
鎌田直人 鴨田重裕 安村直樹	山田利博 後藤 晋 楠本 大	石橋整司 広嶋卓也	尾張敏章 平尾聡秀	蔵治光一郎 浅野友子	森林科学特別実験
鎌田直人 鴨田重裕 安村直樹	山田利博 後藤 晋 楠本 大	石橋整司 広嶋卓也	尾張敏章 平尾聡秀	蔵治光一郎 浅野友子	森林科学特別演習

農学国際専攻修士課程

教 員 名	講 義 名
鎌田直人	森林昆虫生態学 (Forest Insect Ecology)
尾張敏章	国際森林認証論 (International Forest Certification)

生圏システム学専攻博士課程

教 員 名	講 義 名
鎌田直人 後藤 晋 平尾聡秀	森林圏生態学特別演習
山田利博 鴨田重裕 楠本 大	森林生物機能学特別演習
石橋整司 安村直樹	森林圏生態社会学特別演習
尾張敏章 広嶋卓也 浅野友子 蔵治光一郎	森林流域管理学特別演習
鎌田直人 山田利博 石橋整司 尾張敏章 蔵治光一郎 鴨田重裕 後藤 晋 広嶋卓也 平尾聡秀 浅野友子 安村直樹 楠本 大	生圏システム学特別実験・研究

森林科学専攻博士課程

教 員 名	講 義 名
鎌田直人 山田利博 後藤 晋 鴨田重裕 平尾聡秀 楠本 大	森林生態圏管理学特別演習 I
石橋整司 蔵治光一郎 尾張敏章 安村直樹 広嶋卓也 浅野友子	森林生態圏管理学特別演習 II
鎌田直人 山田利博 後藤 晋 鴨田重裕 平尾聡秀 楠本 大	森林生態圏管理学特別実験 I
石橋整司 蔵治光一郎 尾張敏章 安村直樹 広嶋卓也 浅野友子	森林生態圏管理学特別実験 II

新領域創成科学研究科

教 員 名	講 義 名
斎藤 馨 藤原章雄	自然環境デザインスタジオ I

アジア生物資源環境研究センター

教 員 名	講 義 名
鴨下顕彦 則定真利子 小島克己 河鱈実之 山田 晋 齋藤暖生 竹本周平 高野哲夫 藤原章雄 練 春蘭	農林水畜産業と環境負荷
岩滝光儀 則定真利子 小島克己 齋藤暖生 高野哲夫 藤原章雄 練 春蘭	農林水畜産業と生態系攪乱

2) 学部講義等

農学部講義・演習・実験実習

教員名	講義名	学部:課程(専修)等	開講年次・ターム
白石則彦 尾張敏章 熊谷朝臣 仁多見俊夫 龍原 哲 広嶋卓也 堀田紀文 古井戸宏通 安村直樹 蔵治光一郎	森林環境科学汎論	農学基礎科目	2年次・A1-A2
蔵治光一郎, 他11名	農学リテラン一	農学共通科目	2年次・W(集中)
鎌田直人 山田利博 石橋整司 尾張敏章 蔵治光一郎 嶋田重裕 後藤 晋 広嶋卓也 平尾聡秀 浅野友子 安村直樹 楠本 大	森林生態圏管理学	応用生命科学課程・環境資源 科学課程	3年次・S1-S2
永田 信 古井戸宏通 安村直樹	森林政策学	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修	3年次・S1-S2
丹下 健 益守眞也 後藤 晋	造林学	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修	3年次・S1-S2
後藤 晋	森林遺伝育種学	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修	3年次・A1
福田健二 松下範久 楠本 大 久本洋子	森林植物学実験	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修	3年次・S1
久保田耕平 加賀谷隆 前原 忠	森林動物学実験	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修	3年次・S1-S2
丹下 健 益守眞也 黒河内寛之 竹本周平 久本洋子	造林学実験	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修	3年次・S1-S2
古井戸宏通 安村直樹 齋藤暖生	森林政策学演習	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修	3年次・S1-S2
嶋田重裕 広嶋卓也 井上広喜 平尾聡秀	森林実習	国際開発農学専修	3年次・SP
下村彰男 山本清龍 藤原章雄	森林風景計画実習	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修	3年次・A1-A2
白石則彦 広嶋卓也 藤原章雄 中島 徹 當山啓介 龍原 哲	森林経理学実習	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修	3年次・A1-A2
白石則彦 鎌田直人 広嶋卓也 坂上大翼 福井 大	森林科学総合実習	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修・フィールド科学 専修	3年次・SP
丹下 健 益守眞也 黒河内寛之 鈴木智之	森林土壌学実験	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修	4年次・S1-S2
熊谷朝臣 浅野友子 小田智基 田中延亮 蔵治光一郎 堀田紀文	森林保全学実習	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修	4年次・S1-S2

教養学部講義・演習

教員名			講義名	開講ターム ・セメスター
蔵治光一郎 水内佑輔 齋藤暖生 三浦直子	石橋整司 佐藤貴紀 尾張敏章	田中延亮 藤原章雄 當山啓介	総合科目D(人間・環境) 「森林環境資源学(ダムと森林, 森と癒し, 森の最終形)」	S
鴨田重裕			全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラスS1」	S
鴨田重裕			全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラスS2」	S
鴨田重裕			全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	A
鴨田重裕			全学自由研究ゼミナール 「ジビエを通して獣害問題と向き合う」	A
鴨田重裕			全学自由研究ゼミナール 「ビントゥパーチョコレート作り体験から学ぶべきこと」	A
石橋整司	露木 聡		全学自由研究ゼミナール 「古典落語から知る江戸の自然・文化」	A
楠本 大	安村直樹	竹本周平	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成 —子どもに伝える自然体験」	S
石橋整司 久本洋子	尾張敏章 福井 大	當山啓介 鈴木 牧	全学体験ゼミナール 「フィールドで考える野生動物の保護管理」	S
山田利博 鈴木智之	平尾聡秀	浅野友子	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」	S
鴨田重裕	鎌田直人	平尾聡秀	全学体験ゼミナール「森に学ぶ(ふらの)前編」	S
鴨田重裕	鎌田直人	平尾聡秀	全学体験ゼミナール「森に学ぶ(ふらの)後編」	S
石橋整司 佐藤孝紀	水内佑輔	田中延亮	全学体験ゼミナール「人の手で造り管理する森林 —林業・風景計画の視点から」	S
石橋整司 久本洋子	井上広喜 前原 忠	齋藤暖生	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(春編)」	S1
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「企画系さらに伊豆に学ぶS1」	S1
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)1前編」	S2
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)1後編」	S2
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)2前編」	S2
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)2後編」	S2
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)3前編」	S2
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「企画系さらに伊豆に学ぶS2」	S2
浅野友子 藤原章雄	石橋整司 齋藤暖生	後藤 晋	全学体験ゼミナール「癒しの森と地域社会(夏)」	S2

教員名			講義名	開講ターム ・セメスター
石橋整司 安村直樹 齋藤暖生	蔵治光一郎 久本洋子 當山啓介	尾張敏章 藤原章雄	全学体験ゼミナール 「君はスギとヒノキのことを本当に知っているか？(入門編)」	S2
鴨田重裕			全学体験ゼミナール 「森に学ぶ(森林・林業を意識しながら歩く低山)」	A
山田利博	平尾聡秀	鈴木智之	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」	A
蔵治光一郎 石橋整司	田中延亮 水内佑輔	菊池 潔 佐藤貴紀	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	A
石橋整司 久本洋子	井上広喜 前原 忠	齋藤暖生	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(秋編)」	A1
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)3後編」	A1
石橋整司	露木 聡	藤原章雄	全学体験ゼミナール「森の魅力をマッピング ～GPSを使ったオリジナル地図づくり～」	A1
鎌田直人 福井 大	広嶋卓也	坂上大翼	全学体験ゼミナール「雪の森林に学ぶ～北海道演習林」	A2
石橋整司 尾張敏章	久本洋子	當山啓介	全学体験ゼミナール「房総の森と生業(なりわい)を学ぶ」	A2
鴨田重裕	下村彰男		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1」	A2
鴨田重裕	下村彰男		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	A2
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ3」	A2
鴨田重裕	井上広喜		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ－熱帯植物編－」	A2
石橋整司 三浦直子	齋藤暖生	藤原章雄	全学体験ゼミナール「癒しの森と地域社会(冬)」	A2
安村直樹	齋藤暖生	當山啓介	全学体験ゼミナール「森のエネルギーを使いこなす」	A2

3) 他大学の非常勤講師(委嘱あり)

教員名	講義名	対象学部	学科等	学年	大学名
石橋整司	環境論	電気通信学部	総合文化講座	1	電気通信大学
當山啓介	森林計測学	生物資源科学部	森林資源科学科	2	日本大学
石橋整司	エコロジーA	造形学部	デザイン学科	2・3・4	東京造形大学
鈴木智之	生物環境論	社会情報学部	情報社会学科	2・3・4	群馬大学
尾張敏章	Selected Topic: REDD+	School of Environment, Resources and	Natural Resource Management	Master・ Doctor	Asian Institute of Technology

4) その他の講義・実習対応(学内で担当教員以外で対応した場合/他大学で委嘱のない場合)

教員名	講義名	対象学部等	学科等	学年	大学名
塚越剛史・鶴見康幸・梁瀬桐子・岸本光樹	総合科目D(人間・環境)「森林環境資源学(ダムと森林, 森と癒し, 森の最終形)」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
栗田直明・相川美絵子	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成—子どもに伝える自然体験」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
五十嵐勇治・高德佳絵・高野充広・原口竜成	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
吉田弓子・五十嵐勇治	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
木村徳志・犬飼 浩・江口由典	全学体験ゼミナール「森に学ぶ(ふらの)」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
犬飼 浩・遠國正樹・及川希・松井理生・木村恒太・木村徳志・小林徹行・小川瞳・井上 崇・福岡 哲・福士憲司・小池征寛・磯崎靖雄・犬飼慎也・大川あゆ子	全学体験ゼミナール「雪の森林に学ぶ～北海道演習林」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
千嶋 武・塚越剛史	全学体験ゼミナール「君はスギとヒノキのことを本当に知っているか?(入門編)」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
井上 淳・高橋功一・里見重成・梁瀬桐子・岸本光樹	全学体験ゼミナール「人の手で造り管理する森林—林業・風景計画の視点から」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
井上 淳・高橋功一・里見重成・梁瀬桐子・岸本光樹	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
塚越剛史	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(春編)」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
鶴見康幸	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(秋編)」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
三次充和・大石 諭・阿達康眞・鶴見康幸	全学体験ゼミナール「フィールドで考える野生動物の保護管理」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
西山教雄・辻 和明・栗田直明・相川美絵子	全学体験ゼミナール「森のエネルギーを使いこなす」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
塚越剛史・鈴木祐紀・阿達康眞・村川功雄・鶴見康幸	全学体験ゼミナール「房総の森と生業(なりわい)を学ぶ」	教養学部	全科類	1・2年	東京大学
坂上大翼・木村恒太・犬飼慎也・丹羽悠二	森林環境科学汎論(遠隔授業)	農学部	農学基礎科目	2年	東京大学
高野充広・五十嵐勇治	環境学フィールドワーク2	教養学部	学際科学科国際環境学	2・3年	東京大学

教員名	講義名	対象学部等	学科等	学年	大学名
井口和信・松井理生・江口由典・小林徹行・小池征寛・磯崎靖雄・井上 崇・木村恒太・福岡 哲・遠國正樹	森林科学総合実習	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修・フィールド科学専修	3年	東京大学
辻 和明	森林政策学演習	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年	東京大学
坂上大翼・木村恒太・犬飼慎也・福岡 哲・井上 崇・江口由典・小林徹行・天山学・丹羽悠二	森林生態圏管理学(遠隔授業)	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年	東京大学
尾張敏章・塚越剛史・千嶋武・藤平晃司・吉田弓子・高野充広・才木道雄・鈴木智之・五十嵐勇治・齋藤俊浩・高德佳絵	森林植物学実験	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年	東京大学
西山教雄・辻 和明・栗田直明・相川美絵子	森林動物学実験	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年	東京大学
尾張敏章・當山啓介・鈴木祐紀・村川功雄・大石 諭・鶴見康幸・塚越剛史・阿達康眞・軽込 勉・三次充和・米道 学・千嶋 武・栗田直明・相川美絵子	造林学実験	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年	東京大学
大村和也・才木道夫・吉田弓子	森林土壌学実験	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年	東京大学
田中延亮・井上 淳・里見重成・梁瀬桐子・岸本光樹	測量学実習	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3年	東京大学
藤平晃司・吉田弓子・高野充広・五十嵐勇治	バイオマス科学実習 森林科学実習	農学部	生物素材化学専修・木質構造科学専修	3年	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻 良子・千井野聡	森林実習	農学部	国際開発農学専修	3年	東京大学
藤平晃司	森圏管理学実習	農学部	フィールド科学専修	3年	東京大学
齋藤純子	国際農学実験・個別実験	農学部	国際開発農学専修	3年	東京大学
齋藤暖生	都市工学の技術と倫理	工学部	都市工学専攻	3年	東京大学
阿達康眞・三次充和・千嶋武	森林経理学実習	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年	東京大学
井上 淳・高橋功一・里見重成・梁瀬桐子・岸本光樹	森林保全学実習・東京大学公開森林実習「森林と土砂と溪流の実習」	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年	東京大学
藤原章雄	環境設計演習	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4年	東京大学
坂上大翼	木質構造科学演習・生物材料科学演習	農学部・大学院農学生命科学研究科	木質構造科学専修・生物材料科学専攻	4年・修士課程	東京大学
當山啓介・千嶋 武	森圏管理学	大学院農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	修士課程	東京大学
高野充広・吉田弓子	自然環境デザインスタジオ2	大学院新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	修士課程	東京大学

2018年度 教育 その他の講義・実習対応

教員名	講義名	対象学部等	学科等	学年	大学名
三次充和・大石 諭	生圏システム学特論	大学院農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	修士課程	東京大学
久本洋子・村川功雄	樹木学実習	農学部	森林科学科	1年	宇都宮大学
水内佑輔	自然と人間 8	全学部	教養講義科目	1・2年	名古屋市立大学
齋藤暖生・西山教雄・辻 和明	森林についての実習	経済学部	応用経済学科	3年	兵庫県立大学
水内佑輔	デザイン実技iii 自然と人をつなぐデザイン	美術学部	デザイン専攻	3年	愛知県芸術大学
坂上大翼	プロジェクト演習 I (応用・各論科目)	現代社会学部	社会システム学科	4年	同志社女子大学
齋藤暖生・西山教雄・辻 和明	薪の利用に関する研修	地域環境学部	森林政策学研究室	3・4年・大学院生	東京農業大学

5) 4研究室の所属メンバー

森林圏生態学研究室

教授	鎌田直人
准教授	後藤 晋
講師	平尾聡秀
助教	前原 忠
助教	久本洋子
助教	鈴木智之
助教	福井 大
博士3年	サイフル・アムリ・サラギー
博士3年	執行宣彦
博士2・3年	彭 勇
修士2年	金道知聖
修士2年	小原 茜
修士1年	田中翔大
修士1年	山崎 有
学部4年	谷川鴻介
研究生	林 子愷

森林圏生態社会学研究室

教授	石橋整司
講師	安村直樹
助教	藤原章雄
助教	齋藤暖生
助教	當山啓介
特任研究員	竹内啓恵
修士1年	李 昕曄
修士1年	韋 珉傑
研究生	陸 黎峻
研究生	レ 園園
研究生	劉 立航

森林生物機能学研究室

教授	山田利博
准教授	鴨田重裕
講師	楠本 大
助教	坂上大翼
助教	井上広喜
助教	竹本周平
博士2・3年	アンナ・カロリナ

森林流域管理学研究室

教授	蔵治光一郎
准教授	尾張敏章
講師	廣嶋卓也
講師	浅野友子
助教	田中延亮
助教	三浦直子
助教	水内佑輔
特任助教	佐藤貴紀
特任研究員	アナン・ナイナール
IPADS博士3年	サデーパ・ジャヤトウンガ
博士1・2年	チャー・トゥー・モー
博士1年	ヴィジェナイカ・パピトラ・ランガニー
学部4年	橋本晋太
研究生	潘 濟楚

6) 所属学生の学位論文

博士論文

学生氏名	研究課題
サデーパ・ ジャヤトウンガ	Applicability of unmanned aerial vehicles (UAVs) for uneven-aged forest management planning: A study in a mixed conifer-broadleaf forest in Northern Japan
執行宣彦	Spatio-temporal variability of soil microbial communities and their identity for litter decomposition in cool-temperate montane forests (冷温帯林の土壤微生物群集の時空間変動性と落葉分解に対する固有性)

修士論文

学生氏名	研究課題
金道知聖	光資源や養分の偏りおよび地中の障害物がタケの成長や資源配分に与える影響
小原 茜	シカ食害下の地上と地下のつながりが樹木の実生動態に及ぼす影響

卒業論文

学生氏名	研究課題
橋本晋太	東京大学千葉演習林における100年生超スギ人工林の現状
谷川鴻介	Habitat selection of mammalian species in a cool-temperate montane forest -its seasonal fluctuation and inter-specific differentiation- (冷温帯林における哺乳類の生息場所選択: 季節変動と種間差)

7) 森林生態圏管理学大講座ゼミ

第1回 (2018年4月27日(金)13:00-17:00/森林圏生態学研究室)		
発表者	所属・学年	演題
執行宣彦	森林D3	樹木のフェノロジーと土壌微生物の季節変動との関係
任 明迅	教育研究センター	Biodiversity on Old Buildings
後藤 晋	教育研究センター	葉緑体DNAはブナの生態的緑化に有用な指標になりうるか?
久本洋子	千葉演習林	針葉樹とタケ類における花成関連遺伝子の発現解析
第2回 (2018年5月18日(金)13:00-17:00/森林生物機能学研究室)		
発表者	所属・学年	演題
福田健二	森林植物学研究室	樹幹木部の通水の可視化
楠本 大	田無演習林	シカと共存する植物の戦略
坂上大翼	北海道演習林	北海道の林業苗畑でエゾマツ類に苗立枯病を引き起こす <i>Rhizoctonia solani</i> の菌糸融合群と病理学的性質
竹本周平	田無演習林	(1)「わが国に分布するクロサイワイタケ科菌類と最近の研究 (2) 東大体験活動プログラム『カンキツの収穫・販売体験から中山間地域の底力を考える』の実施報告
第3回 (2018年6月22日(金)13:00-17:00/森林流域管理学研究室)		
発表者	所属・学年	演題
蔵治光一郎	企画部	森林と湧水
チョー・トゥー・モー	森林D1	リモートセンシングと成長モデリングを用いた高価値広葉樹の単木管理
サデーバ・ジャヤトゥンガ	IPADS D3	異齢林管理計画への無人航空機(UAV)の利用可能性: 北日本の針広混交林を対象として
尾張敏章	千葉演習林	林分施業法の選木技術: 択伐施業における選木者の作業行動
浅野友子	秩父演習林	流域の大きさと水流出-秩父での観測結果-
第4回 (2018年7月20日(金)13:00-17:00/農学部1号館6番教室/森林圏生態社会学研究室)		
発表者	所属・学年	演題
陳 元君	生圏D3	中国・海南島における先住民住居地域での自然保護区管理
齋藤暖生	富士癒しの森研究所	林野における資源採取の衰退・消滅と法制度に関する試論
武藤裕花	工学部M2	地理的社会的特性に着目した各地域の林業の現状分析
當山啓介	千葉演習林	日本の暖温帯人工林の不採算箇所をどのような姿に軟着陸させるか
安村直樹	田無演習林	どうやって苗木を確保するか?: コンテナ苗に着目して
第5回 (2018年9月21日(金)13:00-17:00/森林圏生態学研究室)		
発表者	所属・学年	演題
サイフル・アムリ・サラギー	森林D3	Inoculation by fungi isolated from ambrosia beetles and diebacked branch of maple to maple logs
彭 勇	森林D2	Insect-host plant species relationship in bark and ambrosia beetle community in Hokkaido
鎌田直人	北海道演習林	気候変動に対するミズナラの開葉フェノロジーの応答
福井 大	北海道演習林	コウモリの移動生態その2
平尾聡秀	秩父演習林	アカギツネの生息環境と食性の関係 :DNAメタバーコーディングの雑食者への応用
第6回 (2018年10月19日(金)13:00-17:00/森林流域管理学研究室)		
発表者	所属・学年	演題
ヴィジェナイカ・パビトラ・ランガニー	森林M1	Applicability of digital images and deep learning for stand volume of plantation forest
水内佑輔	生態水文学研究所	愛知県瀬戸市にみる伝統的産業都市における記念空間の公園化の過程とその価値
佐藤貴紀	生態水文学研究所	土砂受け箱を用いたヒノキ人工林の土砂流出量と表面流量の同時観測
田中延亮	生態水文学研究所	荒廃地からの回復した森林流域での土砂流出量の長期観測
広嶋卓也	北海道演習林	天然林の樹木個体群を対象とした生存時間解析

2018年度 教育 森林生態圏管理学大講座ゼミ

第7回 (2018年11月16日(金)13:00-17:00/森林生物機能学研究室)		
発表者	所属・学年	演題
アンナ・カロリナ	森林D3	エテホンとジャスモン酸メチルが広葉樹の樹脂道形成に与える影響
井上広喜	樹芸研究所	ユーカリの増殖
鴨田重裕	樹芸研究所	ジビエにまつわる教育と研究
山田利博	秩父演習林	東京大学演習林における福島原発事故後7年間の野生キノコ中放射性セシウム濃度の推移
第8回 (2018年12月21日(金)13:00-17:00/修士論文発表・卒業論文発表・森林流域管理学研究室)		
発表者	所属・学年	演題
橋本晋太	森林B4	東京大学千葉演習林における100年生超スギ人工林の現状
谷川鴻介	森林B4	地域スケールのカメラトラップデータによる森林棲哺乳類の生息地選択の解明
小原 茜	森林M2	シカ食害下の地上部-地下部相互作用が樹木の実生動態に及ぼす影響
金道知聖	森林M2	タケの成長に対する周辺環境の影響
三浦直子	教育研究センター	UAVを用いた河川堤防法面の植生解析
第9回 (2019年1月18日(金)13:00-17:00/森林圏生態社会学研究室)		
発表者	所属・学年	演題
石橋整司	千葉演習林	センサーカメラの撮影画像による東京大学秩父演習林のクマ剥ぎ行動の解析(途中経過)
斎藤 馨	新領域・自然環境	サイバーフォレスト:自然音をもたらすストレス軽減効果の生理学的評価
藤原章雄	富士癒しの森研究所	地域の健康を支える資源としての森林資源のポテンシャルと住民ニーズの把握(アンケート結果速報)
竹内啓恵	富士癒しの森研究所	森林環境を利用したカウンセリング
李 昕曄	生圏M1	林分構造の違いが森林の水源涵養機能に与える影響の評価モデル
韋 珉傑	森林M1	森林所有制度の視点から見る中国の集団林
第10回 (2019年2月22日(金)13:00-17:00/森林圏生態学研究室)		
発表者	所属・学年	演題
田中翔大	生圏M1	萌芽発生が森林構造に及ぼす影響:種ごとの動態から見える全体像
山崎 有	生圏M1	トドマツの高山環境への遺伝的適応:光合成活性とカロチノイドに着目して
鈴木智之	秩父演習林	秩父演習林二次林の地上部バイオマス変化量の加速と減速
前原 忠	教育研究センター	土壌動物の多様性について
第11回 (2019年3月8日(金)13:15-17:00/農学部1号館7番教室/技術職員研修報告)		
発表者	所属・学年	演題
相川美絵子	田無演習林	田無演習林北東部の冠水被害と対策
阿達康真	千葉演習林	千葉演習林の林道災害
大村和也	秩父演習林	2017年11月に秩父演習林で発生した山火事
笠原久臣	北海道演習林	東京大学北海道演習林における優良丸太の銘木販売
齋藤俊浩	秩父演習林	下層植生衰退前後の環境音変化の評価と教育用デジタルコンテンツの作成

※第4回(農学部1号館1階6番教室), 第11回(農学部1号館1階7番教室)を除き, 農学部1号館2階森林科学専攻会議室で開催された。

8) 演習林教育研究センターゼミ

月	日	発表者氏名	発表タイトル
	6	後藤 晋・全員	自己紹介・環境安全MS・オリエンテーション・ゼミガイダンス
4	13	全員	プレゼンのミニ講習(自己紹介)
	20	陳 元君	中国・海南島における熱帯林自然保護区の住民連携型管理手法に関する研究
5	11	山崎 有	トドマツの標高適応に関連する形態生理特性の解明
	25	陸 黎峻	水中の臭気物質を測定する
	1	執行宣彦	下層植生と土壌細菌の機能的相補性と冗長性の関係
	8	ヴィージェナイカ・パ ビトラ・ランガニー	Background for the research topic
6	15	田中翔大	天然林の萌芽動態における攪乱体制と機能形質の役割
		レ 園園	ソルガム生産と制作加工
	29	李 昕曄 谷川鴻介	森林構造の違いが森林水源涵養機能に与える影響の評価モデル 奥秩父山域における中～大型哺乳類の季節動態と共存機構に迫る —大規模カメラトラッピングとDNA解析を用いて—
	6	韋 珉傑	森林所有制度の違いが林業経営に与える影響
		サイフル・アムリ・ サラギー	Inoculation by fungi isolated from ambrosia beetles and diebacked branch of maple to maple logs
7	13	小原 茜	ニホンジカが森林土壌の改変を通じて実生動態に及ぼす影響
		金道知聖	タケ地下茎の伸長に対する周辺環境の影響
	27	チョー・トゥー・ モー	Individual Tree Detection Using Unmanned Aerial Vehicle (Preliminary Report)
9	7	後藤 晋	統計ソフトRの講習会
	14	橋本晋太	千葉演習林におけるスギの100年生以上高齢人工林の経過と現状
	5	ヴィージェナイカ・パ ビトラ・ランガニー	Applicability of digital images and deep learning for stand volume estimation - Japanese sugi plantations- The university of Tokyo Chiba forest
	5	山崎 有	トドマツの標高適応に関連する形態生理特性の解明
10	12	韋 珉傑 チョー・トゥー・ モー	森林所有制度の違いが林業経営に与える影響 Discriminating high-value broadleaf trees from UAV (unmanned aerial vehicle) imagery in the University of Tokyo Hokkaido Forest, Japan
	26	谷川鴻介	奥秩父山域における中～大型哺乳類の季節動態と共存機構に迫る —大規模カメラトラッピングとDNA解析を用いて—<中間報告>
		李 昕曄	森林構造の違いが森林水源涵養機能に与える影響の評価モデル
		田中翔大	萌芽動態が上木動態に及ぼす影響
	2	小原 茜	ニホンジカが森林土壌の改変を通じて実生動態に及ぼす影響 日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画参加報告
11		金道知聖	タケの成長に対する周辺環境の影響
	8	アンナ・カロリナ	Ethephon induced gum duct formation in broadleaves tree: Sakura, ume and momijibafu
	30	レ 園園	市民レベルでの森林づくり支援活動に関する日中の比較研究
		サイフル・アムリ・ サラギー	Metagenomic to determine microflora community in mycangia of ambrosia beetles
12	7	執行宣彦	冷温帯林の土壌微生物群集の時空間変動性と落葉分解に対する固 有性
	14	陳 元君	中国・海南島における先住民住居地域での自然保護区管理

9) 実習等

演習林名	学校名	科目名	学部等	学科等	学年	学生数	実施月	日数
千葉演習林	東京都市大学	野外調査法2の実施 (森林の空間認識方法)	知識工学部	自然科学科		6	5月	3
千葉演習林	東京大学	全学体験ゼミナール 「危険生物の知識(春編)」	教養学部		1・2年	14	5月	1
千葉演習林	東京大学	森林生態圏管理学特論	農学部		大学院生	2	5月	1
千葉演習林	東京大学	森林植物学実験	農学部	森林系2専修	3・4年	18	6月	2
千葉演習林	東京大学	造林学実験	農学部	森林系2専修	3・4年	20	6月	5
千葉演習林	東京大学	総合科目「森林環境資源学」	教養学部		1・2年	9	6月	2
千葉演習林	宇都宮大学	樹木学実習	農学部	森林科学科	1年	34	6・7月	2
千葉演習林	東京大学	全学体験ゼミナール 「君はスギとヒノキのことを本当に知っているのか?(入門編)」	教養学部		1・2年	7	7月	2
千葉演習林	海南大学	海南大学サマープログラム 「東京大学演習林で学ぶ森林管理」				12	7月	4
千葉演習林	東京大学	地球環境科学科野外調査実習(1)	理学部	地球環境科学科		14	8月	8
千葉演習林	京都大学	地質調査実習	理学部	地質学 鉱物学教室	修士課程	11	8月	6
千葉演習林	東京大学	全学体験ゼミナール 「フィールドで考える野生動物の保護管理」	教養学部		1・2年	14	8月	4
千葉演習林	千葉大学	地質学野外実験Ⅱおよび地殻構造学野外実験Ⅰ	理学部	地球科学	3・4年	22	9月	7
千葉演習林	千葉大学	野外生態学実験	理学部	生物学科	2・3年	12	9月	4
千葉演習林	東京大学	全学体験ゼミナール 「危険生物の知識(秋編)」	教養学部		1・2年	21	10月	1
千葉演習林	東京大学	生圏システム学特論	農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	修士課程	17	11月	1
千葉演習林	東京大学	フィールド科学専修, 森圏管理学実習	農学部			7	11月	1
千葉演習林	東京大学	森林経理学実習	農学部	森林系2専修	3・4年	20	12月	4
千葉演習林	東京大学	全学体験ゼミナール 「房総の森と生業(なりわい)を学ぶ」	教養学部		1・2年	16	2月	4
千葉演習林	東京海洋大学	養老川沿いに露出する上総層群の地層を対象とした地質調査研修	海洋資源エネルギー学部			3	3月	2
北海道演習林	東京大学	木質構造科学演習・生物材料科学演習	農学生命科学研究科	木材物理学研究室	大学院生・学部生	8	7月	2
北海道演習林	東京大学	持続的森林圏経営論	農学生命科学研究科	森林科学専攻・生圏システム学専攻	大学院生	6	7月	3
北海道演習林	東京大学	全学体験ゼミナール 「森に学ぶ(ふらの)」	教養学部		1・2年	7	8月	4
北海道演習林	同志社女子大学	富良野の森林形成と混合林のありかた	現代社会学部	社会システム学科	学部生	16	8月	1
北海道演習林	東京大学	森林科学総合実習	農学部	森林系2専修 ・フィールド科学専修	学部生	12	9月	4
北海道演習林	東京大学	全学体験ゼミナール 「雪の森林に学ぶ」	教養学部		1・2年	29	2・3月	3
秩父演習林	東京大学	森林土壌学実験	農学部	森林系2専修	4年	4	4月	3
秩父演習林	東京大学	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」	教養学部		1・2年	6	5月	2
秩父演習林	東京大学	自然環境デザインスタジオ	新領域創成科学研究科		大学院生	12	5月	3
秩父演習林	東京建築カレッジ	地域住宅研修			1年	26	5月	1
秩父演習林	東京大学	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」	教養学部		1・2年	6	6月	2
秩父演習林	埼玉県立秩父農工科学高校	樹木採集実習		森林科学科	高校1年	38	7月	1
秩父演習林	東京大学	森林植物学実験	農学部	森林系2専修	3・4年	20	7月	3
秩父演習林	立教大学	立教ゼミナール発展編				5	8月	4
秩父演習林	首都大学東京	動物系統学実習	都市教養学部	理工学系生命科学コース	3・4年	7	8月	4

演習林名	学校名	科目名	学部等	学科等	学年	学生数	実施月	日数
秩父演習林	東京大学	バイオマス科学実習・森林科学実習	農学部	生物材料系2専修	3年	20	9月	3
秩父演習林	東京大学	アジアセンターのさくらサイエンスプラン			大学院生	2	9月	1
秩父演習林	東京大学	環境科学フィールドワーク2	総合文化研究科		大学院生	10	10月	2
秩父演習林	東京大学	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」	教養学部		1・2年	3	10月	2
秩父演習林	東京大学	森圏管理学実習	農学生命科学研究科	フィールド科学専修	3年	7	10月	1
秩父演習林	東京大学	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」	教養学部		1・2年	3	10月	2
秩父演習林	東京大学	自然環境デザインスタジオ	新領域創成科学研究科		大学院生	5	11月	3
田無演習林	東京大学	緑地環境実地実習	農学部	緑地環境学専修	3年	7	4・1月	3
田無演習林	東京大学	造林学実験	農学部	森林系2専修	3年	20	4・5・9月	3
田無演習林	東京大学	森林動物学実験	農学部	森林系2専修	3年	20	5・9月	2
田無演習林	東京大学	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成ー子どもに伝える自然体験ー」	教養学部		1・2年	2	5・6月	3
田無演習林	東京大学	体験活動プログラム「都内でも農林作業フィールドワーク体験」	東京大学		学部生	5	8月	1
田無演習林	東京大学	全学自由研究ゼミナール「昆虫と節足動物の生物学」	教養学部		1・2年	8	8月	1
田無演習林	東京大学	環境調和特別演習 持続可能な農林畜水産業 1.環境負荷	農学部		大学院生	18	9月	1
田無演習林	東京大学	全学体験ゼミナール「森のエネルギーを使いこなす」	教養学部		1・2年	4	1月	1
生態水文学研究所	愛知県芸術大学	デザイン実技3 自然と人をつなぐデザイン	美術学部		3年	3	4月	2
生態水文学研究所	東京大学	総合科目「森林資源管理学」フィールドワーク(ダムと森林)	教養学部		1・2年	13	6月	2
生態水文学研究所	東京大学	森林保全学実習	農学部			9	6月	4
生態水文学研究所	東京大学	公開森林実習「森林と土砂と溪流の実習ー山から川に流れる土砂を測ろうー」			学部生	1	6月	3
生態水文学研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「人の手で造り管理する森林」				16	6月	2
生態水文学研究所	東京大学	測量学実習	農学部	森林系2専修	3年	13	8月	5
生態水文学研究所	東京大学	東京大学体験活動プログラム				3	9月	4
生態水文学研究所	東京大学	東京大学体験活動プログラム				1	9月	4
生態水文学研究所	東京大学	森林圏生態社会学研究室合宿ゼミ	農学部			6	10月	2
生態水文学研究所	東京大学	大学院「森林流域管理学」集中講義			修士1年	2	12月	2
生態水文学研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	教養学部		1・2年	19	2月	3
富士癒しの森研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(春編)」	教養学部		1・2年	15	5月	2
富士癒しの森研究所	東京大学	森林生態圏管理学特論	農学生命科学研究科	森林科学専攻	大学院生	5	5月	2
富士癒しの森研究所	東京大学	総合科目「森林環境資源学(森と癒し)」フィールドワーク	教養学部		1・2年	19	6月	2
富士癒しの森研究所	東京大学	環境設計演習	農学部	森林系2専修	4年	5	6月	2
富士癒しの森研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「癒しの森と地域社会(夏)」	教養学部		1・2年	20	7月	3
富士癒しの森研究所	東京大学	フィールド科学専修, 森圏管理学実習	農学部	フィールド科学専修	3・4年	8	7月	2
富士癒しの森研究所	海南大学	海南大学サマープログラム「東京大学演習林で学ぶ森林管理」				13	7月	4
富士癒しの森研究所	東京大学	フィールド科学総論	農学生命科学研究科	生圏システム専攻	大学院生	24	7月	1
富士癒しの森研究所	東京大学	森林動物学実験	農学部	森林系2専修	3・4年	20	7・8月	3
富士癒しの森研究所	東京大学	「都市工学の技術と倫理」実習	工学部	都市工学科	3年	24	8月	1

2018年度 教育 実習等

演習林名	学校名	科目名	学部等	学科等	学年	学生数	実施月	日数
富士癒しの森研究所	東京大学	国際農学実験・実習 I 個別実験	農学部	国際開発農学専修		1	8月	2
富士癒しの森研究所	東京大学	森林政策学演習	農学部	森林系2専修		8	8月	4
富士癒しの森研究所	東京大学	フィールド演習	工学部	社会基盤学科	3年	52	9月	4
富士癒しの森研究所	東京大学	国際短期プログラム「生物資源環境学入門コースーアジアのフィールドの多様性と研究」および環境調和特別演習「農林畜水産業と環境負荷」及び「農林水畜産業と生態系攪乱」				27	9月	1
富士癒しの森研究所	東京大学	IEDP環境デザイン統合教育プログラム「自然環境デザインスタジオ」	新領域創成科学研究科		大学院生	18	9月	5
富士癒しの森研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(秋編)」	教養学部		1・2年	23	10月	2
富士癒しの森研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「森の魅力をマッピング」	教養学部		1・2年	4	11月	3
富士癒しの森研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「癒しの森と地域社会(冬)」	教養学部		1・2年	4	12月	3
富士癒しの森研究所	東京大学	森林圏管理システム学	農学生命科学研究科	森林科学専攻	大学院生	2	12月	1
富士癒しの森研究所	東京大学	体験活動プログラム「癒しの森の森林管理」				2	12月	2
富士癒しの森研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「森のエネルギーを使いこなす」	教養学部		1・2年	4	1月	3
樹芸研究所	東京大学	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1・2年	2	8月	5
樹芸研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ1」	教養学部		1年	5	8月	5
樹芸研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ2」	教養学部		1年	4	8月	5
樹芸研究所	東京大学	森林実習	農学部	国際開発農学専修	3年	20	9月	4
樹芸研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ3」	教養学部		1・2年	6	9月	5
樹芸研究所	東京大学	体験活動プログラム「南伊豆という一地域との連携に学ぶ」	東京大学		1・2・4年	6	10月	3
樹芸研究所	東京大学	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1・2年	2	2月	5
樹芸研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶー熱帯植物編ー」	教養学部		1年	22	2月	5
樹芸研究所	東京大学	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1年	1	2月	5
樹芸研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1」	教養学部		1年	21	2月	5
樹芸研究所	東京大学	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		1年	2	2・3月	5
樹芸研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	教養学部		1年	21	2・3月	5
樹芸研究所	東京大学	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	教養学部他		1・2・4年	4	3月	5
樹芸研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ3」	教養学部		1・2年	14	3月	5
樹芸研究所	東京大学	体験活動プログラム「南伊豆という一地域との連携に学ぶ」	東京大学		1・2年	3	3月	3

2. 研究

1) 教職員の論文等

発表者全氏名	題目	誌名	巻一 号	頁	年
Nishizono T, Zushi K, Hiroshima T, Toyama K, Kitahara F, Terada F, Takagi M, Saito S	Latitudinal variation in radial growth phenology of <i>Cryptomeria japonica</i> D. Don trees in Japan	Forestry	91(2)	206-216	2018
Djukic I et al.	Early stage litter decomposition across biomes	Science of The Total Environment			2018
Suzuki SN, Hirao T	Recruitment drives successional changes in the community-level leaf mass per area in a winter- deciduous broadleaf forest	Journal of Vegetation Science	29	756-764	2018
Ueno S, Nakamura Y, Kobayashi M, Terashima S, Ishizuka W, Uchiyama K, Tsumura Y, Yano K, Goto S	TodoFirGene: developing transcriptome resources for genetic analysis of <i>Abies sachalinensis</i>	Plant Cell Physiology	59	1276 -1284	2018
Miura N, Yokota S, Koyanagi YF, Yamada S	Hervaceous vegetation height map on riverdike from UAV LiDAR data	IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium (IGARSS) 2018 Proceedings		5473 -5476	2018
Saihanna S, Tanaka T, Okamura Y, Kusumoto B, Shiono T, Hirao T, Kubota Y, Murakami M	A paradox of latitudinal leaf defense strategies in deciduous and evergreen broadleaved trees	Ecological Research	33	1011 -1017	2018
Osada N, Murase K, Tsuji K, Sawada H, Nunokawa K, Tsukahara M, Hiura T	Genetic differentiation in the timing of budburst in <i>Fagus crenata</i> in relation to temperature and photoperiod	International Journal of Biometeorology	62	1763 -1776	2018
Kitamura K, Nakanishi A, Lian C, Goto S	Distinctions in fine-scale spatial genetic structure between growth stages of <i>Picea jezoensis</i> Carr.	Frontiers in Genetics	9	490	2018
Nainar A, Tanaka N, Bidin K, Annammala KV, Ewers RM, Reynolds G, Walsh RPD	Hydrological dynamics of tropical streams on a gradient of land-use disturbance and recovery: a multi-catchment experiment	Journal of Hydrology	566	581-594	2018
Umeki K, Kawasaki M, Shigyo N, Hirao T	Inter- and intraspecific patterns in resprouting of trees in undisturbed natural forests along an elevational gradient in central Japan	Forests	9	672	2018
Owari T, Yasumura N, Ishibashi S, Kamoda S, Saito H	The University of Tokyo Forests and forest science education in Japan	Proceedings of the SILVA Network Conference 2017	15	38-50	2018
Kamata N	Using university forests for international forest science education activities: the experiences of the University of Tokyo Forests, Japan	Proceedings of the SILVA Network Conference 2017	15	51-56	2018
Jayathunga S, Owari T, Tsuyuki S	The use of fixed-wing UAV photogrammetry with LiDAR DTM to estimate merchantable volume and carbon stock in living biomass over a mixed conifer- broadleaf forest	International Journal of Applied Earth Observations and Geoinformation	73	767-777	2018
Mitsugi M, Suzuki H	Life history of an invasive freshwater shrimp <i>Neocaridina davidi</i> (Bouvier, 1904), (Decapoda: Caridea: Atyidae) in the Tomoe River, the Boso Peninsula, eastern Japan	Crustacean Research	47	9-16	2018
Suzuki SN, Tsunoda T, Nishimura N, Morimoto J, Suzuki J	Dead wood offsets the reduced live wood carbon stock in forests over 50 years after a stand-replacing wind disturbance	Forest Ecology and Management	432	94-101	2019
Fukasawa Y, Ando Y, Oishi Y, Suzuki SN, Matsukura K, Okano K, Song Z	Does typhoon disturbance in subalpine forest have long-lasting impacts on saproxylic fungi, bryophytes, and seedling regeneration on coarse woody debris?	Forest Ecology and Management	432	309-318	2019
Igarashi K, Kuraji K, Tanaka N, Aranyabhaga N	Prediction of the impact of climate change and land use change on flood discharge in the Song Khwae District, Nan Province, Thailand	Journal of Climate Change	5	1-8	2019
Jayathunga S, Owari T, Tsuyuki S	Digital aerial photogrammetry for uneven-aged forest management: assessing the potential to reconstruct canopy structure and estimate living biomass	Remote Sensing	11(3)	338	2019

2018年度 研究 教職員の論文等

発表者全氏名	題目	誌名	巻一 号	頁	年
Saito H, Horiuchi M, Takayama N, Fujiwara A	Effects of managed forest versus unmanaged forest on physiological restoration from a stress stimulus, and the relationship with individual traits	Journal of Forest Research	24(2)	77-85	2019
水内佑輔	風景計画：風景論から実践的自然風景地の計画・管理まで	ランドスケープ研究	82(1)	12 - 21	2018
美濃羽靖・尾張敏章・中島徹・大飼 浩	立木の外観指標と選木者の選木経験が天然林択伐施業の選木意思決定に及ぼす影響	日本森林学会誌	100(2)	37-46	2018
米道 学・軽込 勉・久本洋子・後藤 晋	アカマツ・アイグロマツ挿し木苗の発根指数と吸水量および植栽後の針葉発生数と生存・枯死の関係	日本緑化工学会誌	43	611-613	2018
丹羽悠二・遠國正樹・木村恒太・楠本 大	マルチコプター型ドローンを使った大型哺乳類センサスの可能性	森林防疫	67(3)	25-30	2018
鳥居正人・山田利博・Seo S-T・Thu PQ・Wu M-L・Buranapanichpan S・中島千晴・松田陽介・伊藤進一郎	東・東南アジアで採取された <i>Raffaella quercivora</i> 類緑菌6菌株のミズナラに対する病原性	森林防疫	67(3)	95-102	2018
村瀬一隆・渡邊良広・辻良子・澤田晴雄・辻 和明・小林徹行・井上広喜・鴨田重裕	ユーカリ植栽苗木への野生動物の影響	中部森林研究	66	41-42	2018
梁瀬桐子・水谷瑞希・佐藤貴紀・荒木田義隆・松井理生・高德佳絵・才木道雄	ヤマガラとシジュウカラの巣箱調査による繁殖特性の長期トレンドの解明	中部森林研究	66	45-48	2018
高山範理・齋藤 馨・藤原章雄	4泊5日の大学演習林滞在におけるQOLと気分状態の変化	日本森林学会誌	100(3)	71-76	2018
川田伸一郎・岩佐真宏・福井 大・新宅勇太・天野雅男・下稲葉さやか・樽 創・姉崎智子・横畑泰志	世界哺乳類標準和名目録	哺乳類科学	58号別冊	1-53	2018
竹本周平	白紋羽病菌をめぐる古典探訪(2)	林業と薬剤	通巻 (224)	10-18	2018
山田利博・山下香菜・太田祐子	3樹種の人工空洞円板を用いた横打撃共振法の特 性検討	樹木医学研究	22(3)	154-155	2018
新保奈徳美・水内佑輔	復興過程における情報発信のあり方について	ランドスケープ研究	82(2)	136-137	2018
浅野友子・内田太郎・五味高志・水垣 滋・平岡真合乃・勝山正則・丹羽 論・横尾善之	山地流域の水・土砂流出における空間スケールの影響(1): 流域面積に対する水・土砂流出量の応答に関する観測例	水文・ 水資源学会誌	31(4)	219-231	2018
浅野友子・内田太郎・勝山正則・平岡真合乃・水垣 滋・五味高志・丹羽 論・横尾善之	山地流域の水・土砂流出における空間スケールの影響(2): 集中的な観測が行われた流域の事例	水文・ 水資源学会誌	31(4)	232-244	2018
横尾善之・丹羽 論・内田太郎・平岡真合乃・勝山正則・五味高志・水垣 滋・浅野友子	山地流域の水・土砂流出における空間スケールの影響(3): 数値解析モデル上の取り扱い事例	水文・ 水資源学会誌	31(4)	245-261	2018
坂上大翼・木村徳志・福岡哲・後藤 晋	東京大学北海道演習林におけるエゾマツ採種園の造成—エゾマツ更新問題再考—	北海道の林木育種	61(1)	15-22	2018
竹本周平	白紋羽病菌をめぐる古典探訪(3)	林業と薬剤	通巻 (225)	10-29	2018
當山啓介・金井敬宏・三次充和・江口誠一	東京大学千葉演習林の林内に残る炭窯跡の実態	東京大学農学部演習林報告	139	1-15	2018
沈昱東・涌井幸子・竹原優子・星野安治・内海泰弘・鎌田直人・野堀嘉裕・市栄智明・村岡裕由・齋藤 琢・平野 優・安江 恒	日本各地に生育するブナの肥大成長に影響する気候要素	木材学会誌	64.5	171-186	2018
軽込 勉・米道 学・里見重成・梁瀬桐子・久本洋子	ヒメコマツにおけるさし穂サイズと発根および冬芽の関係	関東森林研究	69	123-126	2018
米道 学・軽込 勉・里見重成・梁瀬桐子・久本洋子	マツの接ぎ木におけるビニールハウスの光環境が活着率に及ぼす影響	関東森林研究	69	127-130	2018
塚越剛史・米道 学・軽込 勉・里見重成・久本洋子	サンブスギ×地スギ人工交配家系苗へのチャアナタケモドキ <i>Fomitiporia torreyae</i> 接種の試み	関東森林研究	69	225-226	2018
尾張敏章・橋本晋太	秋田天然スギ林・白神ブナ林をめぐる現地検討会に参加して	森林施業研究会ニューズ・レター	69		2018

発表者全氏名	題目	誌名	巻一 号	頁	年
美濃羽靖・尾張敏章・中島徹・犬飼 浩	天然林択伐施業における選木規則の抽出:機械学習を用いたアプローチ	日本森林学会誌	100(6)	208-217	2018
坂上大翼・木村徳志・福岡哲	東京大学北海道演習林におけるカラマツ属交雑育種試験地の現在(5)―種間交雑第2代および戻し交雑第1代家系の40年後の生育―	北海道の林木育種	61(2)	1-7	2018
齋藤暖生	富士山北東麓の生態と生業―地域環境の限界と可能性―	静岡県民俗学会誌	31・32	1-10	2018
山田利博	福島原発事故後の東京大学演習林におけるキノコの放射性セシウム動態	水利科学	62(5)	81-99	2018
村川功雄・鈴木 勝	東京大学千葉演習林から千葉県初記録の甲虫2種を確認	房総の昆虫	63	47	2018
齋藤真己・後藤 晋	マイクロカッピング技術を応用した無花粉スギの苗木生産量の倍増法	森林遺伝育種	8	1-7	2019
坂上大翼	横打撃共振周波数に及ぼす樹幹凍結と木部含水率の影響―シラカンバ円板を用いた検討―	樹木医学研究	23(1)	46-47	2019
坂上大翼・木村徳志・福岡哲・後藤 晋	採種園産トドマツ実生後代の苗畑における初期生育の母樹家系間差	北方森林研究	67	29-32	2019
齋藤暖生	富士山北面における生業の展開と保護地域制度	国立歴史民俗博物館研究報告	215	9-32	2019
水内佑輔	愛知県瀬戸市にみる伝統的産業都市における記念空間の公園化の過程とその価値	ランドスケープ研究	82(5)	439-444	2019
大橋美紗希・水内佑輔・大野暁彦	稲沢市祖父江町旧山崎村における銀杏の配植形態と景観形成過程に関する研究	ランドスケープ研究	82(5)	469-474	2019
齋藤暖生	食用植物・キノコの採取・利用にみる森林文化―文化的要素の抽出および文化動態の解釈の試み―	林業経済研究	65(1)	15-26	2019
竹本周平	白紋羽病菌をめぐる古典探訪(4)	林業と薬剤	通巻(227)	8-27	2019
古家直行・平田泰雅・尾張敏章・坂上大翼・犬飼慎也・中川雄治・遠國正樹	天然林持続的管理のためのマルチセンサを用いた森林モニタリング	日本写真測量学会北海道支部会報			2019
鎌田直人	東京大学北海道演習林における樹木のフェノロジーデータで元データが紛失した1938～1950年の期間平均値の推定	東京大学演習林報告	140	1-13	2019
蔵治光一郎・黒木里香	生態水文学研究所赤津研究林白坂流域井戸水位観測報告(III)	演習林(東大)	61	1-17	2019
才木道雄・高徳佳絵・五十嵐勇治・原口竜成	秩父演習林における再生林固定試験地林分成長資料(2017)	演習林(東大)	61	19-25	2019
高徳佳絵・原口竜成・大村和也・五十嵐勇治・藤平晃司	秩父演習林における人工林固定測定試験地成長資料(2014～2017年)	演習林(東大)	61	27-33	2019
齋藤暖生	山中湖のワカサギと東京帝国大学	演習林(東大)	61	35-43	2019
鎌田直人・木村徳志・井口和信・福岡 哲・小川 瞳・笠原久臣・芝野伸策・高橋康夫・犬飼雅子・佐々木忠兵衛・功力六郎・佐々木与八	東京大学北海道演習林における1930～2010年の長期樹木フェノロジーデータ	演習林(東大)	61	45-63	2019
久本洋子・大石 諭・鈴木祐紀・鶴見康幸・米道 学・鈴木 牧	東京大学千葉演習林におけるカメラトラップ法によるニホンジカの生息密度推定の有効性の検証	演習林(東大)	61	65-74	2019
原口竜成・齋藤俊浩・吉田弓子・高徳佳絵・丹羽悠二・五十嵐勇治	秩父演習林大面積プロットにおける毎木調査資料(2014年)【修正版】	演習林(東大)	61	75-81	2019
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会水文水質部門	東京大学演習林水文観測・水質分析報告(自2016年1月至2016年12月)	演習林(東大)	61	83-115	2019
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会気象部門	東京大学演習林気象報告(自2017年1月至2017年12月)	演習林(東大)	61	117-147	2019
2018年度以前に発表し、これまで発行の年報に未掲載の論文					
発表者全氏名	題目	誌名	巻一 号	頁	年
Takayama N, Saito K, Fujiwara A, Tsutsui S	Influence of five-day suburban forest stay on stress coping, resilience, and mood states	Journal of Environmental Information Science	2017(2)	49-57	2018
山道あい・水内佑輔・古谷勝則	医療機関の立地特性とホームページの言及にみる自然公園	ランドスケープ研究	81(5)	553-558	2018

2) 学会発表等

発表者全氏名	題目	誌名	巻一 号	頁	年
Ueno S, Nakamura Y, Kobayashi M, Ishizuka W, Uchiyama K, Tsumura Y, Yano K, Goto S	Transcriptome resources of <i>Abies sachalinensis</i> in Hokkaido, Japan	AForGeN meeting in Kranjska Gora			2018
Kamata N	Aims of the JSPS Core-to-Core Project: “Developing a network of long-term research field stations to monitor environmental changes and ecosystem responses in Asian forests”	Abstracts of NTU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis for Ecosystem Services in Asian University Forests		22	2018
Kuraji K, Kuroki R	Long-term observation of groundwater level in the North Creek, Shirasaka Experimental Watershed, Akazu Research Forest, Ecohydrology Research Institute	Abstracts of NTU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis for Ecosystem Services in Asian University Forests		26	2018
Tanaka N, Kato A, Inoue M	Long-term measurement of sediment yield in reforested catchments recovering from degraded condition	Abstracts of NTU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis for Ecosystem Services in Asian University Forests		27	2018
Lai YJ, Tanaka N, Sangjun IM, Kuraji K, Tantasirin C, Mahali M	Climate classification and mapping: results for Asian Experimental Forests	Abstracts of NTU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis for Ecosystem Services in Asian University Forests		32	2018
Kamata N, Guan BT, Tanaka N	Long-term phenology data of woody plants at The University of Tokyo Hokkaido Forest and their phenotypic plasticity to climate	Abstracts of NTU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis for Ecosystem Services in Asian University Forests		36	2018
Sato T, Tanaka N	Temporal variation of tree species composition and forest production in a warm-temperate secondary forest	Abstracts of NTU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis for Ecosystem Services in Asian University Forests		37	2018
Takemoto S	Xylariaceae in Japan and recent research attempts	Abstracts of NTU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis for Ecosystem Services in Asian University Forests		38	2018

発表者全氏名	題目	誌名	巻-号	頁	年
Fukui D	Effects of forest management system on bat activity in Japanese temperate forest	Abstracts of NTU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis for Ecosystem Services in Asian University Forests		39	2018
Suzuki SN	Evidence for a growth acceleration in secondary forests in the University of Tokyo Chichibu Forest	Abstracts of NTU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis for Ecosystem Services in Asian University Forests		40	2018
Kang KS, Goto S, Chu FH, Park JM, Kim YG, Jang YL, Kim YM	Collaborative research on the population genetics and genomics of <i>Chamaecyparis obtusa</i> in East Asia	Abstracts of NTU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis for Ecosystem Services in Asian University Forests		41-42	2018
Lardizabal ML, Kamata N, Selvester S	Bark and ambrosia beetle composition in logs of various tree species at Long Mio, Sabah	Abstracts of NTU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis for Ecosystem Services in Asian University Forests		44	2018
Owari T, Ishibashi S, Hiroshima T, Toyama K, Nakajima T, Guan BT, Park PS	Using historical management records and past aerial photos to reconstruct long-term growth of <i>Cryptomeria japonica</i> plantations	Abstracts of NTU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis for Ecosystem Services in Asian University Forests		48	2018
Hiroshima T	Local growth variations in Sugi plantations	Abstracts of NTU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis for Ecosystem Services in Asian University Forests		49	2018
Toyama K	Long-term Sugi growth at The Univ. of Tokyo Chiba Forest	Abstracts of NTU - UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis for Ecosystem Services in Asian University Forests		50	2018
Fujioka E, Sumiya M, Nakai G, Fukui D, Yoda K, Hiryu S	From small to large-scale acoustical navigation behavior of aerial feeding bats during natural foraging.	The International Congress of Neuroethology, Biosonar Satellite Symposium			2018
Miura N, Yokota S, Koyanagi YF, Yamada S	Hervaceous vegetation height map on riverdike from UAV LiDAR data	IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium (IGARSS) 2018 Proceedings		5473-5476	2018
Fukui D, Kimura Y, Kawada S, Yoshiyuki M	The extinct insectivorous bat population from an oceanic island in Japan.	4th South East Asian Bat Conference			2018
Waldien DL, Armstrong K, Fukui D, Furey NM, Khan FAA, Mildenstein T, Srinivasulu C, Kingston T	Make a difference today - Join the Old World Bat Red List Assessment Workshop!	4th South East Asian Bat Conference			2018
Son NT, Tu VT, Fukui D, Thanh HT, Motokawa M	Preliminary investigation results on bats in the high mountains of Vietnam.	4th South East Asian Bat Conference			2018

2018年度 研究 学会発表等

発表者全氏名	題目	誌名	巻 - 号	頁	年
Morimoto J, Umabayashi T, Suzuki S, Owari T, Suzuki T, Shibata H	The effects of salvage logging after a catastrophic wind disturbance on the wood carbon stock in northern Japan	Abstracts of the 18th International Boreal Forest Research Association Conference (IBFRA 18)		122-123	2018
Furuya N, Hirata Y, Owari T, Sakaue D, Inukai S, Nakagawa Y, Tohkuni M	Assessment of sustainable forest management of a mixed conifer-broadleaf forest by combinations of airborne Lidar and UAV observation	ForestSat2018		154	2018
Kyaw Thu Moe, Owari T, Jayathunga S, Furuya N, Hiroshima T	Discriminating high-value broadleaf trees from UAV (Unmanned Aerial Vehicle) imagery in the University of Tokyo Hokkaido Forest, Japan	Proceedings of the 8th Symposium of Asian University Forest Consortium		23	2018
Saragih SA, Torii M, Takemoto S, Kamata N	Trap captures of ambrosia and bark beetles in relation to maple tree weakening	Proceedings of the 8th Symposium of Asian University Forest Consortium		25	2018
Iwakiri A, Sakaue D, Matsushita N, Fukuda K	Genet distribution of <i>Racodium therryanum</i> in the nursery of <i>Picea glehnii</i> in UTokyo Hokkaido Forest	Proceedings of the 8th Symposium of Asian University Forest Consortium		27	2018
Sawada H	The work of the general manager of technical staff at the University of Tokyo Forests	Proceedings of the 8th Symposium of Asian University Forest Consortium		29	2018
Oishi S	Forest roads in the University of Tokyo Chiba Forest	Proceedings of the 8th Symposium of Asian University Forest Consortium		31	2018
Tsukagoshi T, Suzuki M, Adachi Y, Yonemichi T	How to climb trees in the University of Tokyo Chiba Forest	Proceedings of the 8th Symposium of Asian University Forest Consortium		33	2018
Kimura K, Kimura N, Oikawa N	Fundamental plant survey in the University of Tokyo Hokkaido Forest	Proceedings of the 8th Symposium of Asian University Forest Consortium		35	2018
Haraguchi R, Hirao T, Yamada T	Detection and absolute quantification of <i>Serpula himantioides</i> in decayed wood of <i>Chamaecyparis pisifera</i> by real-time PCR method	Proceedings of the 8th Symposium of Asian University Forest Consortium		37	2018
Fujiwara A, Takeuchi H, Saito H	Understanding the needs of residents and the potential of local forest as resources to support health of local residents	Proceedings of the 8th Symposium of Asian University Forest Consortium		39	2018
Kuraji K, Im S	Water balance of Chusan Experimental watershed, Nambu University Forest, Seoul National University in the 1930s,	Proceedings of the 8th Symposium of Asian University Forest Consortium		53	2018
Im S, Kuraji K, Lai YJ	Runoff curve number determination of forest land cover using rainfall-runoff data in different climate zone	Proceedings of the 8th Symposium of Asian University Forest Consortium		55	2018
Mahali M, Cleophas F, Bidin K, Kamlun KU, Kuraji K	Streamflow dynamics in a small tropical cloud montane forest catchment: a preliminary observation at Mt. Alab, Crocker Range Park, Sabah.	Proceedings of the 8th Symposium of Asian University Forest Consortium		56	2018
Tanaka N	Toward a collaborative study 'Long-term water balance analysis of university forests under different climate zone'	Proceedings of the 8th Symposium of Asian University Forest Consortium		58	2018
Nainar A, Tanaka N, Greffard A, Sato T	Historical evolution of evapotranspiration in the Shirasaka experimental watershed, Central Japan: 85 Years' Observation	Proceedings of the 8th Symposium of Asian University Forest Consortium		59	2018

発表者全氏名	題目	誌名	巻-号	頁	年
Kamata N	Long-term forest insect research using litter traps: treasures in litter	Proceedings of the 8th Symposium of Asian University Forest Consortium		60	2018
Lardizabal ML, Rasiah A, Kamata N, Wong W	Species composition of bank and ambrosia beetles in three land use types at Long Mio, Sipitang, Sabah	Proceedings of the 8th Symposium of Asian University Forest Consortium		62	2018
Fukui D & Vertebrate Group, Biology Division, Fundamental Data Development Committee	Wildlife monitoring in the University of Tokyo Forests	Proceedings of the 8th Symposium of Asian University Forest Consortium		64	2018
Owari T	Reconstructing long-term growth of <i>Cryptomeria japonica</i> plantations from archival aerial photography: a preliminary trial	Proceedings of the 8th Symposium of Asian University Forest Consortium		68	2018
Hiroshima T	Survival analysis of tree population in natural forest	Proceedings of the 8th Symposium of Asian University Forest Consortium		69	2018
Saito H	Challenges of opening university forests to public and its solutions: A case of Duke University and Warren Wilson College in USA	Proceedings of the 8th Symposium of Asian University Forest Consortium		72	2018
Owari T, Jayathunga S, Kyaw Thu Moe, Hirata Y, Suzuki SN, Morimoto J	Using historical aerial photography to reconstruct canopy structural changes of a mixed conifer-broadleaf forest after typhoon damage	Book of Abstracts: 11 IUFRO Uneven-aged Silviculture Workshop		77	2018
Asano Y, Uchida T, Tomomura M	All the hillslopes respond quickly during 1 or 2 times a year storms in a steep headwater catchment under humid temperate climate	2018 Fall Meeting, American Geophysical Union, Washington, D.C.,	H23D-02		2018
Kuraji K, Kuroki R	Long-term observation of groundwater level in the North Creek, Shirasaka Experimental Watershed, ARF, ERI.	NTU-UTokyo Joint Conference			2018
Igarashi K, Kuraji K, Tanaka N, Aranyabhaga N	Prediction of the impact of climate change and land use change on flood discharge in the Song Khwae District, Nan Province, Thailand	International Conference on water management and climate change towards Asia's water-energy-food nexus and SDGs (THA 2019),			2019
Aranyabhaga N, Kuraji K	Altitudinal increase in rainfall on the mountainous area in flood year 2011	International Conference on water management and climate change towards Asia's water-energy-food nexus and SDGs (THA 2019)			2019
Kuraji K	20 years rainfall observation in Mae Chaem Watershed	Workshop "Rainfall Observation and Watershed Management for Adaptation to Climate Change in Mae Chaem Watershed, Chiang Mai Province" under SATREPS "Advancing Co-design of Integrated Strategies with Adaptation to Climate Change"			2019
Wijenayake R, Hiroshima T, Yamamoto H	Teak harvesting schedule to set the limits on uneven age classes -Evaluating plantation grown teak of Sri Lanka-	FORMATH Okinawa 2019			2019
Toyama K	The effect of spatial scale of mountainous hazard risk information on the feasibility of clearcutting	FORMATH Okinawa 2019			2019

2018年度 研究 学会発表等

発表者全氏名	題目	誌名	巻一 号	頁	年
Fujioka E, Nakai G, Fukui D, Yoda K, Hiryu S	Investigation of large-scale navigation behavior of echolocating bats during natural foraging using GPS and acoustic-GPS data-loggers.	International Workshop on Behavior analysis and Recognition for knowledge Discovery (BiRD 2019)			2019
三浦直子・浅野友子	地上型グリーンレーザを用いた山地河川の河床変動の把握	平成30年度砂防学会研究発表会「鳥取大会」			2018
中村和彦・尾張敏章・坂上大翼・當山啓介	ArcGIS OnlineとCollector for ArcGISを用いた東京大学北海道演習林における天然林管理のための知識ベース運用システム	日本地球惑星科学連合2018年大会			2018
齋藤暖生	市民の憩いの場としての大学演習林－米国Duke University, Warren Wilson Collegeの事例－	森林保健学会第8回学術総会			2018
藤原章雄・齋藤暖生・竹内啓恵	山中湖村で取り組み始めた森活で健康(もりかつでけんこう)プロジェクトの紹介	森林保健学会第8回学術総会			2018
野尻太郎・Ingmar Werneburg・福井 大・齋藤隆・小藪大輔	哺乳類におけるコウモリ目の胎子期器官形成の特異性	日本進化学会第20回大会			2018
野尻太郎・Ingmar Werneburg・福井 大・齋藤隆・小藪大輔	日本産ヒナコウモリの胚発生記載	日本哺乳類学会2018年度大会			2018
広嶋卓也・中島 徹・鹿又秀聡	都道府県別間伐モデルによる利用間伐量のシミュレーション－2020年国産材自給率40%の達成条件－	森林計画学会秋季セミナー2018			2018
森塚晶人・梅木 清・平尾聡秀	奥秩父山地における鳥類相と環境要因との関係に対する季節の影響	日本鳥学会2018年度大会			2018
竹内啓恵・上原 巖	社有林を利用した森林散策カウンセラー－就職に就く女性職員の事例－	日本カウンセラー学会第51回大会発表論文集			2018
米道 学・軽込 勉・塚越剛史・久本洋子	穂木の処理と固定方法の異なるクロマツ・アカマツの接ぎ木の試み	第8回関東森林学会大会			2018
山田利博・大村和也・五十嵐勇治・齋藤俊浩・高德佳絵・村川功雄・井口和信・齋藤暖生・小林奈通子・田野井慶太郎・中西友子	東京大学演習林における福島原発事故後7年間の野生キノコ中放射性セシウム濃度の推移	第8回関東森林学会			2018
村瀬一隆・渡邊良広・辻良子・千井野聡・井上広喜・鴨田重裕	<i>Eucalyptus saligna</i> ・ <i>E. smithii</i> 造林試験の経過報告－2017年気象イベントによる影響－	第8回中部森林学会大会			2018
梁瀬桐子・水谷瑞希・佐藤貴紀・荒木田義隆・松井理生・高德佳絵・才木道雄	ヤマガラとシジウカラの一腹卵数を制約する要因についての検討	第8回中部森林学会大会			2018
佐藤貴紀・田中延亮・Nainar Anand・蔵治光一郎・五名美江・北岡明彦・鈴木春彦・中島諒大	ヒノキ人工林の土壌表面における細根層が土砂流出及び表面流に与える影響	第8回中部森林学会大会			2018
内山憲太郎・上野真義・森英樹・後藤 晋	発現遺伝子情報を用いたトドマツの環境適応候補遺伝子のマッピング	森林遺伝育種学会第7回大会			2018
後藤 晋・内山憲太郎・上野真義・石塚 航・北村系子	トドマツ連鎖地図構築に有用なEST-SSRマーカーの開発	森林遺伝育種学会第7回大会			2018
久本洋子・伊原徳子・種子田春彦・平尾聡秀・後藤 晋	北方針葉樹3種の温暖化ストレス応答に関わるトランスクリプトーム解析	森林遺伝育種学会第7回大会			2018
坂上大翼・木村徳志・福岡哲	採種園産トドマツ実生後代の苗畑における初期生育の母樹家系間差	第67回北方森林学会大会			2018
齋藤暖生・三俣 学・John Powell	イングランドにおける自然アクセス活動の実態と規範－Epping forestとCleeve Commonにおけるアンケート調査から－	林業経済学会2018年秋季大会			2018
安村直樹・立花 敏	北海道の苗木生産者50社の概要と地域別・規模別の特徴 北海道庁実施のアンケート調査を利用して	林業経済学会2018年秋季大会			2018
岩切鮎佳・坂上大翼・松下範久・福田健二	アカエゾマツの苗床における暗色雪腐病菌のジェネット分布	樹木医学会第23回大会講演要旨集		P-22	2018
坂上大翼	横打撃共振周波数に及ぼす樹幹凍結と木部含水率の影響－シラカンパ円板を用いた検討－	樹木医学会第23回大会講演要旨集		P-27	2018
楠本 大・長瀬利文	樹幹注入剤の特性の違いが材変色の大きさに及ぼす影響	樹木医学会第23回大会			2018
山田利博・渡辺直明	2003～17年の樹木医研修受講生の診断・治療に関する経験と情報	樹木医学会第23回大会			2018

発表者全氏名	題目	誌名	巻一 号	頁	年
橋谷拓武・前島有沙・山本紳兵・太田祐子・服部 力・山下香菜・井道裕史・山田利博・西岡泰久・柳澤賢一・戸田堅一郎	カラマツカタワタケにより腐朽したカラマツ材の物理的特性	樹木医学会第23回大会			2018
前島有沙・橋谷拓武・山本紳兵・太田祐子・山下香菜・井道裕史・山田利博	スギ人工腐朽材における音速と強度との関係	樹木医学会第23回大会			2018
山本紳兵・岩上和磨・橋谷拓武・前島有沙・太田祐子・山下香菜・井道裕史・山田利博	サクラ腐朽木の横断面内における音速と強度特性	樹木医学会第23回大会			2018
太田 瞳・松下範久・原口竜成・山田利博・福田健二	サワラから分離されたナミダタケモドキの分子系統学的位置	樹木医学会第23回大会			2018
相川美絵子・栗田直明	田無演習林北東部の冠水被害と対策	平成30年度技術職員等試験研究・研修会議報告		1-4	2018
磯崎靖雄・及川 希・遠國正樹	2016年8月の連続台風による林道被害	平成30年度技術職員等試験研究・研修会議報告		5-9	2018
阿達康真・鈴木祐紀・塚越剛史	千葉演習林の林道災害	平成30年度技術職員等試験研究・研修会議報告		11-15	2018
辻 良子・千井野聡・渡邊良広・村瀬一隆	樹芸研究所における自然災害報告と記録方法の提案	平成30年度技術職員等試験研究・研修会議報告		17-22	2018
岸本光樹	生態水文学研究所周辺の災害リストの作成	平成30年度技術職員等試験研究・研修会議報告		23-28	2018
大村和也・齋藤俊浩・五十嵐勇治・原口竜成	2017年11月に秩父演習林で発生した山火事	平成30年度技術職員等試験研究・研修会議報告		29-34	2018
辻 和明・西山教雄	富士癒しの森研究所における危険木処理の現状と課題	平成30年度技術職員等試験研究・研修会議報告		35-38	2018
澤田晴雄・犬飼 浩	演習林における自然災害状況の情報集約とその後の復旧対応	平成30年度技術職員等試験研究・研修会議報告		39-43	2018
笠原久臣・岡村行治・犬飼浩・福土憲司	東京大学北海道演習林における優良丸太の銘木販売	平成30年度技術職員等試験研究・研修会議報告		45-50	2018
渡邊良広・千井野聡・辻良子・村瀬一隆・小林徹行	簡易搾油器によるアブラギリの搾油方法とその結果	平成30年度技術職員等試験研究・研修会議報告		51-54	2018
千嶋 武	奥秩父山地の登山道の歴史と現状～歴史的要素を組み入れた体験プログラムの開発	平成30年度技術職員等試験研究・研修会議報告		55-58	2018
齋藤俊浩	下層植生衰退前後の環境音変化の評価と教育用デジタルコンテンツの作成	平成30年度技術職員等試験研究・研修会議報告		59-62	2018
久本洋子	荒川河川敷ハチク林における一斉開花・枯死が生態系へ与える影響	竹林景観ネットワーク第23回研究会			2018
黒岩真弓・佐々木潔州・堀吉満・澤田晴雄・高橋功一・藤田真志・白井深雪・曾我竜一・池田正則	東京大学全学的技術職員研修の企画・運営報告「pH測定技術－pHで探る東京大学の水と土壤環境－」	第30回生物学技術研究会			2019
澤田晴雄・犬飼 浩	附属演習林における自然災害状況の情報集約とその後の復旧対応	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集2018年度		24-25	2019
岸本光樹	生態水文学研究所周辺の災害リストの作成	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集2018年度		28-29	2019
米道 学・塚越剛史・軽込勉	千葉演習林で行うコンテナを利用したマツ材線虫病抵抗性アカマツ苗木生産の試み	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集2018年度		32-33	2019
千井野聡・渡邊良広・村瀬一隆・辻 良子	樹芸研究所の紹介	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集2018年度		48-49	2019

2018年度 研究 学会発表等

発表者全氏名	題目	誌名	巻一 号	頁	年
五十嵐勇治・大村和也・吉田弓子	秩父演習林の施設紹介―路網―	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集 2018年度		54-55	2019
辻 良子・千井野聡・渡邊良広・村瀬一隆	樹芸研究所における自然災害報告と記録方法の提案	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集 2018年度		56-57	2019
原口竜成・吉田弓子・高徳佳絵・才木道雄・藤平晃司・島崎雅美・内田理恵	秩父演習林におけるリタートラップを用いた落葉落枝・落下種子調査	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集 2018年度		62-63	2019
相川美絵子・栗田直明	田無演習林における冠水の記録と今後の課題	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集 2018年度		64-65	2019
辻 和明・西山教雄	富士癒しの森研究所における危険木処理の現状と課題	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集 2018年度		68-69	2019
黒岩真弓・池田正則・佐々木潔州・澤田晴雄・白井深雪・曾我竜一・高橋功一・藤田真志・堀 吉満	全学技術職員研修「pH測定技術」企画と運営の取り組み	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集 2018年度		74-75	2019
才木道雄	ヨタカのさえずりの季節的・時間的変異と効率的な生息調査法	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集 2018年度		82-83	2019
杉元倫子・酒井佳美・原口竜成・平尾聡秀・山田利博	ナミダケモドキによるサワラ材腐朽初期における材成分の変化	第69回日本木材学会大会			2019
鈴木智之・石原正恵・日野貴文	全国レベルでの温度勾配に沿った樹種構成の変化	第66回日本生態学会大会			2019
志村綱太・鈴木智之・可知直毅・鈴木準一郎	オオバアサガラ実生・稚樹の分布に溪流沿いの微環境が及ぼす影響	第66回日本生態学会大会			2019
鈴木智之	クロノシーケンスの長期観測によって示された林分成長量の加速	第66回日本生態学会大会			2019
深澤 遊・小南裕志・高木正博・松倉君子・田中延亮・鈴木智之・小林 真・竹本周平・衣浦晴生・上村真由子・門脇浩明・宮崎 怜・山下 聡・潮 雅之・岡野邦宏	コナラ枯死木の分解過程にナラ枯れが与える影響【B】	第66回日本生態学会大会			2019
小南裕志・深澤 遊・高木正博・松倉君子・田中延亮・鈴木智之・小林 真・竹本周平・衣浦晴生・上村真由子・門脇浩明・宮崎 怜・山下 聡・潮 雅之	ナラ枯れ枯死木の分解CO2放出量の広域環境応答	第66回日本生態学会大会			2019
水口木綿花・濱井郁弥・藤岡慧明・福井 大・飛龍志津子	モモジロコウモリの水面採餌飛行戦術～高感度カメラ映像と放射超音波による行動分析～	第66回日本生態学会大会			2019
藤岡慧明・中井元貴・福井大・依田 憲・飛龍志津子	GPSバイオロギングに基づいたコウモリの大規模採餌行動戦略の検討	第66回日本生態学会大会			2019
濱井郁弥・藤岡慧明・福井大・飛龍志津子	野生コウモリは他個体に餌場を譲るのか?～音響情報から探る互惠的利他行動の可能性～	第66回日本生態学会大会			2019
野尻太郎・Ingmar Werneburg・福井 大・齊藤隆・小藪大輔	翼手類の進化に伴う四肢形成の長期化	第66回日本生態学会大会			2019
小柳知代・下野綾子・山田晋・三浦直子・横田樹広	河川堤防における改修履歴の違いが草地植生と菌根菌群集に及ぼす影響	第66回日本生態学会大会			2019
内山憲太郎・種子田春彦・石塚 航・津山幾太郎・久本洋子・北村系子・後藤晋	根釧地域の38年生トドマツ産地試験地を用いた適応形質に関わるアソシエーション解析	第66回日本生態学会大会			2019
内山憲太郎・種子田春彦・石塚 航・津山幾太郎・久本洋子・北村系子・後藤晋	北海道根釧地域の38年生トドマツ産地試験地におけるアソシエーション解析	第66回日本生態学会大会			2019
広嶋卓也・中島 徹	都道府県別民有林間伐材生産量の中長期的予測	第130回日本森林学会大会学術講演集		75	2019
竹内啓恵・藤原章雄・齋藤暖生・高山範理・森田えみ	山中湖に暮らす地域住民の「森林と健康」に関する意識調査	第130回日本森林学会大会学術講演集		107	2019

発表者全氏名	題目	誌名	巻一号	頁	年
章 珉傑・石橋整司・安村直樹・齋藤暖生	森林所有制度の視点から見る中国の集団林	第130回日本森林学会大会学術講演集		113	2019
Kyaw Thu Moe, Owari T, Jayathunga S, Furuya N, Hiroshima T	Quantifying individual tree parameters of large-sized high-value trees using unmanned aerial vehicle (UAV)	第130回日本森林学会大会学術講演集		121	2019
橋本晋太・尾張敏章・軽込勉・千嶋 武・三次充和・鶴見康幸・鈴木祐紀・米道学・塚越剛史・阿達康眞・村川功雄・大石 諭	東京大学千葉演習林における100年生超スギ人工林の現状	第130回日本森林学会大会学術講演集		123	2019
山崎 有・舟山幸子・種子田春彦・後藤 晋	トドマツの高山環境への遺伝的適応: 光合成活性とカロチノイドに着目して	第130回日本森林学会大会学術講演集		128	2019
Carolina A, Kusumoto D	Effect of ethephon and methyl jasmonate on gum duct formation in broadleaf trees	第130回日本森林学会大会学術講演集		136	2019
小原 茜・岩崎未季・梅木清・平尾聡秀	シカ食害下の地上部—地下部相互作用が樹木の実生動態に及ぼす影響	第130回日本森林学会大会学術講演集		139	2019
田中翔太・梅木清・平尾聡秀	環境要因が天然林の萌芽動態に及ぼす影響: 種の機能形質による応答の違い	第130回日本森林学会大会学術講演集		139	2019
金道知聖・種子田春彦・久本洋子・後藤 晋	光資源や養分の偏りがマダケの成長に与える影響	第130回日本森林学会大会学術講演集		143	2019
堀田 亘・森本淳子・井上貴央・鈴木智之・梅林利弘・尾張敏章・柴田英昭・石橋聰・原登志彦・中村太士	大規模風倒攪乱とその後の施業が北方林の炭素蓄積に及ぼす長期的影響	第130回日本森林学会大会学術講演集		143	2019
谷川鴻介・牧野結衣・三浦直子・梅木 清・平尾聡秀	地域スケールにおける森林棲中大型哺乳類の生息地選択と季節動態の解明	第130回日本森林学会大会学術講演集		169	2019
岩切鮎佳・坂上大翼・松下範久・福田健二	暗色雪腐病菌の苗畑と造林地における遺伝構造の比較	第130回日本森林学会大会学術講演集		172	2019
太田 瞳・松下範久・原口竜成・山田利博・福田健二	日本で発見されたナミダタケモドキの新たな隠蔽種	第130回日本森林学会大会学術講演集		172	2019
原口竜成・平尾聡秀・山田利博	サワラ腐朽材中および土壌中のナミダタケモドキの検出および絶対定量	第130回日本森林学会大会学術講演集		175	2019
山田利博・山下香菜・太田祐子	円板を用いた空洞検出における音速トモグラフィと横打撃共振法の比較	第130回日本森林学会大会学術講演集		176	2019
執行宣彦・梅木 清・平尾聡秀	落葉分解における土壌微生物群集の固有性	第130回日本森林学会大会学術講演集		177	2019
東原貴志・蔵治光一郎・井上真理子・大谷 忠・荒木祐二・伊神裕司・小西伴尚	中学生を対象とした森林の保水力実験に関する理科の授業実践	第130回日本森林学会大会学術講演集		199	2019
平田泰雅・古家直行・坂上大翼・尾張敏章・鎌田直人	航空機レーザーキャナーデータの天然林管理への応用	第130回日本森林学会大会学術講演集		205	2019
後藤 晋・種子田春彦・久本洋子・伊原徳子・平尾聡秀	温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答—3年間の生残と成長—	第130回日本森林学会大会学術講演集		212	2019
田沼美雪・梅木 清・平尾聡秀	奥秩父山地における落葉分解過程に対する落葉形質と環境要因の影響	第130回日本森林学会大会学術講演集		218	2019
當山啓介	多変数を考慮しての人工林最適施業体系の検討	第130回日本森林学会大会学術講演集		237	2019
古家直行・平田泰雅・尾張敏章・坂上大翼・犬飼慎也・中川雄治・遠國正樹	針広混交天然林の施業管理のためのマルチセンサ観測	第130回日本森林学会大会学術講演集		244	2019
尾張敏章・Sadeepa Jayathunga・鈴木智之・森本淳子・平田泰雅	台風被害に伴う針広混交林の長期的変化: 旧空中写真を用いた分析	第130回日本森林学会大会学術講演集		244	2019
坂上大翼・古家直行	マルチスペクトル・熱赤外センサによるブナ環状剥皮木の水ストレス検出	第130回日本森林学会大会学術講演集		245	2019
星野大介・西村尚之・鈴木智之	伊勢湾台風ギャップに隣接したヒノキ林冠木の29年間の直径成長速度の変化	第130回日本森林学会大会学術講演集		256	2019
鈴木智之・綱本良啓・松尾歩・下野綾子・久本洋子・蒔田明史・陶山佳久	衰退過程にあるスズタケの景観的遺伝構造: MIG-seqによる解析	第130回日本森林学会大会学術講演集		267	2019
西村尚之・平岡裕一郎・小山泰弘・岡田充弘・鈴木智之	シカによる樹木被害を受けた北八ヶ岳亜高山帯針葉樹林の19年間の動態	第130回日本森林学会大会学術講演集		271	2019
梅木 清・川崎 満・執行宣彦・平尾聡秀	奥秩父山地の非攪乱森林における樹木萌芽生産の種間・種内のパターン	第130回日本森林学会大会学術講演集		272	2019
鈴木 覚・山田利博・林 詳悟・高畑東志明・佃 太貴・安田幸生・栗田直明	樹幹位置の精密計測による横方向外力に対する幹変位応答	第130回日本森林学会大会学術講演集		277	2019

2018年度 研究 学会発表等

発表者全氏名	題目	誌名	巻-号	頁	年
石橋整司・前原 忠	センサーカメラの撮影画像による東京大学秩父演習林のクマ剥ぎ行動の解析	第130回日本森林学会 大会学術講演集		285	2019
水谷瑞希・梁瀬桐子・佐藤貴紀	気候変動がヤマガラ、シジュウカラの初卵日に及ぼす影響	第130回日本森林学会 大会学術講演集		286	2019
齋藤暖生	食用植物・キノコの採取・利用にみる森林文化－文化的要素の抽出および文化動態の解釈の試み－	林業経済学会2019年春 季大会シンポジウム			2019

3) 著書

著者名	題目	著書名	発行会社	頁	年
Kobayashi HH, Kudo H, Glotin H, Roger V, Poupard M, Shimotoku D, Fujiwara A, Nakamura K, Saito K, Sezaki K	A real-time streaming and detection system for bio-acoustic ecological studies after the Fukushima accident	Multimedia Tools and Applications for Environmental & Biodiversity Informatics. Multimedia Systems and Applications; Joly A, Vrochidis S, Karatzas K, Karppinen A, Bonnet P (eds.)	Springer	53-66	2018
Yamada T	Radiocesium dynamics in wild mushrooms during the first five years after the Fukushima accident	Agricultural Implications of the Fukushima Nuclear Accident (III) After 7 Years; Nakanishi TM, Martin O'Brien M, Tanoi K (eds.)	Springer	123-139	2019
Kamata N, Kuraji K, Owari T, Guan BT (eds.)		Developing a Network of Long-term Research Field Stations to Monitor Environmental Changes and Ecosystem Responses in Asian Forests	The University of Tokyo Forests Press	282pp	2019
Fukuda K, Kuraji K, Owari T, Yasumura N, Kamata N		Developing a Network of Long-term Research Field Stations to Monitor Environmental Changes and Ecosystem Responses in Asian Forests; Kamata, N, Kuraji K, Owari, T (eds.)	The University of Tokyo Forests Press	3-23	2019
Kuraji K, Tanaka N, Gomyo M	Long-term hydrological and meteorological observation at Ananomiya and Shirasaka Experimental Watershed, Ecohydrology Research Institute, the University of Tokyo Forests	Developing a Network of Long-term Research Field Stations to Monitor Environmental Changes and Ecosystem Responses in Asian Forests; Kamata, N, Kuraji K, Owari, T (eds.)	The University of Tokyo Forests Press	81-95	2019
Tanaka N, Tantasirin C, Aranyabhaga N, Thitrojanawat P, Saphaokham S, Arunpraparut W, Kuraji K	Long-term ecohydrological data at Kog-Ma, Mae Moh and rainfall data at Mae Chaem watershed in northern Thailand	Developing a Network of Long-term Research Field Stations to Monitor Environmental Changes and Ecosystem Responses in Asian Forests; Kamata, N, Kuraji K, Owari, T (eds.)	The University of Tokyo Forests Press	125-140	2019
Kamata N, Suzuki SN	Long-term ecological research sites in the University of Tokyo Forests	Developing a Network of Long-term Research Field Stations to Monitor Environmental Changes and Ecosystem Responses in Asian Forests; Kamata, N, Kuraji K, Owari, T (eds.)	The University of Tokyo Forests Press	169-184	2019
Suzuki SN, Marod D	Future studies on ecological research plots of Asian university forests	Developing a Network of Long-term Research Field Stations to Monitor Environmental Changes and Ecosystem Responses in Asian Forests; Kamata, N, Kuraji K, Owari, T (eds.)	The University of Tokyo Forests Press	193-206	2019

2018年度 研究 著書

著者名	題目	著書名	発行会社	頁	年
Kamata N	Long-term phenology data of woody plants at the University of Tokyo Hokkaido Forest	Developing a Network of Long-term Research Field Stations to Monitor Environmental Changes and Ecosystem Responses in Asian Forests; Kamata, N, Kuraji K, Owari, T (eds.)	The University of Tokyo Forests Press	207-216	2019
Owari T, Toyama K, Suzuki SN, Hiroshima T, Ishibashi S	Long-term growth records of <i>Cryptomeria japonica</i> plantations at the University of Tokyo Forests, Japan	Developing a Network of Long-term Research Field Stations to Monitor Environmental Changes and Ecosystem Responses in Asian Forests; Kamata, N, Kuraji K, Owari, T (eds.)	The University of Tokyo Forests Press	219-231	2019
安村直樹	里エネ利用のルネサンス	森林のルネサンス 先駆者からの未来への発信 一般社団法人林業経済研究所(編)	日本林業調査会	49-55	2018
齋藤暖生	特用林産と森林社会	森林のルネサンス 先駆者からの未来への発信 一般社団法人林業経済研究所(編)	日本林業調査会	129-136	2018
福井 大	森林景観におけるコウモリの多様性と保全	森林と野生動物 小池伸介・山浦悠一・滝 久智(編)	共立出版	136-154	2019
古谷勝則・伊藤 弘・高山範理・水内佑輔(編)		実践風景計画学 ―読み取り・目標像・実施管理―	朝倉書店	164pp	2019
蔵治光一郎・坂井マスマ・安村直樹(編)		気持ちよく納められる森林環境税とは?	東京大学演習林出版局	109pp	2019
齋藤暖生	自然資源の共有をめぐる知恵と苦悩	勇払原野のハスカップ市民史:ハスカップとわたし 苦東環境コモンズ(編)	中西出版	186-196	2019

4) 演習林を利用して行った論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年	演習林
Fukui S, May-McNally SL, Taylor EB, Koizumi I	Maladaptive secondary sexual characteristics reduce the reproductive success of hybrids between native and non-native salmonids	Ecology and Evolution	8 (23)	12173-12182	2018	北海道
Miyamoto Y, Narimatsu M, Nara K	Effects of climate, distance, and a geographic barrier on ectomycorrhizal fungal communities in Japan: A comparison across Blakiston's Line	Fungal Ecology	33	125-133	2018	北海道
Oshida T, Komoto A, Shibatani M, Yoshikawa Y, Sato D	Do Siberian Flying Squirrels reuse nest materials made by other individuals?	Acta Zoologica Academiae Scientiarum Hungaricae	64(2)	185-192	2018	北海道
Jayathunga S, Owari T, Tsuyuki S	The use of fixed-wing UAV photogrammetry with LiDAR DTM to estimate merchantable volume and carbon stock in living biomass over a mixed conifer-broadleaf forest	International Journal of Applied Earth Observation and Geoinformation	73	767-777	2018	北海道
Kitamura K, Nakanishi A, Lian C, Goto S	Distinctions in fine-scale spatial genetic structure between growth stages of <i>Picea jezoensis</i> Carr.	Frontiers in Genetics, Evolutionary and Population Genetics	9	Article 490; 10pp	2018	北海道
Ueno S, Nakamura Y, Kobayashi M, Terashima S, Ishizuka W, Uchiyama K, Tsumura Y, Yano K, Goto S	TodoFirGene: Developing transcriptome resources for genetic analysis of <i>Abies sachalinensis</i>	Plant Cell Physiology	59(6)	1276-1284	2018	北海道
Moe KT, Owari T, Jayathunga S, Furuya N, Hiroshima T	Discriminating high-value broadleaf trees from UAV (Unmanned Aerial Vehicle) imagery in the University of Tokyo Hokkaido Forest, Japan	Proceedings of "The8th Symposium of Asian University Forest Consortium"		23	2018	北海道
Iwakiri A, Sakaue D, Matsushita N, Fukuda K	Genet distribution of <i>Racodium therryanum</i> in the nursery of <i>Picea glehnii</i> in UTokyo Hokkaido Forest	Proceedings of "The8th Symposium of Asian University Forest Consortium"		27	2018	北海道
Kimura K, Kimura N, Oikawa N	Fundamental plant survey in the University of Tokyo Hokkaido Forest	Proceedings of "The8th Symposium of Asian University Forest Consortium"		35	2018	北海道
Kamata N	Long-term forest insect research using litter traps: treasures in litter	Proceedings of "The8th Symposium of Asian University Forest Consortium"		60	2018	北海道
Fukui D & Vertebrate Group, Biology Division, Fundamental Data Development Committee	Wildlife monitoring in the University of Tokyo Forests	Proceedings of "The8th Symposium of Asian University Forest Consortium"		64	2018	北海道
Haraguchi R, Hirao T, Yamada T	Detection and absolute quantification of <i>Serpula himantoides</i> in decayed wood of <i>Chamaecyparis pisifera</i> by real-time PCR method	Proceedings of "The8th Symposium of Asian University Forest Consortium"		37	2018	秩父
Ueno S, Nakamura Y, Kobayashi M, Terashima S, Ishizuka W, Uchiyama K, Tsumura Y, Yano K, Goto S	Transcriptome resources of <i>Abies sachalinensis</i> in Hokkaido, Japan	AForGeN Meeting 2018, Kranjska Gora, Slovenja			2018	北海道

2018年度 研究 演習林を利用して行った論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一号	頁	年	演習林
Furuya N, Hirata Y, Owari T, Sakaue D, Inukai S, Nakagawa Y, Tohkuni M	Assessment of sustainable forest management of a mixed conifer-broadleaf forest by combinations of airborne Lidar and UAV observation (航空機ライダーとUAV観測を組み合わせた針広混交林の持続的管理の評価)	ForestSat2018		154, P-69	2018	北海道
Liu P, Cheng A, Huang S, Chang H, Oshida T, Yu H	Variations in gut microbiota of Siberian flying squirrels correspond to seasonal phenological changes in their Hokkaido subarctic forest ecosystem	Microbial Ecology		PP9	2018	北海道
Shimura K, Suzuki S, Kachi N, Suzuki J	What determines spatial seedling / sapling distributions of an unpalatable plant, <i>Pterostyrax hispida</i> in mountainous valley?	6th Taiwan – Japan Ecology Workshop		98	2018	秩父
Saihanna S, Tanaka T, Okamura Y, Kusumoto B, Shiono T, Hirao T, Kubota Y, Murakami M	A paradox of latitudinal leaf defense strategies in deciduous and evergreen broadleaved trees	Ecological Research	33	1011-1017	2018	秩父
Umeki K, Kawasaki M, Shigyo N, Hirao T	Inter- and intraspecific patterns in resprouting of trees in undisturbed natural forests along an elevational gradient in central Japan	Forests	9	672	2018	秩父
Yoshida M, Sakurai R, Sakai H	Forest road planning using precision geographic data under climate change	International Journal of Forest Engineering Special Issue “The role of Forest Operations in climate change affected forests”		1-9	2018	秩父
Suzuki SN, Hirao T	Recruitment drives successional changes in the community-level leaf mass per area in a winter-deciduous broad-leaf forest	Journal of Vegetation Science	29	756-764	2018	秩父
Kasuya T, Ono Y	<i>Herpobasidium filicinum</i> (Eocronartiaceae, Platygloales) occurs on <i>Dennstaedtia wilfordii</i> (Dennstaedtiaceae) in Japan	Mycoscience	59	443-448	2018	富士
Jayathunga S, Owari T, Tsuyuki S	Digital aerial photogrammetry for uneven-aged forest management: Assessing the potential to reconstruct canopy structure and estimate living biomass	Remote Sensing	11(3)	338 (22pp)	2019	北海道
Shigyo N, Umeki K, Hirao T	Plant functional diversity and soil properties control elevational diversity gradients of soil bacteria	FEMS Microbiology Ecology	95	fiz025	2019	秩父
Saito H, Horiuchi M, Takayama N, Fujiwara A	Effects of managed forest versus unmanaged forest on physiological restoration from a stress stimulus, and the relationship with individual traits	Journal of Forest Research	24(2)	77-85	2019	富士
Fukuda K, Kuraji K, Owari T, Yasumura N, Kamata N	Chapter 1 The University of Tokyo Forests	Developing a Network of Long-term Research Field Stations to Monitor Environmental Changes and Ecosystem Responses in Asian Forests. Kamata N, Kuraji K, Owari T, Guan BT (eds.)		3-23	2019	北海道

2018年度 研究 演習林を利用して行った論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一号	頁	年	演習林
Kamata N, Suzuki SN	Chapter 12 Long-term Ecological Research Sites in the University of Tokyo Forests	Developing a Network of Long-term Research Field Stations to Monitor Environmental Changes and Ecosystem Responses in Asian Forests. Kamata N, Kuraji K, Owari T, Guan BT (eds.)		169-184	2019	北海道
Suzuki SN, Marod D	Chapter 14 Future Studies on Ecological Research Plots of Asian University Forests	Developing a Network of Long-term Research Field Stations to Monitor Environmental Changes and Ecosystem Responses in Asian Forests. Kamata N, Kuraji K, Owari T, Guan BT (eds.)		193-206	2019	北海道
Kamata N	Chapter 15 Long-term Phenology Data of Woody Plants at the University of Tokyo Hokkaido Forests	Developing a Network of Long-term Research Field Stations to Monitor Environmental Changes and Ecosystem Responses in Asian Forests. Kamata N, Kuraji K, Owari T, Guan BT (eds.)		207-216	2019	北海道
Jayathunga S	Applicability of unmanned aerial vehicles (UAVs) for uneven-aged forest management planning: A study in a mixed conifer-broadleaf forest in Northern Japan 異齢林管理計画への無人航空機(UAV)の利用可能性:北日本の針広混交林を対象として	東京大学 博士論文		195pp	2018	北海道
執行宣彦	Spatio-temporal variability of soil microbial communities and their identity for litter decomposition in cool-temperate montane forests (冷温帯林の土壤微生物群集の時空間変動性と落葉分解に対する固有性)	東京大学 博士論文		181pp	2019	秩父
Tayier D	Estimation of tree height from single detection using small-footprint airborne LiDAR and aerial photography in a coniferous plantation forest in Saitama, Japan	東京大学 修士論文		103pp	2018	秩父
金道知聖	光資源や養分の偏りおよび地中の障害物がタケの成長や資源分配に与える影響	東京大学 修士論文		61pp	2019	田無
小原 茜	シカ食害下の地上と地下のつながりが樹木の実生動態に及ぼす影響	東京大学 修士論文		131pp	2019	秩父
永谷 有	J-クレジット制度森林管理プロジェクトのモニタリングにおける航空レーザー計測データの活用	東京大学 卒業論文		19pp	2019	秩父
本多 晃	ブナ(<i>Fagus crenata</i> Blume)の通水特性の産地間変異	東京大学 卒業論文		26pp	2019	秩父
田中宏明	二次林の直径分布の推移に関する分析	東京大学 卒業論文		35pp	2019	秩父
原巳美子	亜高山帯林の倒木イワダレゴケに着生するシアノバクテリアの分布	東京大学 卒業論文		64pp	2019	秩父
谷川鴻介	Habitat selection of mammalian species in a cool-temperate montane forest - its seasonal fluctuation and inter-specific differentiation - (冷温帯林における哺乳類の生息場所選択:季節変動と種間差)	東京大学 卒業論文		33pp	2019	秩父

2018年度 研究 演習林を利用して行った論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年	演習林
芝野萌菜実	非林冠構成種ヒナウチワカエデ (<i>Acer tenuifolium</i>) の秩父山地における遺伝構造	東京大学 卒業論文		70pp	2019	秩父
岩切鮎佳	苗畑と造林地における暗色雪腐病菌の集団遺伝構造	東京大学 卒業論文		79pp	2019	北海道
奥村 葉	カカオボッドハスクからのセルロースナノファイバーの調製	東京大学 卒業論文		56pp	2019	樹芸
Fukui S	Mechanisms of sustainable introgressive hybridization between native white-spotted charr (<i>Salvelinus leucomaenis</i>) and non-native brook trout (<i>S. fontinalis</i>)	北海道大学 博士論文		97pp	2019	北海道
鈴木開士	流域地質の違いによる水温変動と冷水性魚類の生息環境—温暖化の影響を考慮して—	北海道大学 卒業論文		30pp	2019	北海道
中川 駿	富良野市における地域資源を活用した自然体験活動の発展を目指して	北海道教育大学 卒業論文		66pp	2019	北海道
寺口翔馬	富良野市東京大学北海道演習林を活用した森林教育プログラムの開発と実践	北海道教育大学 卒業論文		44pp	2019	北海道
橋本澤奈	タイリクモモンガ <i>Pteromys volans</i> の基礎繁殖生態学的研究—異なる季節・年・生息環境により繁殖パターンは異なるか?—	帯広畜産大学 修士論文		69pp	2019	北海道
土佐泰志	異なる森林植生に生息する齧歯類の巣箱利用性の研究	帯広畜産大学 修士論文		61pp	2019	北海道
山下聡子	北海道山間部天然林におけるヒメネズミの産仔数と性比の季節変動について	帯広畜産大学 卒業論文		28pp	2019	北海道
大北 慧	火山地域におけるタンクモデルを用いた一時河川の挙動解明	筑波大学 卒業論文		45pp	2019	富士
森塚晶人	音声情報を使用した森林性鳥類群集の研究—季節変化・環境要因の解明と音声自動認識の検討—	千葉大学 修士論文		47pp	2019	秩父
岩崎未季	奥秩父山地における実生動態の解析	千葉大学 修士論文		22pp	2019	秩父
末 歩美	空間的自己相関を考慮した奥秩父山地天然林主要樹種の個体群統計学的パラメータの推定	千葉大学 卒業論文		23pp	2019	秩父
田中 舞	奥秩父山地天然林の山火事跡地における萌芽発生パターン	千葉大学 卒業論文		13pp	2019	秩父
牧野結衣	奥秩父山地における自動撮影カメラを用いたシカ生息状況の把握	千葉大学 卒業論文		24pp	2019	秩父
丸山なつめ	奥秩父天然林における林床気温の推定	千葉大学 卒業論文		15pp	2019	秩父
山崎浩介	菌従属栄養植物ギンリョウソウのマイクロサテライトマーカーの開発	千葉大学 卒業論文		13pp	2019	秩父
志村綱太	Field and experimental studies of the effects of environmental factors on survival and growth of a pioneer tree, <i>Pterostyrax hispida</i>	首都大学東京 修士論文		60pp	2019	秩父
竹島典良	冷温帯の落葉広葉樹林における樹冠遮断特性の季節変動	東京農業大学 卒業論文		58pp	2019	秩父
小佐野真	冷温帯落葉広葉樹林における蒸散量の季節変動	東京農業大学 卒業論文		60pp	2019	秩父
三次充和	千葉県外房地域における在来ヌマエビ類の分布様式と外来ヌマエビの分類学および生活史に関する研究	鹿児島大学 博士論文		123pp	2019	千葉
鎌田直人	東京大学北海道演習林における樹木のフェノロジーデータで元データが紛失した1938~1950年の期間平均値の推定	東京大学農学部演習林報告	140	1-13	2019	北海道
才木道雄・高德佳絵・五十嵐勇治・原口竜成	秩父演習林における再生林固定試験地林分成長資料(2017)	演習林(東大)	61	19-25	2019	秩父
高德佳絵・原口竜成・大村和也・五十嵐勇治・藤平晃司	秩父演習林における人工林固定測定試験地成長資料(2014~2017年)	演習林(東大)	61	27-33	2019	秩父
鎌田直人・木村徳志・井口和信・福岡 哲・小川 瞳・笠原久臣・芝野伸策・高橋康夫・犬飼雅子・佐々木忠兵衛・功力六郎・佐々木与八	東京大学北海道演習林における1930~2010年の長期樹木フェノロジーデータ	演習林(東大)	61	45-63	2019	北海道
原口竜成・齋藤俊浩・吉田弓子・高德佳絵・丹羽悠二・五十嵐勇治	秩父演習林大面積プロットにおける毎木調査資料(2014年)【修正版】	演習林(東大)	61	75-81	2019	秩父

2018年度 研究 演習林を利用して行った論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年	演習林
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会水文水質部門	東京大学演習林水文観測・水質分析報告(自2016年1月至2016年12月)	演習林(東大)	61	83-115	2019	北海道
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会気象部門	東京大学演習林気象報告(自2017年1月至2017年12月)	演習林(東大)	61	117-147	2019	北海道
美濃羽靖・尾張敏章・中島徹・犬飼 浩	立木の外観指標と選木者の選木経験が天然林択伐施業の選木意思決定に及ぼす影響	日本森林学会誌	100(2)	37-46	2018	北海道
美濃羽靖・尾張敏章・中島徹・犬飼 浩	天然林択伐施業における選木規則の抽出:機械学習を用いたアプローチ	日本森林学会誌	100(6)	208-217	2018	北海道
坂上大翼・木村徳志・福岡哲・後藤 晋	採種園産トドマツ実生後代の苗木における初期生育の母樹家系間差	北方森林研究	67	29-32	2019	北海道
軽込 勉・米道 学・里見重成・梁瀬桐子・久本洋子	ヒメコマツにおけるさし穂サイズと発根および冬芽の関係	関東森林研究	69(2)	123-126	2018	千葉
梁瀬桐子・水谷瑞希・佐藤貴紀・荒木田義隆・松井理生・高德佳絵・才木道雄	ヤマガラとシジウカラの巣箱調査による繁殖特性の長期トレンドの解明	中部森林研究	66	45-48	2018	生態 水文
坂上大翼・木村徳志・福岡哲・後藤 晋	東京大学北海道演習林におけるエゾマツ採取園の造成ーエゾマツ更新問題再考ー	北海道の林木育種	61(1)	15-22	2018	北海道
坂上大翼・木村徳志・福岡哲	東京大学北海道演習林におけるカラマツ属交雑育種試験地の現在(5)ー種間交雑第2代および戻し交雑第1代家系の40年後の生育ー	北海道の林木育種	61(2)	1-7	2018	北海道
門松昌彦	ふたつのナラ類産地試験の設定余談	北海道の林木育種	61(2)	8-11	2018	北海道
辰巳晋一	International Journalから ササ密度は中径針葉樹の下で薄い	北方林業	70(1)	32-35	2019	北海道
丹羽悠二・遠国正樹・木村恒太・楠本 大	マルチコプター型ドローンを使った大型哺乳類センサスの可能性	森林防疫	67(3)	25-30	2018	北海道
山田利博	福島原発事故後の東京大学演習林におけるキノコの放射性セシウム動態	水利科学	364	81-99	2018	北海道
齋藤暖生	富士山北面における生業の展開と保護地域制度	国立歴史民俗博物館研究報告	215	9-32	2019	富士
後藤 晋・内山憲太郎・上野真義・石塚 航・北村系子	トドマツ連鎖地図構築に有用なEST-SSR マーカーの開発	森林遺伝育種学会第7回大会講演要旨集			2018	北海道
山崎 有・舟山幸子・種子田春彦・後藤 晋	産地標高で異なる形態形質はどのように遺伝するか? :トドマツの交雑実験による検証	森林遺伝育種学会第7回大会講演要旨集			2018	北海道
久本洋子・伊原徳子・種子田春彦・平尾聡秀・後藤 晋	北方針葉樹3種の温暖化ストレス応答に関わるトランスクリプトーム解析	森林遺伝育種学会第7回大会講演要旨集			2018	北海道
内山憲太郎・上野真義・森英樹・後藤 晋	発見遺伝子情報を用いたトドマツの環境適応候補遺伝子のマッピング	森林遺伝育種学会第7回大会講演要旨集			2018	北海道
鈴木野々花・押田龍夫	ヒメネズミの母親による繁殖巣箱の継続利用	日本哺乳類学会2018年度大会		131	2018	北海道
土佐泰志・押田龍夫	異なる森林植生間における樹上性齧歯類による樹上貯食物の比較(予報)	日本哺乳類学会2018年度大会		133	2018	北海道
橋本滯奈・押田龍夫	北海道の山間部天然林におけるエゾモモンガ <i>Pteromys volans orii</i> の繁殖パターンの年変動について(予報)	日本哺乳類学会2018年度大会		133	2018	北海道
岩切鮎佳・坂上大翼・松下範久・福田健二	アカエゾマツの苗木における暗色雪腐病菌のジェネット分布	樹木医学会第23回大会			2018	北海道
坂上大翼	横打撃共振周波数に及ぼす樹幹凍結と木部含水率の影響ーシラカンバ円板を用いた検討ー	樹木医学会第23回大会			2018	北海道
森塚晶人・梅木 清・平尾聡秀	奥秩父山地における鳥類相と環境要因との関係に対する季節の影響	日本鳥学会2018年度大会		127	2018	秩父
Moe KT, Owari T, Jayathunga S, Furuya N, Hiroshima T	Quantifying individual tree parameters of large-sized high-value trees using unmanned aerial vehicle(UAV)	第130回日本森林学会大会学術講演集		121	2019	北海道
山崎 有・種子田春彦・後藤 晋	トドマツの高山環境への遺伝的適応:光合成活性とカロチノイドに着目して	第130回日本森林学会大会学術講演集		128	2019	北海道

2018年度 研究 演習林を利用して行った論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年	演習林
芝野萌菜実・齋藤陽子・井出雄二・内山憲太郎	秩父山地におけるヒナウチワカエデの空間遺伝構造	第130回日本森林学会大会学術講演集		130	2019	秩父
小原 茜・岩崎未季・梅木清・平尾聡秀	シカ食害下の地上部-地下部相互作用が樹木の実生動態に及ぼす影響	第130回日本森林学会大会学術講演集		139	2019	秩父
田中翔大・梅木 清・平尾聡秀	環境要因が天然林の萌芽動態に及ぼす影響:種の機能形質による応答の違い	第130回日本森林学会大会学術講演集		139	2019	秩父
志村綱太・鈴木智之・可知直毅・鈴木準一郎	同一容量の鉢で直径の違いが木本実生の生残や成長に及ぼす影響	第130回日本森林学会大会学術講演集		143	2019	秩父
谷川鴻介・牧野結衣・三浦直子・梅木 清・平尾聡秀	地域スケールにおける森林棲中大型哺乳類の生息地選択と季節動態の解明	第130回日本森林学会大会学術講演集		169	2019	秩父
岩切鮎佳・坂上大翼・松下範久・福田健二	暗色雪腐病菌の苗畑と造林地における遺伝構造の比較	第130回日本森林学会大会学術講演集		172	2019	北海道
太田 瞳・松下範久・原口竜成・山田利博・福田健二	日本で発見されたナミダタケモドキの新たな隠蔽種	第130回日本森林学会大会学術講演集		172	2019	秩父
原口竜成・平尾聡秀・山田利博	サワラ腐朽材中および土壌中のナミダタケモドキの検出および絶対定量	第130回日本森林学会大会学術講演集		175	2019	秩父
執行宣彦・梅木 清・平尾聡秀	落葉分解における土壌微生物群集の固有性	第130回日本森林学会大会学術講演集		177	2019	秩父
平田泰雅・古家直行・坂上大翼・尾張敏章・鎌田直人	航空機レーザースキャナーデータの天然林管理への応用	第130回日本森林学会大会学術講演集		205	2019	北海道
後藤 晋・種子田春彦・久本洋子・伊原徳子・平尾聡秀	温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答-3年間の生残と成長-	第130回日本森林学会大会学術講演集		212	2019	北海道・秩父
田沼美雪・梅木 清・平尾聡秀	奥秩父山地における落葉分解過程に対する落葉形質と環境要因の影響	第130回日本森林学会大会学術講演集		218	2019	秩父
水谷瑞希・梁瀬桐子・佐藤貴紀	気候変動がヤマガラ、シジウカラの初卵日に及ぼす影響	第130回日本森林学会大会学術講演集		226	2018	生態 水文
尾張敏章・Sadcepa Jayathunga・鈴木智之・森本淳子・平田泰雅	台風被害に伴う針広混交林の長期的変化:旧空中写真を用いた分析	第130回日本森林学会大会学術講演集		244	2019	北海道
古家直行・平田泰雅・尾張敏章・坂上大翼・大飼慎也・中川雄治・遠國正樹	針広混交天然林の施業管理のためのマルチセンサ観測	第130回日本森林学会大会学術講演集		244	2019	北海道
坂上大翼・古家直行	マルチスペクトル・熱赤外センサによるブナ環状剥皮木の水ストレス検出	第130回日本森林学会大会学術講演集		245	2019	北海道
鈴木智之・綱本良啓・松尾歩・下野綾子・久本洋子・蒔田明史・陶山佳久	衰退過程にあるスズタケの景観的遺伝構造: MIG-seqによる解析	第130回日本森林学会大会学術講演集		267	2019	秩父
梅木 清・川崎 満・執行宣彦・平尾聡秀	奥秩父山地の非攪乱森林における樹木萌芽生産の種間・種内のパターン	第130回日本森林学会大会学術講演集		272	2019	秩父
石橋整司・前原 忠	センサーカメラの撮影画像による東京大学秩父演習林のクマ剥ぎ行動の解析	第130回日本森林学会大会学術講演集		285	2019	秩父
志村綱太・鈴木智之・可知直毅・鈴木準一郎	オオバアサガラ実生・稚樹の分布に溪流沿いの微環境が及ぼす影響	日本生態学会第66回全国大会			2019	秩父
鈴木智之	クロノシーケンスの長期観測によって示された林分成長量の加速	日本生態学会第66回全国大会			2019	秩父
深澤 遊・小南裕志・高木正博・松倉君子・田中延亮・鈴木智之・小林 真・竹本周平・衣浦晴生・上村真由子・門脇浩明・宮崎 怜・山下 聡・潮 雅之・岡野邦宏	コナラ枯死木の分解過程にナラ枯れが与える影響	日本生態学会第66回全国大会			2019	秩父
小南裕志・深澤 遊・高木正博・松倉君子・田中延亮・鈴木智之・小林 真・竹本周平・衣浦晴生・上村真由子・門脇浩明・宮崎 怜・山下 聡・潮 雅之	ナラ枯れ枯死木の分解CO2放出量の広域環境応答	日本生態学会第66回全国大会			2019	秩父

2018年度 研究 演習林を利用して行った論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年	演習林
鈴木智之・石原正恵・日野貴文	全国レベルでの温度勾配に沿った樹種構成の変化	日本生態学会第66回全国大会			2019	秩父
倉本恵生・伊東宏樹・津山幾太郎・関 剛・飯田滋生	種子供給の観点からみたトドマツ人工林内のカバノキ母樹の雄花・果実生産	第67回北方森林学会大会			2018	北海道
梁瀬桐子・水谷瑞希・佐藤貴紀・荒木田善隆・松井理生・高德佳絵・才木道雄	ヤマガラとシジュウカラの繁殖特性についての検討	第8回中部森林学会大会		22	2018	生態 水文
中川 駿・安藤秀俊	富良野市東大演習林における森林体験プログラムの実践	日本理科教育学会北海道支部大会			2018	北海道
内山憲太郎・後藤 晋	マイクロリ्यूーディクス技術を用いたゲノミクスー トドマツの標高に沿った環境適応の研究を例に	日本育種学会フリューダイトム株式会社ランチョンセミナー			2018	北海道
今村直広・五名美江・田中延亮	東海地方で発生したナラ枯れによる硝酸態窒素流出量の変化	生物地球科学研究会2018年度セッション			2018	生態 水文
古家直行・平田泰雅・尾張敏章・坂上大翼・犬飼慎也・中川雄治・遠國正樹	天然林持続的の管理のためのマルチセンサを用いた森林モニタリング	日本写真測量学会北海道支部会報			2019	北海道
志村綱太	先駆樹種オオバアサガラの生残や成長に環境要因がおよぼす影響:野外調査と栽培実験による検討	第39回関東地区生態学関係修士論文発表会			2019	秩父
村川功雄・鈴木 勝	東京大学千葉演習林から千葉県初記録の甲虫2種を確認	房総の昆虫	63	47	2018	千葉
萩原 昇	東大秩父演習林(秩父市大滝 滝川)で確認した蛾の記録(2016・2017年)	寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会誌)	169	23-28	2018	秩父
萩原 昇	東大秩父演習林(秩父市大滝 入川)で確認した蛾の記録(2016・2017年)	寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会誌)	169	29-36	2018	秩父
萩原 昇	東大秩父演習林(川俣学生宿舎)で確認した蛾の記録(2016・2017年)	寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会誌)	169	37-43	2018	秩父
阿部 功	2012年～2016年東大秩父演習林で採集された蛾類	寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会誌)	169	56-68	2018	秩父
水上久雄	東京大学秩父演習林等にて2015年に採集した蛾	寄せ蛾記(埼玉昆虫談話会誌)	170	47-53	2018	秩父
大村和也・齋藤俊浩・五十嵐勇治・原口竜成	2017年11月に秩父演習林で発生した山火事	平成30年度技術職員等試験研究・研修会議報告		29-34	2019	秩父
千嶋 武	奥秩父山地の登山道の歴史と現状～歴史的要素を組み入れた体験プログラムの開発	平成30年度技術職員等試験研究・研修会議報告		55-58	2019	秩父
齋藤俊浩	下層植生衰退前後の環境音変化の評価と教育用デジタルコンテンツの作成	平成30年度技術職員等試験研究・研修会議報告		59-62	2019	秩父
五十嵐勇治・大村和也・吉田弓子	秩父演習林の施設紹介―路網―	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集 2018年度		54-55	2019	秩父
原口竜成・吉田弓子・高德佳絵・才木道雄・藤平晃司・島崎雅美・内田理恵	秩父演習林におけるリタートラップを用いた落葉落枝・落下種子調査	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集 2018年度		62-63	2019	秩父
才木道雄	ヨタカのさえずりの季節的・時間的変異と効率的な生息調査法	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集 2018年度		82-83	2019	秩父

2018年度 研究 演習林を利用して行った論文等

2018年度以前に発表し、これまで発行の年報に未掲載の論文

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年	演習林
平野友幹	モクセイ科における二対立遺伝子型自家不和合性と異花柱性の進化	京都大学 修士論文		64pp	2016	田無
山口彩花	フジにおける多重形成層の構造	東京大学 修士論文		47pp	2016	田無
岡野めぐみ	ヒノキの更新特性からみたヒノキ広葉樹混交林が成立する要因の解明	京都大学 修士論文		40pp	2017	生態水文
菅井徹人	モミ属の生態・施業に関するIUFRO国際会議—Post Conference Tour 報告—	北方林業	68(1)	28-29	2017	北海道
古家直行・平田泰雅・尾張敏章・坂上大翼・中川雄治・遠國正樹	UAV・空中写真による針広混交天然林の針葉樹資源量推定	第25回生研フォーラム論文集		9-10	2017	北海道
安藤岳洋	アサダ (<i>Ostrya japonica</i>) の種内遺伝構造および房総半島の隔離分布集団における遺伝的特徴	東京大学 修士論文		89pp	2018	北海道
Khaing WH	Production of cellulose nanofiber from young, immature Moso bamboo (<i>phyllostachys pubescens</i>)	東京大学 修士論文		48pp	2018	田無
染谷祐太郎	暗所処理によるスギコンテナ苗の伸長成長抑制に関する研究	東京大学 修士論文		33pp	2018	田無
高木豊大	旧薪炭林における伐採と防鹿柵の設置が植物成長と防御に与える影響	東京大学 修士論文		41pp	2018	田無

項目「演習林」は利用した地方演習林を示す。

(千葉:千葉演習林, 北海道:北海道演習林, 秩父:秩父演習林, 田無:田無演習林, 生態水文:生態水文学研究所, 富士:富士癒しの森研究所, 樹芸:樹芸研究所)

5) 受賞・特許等

第8回アジア大学演習林シンポジウム ポスター賞

受賞者氏名	題 目
Syaiful Amri Saragih	Trap captures of ambrosia and bark beetles in relation to maple tree weakening

日本鳥学会内田奨学賞

受賞者氏名	関連論文等
才木道雄	秩父山地におけるヨタカのさえずり頻度の季節的变化(才木2016) さえずり頻度の時間的変異を考慮したヨタカの効率的な生息調査法 (才木・後藤2017)

2018年度業務改革理事賞

受賞者氏名	題 目
木村恒太・中川 雄治・小川 瞳	野外調査データ収集作業へのタブレット端末活用による業務効率化

第32回林業科学技術振興賞(研究支援功労賞)

国土緑化推進機構理事長賞

受賞者氏名	題 目
村川功雄	千葉県房総半島における昆虫相インベントリー調査を通じた森林生態研究支援

第130回日本森林学会大会 学生ポスター賞

受賞者氏名	題 目
林政・風致・観光・教育分野	
陳 元君・ 石橋整司	中国海南省鸚哥嶺自然保護区管理における先住民護林員の活動
経営・利用・特用林産分野	
Kyaw Thu Moe・ Toshiaki Owari・ Sadeepa Jayathunga・ Naoyuki Furutya・Takuya Hiroshima	Quantifying individual tree parameters of large-sized high-value trees using unmanned aerial vehicle (UAV)
植物生態分野	
田中翔大・梅木 清・平尾聡秀	環境要因が天然林の萌芽動態に及ぼす影響:種の機能形質による応答の違い

第17回林業経済学会奨励賞

受賞者氏名	題 目
齋藤暖生	林野における資源採取活動に関する学際的研究の展開

6) 外部資金によって行われた研究

科学研究費補助金

氏名	研究種目	研究課題	研究代表者	代表者所属
鎌田直人・ 楠本 大・ 竹本周平	基盤研究(A)(海外)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	鎌田直人	東京大学
後藤 晋・ 久本洋子	基盤研究(A)	気候変動の影響緩和を目指した北方針葉樹の環境適応ゲノクス	後藤 晋	東京大学
尾張敏章・ 鈴木智之	基盤研究(A)	北方林における気候変動への適応:生態系レジリエンスの保全をめざした生態系管理	森本淳子	北海道大学
広嶋卓也	基盤研究(A)	分布型水土流出モデルの長期解析に基づく流木被害軽減のための森林管理手法の検討	堀田紀文	東京大学
鎌田直人	基盤研究(B)	環境DNAを用いた森林葉食性昆虫の天敵微生物のモニタリング技術の開発	鎌田直人	東京大学
山田利博・ 平尾聡秀	基盤研究(B)	微生物群集機能に基づく樹木の材腐朽進展プロセスの解明	山田利博	東京大学
鈴木智之	基盤研究(B)	枯死木が腐食連鎖系の群集組成と食物網構造に与える長期的影響の解明	鈴木智之	東京大学
鎌田直人・ 尾張敏章・ 坂上大翼	基盤研究(B)	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためのモニタリング手法の開発	平田泰雅	森林総合研究所
蔵治光一郎	基盤研究(B)	学校教育における木材の生産技術と森林の多面的機能の指導内容と評価に関する研究	東原貴志	上越教育大学
後藤 晋	基盤研究(B)	外生菌根菌 <i>Cenococcum geophilum</i> における耐塩性の分子基盤の解析	練 春蘭	東京大学
鈴木智之・ 田中延亮・ 竹本周平	基盤研究(B)	病虫害による大量枯死が森林生態系のCO ₂ 放出におよぼす影響の解明	深澤 遊	東北大学
齋藤暖生	基盤研究(B)	自然アクセス制度の国際比較ーコモンズ論の新展開にむけて	三俣 学	兵庫県立大学
三浦直子	基盤研究(B)	多様な在来種が生育する草地植生は河川堤防法面に創出可能か?	山田 晋	東京農業大学
藤原章雄・ 齋藤暖生	基盤研究(B) 特設分野研究	地域の健康を支える資源としての森林資源のポテンシャルと住民のニーズの把握	藤原章雄	東京大学
福井 大	基盤研究(C)	コウモリ類の音声モニタリングの汎用化に向けた音声データベースと識別方法の構築	福井 大	東京大学

氏名	研究種目	研究課題	研究代表者	代表者所属
広嶋卓也	基盤研究(C)	最適採材による用材・燃料材区分を考慮した都道府県別・間伐材生産量予測モデルの開発	広嶋卓也	東京大学
平尾聡秀・鈴木智之	基盤研究(C)	進化的トレードオフ・環境応答を考慮して非損傷個体からの萌芽発生的重要性を解明する	梅木 清	千葉大学
浅野友子	基盤研究(C)	豪雨時の山地河川における洪水の実態把握と予測精度向上	浅野友子	東京大学
尾張敏章・石橋整司・広嶋卓也・當山啓介	基盤研究(C)	森林経営史料と旧空中写真を用いたスギ高齢人工林の長期成長過程の定量的復元	尾張敏章	東京大学
齋藤暖生	若手研究(B)	自然資源採取・利用活動のアーカイブ化と地域における活用	齋藤暖生	東京大学
平尾聡秀	若手研究(B)	シカ食害による森林植生と土壌微生物相の機能的変化がリター分解に及ぼす影響の解明	平尾聡秀	東京大学
水内佑輔	若手研究	国立公園のアイデンティティの獲得に向けた昭和初期における国立公園成立史の拡充	水内佑輔	東京大学
齋藤暖生	挑戦的萌芽研究	再生エネルギー等利用促進のための法的小および社会的諸条件の検討ーCPRsの視点からー	神山智美	富山大学
山田利博・平尾聡秀	挑戦的研究(萌芽)	マイクロバイオームに基づく森林環境の評価手法の開発	山田利博	東京大学
福井 大	国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	頭蓋骨解剖学体系の枠組みから外れた未知の新奇形質「耳舌骨」の多角的解明	小薮大輔	武蔵野美術大学
福井 大	新学術領域研究(研究領域提案型)	コウモリのアクティブセンシングによるナビゲーション行動の包括的理解	飛龍志津子	同志社大学
軽込 勉	奨励研究	房総丘陵産ヒメコマツの生息域外保全の有効性の検証	軽込 勉	東京大学
執行宣彦	特別研究員奨励費	森林生態系における微生物間相互作用が土壌有機物の分解速度に及ぼす影響の解明	執行宣彦	東京大学

2018年度 研究 外部資金によって行われた研究

その他補助金

氏名	補助金等名称	研究課題	研究代表者	代表者所属
鎌田直人	研究拠点形成事業 (Bアジアアフリカ学術 基盤形成型)	アジア森林圏の環境変動と生態 系応答を把握する長期観測 フィールドのネットワーク構築	鎌田直人	東京大学

奨学寄付金

氏名	寄付目的	寄付者
石橋整司	松くい虫防除に関する研究	(公社)ゴルフ緑化促進会
久本洋子	荒川河川敷におけるハチクワ斉開花・枯死が地域生 態系に及ぼす影響のモニタリング	公益財団法人 山口育英奨学会
鎌田直人	天然林におけるミズナラ優良木の単木管理及び 樽材適性評価法の開発	サントリースピリッツ 株式会社
山田利博	学術研究の経費	サントリーホールディングス 株式会社
山田利博	炭素循環動態にかかる学術研究の経費	一般財団法人 自然環境研究センター
山田利博	森林動態にかかる学術研究の経費	一般財団法人 自然環境研究センター
石橋整司	炭素循環動態にかかる学術研究の経費	一般財団法人 自然環境研究センター
石橋整司	森林動態にかかる学術研究の経費	一般財団法人 自然環境研究センター
田中延亮	研究助成のため(水分析費)	(株)サクシードインヴェスト メント

受託研究

氏名	研究課題名	委託機関
當山啓介	山地災害リスクを低減する技術の開発	農林水産省
蔵治光一郎・田 中延亮・佐藤貴 紀・石橋整司	水源かん養機能モニタリング研究委託	豊田市
蔵治光一郎	タイ国における統合的な気候変動適応戦略の共創推進 に関する研究	JST
後藤 晋	北方森林生態系の温暖化に対するストレス対応プロセ スの解明	三井物産株式会社

共同研究

氏名	研究課題名	共同研究機関
久本洋子	造園植栽地を用いた植物の域外保全に関する研究	箱根植木株式会社
鎌田直人	環境変動下における森林生態系攪乱に対する 北海道演習林の順応的管理に関する研究	王子木材緑化(株) 北海道支店
嶋田重裕	地熱を活用した熱帯原産有用植物の国内生産と その利用に関する研究	(株)メリーチョコレート カムパニー

3. 社会連携

1) 学外各種委員会等委員

氏名	委員会等名称	委員会等所属機関
石橋整司	千葉県森林審議会森林保全部会	千葉県
石橋整司	鴨川市文化財保護審議会委員	鴨川市
石橋整司	千葉県土石採取対策審議会委員	千葉県
尾張敏章	日本森林学会代議員	一般社団法人 日本森林学会
尾張敏章	北方森林学会評議員	北方森林学会
久本洋子	英文誌編集主事	一般社団法人 日本森林学会
久本洋子	運営委員	竹林景観ネットワーク
久本洋子	千葉県ヒメコマツ協議会委員	千葉県
久本洋子	日本樹木医会技術部会員	一般社団法人 日本樹木医会
久本洋子	理事(技術)	樹木医学会
當山啓介	幹事(事務局)	木材利用システム研究会
當山啓介	企画運営委員会委員	森林計画学会
當山啓介	広報委員会委員	森林計画学会
當山啓介	主事(林業遺産選定)	一般社団法人 日本森林学会
村川功雄	鳥獣保護管理員	千葉県
米道 学	鳥獣保護管理員	千葉県
軽込 勉	鳥獣保護管理員	千葉県
鎌田直人	富良野市防災会議委員	富良野市
鎌田直人	富良野市総合戦略有識者会議委員	富良野市
鎌田直人	富良野市環境審議会委員	富良野市
鎌田直人	地域管理経営計画等に関する懇談会委員	北海道森林管理局
鎌田直人	日本昆虫学会英文誌編集部編集諮問委員	日本昆虫学会
鎌田直人	兼六園マツ等保全対策指導者	石川県
鎌田直人	北海道林木育種協会顧問	北海道林木育種協会
鎌田直人	北方森林学会幹事	北方森林学会
鎌田直人	北方森林学会評議員	北方森林学会
広嶋卓也	カーボン・オフセット認証運営委員会委員	カーボンオフセット協会
広嶋卓也	広報担当理事	森林計画学会
坂上大翼	北海道林木育種協会評議員	北海道林木育種協会
坂上大翼	北海道林木育種協会編集委員	北海道林木育種協会
坂上大翼	北海道林木育種協会地方連絡員	北海道林木育種協会
坂上大翼	北方森林学会幹事	北方森林学会
福井 大	日本生態学会 Ecological Research 編集委員	一般社団法人 日本生態学会
福井 大	生物音響学会理事	一般社団法人 生物音響学会
福井 大	和歌山市廃棄物処理に係る専門技術委員	和歌山市
福井 大	日本哺乳類学会代議員	一般社団法人 日本哺乳類学会
福井 大	日本哺乳類学会保護管理専門委員	一般社団法人 日本哺乳類学会
福井 大	日本哺乳類学会保護管理専門員 レッドデータ作業部会員	一般社団法人 日本哺乳類学会
福井 大	日本哺乳類学会分類群名・標本検討委員	一般社団法人 日本哺乳類学会
福井 大	日本哺乳類学会大会企画・将来構造委員	一般社団法人 日本哺乳類学会
福井 大	日本哺乳類学会奨励賞選考委員	一般社団法人 日本哺乳類学会
福井 大	日本哺乳類学会国際交流委員	一般社団法人 日本哺乳類学会
福井 大	日本哺乳類学会英文誌編集委員	一般社団法人 日本哺乳類学会
福井 大	北方森林学会幹事	北方森林学会
山田利博	樹木医学会理事会／編集委員会／評議員会	樹木医学会
山田利博	埼玉県特定鳥獣保護管理検討委員会	埼玉県
山田利博	甲信秩父ユネスコエコパーク 保全活用委員会	山梨県
山田利博	草加松原保全管理委員会	草加市
山田利博	特別天然記念物カモシカ保護対策事業 通常調査委員会	埼玉県
山田利博	モニタリングサイト1000コアサイト検討会	環境省

2018年度 社会連携 学外各種委員会等委員

氏名	委員会等名称	委員会等所属機関
山田利博	善養寺影向のマツ再生事業委員会	江戸川区／善養寺
山田利博	秩父地域森林林業活性化協議会	秩父市
山田利博	秩父地域鳥獣被害対策協議会	埼玉県
浅野友子	東京都森林審議会委員	東京都
平尾聡秀	JaLTER代表者委員会	JaLTER
平尾聡秀	JaLTER運営委員会	JaLTER
平尾聡秀	秩父地域森林林業活性化協議会幹事	秩父市
平尾聡秀	埼玉県環境科学国際センター客員研究員	埼玉県
鈴木智之	日本生態学会キャリア支援専門委員会	一般社団法人 日本生態学会
五十嵐勇治	秩父地域鳥獣被害対策協議会幹事会	埼玉県
五十嵐勇治	秩父地域森林林業活性化協議会分科会	秩父市
楠本 大	理事	樹木医学会
竹本周平	理事	樹木医学会
竹本周平	市民スタッフ	我孫子市鳥の博物館(教育委員会委嘱)
相川美絵子	技術部会	一般社団法人 日本樹木医学会
相川美絵子	広報委員	NPO法人 樹の生命を守る会
石橋整司	愛知県瀬戸市環境審議会委員	愛知県瀬戸市
石橋整司	愛知県犬山市環境審議会委員	愛知県犬山市
石橋整司	せと環境塾運営協議会委員	愛知県瀬戸市
石橋整司	猿投の森づくりの会・理事	日本山岳会東海支部
水内佑輔	学術委員会	公益社団法人 日本造園学会
水内佑輔	論文集委員会	公益社団法人 日本造園学会
水内佑輔	関東支部運営委員会	公益社団法人 日本造園学会
水内佑輔	中部支部常任運営委員	公益社団法人 日本造園学会
田中延亮	特定地区自然環境調査委員会	瀬戸市
齋藤暖生	公募助成事業選考委員会	公益財団法人 栗井英朗環境財団
齋藤暖生	顧問	やまなし木質バイオマス協議会
齋藤暖生	Evaluator	Elinor Ostrom Award
齋藤暖生	総務主事	林業経済学会
鴨田重裕	第5号委員	一般財団法人 東京大学運動会
鴨田重裕	理事	中部森林学会
蔵治光一郎	委員・地下水分科会長	水循環基本法フォローアップ委員会
蔵治光一郎	参与	水制度改革議員連盟
蔵治光一郎	矢作川流域圏懇談会 副座長・山部会部会長	国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所
蔵治光一郎	大阪府森林環境整備事業評価審議会委員	大阪府
蔵治光一郎	長良川河口堰最適運用検討委員会委員	愛知県
蔵治光一郎	とよた森づくり委員会 委員	豊田市
蔵治光一郎	水循環推進協議会 委員	岡崎市
蔵治光一郎	国際委員会 委員	水文・水資源学会
蔵治光一郎	理事・編集委員会 委員	不知火海・球磨川流域圏学会
蔵治光一郎	顧問	猿投の森づくりの会
蔵治光一郎	共同代表	矢作川森の研究者グループ
蔵治光一郎	理事	NPO法人 才の木
蔵治光一郎	理事	公益財団法人 ニッセイ緑の財団
後藤 晋	理事(出版・広報委員長)	森林遺伝育種学会
後藤 晋	科学研究費委員会専門委員	独立行政法人 日本学術振興会
後藤 晋	「イノベーション創出強化研究推進事業」評議委員	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
後藤 晋	農林水産業・食品産業技術研究推進事業1次審査専門評価委員	農林水産業・食品産業技術振興協会
後藤 晋	交付金プロジェクト「スギの基盤遺伝情報の高精度化と有用遺伝子の機能解明」評価委員	国立研究開発法人 森林総合研究所
後藤 晋	農林総合研究センター研究等評価委員	埼玉県

2) 小中高等学校への対応

教職員名	講演名	主催	開催場所	日程
梁瀬桐子	探鳥会	犬山市立 今井小学校	犬山市	4/20・6/16・11/15・ 1/17
梁瀬桐子	探鳥会	犬山市立 城東小学校	犬山市	5/10・2/14
安村直樹・楠本 大・竹 本周平・栗田直明・相 川美絵子	校外学習(理科特別授業)	実践学園 中学校	田無演習林	5/28
軽込 勉・久本洋子・大 石 諭	校外実習	千葉県立君津青葉 高校	千葉演習林	5/29-30
蔵治光一郎	2年生森林科学の特別授業	千葉県立君津青葉 高校	君津青葉高校愛 宕演習林	6/12
鎌田直人・犬飼 浩・小 林徹行	台北市私立華興中学教育旅行	富良野市 商工観光課	北海道演習林	7/2
久本洋子・米道 学・軽 込 勉	マツ種苗育成施設の見学案内	千葉県立旭農業高 等学校	千葉演習林	7/9
藤原章雄	学部学科探求講座	福井県立 武生高等学校	福井県立武生高 等学校	7/12
大川あゆ子	自然体験学習(総合的な学習の時 間)	富良野市立 布部中学校	北海道演習林	7/12
鎌田直人・犬飼 浩・井 口和信	東京環境工科専門学校実習に準ず る活動への対応	東京環境工科専門 学校	北海道演習林	7/23-27
田中延亮・水内佑輔・ 佐藤貴紀・井上 淳・里 見重成・梁瀬桐子・岸 本光樹	三重中学校夏季合宿	三重中学校	生態水文学 研究所	7/24
大村和也	樹木採集実習	埼玉県立秩父農工 科学高等学校	秩父演習林	7/27
石橋整司・尾張敏章・ 久本洋子・當山啓介・ 三次充和	高校生のための森と海のゼミナール ～大学の先生と考える環境問題と生 物多様性～	千葉演習林, 千葉 大学海洋バイオシ ステム研究センター	千葉演習林, 千葉 大学海洋バイオ システム研究セン ター	7/31-8/2
坂上大翼・中川雄治・ 井上 崇・江口由典・廣 田善己	平成30年度スーパーサイエンスハイ スクール事業道内研修「北海道の針 広混交天然林の構造」	北海道札幌 啓成高等学校	北海道演習林	8/1-2
小林徹行・松井理生・ 江口由典・佐藤晴樹・ 犬飼浩・木村徳志・大 川あゆ子	生物部夏季生物教室	東京大学教育学部 附属中等教育学校	北海道演習林	8/7-9
大石 諭・三次充和	君津市スクールミュージアム(職員研 修会)	君津市立 坂畑小学校	千葉演習林	8/21
高德佳絵・平尾聡秀・ 山田利博・原口竜成	秩父市中学生社会体験チャレンジ事 業・秩父第二中学校「仕事発見 DAY」	秩父市立秩父第二 中学校	秩父演習林	8/28-30
軽込 勉	高校生によるヒメコマツの保全活動	千葉県立君津青葉 高校	千葉演習林	9/14

2018年度 社会連携 小中高等学校への対応

教職員名	講演名	主催	開催場所	日程
石橋整司・尾張敏章・久本洋子・當山啓介・鶴見康幸・村川功雄・大石 諭・鈴木祐紀・千嶋 武・米道 学・塚越剛史・阿達康眞・軽込勉・三次充和	緑の教室	鴨川市立天津小学校	千葉演習林	9/26・12/11
後藤 晋・丹羽悠二	3年生 体験講義・研究室訪問	春日部共栄中学	弥生キャンパス	10/5
蔵治光一郎	杉並区立井荻小学校5年生理科「やってみよう！緑のダム実験」	井荻小学校	井荻公園	10/15
西山教雄・辻 和明	実践授業「森からみえる」	甲斐市立竜王小学校	富士癒しの森研究所	10/17
及川 希・松井理生	1年道内研修(獣医・理数コース)	とわの森三愛高等学校	北海道演習林	10/18
竹本周平・栗田直明・相川美絵子	職場体験	西東京市立ひばりヶ丘中学校	田無演習林	10/23-25
栗田直明・相川美絵子	校外学習	自由学園初等部	田無演習林	10/24
安村直樹・楠本 大・竹本周平・栗田直明・相川美絵子	校外学習	西東京市立中原小学校	田無演習林	10/26
安村直樹・楠本 大・竹本周平・栗田直明・相川美絵子	校外学習	西東京市立住吉小学校	田無演習林	10/29
田中延亮	水源かん養機能モニタリング現地案内	豊田市立小原中学校	豊田市大洞市有林	10/31
鈴木智之・大村 栄・亀原弥生・高德佳絵・大村和也・吉田弓子	秩父市中学生社会体験チャレンジ事業・秩父影森中学校「仕事発見DAY」	秩父市立影森中学校	秩父演習林	10/31-11/2
大石 諭・三次充和	君津市スクールミュージアム(自然観察会)	君津市立坂畑小学校	千葉演習林	11/1
蔵治光一郎	2年生理科特別授業	三重中学校	三重中学校	11/6・21
安村直樹・栗田直明・相川美絵子	職場体験	西東京市立田無第二中学校	田無演習林	11/6-8
田中延亮・佐藤貴紀	水源かん養機能モニタリング現地案内	豊田市立旭中学校	豊田市大洞市有林	11/13
才木道雄・原口竜成・平尾聡秀・亀原弥生	秩父市中学生社会体験チャレンジ事業・秩父第一中学校「仕事発見DAY」	秩父市立秩父第一中学校	秩父演習林	11/20-21
久本洋子・米道 学	海岸マツ植栽事業の現地指導	千葉県立旭農業高等学校	旭市海岸林	12/11
米道 学	抵抗性アカマツ苗木の受け渡しと植栽指導	北本市立南小学校	千葉演習林	2/14

3) 公開講座・セミナー等

講座名	主催	開催場所	日程
植物観察会	千葉演習林ボランティア会 Abies	千葉演習林	4/11
「犬山の森」春のふれあい自然観察会	犬山市	生態水文学研究所	4/14
ガイド練習会	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	4/14
教職員向け特別ガイド「春の彩りを訪ねて」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	4/21
春の一般公開～新緑の清澄・郷台畑～	千葉演習林	千葉演習林	4/21-22
森の循環を学ぶツアー	愛日緑化造園株式会社	生態水文学研究所	4/27
休日公開	田無演習林	田無演習林	4/28
ツリークライミング@体験会in田無演習林	ツリークライミング@ジャパン	田無演習林	4/28
鴨川市・東京大学共催事業「野鳥の巣箱をかけよう(野鳥巣箱観察会)」	鴨川市	千葉演習林	4/28
植物観察会	千葉演習林ボランティア会 Abies	千葉演習林	4/28
休日公開	田無演習林	田無演習林	5/6
植物観察会	千葉演習林ボランティア会 Abies	千葉演習林	5/11
利用者研究集会・尾張東部丘陵自然環境研究者の会	生態水文学研究所	生態水文学研究所	5/25
神社山自然観察路春季一般公開	北海道演習林	北海道演習林	5/27
寄付者イベント	秩父演習林	秩父演習林	5/27
新緑勉強会	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	5/29
校外実習(植物)	千葉県立君津青葉高等学校	千葉演習林	5/29-30
第32回子ども樹木博士認定会	田無演習林	田無演習林	6/3
休日公開	田無演習林	田無演習林	6/3
ガイド練習会	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	6/9
とよた森林学校「森林セミナー」	豊田森林組合	生態水文学研究所	6/10
ガイドツアー「演習林の試験地見学ー亜高山編ー」	秩父演習林	秩父演習林	6/13
巣箱周辺のコケ調査	シデコブシの会	生態水文学研究所	6/17
公開セミナー	北海道演習林	北海道演習林	6/24
会員研修会	千葉県森林インストラクター会	千葉演習林	7/1
植物観察会	千葉演習林ボランティア会 Abies	千葉演習林	7/5
ガイド練習会	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	7/14
三重中学校夏季合宿	三重高等学校三重中学校	生態水文学研究所	7/24
会員研修会	千葉県森林インストラクター会	千葉演習林	7/26
巣箱内巣材調査	シデコブシの会	生態水文学研究所	7/29
高校生のための森と海のゼミナール ～大学の先生と考える環境問題と生物多様性～	千葉演習林	千葉演習林	7/31-8/2
タケ植栽試験地除草作業	千葉演習林ボランティア会 Abies	千葉演習林	8/3
公開講座「東大の森林で昆虫採集」	秩父演習林	秩父演習林	8/5-6
ガイド練習会	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	8/11
樹木園の樹木観察、植生調査・毎木調査の研修	蕨高校	秩父演習林	8/16-8/17
夏休み親子水生生物観察会	シデコブシの会	生態水文学研究所	8/19
君津市スクールミュージアム 坂畑小学校「職員研修」	君津市立坂畑小学校	千葉演習林	8/21
日本地質学会関東支部清澄フィールドキャンプ	日本地質学会関東支部	千葉演習林	8/25
造園学会中部支部サマースタジオ	造園学会中部支部	生態水文学研究所	8/27-30
秩父市中学生社会体験チャレンジ事業	秩父第二中学校	秩父演習林	8/28-30
ガイド練習会	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	9/8
昆虫相調査会	千葉県昆虫談話会	千葉演習林	9/8-9
第4回「癒しの森の植生調査隊」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	9/12
キノコ調査会	シデコブシの会	生態水文学研究所	9/16
緑の教室	鴨川市立天津小学校	千葉演習林	9/26
菌類勉強会	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	9/26
松ぼっくり拾い	鴨川市立天津幼稚園	千葉演習林	10/2
マテバシイ集め&加工	千葉演習林ボランティア会 Abies	千葉演習林	10/4
東大教職員向け特別ガイド「きのこに親しむ」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	10/6
神社山自然観察路秋季一般公開	北海道演習林	北海道演習林	10/8
ガイド練習会	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	10/13
下田市共催事業公開講座「チョコレート作りを体験しよう！」	樹芸研究所	樹芸研究所	10/20
公開講座「樹木のボディランゲージ」	秩父演習林	秩父演習林	10/25

2018年度 社会連携 公開講座・セミナー等

講座名	主催	開催場所	日程
「瀬戸市の東京大学」をのぞいてみよう！オープンキャンパス in 東大演習林	瀬戸市	生態水文学研究所	10/28
南伊豆町との連携協力締結式基調講演「樹芸研究所」が目指すもの～森林・林業教育研究の現在・未来～	南伊豆町	樹芸研究所	10/29
秩父市中学生社会体験チャレンジ事業	影森中学校	秩父演習林	10/31-11/2
君津市スクールミュージアム「東大演習林見学会」	君津市立坂畑小学校	千葉演習林	11/1
鴨川市・東京大学共催事業「野鳥の巣箱をかけよう(工作編)」	鴨川市	千葉演習林	11/3
千葉県南ブロック研修会	樹木医会	千葉演習林	11/3
第33回「子ども樹木博士」認定会	田無演習林	田無演習林	11/4
休日公開	田無演習林	田無演習林	11/4
ガイドツアー「森林調査体験と秋の溪畔林散策」	秩父演習林	秩父演習林	11/7
林内見学会	千葉県森林インストラクター会	千葉演習林	11/10
ガイド練習会	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	11/10
巨木ツアー	君津市自然保護審議会	千葉演習林	11/15
植物観察会	千葉県森林インストラクター会	千葉演習林	11/15
犬山市民総合大学現地講義	犬山市	生態水文学研究所	11/17
林内見学会	君津市上総公民館	千葉演習林	11/18
「犬山の森」秋のふれあい自然観察会	犬山市	生態水文学研究所	11/18
秩父市中学生社会体験チャレンジ事業	秩父第一中学校	秩父演習林	11/20-21
鴨川市・東京大学交流事業 「東京大学・小石川植物園見学ツアー」	鴨川市	千葉演習林	11/24
とよた森林学校 森林と災害～東海豪雨を忘れない～	豊田森林組合	生態水文学研究所	11/25
郷台畑見学会	千葉演習林ボランティア会 Abies	千葉演習林	11/27
植物観察会	千葉県森林インストラクター会	千葉演習林	11/27
東大教職員向け特別ガイド「千葉演習林で楽しむ紅葉とランチ」	千葉演習林	千葉演習林	12/1
東大教職員向け「リース作り体験会」	田無演習林	田無演習林	12/1
休日公開	田無演習林	田無演習林	12/1
標石を探そうツアー	シデコブシの会	生態水文学研究所	12/2
野外講座 東大演習林～紅葉の猪ノ川林道を歩く	千葉県森林インストラクター会	千葉演習林	12/4
ガイド練習会	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	12/8
第14回影森祭	秩父演習林	秩父演習林	12/9
林内見学&木登り体験	鴨川市立天津小学校	千葉演習林	12/11
鳥獣被害対策コーディネーター育成研修会	野生動物保護管理事務所	秩父演習林	12/11・12/13
下田市共催事業公開講座「林業遺産・岩樟園クスノキ林見学会」	樹芸研究所	樹芸研究所	12/15
～coast to coast～ 房総横断トレイル2018	房総横断・鋸山トレイル実行委員会	千葉演習林	12/16
森林博物資料館見学	清澄癒しの里づくりの会	千葉演習林	1/19
「沢歩きイベント」	よもぎベースしたなおい	千葉演習林	1/20
第35回ロングハイキング	千葉県勤労者山岳連盟	千葉演習林	1/27
東大教職員向け特別ガイド「冬の散歩みち」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2/2
森林博物資料館一般公開	千葉演習林	千葉演習林	2/3
ガイド練習会	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	2/9
研究林内野生生物とジビエ	シデコブシの会	生態水文学研究所	2/16
植物観察会	世界らん展組織委員会	千葉演習林	2/17
「房総の古道を歩く」四方木より不動滝・道六番所跡を巡る古道より清澄寺へ	千葉県立君津亀山少年自然の家	千葉演習林	2/24
「早春ハイク烏帽子山から初日山」	千葉県立内浦山県民の森	千葉演習林	3/5
森林博物資料館見学	川崎市民アカデミー	千葉演習林	3/5
2018年度研究報告会(公開講座)	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	3/6
ガイド練習会	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	3/9
第11回 SATOYAMA-養老溪谷トレイルラン	房総丘陵トレイルラン&ハイク実行委員会	千葉演習林	3/10
森の観察と木の測定実習	名古屋経済大学市邨高等学校 中学校	生態水文学研究所	3/23

4) 学会、研修、市民教育等における講演(招待講演を含む)

教職員名	講演名	主催	開催場所	日程
蔵治光一郎	雨タスサロン12:雨+森	雨水市民の会	雨水市民の会事務局	4/12
石橋整司・田中延亮・水内佑輔・梁瀬桐子	「犬山の森」春ふれあいの自然観察会	犬山市	生態水文学研究所犬山研究林	4/14
石橋整司	犬山研究林利用者協議会総会「人間社会と森林の利用」	犬山研究林利用者協議会	犬山市健康館さくら・さくら	4/14
石橋整司	シデコブシの会総会「危険生物の知識」	シデコブシの会	赤津研究林	4/15
蔵治光一郎	三区自治会・恵那の豊かな自然環境と里山を守る会講演会「“緑の森を科学する” 森を学び・山を知る」	三区自治会・恵那の豊かな自然環境と里山を守る会	飯峡会館	4/22
相川美絵子	野外講座	千葉県森林インストラクター会	田無演習林	4/24
田中延亮	森の循環を学ぶツアー	愛日緑化造園株式会社	生態水文学研究所赤津研究林	4/27
村川功雄・三次充和	鴨川市共催事業「野鳥の巣箱をかけよう(観察会)」講師	鴨川市	千葉演習林	4/28
相川美絵子	ツリークライミング体験会	ツリークライミングジャパン	田無演習林	4/28
竹本周平	見学案内	市民団体	田無演習林	5/10
蔵治光一郎	かわさき市民アカデミー講座19 持続可能な社会と環境・みどり・防災「森林環境税と水源税」	かわさき市民アカデミー	川崎市生涯学習プラザ3F 301会議室	5/10
楠本 大・相川美絵子	見学案内	練馬区立関町リサイクルセンター	田無演習林	5/15
齋藤暖生	A trial of linking forest and local society by Fuji Iyashinomori Woodland Study Center	JICA	富士癒しの森研究所	5/18
広嶋卓也・犬飼 浩	課題別研修「市場メカニズムを活用した持続的森林・自然資源管理」	JICA北海道(札幌)	北海道演習林	5/29
坂上大翼	森林学習プログラム推進事業 森林学習サポーター認定研修「森林研修」	富良野市教育委員会	富良野市生涯学習センター・北海道演習林	5/31
安村直樹・楠本 大・栗田直明・相川美絵子・石浦恭子	子ども樹木博士	西東京市「子ども樹木博士」を育てる会	田無演習林	6/3
蔵治光一郎	鳥取県中部森林組合総代・世話人全体会講演「100年先まで考えた森づくりのビジョン」	鳥取県中部森林組合	倉吉体育文化会館	6/4
広嶋卓也・福土憲司・小林徹行	林分施業法や単木管理システムによって管理された天然林、道産優良広葉樹の視察	株式会社ベンチャーウイスキー秩父蒸留所	北海道演習林	6/6
齋藤暖生	北欧の暮らしを彩り、育まれる万人権:スウェーデンを中心に	北欧建築・デザイン協会	工学院大学新宿キャンパス	6/9
石橋整司・田中延亮・梁瀬桐子	とよた森林学校 森林セミナー第4回「森林の持つ公益的機能」	豊田森林組合	生態水文学研究所赤津研究林	6/10
犬飼 浩・中川雄治・井上 崇・福岡 哲・犬飼慎也・江口由典・遠国正樹	平成30年度 北海道東北地区大学演習林等技術職員研修「森林におけるドローンの活用」	北海道演習林	北海道演習林	6/11-15
鎌田直人	北海道東北地区技術職員研修	全演協北海道東北地区	北海道演習林	6/11
竹本周平	見学案内	小金井市公民館緑分館	田無演習林	6/14
蔵治光一郎	勉強会「森林環境税の使途」	自由民主党総合政策研究所	自民党本部	6/15
齋藤暖生・竹本周平	クサボケの増殖技術	齋藤暖生	富士癒しの森研究所	7/3
犬飼 浩	富岡地区女性農業者夏期視察研修会	上川農業改良普及センター富良野支所	北海道演習林	7/6
石橋整司・久本洋子・當山啓介・尾張敏章・村川功雄・千嶋 武・軽込 勉	海南大学サマープログラム対応	海南大学	千葉演習林・富士癒しの森研究所	7/10-16

2018年度 社会連携 学会、研究、市民教育等における講師等

教職員名	講演名	主催	開催場所	日程
安村直樹・相川美絵子	子育て世代の親子体験森のツアー	NPO法人チルドリン	田無演習林	7/26
蔵治光一郎・安村直樹・相川美絵子	フォレストマリンクプロジェクト 学べる森のツアー「森のやくわり」	NPO法人チルドリン	田無演習林	7/26
蔵治光一郎	桂川源流・東部地域協議会「森づくり事業」第一回岩殿再生フォーラム「これからの山地災害・土砂災害への減災対策について」	桂川・東部地域協議会、桂川源流地域協議会	大月市民会館	7/27
山田利博	樹木医実践技術講座「樹木内部腐朽の非破壊診断 発展編」	日本樹木医会	日本大学藤沢キャンパス	8/1
竹本周平	最強の動物！クマムシを探せ	我孫子市鳥の博物館	我孫子市鳥の博物館	8/5
鎌田直人・犬飼 浩	里見理事一行北演紹介	東京大学	北海道演習林	8/23
蔵治光一郎	矢作川流域圏懇談会「第1回合同部会(岡崎)」「植生遷移に伴う水質の変化 —東大演習林における事例—」	矢作川流域圏懇談会	岡崎市宮崎学区市民ホーム	8/24
蔵治光一郎	森のチルドリンアカデミー グループディスカッション 蔵治光一郎先生と考える「森林環境税(仮称)」と「森林環境譲与税(仮称)」	NPO法人チルドリン	弥生講堂アネックス	8/26
田中延亮・水内佑輔・井上 淳	デザインワークショップ「サマースタジオ2018」	公益社団法人 日本造園学会中部支部	生態水文学研究所	8/27-30
竹本周平	地面の上の落とし物	我孫子市鳥の博物館	我孫子市鳥の博物館	9/8
広嶋卓也	森林計画学会秋季セミナー2018:「都道府県別間伐モデルによる利用間伐量のシミュレーション—2020年国産材自給率40%の達成条件—」	森林計画学会	東京大学農学部	9/13
鎌田直人・犬飼 浩	林分施業法等の管理手法について(北海道森林管理局局長視察)	上川南部森林管理署	北海道演習林	10/4
山田利博	樹木医研修「幹の外科技術と機器による診断」	日本緑化センター	筑波研修センター	10/5、10/19
石橋整司	犬山市民総合大学環境学部第1回「犬山と森の400年」	犬山市	犬山国際観光センター	10/6
鎌田直人・井口和信・小林徹行	JICA平成30年度課題別研修「地域住民の参加による持続的な森林管理」コース	海外林業コンサルタント協会	北海道演習林	10/10
竹本周平	見学案内	自由学園リビングアカデミー	田無演習林	10/16
蔵治光一郎	平成30年度岡崎市民生委員児童委員協議会専門部会合同研修会「岡崎市の森林の現状と私たちの生活との関係」	岡崎市民生委員児童委員協議会専門部会	岡崎市民会館	10/18
福井 大	第24回コウモリフェスティバル講演「コウモリの移動生態学」	コウモリの会	三重県総合博物館	10/20
栗田直明・相川美絵子・石浦恭子	見学案内	自由が丘フラワーズ	田無演習林	10/26
石橋整司	犬山市民総合大学環境学部第2回「森林の持つ様々な機能」	犬山市	犬山国際観光センター	10/27
田中延亮・水内佑輔・井上 淳・里見重成・岸本光樹	せと環境塾「『瀬戸市の東京大学』をのぞいてみよう！～サイエンスキャンプ in 東大演習林～」	瀬戸市	生態水文学研究所赤津研究林	10/28
鴨田重裕	「樹芸研究所」が目指すもの～森林・林業教育研究の現在・未来～	樹芸研究所	南伊豆町役場湯けむりホール	10/29
大川あゆ子・松井理生	役員研修	福岡県治山林道協会	北海道演習林	10/30
久本洋子・村川功雄	「ナラ枯れ情報交換会議及び現地研修」現地案内	千葉県	千葉演習林	10/30-31
広嶋卓也・犬飼 浩	天然林施業における有用広葉樹の育成と気象災害に強い施業技術について	三菱マテリアル株式会社 人事・総務本部 総務室 森林グループ	北海道演習林	10/31
阿達康眞・三次充和	鴨川市共催事業「野鳥の巣箱をかけよう(巣箱作り)」講師	鴨川市	千葉演習林	11/3
久本洋子	「日本樹木医会千葉県支部南ブロック研修会」講師	日本樹木医会千葉県支部	千葉演習林	11/3
安村直樹・楠本 大・栗田直明・相川美絵子・石浦恭子	子ども樹木博士	西東京市「子ども樹木博士」を育てる会	田無演習林	11/4

2018年度 社会連携 学会、研究、市民教育等における講師等

教職員名	講演名	主催	開催場所	日程
當山啓介	君津市ヤマビル対策防除講習会における講演	君津市ヤマビル対策協議会	君津市亀山コミュニティセンター	11/7
井口和信	道内視察研修	北見市林業グループ	北海道演習林	11/9
平尾聡秀	水環境の保全と再生に向けた環境微生物学・水環境学の最前線	北海道大学	北海道大学低温科学研究所	11/9
相川美絵子	昆虫観察	千葉県森林インストラクター会	田無演習林	11/13
栗田直明・相川美絵子	研修	昭島市公立小学校教育研究会 理科部	田無演習林	11/14
千嶋 武・三次充和	君津市自然保護審議会主催「巨木ツアー」講師	君津市	千葉演習林	11/15
田中延亮・水内佑輔・石橋整司・梁瀬桐子	犬山市民総合大学第3回「犬山研究林現地講義」	犬山市	犬山市健康館さくら・さくら／犬山研究林	11/17
石橋整司・田中延亮・水内佑輔・梁瀬桐子	「犬山の森」秋のふれあい自然観察会	犬山市	生態水文学研究所犬山研究林	11/18
鈴木祐紀・塚越剛史・鶴見康幸	「附属施設(千葉演習林)の機械の点検整備と作業安全に関する研修」講師	農学生命科学研究科技術部 機械グループ	千葉演習林	11/19-22
広嶋卓也・犬飼 浩	林分施業法等の管理手法について(北海道森林管理局計画保全部長等の視察)	上川南部森林管理署	北海道演習林	11/20
安村直樹	見学案内	日本森林林業振興会	田無演習林	11/20
蔵治光一郎・田中延亮	とよた森林学校「森林と災害～豪雨災害を忘れない～」第2回「東海豪雨と人工林の管理」	とよた森林学校	生態水文学研究所	11/25
鎌田直人・前原 忠・福井 大・久本洋子	海南大学熱帯林学院講義	海南大学	海南大学	11/25-26
楠本 大	見学案内	練馬区立関町リサイクルセンター	田無演習林	11/26
栗田直明・相川美絵子	見学案内	東学退職者友の会	田無演習林	11/27
山田利博	第2回松原フォーラム「危険度調査と事例の蓄積・公開」	松原フォーラム実行委員会	清水ふれあいホール	12/1
楠本 大・栗田直明・相川美絵子・石浦恭子	リース作り講習会	田無演習林	田無演習林	12/1
蔵治光一郎・田中延亮	とよた森林学校「森林と災害～豪雨災害を忘れない～」第3回「間伐すれば人工林はよみがえる」	とよた森林学校	小原大平児童館・大洞市有林	12/4
蔵治光一郎	森・トークセッション 森を活かし、森と生きる！「新税案創設の背景と必須となる地域の 自発的取り組み」	桂川・東部地域協議会、桂川源流地域協議会	富士吉田市民会館 3階 ギャラリー	12/6
蔵治光一郎	おかざき森の健康診断報告会「森林と自然災害」	おかざき森の健康診断実行委員会	岡崎市額田センター集会室	12/8
蔵治光一郎	かわさき市民アカデミー講座19 持続可能な社会と環境・みどり・防災「水循環基本法について」	かわさき市民アカデミー	川崎市生涯学習プラザ3F 301会議	1/17
三次充和	清澄癒しの里づくりの会主催「清澄山林道散策・観察会、森林博物資料館見学会」講師	清澄癒しの里づくりの会	千葉演習林	1/19
山田利博	日本樹木医学会三重県支部研修会「樹木内部の精密機器診断」	日本樹木医学会三重県支部	アスト津	2/2
齋藤暖生	市民の憩いの場としての大学演習林－米国Duke University, Warren Wilson Collegeの事例－	大学間里山交流会	富士吉田市立青少年センター	2/9
蔵治光一郎	第10回森林文化講演会「緑のダム」を考える～科学者が考える森と人の関係	NPO法人かながわ森林インストラクターの会	桜美林大学PFC(プラネット淵野辺キャンパス)P202教室	2/17
蔵治光一郎	日経SDGsフォーラム 特別シンポジウム「森林・自然資本と社会的共通資本」～SDGs達成に向けた社会と企業の取り組み～	日本経済新聞社	日経ホール	2/25
福井 大	エコカフェ2019「コウモリの移動生態学」	たきかわ環境フォーラム	滝川市まちづくりセンター	3/10

5) 演習林報告・演習林

演習林報告

第139号(2018年10月15日 発行)

開始頁	終了頁	著者	表題
1	15	當山啓介・金井敬宏・三次充和・江口誠一	東京大学千葉演習林の林内に残る炭窯跡の実態

第140号(2019年3月29日 発行)

開始頁	終了頁	著者	表題
1	13	鎌田直人	東京大学北海道演習林における樹木のフェノロジーデータで元データが紛失した1938～1950年の期間平均値の推定

演習林

第61号(2019年3月30日 発行)

開始頁	終了頁	著者	表題
1	17	蔵治光一郎・黒木里香	生態水文学研究所赤津研究林白坂流域井戸水位観測報告(Ⅲ)
19	25	才木道雄・高德佳絵・五十嵐勇治・原口竜成	秩父演習林における再生林固定試験地林分成長資料(2017)
27	33	高德佳絵・原口竜成・大村和也・五十嵐勇治・藤平晃司	秩父演習林における人工林固定測定試験地成長資料(2014～2017年)
35	43	齋藤暖生	山中湖のワカサギと東京帝国大学
45	63	鎌田直人・木村徳志・井口和信・福岡哲・小川 瞳・笠原久臣・芝野伸策・高橋康夫・犬飼雅子・佐々木忠兵衛・功力六郎・佐々木与八	東京大学北海道演習林における1930～2010年の長期樹木フェノロジーデータ
65	74	久本洋子・大石 諭・鈴木祐紀・鶴見康幸・米道 学・鈴木 牧	東京大学千葉演習林におけるカメラトラップ法によるニホンジカの生息密度推定の有効性の検証
75	81	原口竜成・齋藤俊浩・吉田弓子・高德佳絵・丹羽悠二・五十嵐勇治	秩父演習林大面積プロットにおける毎木調査資料(2014年)【修正版】
83	115	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会 水文水質部門	東京大学演習林水文観測・水質分析報告 (自2016年1月至2016年12月)
117	147	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会 気象部門	東京大学演習林気象報告 (自2017年1月至2017年12月)

6) 科学の森ニュース

■第82号■ 2018年6月10日発行

【表紙記事】 演習林長新任の挨拶 (演習林長 福田健二)

《記事》

- ・ 森林計画研究発表大会でユウカリ試験地の成果を発表しました (樹芸研究所)
- ・ シンポジウム「気持ちよく納められる森林環境税とは」開催 (企画部)
- ・ 演習林所属の五十嵐慶一さんが研究科長賞を受賞 (教育研究センター)
- ・ 演習林のイベントダイジェスト 2018年6月～2018年8月

＜クローズアップ＞

演習林で発生しているナラ枯れ (森林病虫害委員会)

＜科学の森の動植物紹介＞

ヤマトグサ (千葉演習林)

＜名所・名物紹介＞

松野礪記念碑 (千葉演習林)



■第83号■ 2018年9月10日発行

【表紙記事】 北海道東北地区大学演習林等技術職員研修を開催 (北海道演習林)

《記事》

- ・ 春のガイドツアー 演習林の試験地見学 亜高山帯編 (秩父演習林)
- ・ 国立台湾大学でのワークショップ (国際交流委員会)
- ・ 海南大学の学生が東大演習林のサマープログラムに参加 (国際交流委員会)
- ・ 演習林のイベント情報 2018年9月～2018年11月

＜クローズアップ＞

犬山研究林の砂防工事施設 林業遺産に認定 (生態水文学研究所)

＜科学の森の動植物紹介＞

コテングコウモリ (北海道演習林)

＜コラム＞

農学コンテンツ (企画部 蔵治光一郎)



■第84号■ 2018年12月10日発行

【表紙記事】 第8回SAUFCが韓国ソウル国立大学で開催されました (国際交流委員会)

《記事》

- ・ 造園学会中部支部学生デザインワークショップ「サマースタジオ2018」開催 (生態水文学研究所)
- ・ 技術職員3名が森林管理技術賞を受賞 (企画部)
- ・ 千葉県立中央博物館の企画展で千葉演習林が紹介されています!! (千葉演習林)
- ・ 演習林のイベント情報 2018年12月～2019年2月

＜クローズアップ＞

体験活動プログラム (広報情報委員会)

＜科学の森の動植物紹介＞

ヒナコウモリ (秩父演習林)

＜名所・名物紹介＞

竹林 (樹芸研究所)



■第85号■ 2019年3月10日発行

【表紙記事】 樹芸研究所と南伊豆町の連携・協力に関する協定書の締結 (樹芸研究所)

《記事》

- ・ 国立台湾大学実験林と東京大学演習林間の協定締結式 (国際交流委員会)
- ・ 技術室有志が業務改革理事賞を受賞 (北海道演習林)
- ・ アイヌ文化の伝承・振興のためハリギリを提供 (北海道演習林)
- ・ 演習林のイベント情報 2019年3月～2019年5月

＜クローズアップ＞

「電子野帳」が拓くフィールドワークの未来 (北海道演習林)

＜科学の森の動植物紹介＞

ワカサギ (富士癒しの森研究所)

＜名所名物＞

郷台旧学生宿舎 (千葉演習林)



7) 演習林出版物

■ 東京大学生態水文学研究所リーフレット④

改訂版 はげ山が森に戻るまで—東京大学犬山研究林の砂防・緑化のあゆみ— ■

2018年11月16日 改訂版発行

編集 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林
生態水文学研究所

発行者 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林
生態水文学研究所

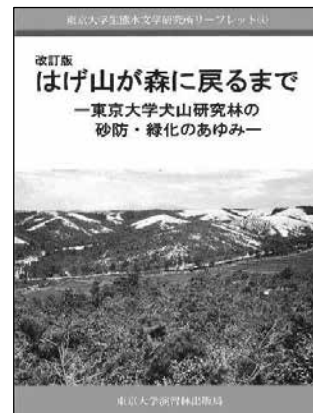
発行所 東京大学演習林出版局

定価 500円(本体463円) A5判 30頁

ISBN 978-4-903321-26-4

<目次>

- ・犬山研究林 砂防・緑化の歴史
- ・大正時代以降の主な自然災害と出来事
- ・犬山研究林の今昔 ・諸戸北郎と犬山研究林 ・林業遺産登録
- ・見学ルートと建造物位置図 ・林業遺産の溪間工事建造物群と地形
- ・工法の種類 ・土堰堤工 ・コンクリート放水路付土堰堤
- ・土堰堤にコンクリート放水路を作る ・谷止工 ・水路工
- ・流路工 ・床固工 ・堰堤工 ・ちよつと一息(1928年の犬山)
- ・法切工 ・筋工 ・法切工と筋工による斜面緑化
- ・粗朶伏工 ・植栽工 ・再生した森林の今とこれから



■ 気持ちよく納められる森林環境税とは？ ■

2019年3月31日 発行

編集 蔵治光一郎・坂井マズミ・安村直樹

発行 東京大学演習林出版局

定価 1,000円+税 A5判 109頁

ISBN 978-4-903321-27-1

<目次>

- ・はじめに(蔵治光一郎)
- ・講演
 - 講演1 市民・納税者の立場から(坂井マズミ)
 - 講演2 山の現場で仕事をしている立場から①(池谷和美)
 - 山の現場で仕事をしている立場から②(杉本一)
 - 講演3 研究者の立場から(安村直樹)
- ・パネルディスカッション
- ・参加者アンケートの記録
- ・おわりに(安村直樹)
- ・シンポジウム開催概要
- ・参考資料



■ DEVELOPING A NETWORK OF LONG-TERM RESEARCH FIELD STATIONS TO MONITOR ENVIRONMENTAL CHANGES AND ECOSYSTEM RESPONSES IN ASIAN FORESTS ■

2019年発行

編集 Naoto Kamata・Koichiro Kuraji・Toshiaki Owari・Biing T Guan

発行 The University of Tokyo Forests Press

定価 本体3,000円(税別) A4判 282頁

ISBN 978-4-903321-28-8

<Contents>

- Foreword
- Preface
- Acknowledgements
- Contributors
- Signs, symbols, acronyms, and abbreviations
- Locations and organizations

•Part I. PAST, PRESENT STATUS, AND FUTURE SCOPE OF UNIVERSITY FORESTS AND LONG-TERM RESEARCH

- CHAPTER 1. THE UNIVERSITY OF TOKYO FORESTS
- CHAPTER 2. NATIONAL TAIWAN UNIVERSITY EXPERIMENTAL FOREST: ITS PAST, PRESENT, AND FUTURE
- CHAPTER 3. SEOUL NATIONAL UNIVERSITY FORESTS
- CHAPTER 4. FORESTRY RESEARCH AND TRAINING STATIONS, FACULTY OF FORESTRY, KASETSART UNIVERSITY
- CHAPTER 5. FORESTRY EDUCATION IN UNIVERSITI MALAYSIA SABAH, MALAYSIA

•Part II. WATER AND CLIMATE

- CHAPTER 6. LONG-TERM METEOROLOGICAL AND HYDROLOGICAL OBSERVATION AT ANANOMIYA AND SHIRASAKA EXPERIMENTAL WATERSHEDS, ECOHYDROLOGY RESEARCH INSTITUTE, THE UNIVERSITY OF TOKYO
- CHAPTER 7. LONG-TERM RECORDS OF METEOROLOGICAL AND HYDROLOGICAL DATA ON SEOUL NATIONAL UNIVERSITY FORESTS
- CHAPTER 8. LONG-TERM METEOROLOGICAL AND HYDROLOGICAL STATIONS AT NATIONAL TAIWAN UNIVERSITY EXPERIMENTAL FOREST AND A REVIEW OF PAST RESEARCH
- CHAPTER 9. LONG-TERM ECOHYDROLOGICAL DATA AT KOG-MA, MAE MOH AND RAINFALL DATA AT MAE CHAEM WATERSHED IN NORTHERN THAILAND

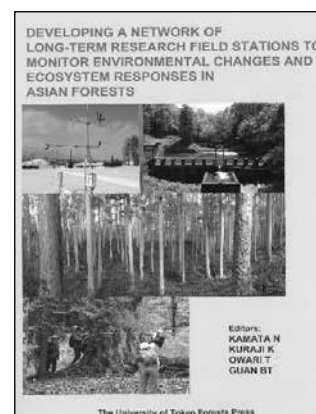
•PART III. ECOSYSTEM

- CHAPTER 10. MONTANE FOREST DYNAMICS BASED ON LONG-TERM ECOLOGICAL RESEARCH AT KOG MA WATERSHED AREA IN NORTHERN THAILAND
- CHAPTER 11. OVERVIEW OF THE PERMANENT VEGETATION PLOT NETWORK IN SABAH
- CHAPTER 12. LONG-TERM ECOLOGICAL RESEARCH SITES IN THE UNIVERSITY OF TOKYO FORESTS
- CHAPTER 13. LONG-TERM ECOLOGICAL RESEARCH AT NATIONAL TAIWAN UNIVERSITY EXPERIMENTAL FOREST
- CHAPTER 14. FUTURE STUDIES ON ECOLOGICAL RESEARCH PLOTS OF ASIAN UNIVERSITY FORESTS
- CHAPTER 15. LONG-TERM PHENOLOGY DATA OF WOODY PLANTS AT THE UNIVERSITY OF TOKYO HOKKAIDO FOREST

•PART IV. MANAGEMENT

- CHAPTER 16. LONG-TERM GROWTH RECORDS OF *Cryptomeria japonica* PLANTATIONS AT THE UNIVERSITY OF TOKYO FORESTS, JAPAN
- CHAPTER 17. LONG-TERM GROWTH RECORDS OF *Cryptomeria japonica* PLANTATIONS AT NATIONAL TAIWAN UNIVERSITY EXPERIMENTAL FOREST, TAIWAN
- CHAPTER 18. LONG-TERM GROWTH RECORDS OF *Cryptomeria japonica* PLANTATIONS AT NAMBU UNIVERSITY FOREST, SEOUL NATIONAL UNIVERSITY, KOREA
- CHAPTER 19. DENDROCHRONOLOGICAL CROSS-DATING ASSESSMENT AND EVIDENCE FOR CLIMATE INFLUENCES ON TREE GROWTH AT HIGHLAND PLANTATIONS IN CHIANG MAI PROVINCE, THAILAND
- CHAPTER 20. USE OF REMOTE SENSING TO SUPPORT FOREST RESOURCES MONITORING IN TROPICAL FORESTS

Index



8) 新聞・雑誌・放送等

演習林名	メディア	日付	内容
田無演習林	タウン通信	2018/4/4	演習林でツリークライミング
富士癒しの森研究所	週刊東京大学新聞	2018/4/10	東大の歩き方
北海道演習林	北海道新聞	2018/7/3	台湾・華興中学教育旅行で来訪
樹芸研究所	伊豆新聞	2018/7/13	南伊豆のいしい林業へユウカリ苗提供
千葉演習林	千葉日報(県南版)	2018/7/22	中国海南大学サマープログラム
北海道演習林	北海道新聞	2018/8/15	北海道演習林の紹介
千葉演習林	林野庁情報誌 「林野-RINYA」	2018/8月号	日本森林学会林業遺産 大学演習林発祥の地 浅間山(千葉演習林)の紹介
北海道演習林	北海道新聞	2018/9/1	富良野市が北海道演習林で行う森林学習 サポーター制度
富士癒しの森研究所	広報やまなかこ	2018/9月号	「森活で健康」アンケート実施報告
生態水文学研究所	中日新聞	2018/9/7	造園学会中部支部サマースタジオ
生態水文学研究所	ひまわりネットワーク	2018/10/4	とよたNOW「水源の森 おとなの探検隊」
樹芸研究所	伊豆新聞	2018/10/16	アブラギリ林の紹介
国際交流委員会	韓国KSBテレビ	2018/10/24	アジア大学演習林コンソーシアム第8回シンポジウムのエ クスカーション
千葉演習林	週刊ゴルフダイジェスト 2018年10月30日号	2018/10/30	松くい虫対策に助成金交付や強い品種苗配布
樹芸研究所	伊豆新聞	2018/10/24	南伊豆町と樹芸研究所所管大学院農学生命科学 研究科連携協定調印式, 記念講演会開催
樹芸研究所	伊豆新聞	2018/10/30	協定締結を記念して講演会
生態水文学研究所	中日新聞(豊田版)	2018/11/1	森林と水源保護の授業
生態水文学研究所	林業あいち	2018/11月号	生態水文学研究所林業遺産認定
千葉演習林	房日新聞	2018/11/14	野鳥の巣箱をかけよう(巣箱作り)
樹芸研究所	伊豆新聞	2018/12/15	樹芸研から下田高校南伊豆分校へカカオ苗譲渡
北海道演習林	NHK	2019/1/4	神様の木に会う～につぼん巨樹の旅～
千葉演習林	テレビ朝日	2019/1/20	ポツンと一軒家
富士癒しの森研究所	山梨日日新聞	2019/2/5	山中湖・河口湖ワカサギ移入100年
樹芸研究所	NHK BSプレミアム	2019/2/12	美と若さ新常識 チョコで美しく!カカオ女子のすすめ
企画部	日本経済新聞	2019/2/25	日経SDGsフォーラム特別シンポジウム森林・自然資本と 社会的共通資本パネルディスカッション
演習林出版局	日刊木材新聞	2019/3/30	新刊書籍 「気持ちよく納められる森林環境税とは?」の紹介

4. 環境安全管理

下表のように安全・防災のための各種講習会を実施した。その他に各地方演習林の実情と必要性に応じ安全衛生のための定期的な会議や点検を実施、あるいは日常的な連絡・注意喚起のための態勢を整備している。

1) 安全・防災のための講習会等

研修名	開催機関等	開催月	参加人数
教育研究安全衛生マネジメントシステム会議	田無演習林	毎月	7
教育研究安全衛生マネジメントシステム会議	農学生命科学研究科環境安全管理室	4月	3
普通救命講習I	秩父消防本部	4月	4
新入教職員安全衛生ガイダンス及び情報倫理・情報セキュリティガイダンス	農学生命科学研究科環境安全管理室	4月	2
ヒトを対象とした研究の倫理講習会	ライフサイエンス研究倫理支援室	4月	2
教育研究安全衛生マネジメントシステム会議	企画部・教育研究センター	4月	11
ヒトを対象とした研究の倫理講習会	ライフサイエンス研究倫理支援室	5月	1
教育研究安全衛生マネジメントシステム会議	秩父演習林	5月	14
利用者ガイダンス・発表会	秩父演習林	5月	58
環境安全講習会	環境安全研究センター	5月	1
交通安全講習会	千葉演習林	5月	21
第2回環境安全実習講座 化学物質取扱い実習	環境安全研究センター	6月	1
第2回環境安全実習講座 化学的有害廃棄物取扱い実習	環境安全研究センター	6月	1
第2回環境安全実習講座 実験安全基礎実習	環境安全研究センター	6月	1
第2回環境安全実習講座 寒剤取扱い安全実習	環境安全研究センター	6月	1
普通救急救命講習	本部安全衛生課	6月	1
安全運転管理者講習会	北海道旭川方面公安委員会	6月	1
蜂対策講習会	北海道演習林	7月	35
教育研究安全衛生マネジメントシステム会議	北海道演習林	7月	35
山中寮との合同防災訓練	富士癒しの森研究所	7月	4
北海道演習林安全の日(意見交換会)	北海道演習林	8月	36
運搬車, 三脚脚立, バッテリーチャージャー, 丸鋸の安全講習	田無演習林	8月	7
林内作業安全講習会	北海道演習林	10月	38
研究科総合防災訓練	環境安全管理室	10月	10
交通安全講習会	北海道演習林	11月	33
交通安全講習会	秩父演習林	12月	17
防災訓練	生態調和農学機構	12月	4
清澄学生宿舎防災訓練	安房消防署小湊分遣署	1月	20
スノーモビル講習会	北海道演習林	1月	30
消防訓練	樹芸研究所	3月	8

2) 資格取得のための講習等

研修名	開催機関等	開催月	参加人数
ベーシックアーボリストトレーニング	アーボリストトレーニング研究所	6月	3
石綿作業主任者技能講習	千葉県労働基準協会連合会	7月	3
伐木等の業務に係る特別教育(大径木)	林業労働災害防止協会旭川分会	8月	1
木材加工用機械作業主任者技能講習	林業・木材製造業労働災害防止協会北海道支部	8月	2
地山の掘削及び土地止め支保工作業主任者講習	キャタピラー教習所(株)北海道教習センター	9月	1
伐木(大径木等)特別教育	林業・木材製造業労働災害防止協会静岡県支部	10月	1
ロープ高所作業特別教育	東京技能講習協会	11月	3
WMA野外・災害救急員WFAベーシックレベル	WMAJ	11月	1
車両系建設機械(解体用)技能講習	住友建機教習所	12月	4
2級モノレール技士講習	ちぐさ技研工業株式会社	2月	2
フルハーネス型安全帯使用作業特別教育	東京都技能者協会	3月	2
フルハーネス型安全帯使用作業特別教育	ロープ高所作業協会	3月	1

3) 災害発生状況・山火事予防活動

2018年度は災害は14件(千葉3, 北海道9, 田無1, 樹芸1)であった。内訳は労働時の災害がハチ刺され7件(千葉1, 北海道4, 田無1, 樹芸1), ダニ刺され1件(北海道1), マサカリによる切創1件(北海道1), 林内での転倒による負傷・受傷2件(北海道2), スノーモビルの接触による負傷1件(北海道1), 庁舎施設内での受傷・火傷1件(千葉1)であった。また物損事故はチェーンソー1件(千葉1)であった。

災害種別	被災者		
	教職員(件)	学生(件)	その他(件)
重大災害			
設備災害			
通勤災害			
人的被害あり	13		
人的被害なし (設備災害でない機器・施設損傷あり)	1		
人的被害・機器・施設損傷なし			

東京大学安全衛生管理業務月報に基づく演習林災害統計

休業種別	被災者		
	教職員(件)	学生(件)	その他(件)
休業災害(4日以上)			
休業災害(4日未満)			
不休災害	14		
合計	14		

山火事予防活動

演習林名	名 称	開催場所	日 程	参加人数
北海道演習林	巡視及び注意喚起の幟, 設置と撤去	北海道演習林一円	2018/4/1～ 2018/5/31	全職員
秩父演習林	消火訓練(大血川管内)	秩父演習林	2018/8/20	14
秩父演習林	消火訓練(栃本管内)	秩父演習林	2019/1/21	15

5. 国際交流

1) 交流事業・国際シンポジウム・国際共同研究

交流事業

相手大学および機関名	国名	協定締結の有無	交流期間	目的
海南大学	中国	有	2018/7/10-7/18	サマープログラム

国際シンポジウム

参加者氏名	シンポジウム名	主催	開催地	日程
蔵治光一郎	The 10th Environmental Conference of SNU Graduate School of Environmental Studies and PKU School of Environment & Energy	SNU & Peking Univ.	Seoul, Korea	2018/4/30-5/1
蔵治光一郎・鎌田直人・尾張敏章・広嶋卓也・富山啓介・福井 大	NTU-UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis for Ecosystem Services in Asian University Forests	College of Bioresources and Agriculture, National Taiwan University, The Experimental Forest, National Taiwan University, The University of Tokyo Forests, The University of Tokyo	National Taiwan University, Nantou, Taiwan	2018/6/25-6/30
福井 大	4th Southeast Asia Bat Conference	Southeast Asia Bat Conservation Research Unit	Bacolod, Philippines	2018/8/6-8/9
福井 大	生物ナビゲーションのシステム科学 国際シンポジウム	文部科学省	同志社大学	2018/9/5-9/6
蔵治光一郎・石橋整司・鎌田直人・尾張敏章・広嶋卓也・福井 大・齋藤暖生・藤原章雄・澤田晴雄・大石諭・塚越剛史・木村恒太・原口竜成・竹内啓恵	The 8th Symposium of Asian University Forest Consortium	Seoul National University Forests, SNU, The University of Tokyo Forests, The University of Tokyo	Seoul National University, Seoul, Korea	2018/10/22-10/26
尾張敏章	11th IUFRO Workshop on Uneven-aged silviculture	IUFRO Unit 1.05.00	Valdivia, Chile	2018/11/12-11/18
蔵治光一郎・鎌田直人・富山啓介	NTU-UTokyo Joint Conference	College of Bioresources and Agriculture, National Taiwan University, The Experimental Forest, National Taiwan University, The University of Tokyo Forests, The University of Tokyo	National Taiwan University, Nantou, Taiwan	2018/12/11-12/13
蔵治光一郎	International Conference on water management and climate change towards Asia's water-energy-food nexus and SDGs (THA 2019)	Chulalongkorn University	Bangkok, Thailand	2019/1/23-1/24
広嶋卓也	国際シンポジウムFORMATH OKINAWA 2019	FORMATH Research Group	沖縄県教職員共済会館	2019/3/7-3/8

国際共同研究

氏名	研究課題	共同研究者所属	氏名	国籍
鎌田直人	食物網構造を組み入れた全球的な群集の多様性創出機構の解明	南ボヘミア大学・チェコ科学アカデミー	Vojtech Novotny	チェコ
			Martin Volf	チェコ
		南ボヘミア大学	Martin Libra	チェコ
		インド養蚕研究所	Rajesh Kumar	インド
鎌田直人	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	New Guinian Binatang Research Center	Roll Lillip	パプア・ニューギニア
		インド養蚕研究所	Rajesh Kumar	インド
		カセサート大学	Sunisa Sanguansub	タイ
		チェンマイ大学	Sawai Buranapanichpan	タイ
			Teerapong Saowaphak	タイ
		ガジャマダ大学	Sri Rahayu	インドネシア
		マレーシアサバ大学	Maria Lourdes	マレーシア
		フロリダ大学	Jiri Hulcr	アメリカ合衆国
		カリフォルニア大学リバーサイド校	Richard Stouthamer	アメリカ合衆国
		鎌田直人	アジア森林圏の環境変動と生態系応答を把握する長期観測フィールドのネットワーク構築	国立台湾大学
浅野友子	気候変動下における豪雨時の山地河川での洪水予測精度向上	コロラド州立大学	Ellen Wohl	米国
齋藤暖生	behavior and norm of people who access the nature	Swiss Federal Institute for Forest, Snow and Landscape Research	Tessa Hegetschweiler	スイス
蔵治光一郎	Impact of climate change on rainfall variability in Mae Chaem Watershed and Whole Mountainous Area in the Upper Chao Phraya River Basin	タイ王立灌漑局	Nilobol Aranyabhaga	タイ
蔵治光一郎	Hydrological Monitoring in Mount Alab and Inobong, Crocker Range Park, Sabah	マレーシアサバ大学	Maznah Mahali	マレーシア
後藤 晋	東南アジアにおけるヒノキ属の系統推定と産地試験	Seoul National University	Dr. Kyu-Suk Kang	韓国
		National Taiwan University	Dr. Fang-Hua Chu	台湾

2) 海外渡航

氏名	所属演習林	行き先	用務	出発日	帰着日
蔵治光一郎	企画部	韓国	The 10th Environmental Conference of SNU Graduate School of Environmental Studies and PKU School of Environment & Energy	2018/4/30	2018/5/2
鎌田直人	北海道演習林	タイ	トラップで捕獲したキクイムシ類のソーティング・データ解析	2018/5/27	2018/6/3
福田健二				2018/6/23	2018/7/1
鎌田直人	北海道演習林			2018/6/24	2018/7/1
尾張敏章	千葉演習林		NTU-UTokyo Joint Workshop on Long-term Monitoring and Data Analysis For Ecosystem Services in Asian University Forests	2018/6/24	2018/7/1
當山啓介	千葉演習林	台湾		2018/6/24	2018/7/1
広嶋卓也	北海道演習林			2018/6/24	2018/7/1
福井 大	北海道演習林			2018/6/24	2018/6/29
蔵治光一郎	企画部			2018/6/24	2018/7/1
竹本周平	田無演習林	台湾	JSPS C2Cシンポジウムへの参加と発表・クロサイワイタケ科菌類の分類に関する研究打合せ	2018/6/24	2018/6/29
鎌田直人	北海道演習林	マレーシア	キクイムシ類の採集	2018/7/4	2018/7/12
三浦直子	教育研究センター	スペイン	IGARSS国際学会	2018/7/22	2018/8/1
福井 大	北海道演習林	フィリピン	4th Southeast Asia Bat Conference	2018/8/5	2018/8/11
浅野友子	秩父演習林	米国	研究交流、共同研究など	2018/8/7	2019/3/28
齋藤暖生	富士癒しの森研究所	韓国	日韓コモンズ研究ワークショップ	2018/8/18	2018/8/24
蔵治光一郎	企画部	マレーシア	国際共同研究”Hydrological Monitoring in Mount Alab and Inobong, Crocker Range Park, Sabah”のための現地観測	2018/8/29	2018/9/3
齋藤暖生	富士癒しの森研究所	ノルウェー・スイス	自然アクセス制に関する調査	2018/9/1	2018/9/10
蔵治光一郎	企画部	タイ	SATREPS”Advancing Co-design of Integrated Strategies with Adaptation to Climate Change”のための現地観測、中間評価	2018/9/4	2018/9/8
鎌田直人	北海道演習林	タイ	キクイムシ類の標本整理とデータ整理	2018/9/26	2018/10/1
尾張敏章	千葉演習林	タイ	アジア工科大学院における集中講義	2018/9/29	2018/10/6
福田健二				2018/10/21	2018/10/26
鎌田直人	北海道演習林			2018/10/20	2018/10/25
木村恒太	北海道演習林			2018/10/20	2018/10/26
石橋整司	千葉演習林			2018/10/21	2018/10/23
尾張敏章	千葉演習林			2018/10/21	2018/10/26
大石 諭	千葉演習林			2018/10/21	2018/10/26
塚越剛史	千葉演習林			2018/10/21	2018/10/26
広嶋卓也	北海道演習林	韓国	The 8th Symposium of Asian University Forest Consortium	2018/10/21	2018/10/26
福井 大	北海道演習林			2018/10/21	2018/10/26
原口竜成	秩父演習林			2018/10/21	2018/10/23
齋藤暖生	富士癒しの森研究所			2018/10/21	2018/10/26
藤原章雄	富士癒しの森研究所			2018/10/21	2018/10/22
竹内啓恵	富士癒しの森研究所			2018/10/21	2018/10/26
蔵治光一郎	企画部			2018/10/22	2018/10/27
鎌田直人	北海道演習林	台湾	研究打合せ、トラップ設置、DNA実験	2018/11/1	2018/11/6
尾張敏章	千葉演習林	チリ	第11回IUFRO異齢林施業国際ワークショップ出席	2018/11/10	2018/11/20
鎌田直人	北海道演習林			2018/11/17	2018/11/25
前原 忠	教育研究センター	中国	海南大学との国際交流事業に基づく特別講義および現地検討会	2018/11/17	2018/11/25
久本洋子	千葉演習林			2018/11/18	2018/11/22
福井 大	北海道演習林			2018/11/18	2018/11/23
鎌田直人	北海道演習林	マレーシア	キクイムシ類の採集	2018/11/27	2018/12/6
鎌田直人	北海道演習林			2018/12/10	2018/12/14
當山啓介	千葉演習林	台湾	東京大学と国立台湾大学との戦略的パートナーシップに基づく第3回 Joint Conference	2018/12/12	2018/12/13
蔵治光一郎	企画部			2018/12/12	2018/12/14
蔵治光一郎	企画部	タイ	SATREPS”Advancing Co-design of Integrated Strategies with Adaptation to Climate Change”のための現地観測	2019/1/18	2019/1/26

2018年度 国際交流 海外渡航

氏名	所属演習林	行き先	用務	出発日	帰着日
蔵治光一郎	企画部	タイ	SATREPS“Advancing Co-design of Integrated Strategies with Adaptation to Climate Change”によるワークショップ” Rainfall Observation and Watershed Management for Adaptation to Climate Change in Mae Chaem Watershed, Chiang Mai Province”	2019/2/12	2019/2/14
鎌田直人	マレーシア	マレーシア	キクイムシ類の調査	2019/3/26	2019/3/31

3) 外国人研究者・学生等の来訪

演習林名	来訪目的	日程	国	人数
千葉演習林	海南大学サマープログラム 「東京大学演習林で学ぶ森林管理」	2018/7/10-13	中国	15
千葉演習林	リモートセンシングによるナラ枯れの把握	2018/8/3	中国	1
千葉演習林	フィールドで考える野生動物の保護管理(シカの肝臓等の採材)	2018/8/28-29	ベトナム	1
千葉演習林	アジアセンターのさくらサイエンスプラン	2018/9/17	マレーシア・ インドネシア	2
千葉演習林	人工衛星データ検証のためのUAVを用いた樹林スペクトル計測	2018/9/25-29	中国	1
千葉演習林	科研費課題「森林経営史料と旧空中写真を用いたスギ高齢人工林の長期成長過程の定量的復元」にかかる予備調査への参加	2018/12/11-14	ミャンマー	1
千葉演習林	ラン植物の見学	2019/2/17	イギリス・アメリカ	4
北海道演習林	インターンシップ	2018/4/1-7/28	マレーシア	2
北海道演習林	インターンシップ	2018/4/1-8/4	マレーシア	1
北海道演習林	樹木に寄生するアンブrosiアキイムシ類の攻撃性に関する研究	2018/4/1-19/3/31	中国	1
北海道演習林	JICA研修 「市場メカニズムを活用した持続的森林・自然資源管理」	2018/5/29	ブラジル・ホンジュラス・ケニア・レバノン・ チュニジア・ウガンダ	6
北海道演習林	インターンシップ	2018/6/1-7/4	マレーシア	1
北海道演習林	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リストに影響する環境要因と系統的制約性	2018/6/4-5・ 6/17-19	インドネシア	1
北海道演習林	将来の研究課題の相談	2018/6/15-18	インドネシア	1
北海道演習林	台北市私立華興中学教育旅行	2018/7/2	台湾	51
北海道演習林	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	2018/7/4	フィリピン・中国	2
北海道演習林	Application of innovative remote sensing and growth modeling techniques for the single-tree management system of high-value hardwood species in northern Japan	2018/7/5-21	ミャンマー	1
北海道演習林	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	2018/7/10-12・7/22- 23	フィリピン・中国・パ ンラデッシュ	4
北海道演習林	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	2018/7/25・8/3・11/2- 5・12/3-4	フィリピン・中国・パ ンラデッシュ	3
北海道演習林	旧空中写真を用いた針広混交天然林の林分構造変化の解析	2018/8/21-23	スリランカ	1
北海道演習林	樹木に寄生するアンブrosiアキイムシ類の攻撃性に関する研究	2018/9/3-20	中国	1
北海道演習林	地域住民の参加による多様な森林保全(JICA研修)	2018/10/10	アルバニア・エチオピア・ フィジー・インド・ マラウイ・ミャンマー他	13
北海道演習林	富良野地方におけるサケ科魚類の保全生態学的研究	2018/10/10-12・ 10/23-26	カナダ	1
北海道演習林	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためモニタリング手法の開発	2018/10/17	カンボジア	2
北海道演習林	タイ山岳地帯におけるキクイムシ類群集と樹木の関係の解析	2018/12/14-3/13	タイ	2
北海道演習林	インターンシップ	2019/1/25-3/31	マレーシア	2
秩父演習林	ヒノキ属の遺伝的多様性評価	2018/4/10	中国	1
秩父演習林	山地・森林流域保全に関するインターンシップ	2018/5/7-31	フランス	1
秩父演習林	2018年度 森林植物学実験 野外実習の現地視察	2018/7/24-26	中国	1
秩父演習林	アジアセンターのさくらサイエンスプラン	2018/9/16	マレーシア・ インドネシア	2
秩父演習林	日本の樹木の標本と種子の採集	2018/9/18	米国	4
秩父演習林	国際環境科学コース「環境科学フィールドワーク2」下見	2018/10/18-19	米国	11
秩父演習林	森林昆虫-共生微生物の共進化と温度反応及び気候変動から予測される動態予測	2018/11/7	中国	2
田無演習林	田無演習林のマツの外生菌根菌の多様性に関する調査	2018/6/29・7/12	中国	2
田無演習林	田無演習林内のキノコの調査	2018/7/4	中国	2
田無演習林	南京農業大学との学術交流	2018/9/1	中国	35

2018年度 国際交流 外国人研究者の来訪

演習林名	来訪目的	日程	国	人数
田無演習林	環境調和特別演習 持続可能な農林畜水産業 1.環境負荷	2018/9/14	ミャンマー・ベトナム・インドネシア・フィリピン・スリランカ・中国・台湾・マレーシア・タイ・インド・カンボジア	20
田無演習林	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	通年不定期計82日	インドネシア	1
田無演習林	サクラ類の樹脂生産に対するジャスモン酸およびエチレンの影響	通年不定期計34日	インドネシア	1
生態水文学研究所	インターンシップ	2018/4/1-5/31・7/4-27	マレーシア	1
生態水文学研究所	インターンシップ	2018/6/1-7/31	フランス	1
生態水文学研究所	森林圏生態社会学研究室合宿ゼミ	2018/10/1-2	中国	6
生態水文学研究所	SATREPS ADAP-T 森林チームのトレーニングコース	2018/10/29-31	タイ	8
生態水文学研究所	白坂流域への土壌侵食モデルの適用	2018/11/21-22	フランス	1
富士癒しの森研究所	JICA研修 「市場メカニズムを活用した持続的森林・自然資源管理」	2018/5/18	ブラジル・ホンジュラス・ケニア・レバノン・チュニジア・ウガンダ	6
富士癒しの森研究所	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(春編)」	2018/5/19-20	中国	1
富士癒しの森研究所	中国海南大学サマープログラム	2018/7/13-16	中国	2
樹芸研究所	樹芸研究所見学	2018/6/27-28	中国	1
企画部	NTU実験林と東大演習林との協定締結打ち合わせ	2018/9/14	台湾	2
企画部	インターンシップ終了挨拶	2018/8/6	マレーシア	1
企画部	博士論文審査打ち合わせ	2018/7/16	タイ	1
教育研究センター	研究打合せ	2019/1/28	中国	1

6. 管理

1) 管理面積集計表・林相別蓄積集計表・植栽樹種

管理面積集計表

2018年4月1日現在 ha

演習林名	管理面積合計	立木地								無立木地	その他
		人工林				天然林					
		小計	針葉樹林	針広混交林	広葉樹林	小計	針葉樹林	針広混交林	広葉樹林		
千葉演習林	2,170	858	826	17	15	1,302		377	925	1	9
北海道演習林	22,715	3,336	3,020	136	180	18,536		14,859	3,677	22	822
秩父演習林	5,812	769	751		18	4,986	199	778	4,009		57
田無演習林	9	6	2	3	1						3
生態水文学研究所	1,292	304	302		2	949		949			39
富士癒しの森研究所	41	37	25	9	3						4
樹芸研究所	247	109	50		59	106			106		32
合計	32,286	5,419	4,976	165	278	25,879	199	16,963	8,717	23	966

但し、「立木地」は実験林、樹木園、採穂園、採種園を含む森林の合計面積、「無立木地」は竹林、伐採跡地、未立木地の合計面積、「その他」は道路敷、林道敷、集材路、土場、河川敷、水路敷、池敷、崩壊地、荒廃地、苗畑、苗畑跡地、圃場、圃場付帯地、庁舎構内、事務所構内、作業所構内、宿舎、建物敷、馬房、露場、湖畔広場、古在ヶ原、グラウンド、貸付地、鉄塔敷、送電線、鉱山跡、採石跡、鹿柵敷、林班外の土地の合計面積(誤差を含む)とした。

林相別蓄積集計表

2018年4月1日現在 m³

演習林名	計	人工林	天然林
千葉演習林	810,611	252,212	558,399
北海道演習林	5,228,266	686,715	4,541,551
秩父演習林	1,462,189	360,322	1,101,867
田無演習林	2,344	2,344	
生態水文学研究所	239,026	84,928	154,098
富士癒しの森研究所	11,462	11,462	
樹芸研究所	74,797	51,153	23,644
合計	7,828,695	1,449,136	6,379,559

植栽樹種

(本)

演習林名	樹種本数			
	スギ	ヒノキ	スギ(コンテナ苗)	
千葉演習林	500	350	120	
北海道演習林	トドマツ	エゾマツ	アカエゾマツ	グイマツF1
	6,053	6,092	2,280	68
秩父演習林				
田無演習林				
生態水文学研究所				
富士癒しの森研究所				
樹芸研究所				

2) 立木伐採量

m³

演習林名	主伐材積				小計	利用 間伐 材積	主伐, 間伐 合計	
	人工林		天然林					
	針葉樹	広葉樹	針葉樹	広葉樹				
千葉演習林	立木販売	638			638		638	
	素材生産資材量							
	その他							
	合 計							
北海道演習林	立木販売			10,725	5,151	15,876	3,661	19,537
	素材生産資材量			333	1,333	1,667		1,667
	その他							
	合 計			11,058	6,485	17,543	3,661	21,204
秩父演習林	立木販売							
	素材生産資材量							
	その他							
	合 計							
田無演習林	立木販売							
	素材生産資材量							
	その他							
	合 計							
生態水文学 研究所	立木販売							
	素材生産資材量							
	その他							
	合 計							
富士癒しの森 研究所	立木販売							
	素材生産資材量							
	その他							
	合 計							
樹芸研究所	立木販売							
	素材生産資材量							
	その他							
	合 計							
合 計	立木販売	638		10,725	5,151	16,514	3,661	20,175
	素材生産資材量			333	1,333	1,667		1,667
	その他							
	合 計	638		11,058	6,485	18,180	3,661	21,842

3) 育林実行量① (地拵え, 新植および補植, 下刈り, 除伐)

演習林名	地拵え			新植および補植				下刈り			除伐		
	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	植栽本数	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考
千葉演習林	44C11-4	0.16		44C11-4	0.16	830		44C11-1	0.51		22C7-4	0.05	実習
	44C2-2	0.10	実習	44C2-2	0.10	140	実習	44C11-2	0.13				
								44C11-3	0.37				
								44C2-1	0.10	造林実習 1年目			
北海道演習林	20 A	1.24	請負	20 A	0.75	810	※1	3 E	0.10				
	20 B	0.27	〃	20 A	0.49	650		4 B	5.16				
	23 B	0.37	〃	20 B	0.27	200		4 C	1.27				
	23 C	0.19	〃	23 B	0.37	370	※1	8 B	1.26				
	41 C	1.33	〃	23 C	0.19	200	〃	8 C	0.18				
	43 A	1.05	〃	41 C	1.33	1,420	〃	9 A	0.01				
	43 B	0.71	〃	43 A	0.46	430	〃	10 B	5.71				
	44 A	8.16	〃	43 A	0.06	75		35 D	0.84				
	44 B	1.15	〃	43 B	0.25	230	※1	46 C	0.82				
				44 A	4.06	4,130	〃	46 D	1.94				
				44 A	0.9	1,050	〃	71 D	0.97				
				44 A	3.2	3,450	〃	73 D	1.28				
				44 B	1.15	1,410	〃	74 C	2.34				
								74 H	2.21				
								75 B	2.93	請負			
								75 B	2.13	〃			
							92 A	8.46	〃				
							92 B	5.11	〃				
							92 C	0.08	〃				
秩父演習林										31い23	1.18		
田無演習林													
								1	1	0.07			
								1	2	0.03	延面積		
								1	3	0.06	〃		
								1	4	0.10	〃		
								1	5	0.19	〃		
								1	6	0.17	〃		
								1	7	0.08	〃		
								1	8	0.30	〃		
								1	9	0.13	〃		
								1	12	0.25	延面積		
								1	13	0.08	〃		
								1	14	0.19	延面積		
								1	16	0.08	〃		
								1	19	0.05	延面積		
								1	20	0.33	〃		
								1	21	0.17	延面積		
								1	22	0.10	〃		
								1	23	0.25	〃		
								1	24	0.13	〃		
								1	25	0.30	延面積		
								1	26	0.29	〃		
合計		14.47			13.74	15,395			47.26			1.23	

生態水文学研究所, 富士癒しの森研究所, 樹芸研究所では該当する業務はなかった。

3) 育林実行量② (枝打ち, 保育間伐, 獣害対策, その他)

演習林名	枝打ち			保育間伐			獣害対策(シカ柵設置など)			その他						
	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考				
千葉演習林				45C2-1	1.66		44C11-4	0.08								
				44C6	0.10	実習	44C2-2	0.10	実習地							
北海道演習林				98	C	13.65	※1	17	A	2.10	鼠毒餌散布					
								18	B	0.38	〃					
								18	D	1.18	〃					
								33	A	2.24	〃					
								33	C	2.80	〃					
								57	C	5.00	〃					
								68	A	1.00	〃					
								71	D	2.63	〃					
								72	D	4.53	〃					
								73	D	2.85	〃					
								74	C	3.86	〃					
								74	H	2.16	〃					
								74	J	0.91	〃					
								75	B	3.09	〃					
							※1 請負(補助金)	87		4.24	〃	樹木園見本林内				
秩父演習林	3	い29	2.93	※2	7	い6	2.22	※2	3	い30	0.70	シカ柵補修	25	い1	1.00	不成績地
	31	い23	1.18		8	い2	3.23	※2	29	い38	0.31	シカ柵補修	25	は5		皆伐
					8	い4	1.64	※2	29	い40	0.22	シカ柵補修				
					12	い1	2.25	※2	31	い23	1.18	シカ柵補修				
					12	い2	1.02	※2	20	ち1		防獣柵点検(樹木園新設周囲1080m)				
									28	い8	1.28	樹皮ガード保守				
									29			樹皮ガード取付, 矢竹沢第3作業道沿い				
							※2 埼玉県水源地域の森づくり事業		31			樹皮ガード取付, 入山一里観音歩道沿い				
生態水文学 研究所					22	い3	4.16	愛知県保安林整備事業								
					22	い4	2.4	〃								
					23	い1	1.11	〃								
					38	い1	0.26	愛知県小規模治山整備事業								
					61	い1	1.38	〃								
					71	い11	0.50	〃								
					72	い1	0.54	〃								
					63	い14	0.50	直営								
					72	い10	0.27	ボランティア								
富士癒しの 森研究所					III-8		0.51	ヒノキ林間伐								
合計			2.93				27.04				42.53					1.00

田無演習林, 樹芸研究所では該当する業務はなかった。

4) 素材生産総括表・土木実行総括表・道路現況

素材生産総括表

m³

演習林名	素材生産資材量			素材生産量			歩留(%)		
	計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	平均	針葉樹	広葉樹
千葉演習林									
北海道演習林	1,666.65	333.22	1,333.43	1,133.50	245.31	888.19	68.01	73.62	66.61
秩父演習林									
田無演習林									
生態水文学 研究所									
富士癒しの森 研究所									
樹芸研究所									
合計	1,666.65	333.22	1,333.43	1,133.50	245.31	888.19	68.01	73.62	66.61

土木実行総括表

m

演習林名	実行内容			
	実行数量			
千葉演習林	林道維持	歩道維持		
	39,517	3,000		
北海道演習林	車道手入	砂利敷均し	崩壊修繕	請負草刈り
	51,550	200	3箇所	177,900
秩父演習林	林道維持	作業道維持	歩道維持	モノレール維持
	11,395	5,161	35,587	3,067
田無演習林	碎石敷均し	歩道草刈		
	10	812		
生態水文学 研究所	林道維持	歩道維持		
	6,100	4,220		
富士癒しの森 研究所	車道草刈	歩道草刈		
	600	900		
樹芸研究所	車道草刈	車道整備	歩道草刈	歩道整備
	1,979	1,203	1,708	550

道路現況

m

演習林名	車道延長				歩道延長	
	林道延長	作業道延長	計	密度(m/ha)	延長	密度(m/ha)
千葉演習林	31,436		31,436	14.5	125,361	57.8
北海道演習林	484,500	448,890	933,390	41.0	7,800	0.3
秩父演習林	11,395	8,433	19,828	3.4	182,371	31.4
田無演習林					1,590	176.70
生態水文学 研究所	11,840	1,500	13,340	10.3	12,400	9.6
富士癒しの森 研究所	2,087		2,087	54.9	3,009	79.2
樹芸研究所	3,486	3,657	7,143	29.0	11,753	47.8
合計	544,744	462,480	1,007,224		344,284	

5) 運営費予算配分額, 収入, 外部資金

区分	内訳	金額(千円)
運営費予算配分額	年度当初配分額	248,452
	市町村交付金相当額予算	41,980
	追加配分・協力金	18,521
	その他の予算	6,890
	計	315,843
収入	演習林林産物収入	92,161
	刊行物販売等売払収入	607
	講習料収入	514
	その他の収入	18,407
	計	111,689
外部資金	科学研究費	61,125
	奨学寄附金	12,939
	受託研究費	10,470
	他機関との共同研究費	4,648
	その他補助金	6,600
	計	95,782
合計		523,314

6) 演習林林産物収入細分表

演習林名	立木	素材	その他			合計
			ヒサカキ	苗木	残材等, その他	
千葉演習林	637.740 m ³	m ³	24 束	本	m ³	1,274,000 円
	1,260,000 円	円	14,000 円	円	円	
北海道演習林	19,537.270 m ³	1,133.502 m ³	束	本	m ³	90,879,811 円
	42,774,420 円	48,105,391 円	円	円	円	
秩父演習林	m ³	11.950 m ³	束	本	m ³	7,000 円
	円	7,000 円	円	円	円	
合計	20,175.01 m ³	1,145.45 m ³	24 束	本	m ³	92,160,811 円
	44,034,420 円	48,112,391 円	14,000 円	円	円	

※2017年度の北海道演習林素材生産量, および合計に誤りがありました。

【誤】1,026.68m³ → 【正】1,094.51m³

7. 研修

1) 技術職員

研 修 名	開 催 機 関	開 催 月	参 加 人 数
新規採用職員研修 I	東京大学	4月	3
新任教職員研修	東京大学	4月	2
平成30年度(前期)教室系技術職員学外技術研修 (デジタル写真測量講習会)	日本写真測量学会	5月	1
pH測定の原理と基礎セミナー	メラー・トレド 株式会社	5月	1
2018年メルク技術講習会ミススクール 超純水・純水編	メルク株式会社	6月	2
平成30年度北海道東北地区大学演習林技術職員研修	東京大学	6月	1
平成30年度(前期)教室系技術職員学外技術研修 (日本樹木医会静岡大会)	一般社団法人 日本樹木医会	6月	1
第59回北海道地区中堅係員研修	人事院北海道	7月	1
平成30年度北海道地区国立大学法人等中堅技術職員研修	北海道大学	8月	2
pH・水質分析基礎セミナー	株式会社 堀場製作所	8月	1
平成30年度九州地区大学演習林等技術職員研修	九州大学	9月	3
平成30年度(前期)教室系技術職員学外技術研修 (森林情報土養成研修・森林リモートセンシング2級)	一般社団法人 日本森林技術協会	9月	1
日本鳥学会2018年度大会	日本鳥学会	9月	1
平成30年度(前期)教室系技術職員学外技術研修 (UAV写真測量講習会)	日本写真測量学会	9月	1
平成30年度(後期)教室系技術職員学外技術研修 (標識調査勉強会)	公益財団法人 山科鳥類研究所	10月	1
平成30年度関東甲信越地区大学演習林等技術職員研修	筑波大学	10-11月	1
平成30年度(後期)教室系技術職員学外技術研修 (測量・地図の中級講座 ネットワーク型RTK 法による基準点測量 コース)	公益社団法人 日本測量協会	11月	1
平成30年度中国・四国・近畿地区大学附属演習林等技術職員 研修	高知大学	11月	1
平成30年度機械グループ研修 「機械の点検整備と作業安全に関する研修」	東京大学大学院 農学生命科学研究科 技術部機械グループ	11月	1
環境活動ステップアップ研修	愛知県	11月	1
平成30年度東海地区農学部附属演習林等技術職員研修	静岡大学	12月	3
原子吸光光度計ユーザースクール	日立ハイテクサイエンス	12月	2
情報システム人材育成研修～IT基礎～	東京大学	1月	1
環境活動ステップアップ研修	愛知県	1月	1
基盤データ整備委員会GIS部門・GIS操作技術研修会	東京大学大学院 農学生命科学研究科 附属演習林	2月	10
平成30年度東京大学教室系技術職員研修 「pH測定技術-pHで探る東京大学の水と土壌環境-」	東京大学	2月	4
平成30年度第2回情報セキュリティセミナー	東京大学	2月	1
第8回農学生命科学研究科技術職員研修会	東京大学	3月	32

2) 事務職員

研 修 名	開 催 機 関	開 催 月	参 加 人 数
旅費業務に関する説明会	東京大学	9月	1

8. 組織図

1) 企画部・教育研究センター

組織(主任職員)		配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)	
演習林林長	教授	福田健二			
企画部					
部長	教授	蔵治光一郎		特任専門職員 柴田ゆう子	
統括技術長	技術専門員	澤田晴雄			
教育研究センター					
センター長	准教授	後藤 晋	准教授	鴨田重裕(兼)	事務補佐員 小林ひとみ
			助教	前原 忠	
			助教	三浦直子	
技術主任	技術専門職員	丹羽悠二	技術専門職員	近澤静恵	
2018/4/22まで育児休業					
農学系事務部			研究支援チーム		
事務部長	吉田雅彦		副課長	根本浩三	
総務課長	金子郁夫		係長	大溝真由美	
経理課長	斉藤正己				
教務課長	瀧口昭江				
国際化推進支援担当課長	青木一恵		他事務部各係		
学生等		氏名			
IPADS 博士3年		サデーバ・ジャヤトウンガ			
博士3年		サイフル・アムリ・サラギー			
博士3年		執行宣彦			
博士2・3年		彭 勇			
博士2・3年		アンナ・カロリナ			
博士1・2年		チョー・トゥー・モー			
博士1年		ヴィージェナイカ・パビトラ・ランガニー			
修士2年		金道知聖			
修士2年		小原 茜			
修士1年		田中翔大			
修士1年		山崎 有			
修士1年		李 昕曄			
修士1年		韋 珉傑			
学部4年		谷川鴻介			
学部4年		橋本晋太			
研究生		陸 黎峻			
研究生		レ 園園			
研究生		林 子愷			
研究生		劉 立航			
研究生		潘 濟楚			

2) 千葉演習林

組織(主任職員)		配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)	
林長	教授	石橋整司			
林長補佐	准教授	尾張敏章			
技術主任	技術専門職員	大石 諭			
技術副主任	技術専門職員	米道 学			
森林管理部門 部門長	技術専門職員	鈴木祐紀			
土木係	技術専門職員	塚越剛史	技術専門職員	阿達康眞	
森林管理係	技術専門職員	軽込 勉	技術専門職員	米道 学(兼)	
作業所部門 部門長	技術専門職員	鶴見康幸			
清澄作業所	技術専門職員	村川功雄		特任専門職員 粕谷善廣 特任専門職員 岡田康則 特任専門職員 加瀬清巳	
札郷・郷台作業所	技術専門職員	米道 学		特任専門職員 宮原はな 特任専門職員 吉田龍三 特任専門職員 富川 勲 臨時用務員 糟谷育代(兼)	
教育研究主任	助教	久本洋子			
教育研究支援部門 部門長	助教	久本洋子			
資料管理係	技術専門職員	千嶋 武	技術専門職員	大石 諭(兼) 技術専門職員 三次充和(兼) 准教授 尾張敏章(兼)	
試験係	助教	當山啓介	助教	久本洋子(兼) 准教授 尾張敏章(兼) 教授 石橋整司(兼)	
利用促進部門 部門長	技術専門職員	大石 諭			
社会連携係	技術専門職員	三次充和			
利用調整係	助教	當山啓介	技術専門職員	三次充和(兼) 臨時用務員 糟谷育代(兼) 一般職員 吉田明子(兼) 特任専門職員 羽若部理會	
事務室係長		田山勝則			
事務係	主任	野山 智	一般職員	吉田明子	
施設係	係長	田山勝則	技術専門職員	鶴見康幸(兼) 技術専門職員 村川功雄(兼) 技術専門職員 米道 学(兼)	
管財係	係長	田山勝則			

3) 北海道演習林

組織(主任職員)		配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)	
林長	教授	鎌田直人			
林長補佐	講師	広嶋卓也			
教育研究主任	助教	坂上大翼			
	助教	福井 大			
主査	主査	川辺幸一			
技術主任	技術専門員	犬飼 浩			
技術副主任	技術専門員	井口和信			
庶務チーム	係長	横山和宏	主任	天山 学	事務補佐員 穴澤三恵子
会計チーム	係長	岡田教和	専門職員	三上 匠	
			一般職員	橋場 唯	
				2018/7/31まで	
				2018/12/1から	
資産管理チーム	係長	米田久和			
企画調整係主任	技術専門員	犬飼 浩(兼)	技術専門職員	大川あゆ子	
調査資料係主任	技術専門職員	笠原久臣	技術専門職員	小川 瞳	技能補佐員 犬飼雅子
			技術職員	犬飼慎也	技能補佐員 木村恵美子
			技術専門職員	大川あゆ子(兼)	技能補佐員 高島義和
					2018/5/1から2018/10/31まで
種苗造林係主任	技術専門職員	岡平 卓巳	技術職員(再)	岡村行治	
造林資料係主任	技術専門員	犬飼 浩(兼)	技術専門職員	宅間隆二	
生産販売係主任	技術専門職員	福士憲司		特任専門職員	片平可奈
土木生産係 (土木担当)主任	技術専門職員	及川 希	技術専門職員	磯崎靖雄(兼)	
			技術職員	遠國正樹	
土木生産係 (生産担当)主任	技術専門職員	小池征寛	技術専門職員	磯崎靖雄	
			技術専門職員	井上 崇	
			技術職員	木村恒太	
調査第一係主任	技術専門職員	松井理生	技術職員	江口由典	
			技術職員	小林徹行	
			技術職員	延 栄一	
				(代替職員)2018/4/22まで	
			技術職員	佐藤晴樹	
				(代替職員)2018/5/6から	
			技術職員	算用子麻未	
				2018/4/22まで育児休業	
				2018/5/6から産前産後・育児休業	
調査第二係主任	技術専門職員	中川雄治	技術専門員(兼)	井口和信	
			技術職員	廣田善己	
試験係			教授	鎌田直人	
			講師	広嶋卓也	
			助教	坂上大翼	
			助教	福井 大	
山部樹木園主任	技術専門職員	木村徳志	技術専門職員	福岡 哲	技能補佐員 中坪優子
					技能補佐員 安藤佳子
					技能補佐員 安藤雅恵
					2018/4/1から2018/11/30まで
セミナーハウス					
施設長	教授	鎌田直人	係長	横山和宏(兼)	特任専門職員 杉原時子
					特任専門職員 望月 睦
					2018/4/1から2018/11/30・
					2019/2/1から2019/3/31まで
					特任専門職員 松村裕美
					2018/5/1から2018/10/31まで

4) 秩父演習林

組織(主任職員)		配置職員(教職員)			配置職員(非常勤職員)	
林長	教授	山田利博				
林長補佐	講師	平尾聡秀				
教育研究主任	講師	浅野友子				
試験係主任	助教	鈴木智之				
事務室	専門員	大村 栄	係長 主任	三宅順一 亀原弥生	特任専門職員	浅見美津子
技術主任	技術専門職員	五十嵐勇治			特任専門職員	富沢貴志
森林管理 チーム	技術専門員	大村和也	技術専門職員	吉田弓子		
利用促進 チーム	技術専門職員	高德佳絵	技術専門職員	藤平晃司	特任専門職員	島崎雅美
			技術専門職員	原口竜成	特任専門職員	内田理恵
			技術専門職員	才木道雄		
作業所 チーム	技術専門職員	高野充広	技術専門職員	齋藤俊浩	特任専門職員	山中五郎
					特任専門職員	山中淑子
影森苗畑	技術専門職員	五十嵐勇治(兼)				

5) 田無演習林

組織(主任職員)		配置職員(教職員)			配置職員(非常勤職員)	
林長	講師	安村直樹				
林長補佐	講師	楠本 大				
教育研究主任	助教	竹本周平			特別研究員	鳥居正人
					2018/4/30まで	
技術主任	技術専門員	栗田直明	技術専門職員	相川美絵子	特任専門職員	尾林文男
					特任専門職員	石浦恭子

6) 生態水文学研究所

組織(主任職員)		配置職員(教職員)			配置職員(非常勤職員)	
所長	教授	石橋整司(兼)				
所長補佐	助教	田中延亮				
教育研究主任	助教	水内佑輔	助教	田中延亮(兼)	特任専門職員	加藤敦美
教育研究係主任			特任助教	佐藤貴紀	学術支援職員	黒木里香(兼)
			技術専門職員	高橋功一	特任研究員	アナンナイナール
			技術専門職員	里見重成		
			技術職員	岸本光樹		
過去データ 管理室	助教	田中延亮	助教	水内佑輔(兼)	学術支援職員	加藤純子
					学術支援職員	黒木里香
					特任専門職員	加藤敦美(兼)
事務主任	事務室係長	平野圭二			特任専門職員	加藤正勝
					学術支援職員	田中智子
技術主任	技術専門員	井上 淳	技術職員	梁瀬桐子	特任専門職員	渡辺平和
研究林管理係主任			技術職員	岸本光樹(兼)	学術支援職員	橋本 聖
					学術支援職員	高橋由佳
環境安全推進室	事務室係長	平野圭二	技術専門員	井上 淳(兼)		

7) 富士癒しの森研究所

組織(主任職員)		配置職員(教職員)			配置職員(非常勤職員)	
所長	講師	浅野友子(兼) 2018/7/31まで				
	准教授	後藤 晋 2018/8/1から				
所長補佐	助教	齋藤暖生				
教育研究主任	助教	藤原章雄	助教	藤原章雄	特任研究員	竹内啓恵
			助教	齋藤暖生		
技術主任	技術専門職員	西山教雄	技術専門職員	西山教雄(兼)	臨時用務員	高村史香
技術主任補佐	技術専門職員	辻 和明	技術専門職員	辻 和明(兼)	特任専門職員	齋藤純子

8) 樹芸研究所

組織(主任職員)		配置職員(教職員)			配置職員(非常勤職員)	
所長	准教授	鴨田重裕				
所長補佐	助教	井上広喜				
教育研究係						
教育研究主任	助教	井上広喜				
技術係						
技術主任	技術専門職員	村瀬一隆	技術専門職員	辻 良子	技能補佐員	大島浩子
		教育研究支援チーム			技能補佐員	須田常仁
			技術専門員	渡邊良広		
		森林管理チーム	技術職員	千井野聡		
事務係						
事務主任	(不在)		技術専門職員	辻 良子(兼)	事務補佐員	進士真理子

9. 人事

日付	異動	新所属・職名	氏名	旧所属・職名
2018.4.1	命	演習林長 教授	福田健二	
2018.4.1	勤務換	附属演習林千葉演習林(林長)・生態水文学研究所(所長)(兼) 教授	石橋整司	附属演習林千葉演習林(林長)・企画部(兼) 教授
2018.4.1	勤務換	附属演習林千葉演習林(林長補佐) 准教授	尾張敏章	附属演習林北海道演習林(林長補佐) 准教授
2018.4.1	勤務換	附属演習林北海道演習林(林長補佐) 講師	広嶋卓也	附属演習林生態水文学研究所(所長) 講師
2018.4.1	採用	附属演習林北海道演習林 技術職員	廣田善巳	
2018.4.1	採用	附属演習林生態水文学研究所 技術職員	岸本光樹	
2018.4.1	採用	附属演習林樹芸研究所 技術職員	千井野聡	
2018.4.1	勤務換	附属演習林千葉演習林 技術専門職員	阿達康真	附属演習林北海道演習林 技術専門職員
2018.4.1	配置換	附属演習林秩父演習林 専門員	大村 栄	工学系・情報理工学系等総務課 専門員
2018.4.1	配置換	附属演習林北海道演習林会計係	三上 匠	工学部
2018.4.22	任期満了 退職		延 栄一	附属演習林北海道演習林 技術職員(育休代替職員)
2018.5.6	臨時的採用	附属演習林北海道演習林 技術職員	佐藤晴樹	
2018.7.1	採用	附属演習林千葉演習林 事務職員	吉田明子	
2018.7.31	退職		三上 匠	附属北海道演習林会計係
2018.8.1	サバティカル	コロラド州立大学	浅野友子	附属演習林秩父演習林・富士癒しの森研究所(兼・所長) 講師
2018.12.1	採用	附属演習林北海道演習林会計係	橋場 唯	

10. 委員会・会議等

1) 演習林規則に則って開催された委員会・会議

運営委員会	演習林規則第5条により設置されている演習林の管理および運営に関する最高議決機関である。委員は演習林の教授・准教授のほか研究科長が推薦する研究科の教授または准教授(10名以内)と演習林統括技術長, 研究科事務部長であり, 演習林長が委員長を務める。今年度は2019年3月19日(火)に開催し, 地方演習林と常置委員会を軸とする演習林の管理および運営に関する重要事項の審議を行った。
-------	---

演習林会議	演習林規則第6条により設置されている演習林の管理および運営の実務に関する事項を審議決定する機関である。議員は演習林長, 演習林長補佐, 演習林所属の教授, 准教授, 講師, 演習林統括技術長のほか演習林長が必要と認めた者となる(今年度は研究科総務附属施設担当副課長が指名された)。演習林長が議長を務める。原則として毎月1回(8月をのぞく)教授会開催日の前日に開催する。今年度は11回開催した。
-------	--

2) その他委員会・会議

技術主任会議	統括技術長と地方演習林技術主任により, 森林管理・技術主任組織等に関する諸問題を検討する。今年度は7月10日(火)に開催し, 同日に事務担当者・技術主任合同会議を開催した。
--------	--

事務担当者連絡会議	大学院農学生命科学事務担当者による会議であり, 地方演習林事務担当者を含めて事務処理遂行上の問題点等について報告, 意見交換を行う。平成30年度は7月10日(火)に開催した。なお, 今後、総務課では隔年での開催を計画しているとのことであるが, 演習林としては研究科事務に毎年の開催を働きかけていきたい。また必要に応じて研究科事務との意見交換会を演習林主催で開催することも考えたい。
-----------	--

技術職員等試験研究・研修会議	技術職員等による研究報告と情報交換, 技術研修等を目的に年1回開催する。今年度は11月28日(水)から29日(木)にかけて秩父演習林を会場に開催した。
----------------	---

演習林編集委員会	「東京大学農学部演習林報告」と「演習林」の編集発行を行っている。委員は演習林の教授・准教授のほか関連専攻から推薦された教授・准教授(7名)と編集委員長が指名する者となる。原則として奇数月に開催し, 今年度は6回開催した。
----------	--

科学の森ニュース編集委員会	広報誌「科学の森ニュース」の編集に当たっている。必要に応じて電子メールのやり取りを中心に編集作業を行ってきたが, 今年度は科学の森ニュースの編集のタイミングに合わせ3か月に1回合計4回のテレビ会議を実施した。
---------------	--

ネットワーク委員会	演習林内のネットワークに関する問題の対応, メールアドレス管理等のほか, 研究科マルチメディア委員会の対応等を行っている。
-----------	---

11. 利用状況

1) 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	15	鴨川市有害鳥獣対策協議会				15	15	有害鳥獣捕獲	日帰り
2	4	4	千葉県環境生活部大気保全課				6	6	1.非汚染地域大気環境調査(4/2・16), 2.化学物質大気環境調査(4/23-24)	日帰り
3	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	1				1	造林学実験にかかる実習予定地視察	日帰り
4	4	1	東京都市大学知識工学部自然科学科生命科学研究室	2		1		3	アルカリ土壌における尿素効果の比較解析	日帰り
5	4	1	日本大学生物資源科学部森林資源科学科森林動物学研究室		2			2	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	日帰り
6	4	1	千葉大学大学院理学研究院	1		1		2	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(機器メンテナンス)	日帰り
7	4	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				8	8	「春の一般公開」サポートのためのコース事前下見	日帰り
8	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答の解明(針葉樹3種の生存調査)	日帰り
9	4	1	箱根植木株式会社				2	2	種子の採取地調査と種子採取	日帰り
10	4	2	千葉科学大学危機管理学部動物危機管理学科	6	5			11	南房総地域におけるヘア・トラップ法を用いた樹上性哺乳類の生息状況	清澄宿泊施設2
11	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	スギこぶ病菌の生態の解明	日帰り
12	4	2	慶應義塾大学経済学部生物学教室	2			2	4	森林性両生類の生息モニタリング及び生態特性に関する調査	日帰り
13	4	1	埼玉県寄居林業事務所森林研究室				4	4	早生樹コウヨウザンの優良個体の選抜と次代検定	日帰り
14	4	6	日本大学生物資源科学部森林資源科学科森林動物学研究室		13	6		19	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	清澄宿泊施設2
15	4	1	首都大学東京観光学科	1				1	照葉樹天然林におけるモチノキの存在様式と樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の解明	日帰り
16	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林				183	183	春の一般公開	日帰り
17	4	2	千葉演習林ボランティア会 Abies				15	15	千葉演習林「春の一般公開」サポート	日帰り
18	4	1	東京都市大学知識工学部自然科学科生命科学研究室	2		1		3	アルカリ土壌における尿素効果の比較解析	日帰り
19	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	3			22	25	鴨川市・東京大学交流事業「野鳥の巣箱をかけよう！(巣箱観察会)」	日帰り
20	4	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				3	3	「野鳥の巣箱をかけよう！(巣箱観察会)」サポート	日帰り
21	4	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				4	4	Abies活動「植物観察会」	日帰り
22	5	13	鴨川市有害鳥獣対策協議会				13	13	有害鳥獣捕獲	日帰り
23	5	5	千葉県環境生活部大気保全課				8	8	1. 非汚染地域大気環境調査(5/1, 14, 28) 2. 化学物質大気環境調査(5/9-10)	日帰り
24	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	1				1	防鹿柵内外の植生調査	日帰り
25	5	2	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	4				4	房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性(カンノナガキイムシ調査)	清澄宿泊施設2
26	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1				1	外生菌 <i>Cenococcum geophilum</i> における耐塩性の分子基盤の解明	日帰り

2018年度 全利用者 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
27	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	スギこぶ病菌の生態の解明	日帰り
28	5	3	東京都市大学知識工学部自然科学科生命科学研究室	6	12	6		24	野外調査法2の実施(森林の空間認識方法)	清澄宿泊施設
29	5	1	首都大学東京観光学科	1				1	照葉樹天然林におけるモチノキの存在様式と樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の解明	日帰り
30	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	18				18	「春の研修会」開催	日帰り
31	5	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				3	3	千葉演習林主催「春の研修会」聴講	日帰り
32	5	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				3	3	Abies活動「植物観察会」	日帰り
33	5	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	2				2	房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性(カシノナガキクイムシ調査)	日帰り
34	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻生物多様性科学研究室	2		2		4	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	清澄宿泊施設2
35	5	5	日本大学生物資源科学部森林資源科学科森林動物学研究室	2	14			16	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	清澄宿泊施設2
36	5	2	千葉科学大学危機管理学部動物危機管理学科	2	4			6	南房総地域におけるヘア・トラップ法を用いた樹上性哺乳類の生息状況	札郷宿泊施設
37	5	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター		4			4	科研費課題「森林経営史料と旧空中写真を用いたスギ高齢人工林の長期成長過程の定量的復元」にかかる予備調査への参加	清澄宿泊施設2
38	5	1	箱根植木株式会社				2	2	種子の採取地調査・種子採取	日帰り
39	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	5		1		6	利用者説明会への参加及び新田・袋山沢における水文観測	清澄宿泊施設2
40	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	4	14			18	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(春編)」	日帰り
41	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	29	1		2	32	第23回千葉演習林利用者説明会	日帰り
42	5	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				6	6	「第23回千葉演習林利用者説明会」聴講	日帰り
43	5	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性(カシノナガキクイムシ調査)	日帰り
44	5	2	千葉県立君津青葉高等学校 総合学科	4			28	32	環境系列2年生校外学習	清澄宿泊施設
45	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1		2		3	「森林生態圏管理学特論」現地講義	日帰り
46	5	2	東京都市大学知識工学部自然科学科生命科学研究室	4		2		6	酸性土壌における尿素処理によるアンモニア菌の発生	清澄宿泊施設2
47	5	2	日本大学生物資源科学部森林資源科学科森林動物学研究室		6	2		8	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	清澄宿泊施設2
48	5	1	千葉県農林総合研究センター森林研究所	3				3	ナラ枯れが生じた木からのナラ菌サンプル採取,及びカシノナガキクイムシフェロモントラップの設置	日帰り
49	6	1	日本大学生物資源科学部森林資源科学科森林動物学研究室		3	1		4	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	日帰り
50	6	1	慶應義塾大学経済学部生物学教室	1			1	2	森林性両生類の生息モニタリング及び生態特性に関する調査	日帰り
51	6	15	鴨川市有害鳥獣対策協議会				15	15	有害鳥獣捕獲	日帰り
52	6	1	千葉大学大学院理学研究院	1		1		2	地震に関する電磁気現象の観測学的研究(メンテナンス)	日帰り

2018年度 全利用者 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
53	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	4	36	2		42	森林植物学実験 野外実習	清澄宿泊施設
54	6	5	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	11	100	5		116	造林学実験	清澄宿泊施設
55	6	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	2				2	房総丘陵の淡水魚相について	日帰り
56	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室			2		2	ニホンジカによる食害を受けた地域の被害状況及び食害との関連についての調査	清澄宿泊施設2
57	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	スギこぶ病菌の生態の解明	日帰り
58	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	7	18			25	教養学部総合科目「森林環境資源学」現地実習	清澄宿泊施設
59	6	3	日本大学生物資源科学部森林資源科学科森林動物学研究室		9	3		12	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	清澄宿泊施設2
60	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻生物多様性科学研究室			3		3	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	清澄宿泊施設2
61	6	4	千葉県環境生活部大気保全課				6	6	(1)非汚染地域大気環境調査(6/11, 25), (2)化学物質大気環境調査(6/19, 20)	日帰り
62	6	1	千葉県立中央博物館植物学研究室	2			1	3	植物観察会の下見	日帰り
63	6	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性(カシノナガキイムシ調査)	日帰り
64	6	1	国立歴史民俗博物館 研究部	1				1	雑誌「林野」の投稿論文(浅間山)に関する情報を収集するため	日帰り
65	6	2	慶應義塾大学経済学部生物学教室	2			2	4	森林性両生類の生息モニタリング及び生態特性に関する調査	日帰り
66	6	1	千葉県農林総合研究センター森林研究所	2				2	カシノナガキイムシフェロモントラップ内容物の回収	日帰り
67	6	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性(カシノナガキイムシ調査)	日帰り
68	6	2	東京都市大学知識工学部自然科学科生命科学研究室	4		2		6	酸性土壌における尿素処理によるアンモニア菌の発生	清澄宿泊施設
69	6	1	千葉県立中央博物館植物学研究室	1			1	2	演習林内に産する大型菌類(きのこ類)を調査する	日帰り
70	6	2	千葉科学大学危機管理学部動物危機管理学科	2	6			8	南房総地域におけるヘア・トラップ法を用いた樹上性哺乳類の生息状況	清澄宿泊施設2
71	6	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター		5			5	科研費課題「森林経営史料と旧空中写真を用いたスギ高齢人工林の長期成長過程の定量的復元」にかかる資料整理・スキャン作業	清澄宿泊施設2
72	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	海南大学サマープログラム実習の下見	日帰り
73	6	1	首都大学東京観光学科	1				1	照葉樹天然林におけるモチノキの存在様式と樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の解明	日帰り
74	6	1	茨城大学農学部資源生物科学科	1	1	2		4	シバヤナギに形成される虫えい(ゴール)の形成機構の解明	日帰り
75	6	1	千葉県立中央博物館植物学研究室	1			1	2	演習林内に産する大型菌類(きのこ類)を調査する	日帰り
76	6	2	日本大学生物資源科学部森林資源科学科森林動物学研究室	1	4	2		7	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	清澄宿泊施設2
77	6	1	箱根植木株式会社				2	2	種子の採取地調査・種子採取	日帰り
78	6	1	宇都宮大学農学部森林科学科	2	34	1		37	樹木学実習	清澄宿泊施設
79	7	2	日本大学生物資源科学部森林資源科学科森林動物学研究室		4	2		6	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	清澄宿泊施設2

2018年度 全利用者 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
80	7	1	宇都宮大学農学部森林科学科	2	34	1		37	樹木学実習	日帰り
81	7	1	千葉県森林インストラクター会				9	9	自然観察	日帰り
82	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1		1		2	周囲の環境に対するマダケ地下茎の伸長方向に関する選択性の検証	日帰り
83	7	11	千葉県環境生活部大気保全課				13	13	化学物質大気環境調査, ダイオキシン類に係る大気環境調査および非汚染地域大気環境調査	日帰り
84	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	1		1		2	新田・袋山沢における水文観測	日帰り
85	7	1	千葉大学大学院理学研究院	2		2		4	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(メンテナンス)	日帰り
86	7	1	千葉県農林総合研究センター森林研究所				2	2	カシノナガキクイムシフェロモントラップ内容物の回収	日帰り
87	7	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				11	11	千葉演習林Abies「本沢林道シダ植物観察会」	日帰り
88	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	6	14			20	教養学部全学体験ゼミナール「君はスギとヒノキのことを本当に知っているのか? (入門編)」実施	清澄宿泊施設
89	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	24 (8)	40 (40)	8 (8)		72 (56)	海南大学サマープログラム「東京大学演習林で学ぶ森林管理」	清澄宿泊施設
90	7	1	千葉日報社 館山・鴨川支局				1	1	海南大学サマープログラム取材	日帰り
91	7	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	3				3	房総丘陵の淡水魚類相について	日帰り
92	7	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境評価学研究室	1				1	ヒメコマツの実生定着に寄与する外生菌根菌種の解明	日帰り
93	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	スギこぶ病菌の生態の解明	日帰り
94	7	2	千葉科学大学危機管理学部動物危機管理学科	2	8			10	南房総地域におけるヘア・トラップ法を用いた樹上性哺乳類の生息状況	清澄宿泊施設2
95	7	1	千葉大学大学院理学研究院	1		1		2	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(メンテナンス)	日帰り
96	7	19	鴨川市有害鳥獣対策協議会				31	31	有害鳥獣捕獲	日帰り
97	7	1	千葉県農林総合研究センター森林研究所				2	2	カシノナガキクイムシフェロモントラップ内容物の回収	日帰り
98	7	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性(カシノナガキクイムシ)	日帰り
99	7	3	日本大学生物資源科学部森林資源科学科森林動物学研究室		3	3		6	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	清澄宿泊施設2
100	7	1	箱根植木株式会社				2	2	種子の採取地調査・種子採取	日帰り
101	7	1	東京都市大学知識工学部自然科学科生命科学研究室	1		1		2	酸性土壌における尿素処理によるアンモニア菌の発生	日帰り
102	7	1	千葉県森林インストラクター会				8	8	森林博物資料館展示所蔵の絵図, 古文書, 道具について見学および研修	日帰り
103	7	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	3			16	19	千葉県立中央博物館房総の山のフィールドミュージアム観察会「山のたんけん部」	日帰り
104	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	5			7	12	高校生ゼミナール	清澄宿泊施設
105	7	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				1	1	高校生のための森と海のゼミナールのサポート	日帰り
106	7	2	安房土木事務所鴨川出張所				5	5	県単災害防止委託業務(清澄・用地測量)内, 測量業務	日帰り
107	7	1	千葉県立旭高等学校園芸科	4				4	マツ種苗育成施設の見学等	日帰り

2018年度 全利用者 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
108	7	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシ羽化トラップ調査	日帰り
109	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	10			12	22	高校生ゼミナール	清澄宿泊施設
110	8	19	鴨川市有害鳥獣対策協議会				38	38	有害鳥獣の捕獲	日帰り
111	8	2	千葉県環境生活部大気保全課				2	2	化学物質大気環境調査, ダイオキシン類に係る大気環境調査および非汚染地域大気環境調査	日帰り
112	8	1	千葉県農林総合研究センター森林研究所				2	2	カシノナガキクイムシフェロモントラップ内容物の回収	日帰り
113	8	8	東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻	38	72	45		155	東京大学地球環境科学科野外調査実習(1)	清澄宿泊施設
114	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科農学国際専攻国際森林環境学研究室			1	(1)	1	リモートセンシングによるナラ枯れの把握	日帰り
115	8	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				6	6	郷台畑タケ植栽試験地	日帰り
116	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	スギこぶ病菌の生態の解明	日帰り
117	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	3		3		6	周囲の環境に対するマダケ地下茎の伸長方向に関する選択性の検証	清澄宿泊施設2
118	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1		1		2	周囲の環境に対するマダケ地下茎の伸長方向に関する選択性の検証	日帰り
119	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1		1		2	周囲の環境に対するマダケ地下茎の伸長方向に関する選択性の検証	日帰り
120	8	11	京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻地質学鉱物学教室地球生物圏史				11	11	千葉県上総層群大田代層におけるタービダイトとデプライト中の泥質礫の産状の記載(撮影とサンプル採取)	札郷宿泊施設
121	8	5	京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻地質学鉱物学教室地球生物圏史				5	5	千葉県上総層群大田代層におけるタービダイトとデプライト中の泥質礫の産状の記載(撮影とサンプル採取)	札郷宿泊施設
122	8	5	東京大学農学部森林環境資源科学専修		15			15	海洋と森林が隣接する特徴を有する都市近郊地域の景観特性及び景観への認識調査	清澄宿泊施設2
123	8	6	日本大学生物資源科学部森林資源科学科森林動物学研究室		6	6		12	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	札郷宿泊施設
124	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	3				3	温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答の解明。産地の異なるトマツ実生苗の高温耐性スクリーニング	日帰り
125	8	1	千葉県立中央博物館植物学研究科	2			1	3	演習林内に産する大型菌類(きのこ類)を調査する	日帰り
126	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林		6			6	体験活動プログラム「演習林の研究を支えよう～日本最初の大学演習林で体験する三つの縁の下～」	清澄宿泊施設
127	8	6	京都大学理学部地質学鉱物学教室	30	61	6		97	課題演習E2(地質学調査)	清澄宿泊施設
128	8	6	日本地質学会関東支部清澄FC実行委員会	7	12	6	5	30	フィールド調査の継承・発展のための地質調査の基礎的訓練	清澄宿泊施設
129	8	1	茨城大学農学部資源生物科学科	1				1	シバヤナギに形成される虫えい(ゴール)の形成機構の解明	日帰り
130	8	1	君津市教育委員会生涯学習文化課	8			3	11	君津市立坂畑小学校スクールミュージアム自然観察会下見	日帰り
131	8	1	千葉県立中央博物館植物学研究科	1			1	2	演習林内に産する大型菌類(きのこ類)を調査する	日帰り
132	8	1	千葉県立中央博物館植物学研究科	2	1			3	演習林内に産する大型菌類(きのこ類)を調査する	日帰り
133	8	1	東京都市大学知識工学部自然科学科生命科学研究室	1		1		2	酸性土壌における尿素処理によるアンモニア菌の発生	日帰り

2018年度 全利用者 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
134	8	2	千葉科学大学危機管理学部動物危機管理学科	2	6			8	南房総地域におけるヘア・トラップを用いた樹上性哺乳類の生息状況	清澄宿泊施設2
135	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	1		1		2	森林伐採後の植生回復に伴う、河川流量・水質の長期的変化	日帰り
136	8	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	房総丘陵の淡水魚類相について	日帰り
137	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	23	56			79	全学体験ゼミナール『フィールドで考える野生動物の保護管理』	清澄宿泊施設
138	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科農学国際専攻国際動物資源科学研究室	4 (2)				4 (2)	フィールドで考える野生動物の保護管理(千葉演習林で捕獲されたシカの解剖実習を見学し、可能であれば肝臓等の採材を行う)	清澄宿泊施設
139	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	4				4	産地の異なるトドマツ実生苗の高温耐性スクリーニング	札郷宿泊施設
140	8	2	安房土木事務所鴨川出張所				5	5	県単災害防止委託業務(清澄・用地測量内)、測量業務	日帰り
141	8	1	千葉県農林総合研究センター森林研究所				2	2	カシノナガキクイムシフェロモントラップ内容物の回収	日帰り
142	8	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1			1	2	房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性(カシノナガキクイムシ調査)	日帰り
143	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林		6			6	体験活動プログラム「演習林の研究を支えよう～日本最初の大学演習林で体験する三つの縁の下～」	清澄宿泊施設2
144	9	16	鴨川市有害鳥獣対策協議会				32	32	有害鳥獣捕獲	日帰り
145	9	1	君津市市民環境部環境衛生課				3	3	打合せ(君津市自然保護審議会主催イベントの開催について)	日帰り
146	9	1	千葉大学環境リモートセンシング研究センター	1				1	下見(UAVでの研究利用の相談)	日帰り
147	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林		3			3	学生の体験活動プログラム「演習林の研究を支えよう～日本最初の大学演習林で体験する三つの縁の下～」	清澄宿泊施設2
148	9	1	東京都市大学知識工学部自然科学科生命科学研究室	1		1		2	酸性土壌における尿素処理によるアンモニア菌の発生	日帰り
149	9	1	千葉大学大学院理学研究院	1		1		2	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(メンテナンス)	日帰り
150	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	スギこぶ病菌の生態の解明	日帰り
151	9	2	千葉県昆虫談話会				28	28	千葉県における昆虫相の調査	札郷宿泊施設
152	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	2		1		3	イチイガシの開花結実に関する研究	日帰り
153	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター		3			3	科研費課題「森林経営史料と旧空中写真を用いたスギ高齢人工林の長期成長過程の定量的復元」にかかる予備調査への参加	清澄宿泊施設2
154	9	6	千葉大学理学研究院地球科学	24	132	12		168	理学部地球科学科選択必修科目(地質学野外実験2, 地殻構造学野外実験1)	清澄宿泊施設
155	9	6	千葉大学融合理工学府地球科学		6	6		12	卒業研究, 特別研究	清澄宿泊施設
156	9	4	千葉大学理学部	4	48			52	野外生態学実験	札郷宿泊施設
157	9	1	千葉県立中央博物館植物学研究科	1			1	2	演習林内に産する大型菌類(きのこ類)を調査する	日帰り
158	9	1	千葉県環境生活部自然保護課				2	2	指定管理鳥獣捕獲等事業の打合せ	日帰り
159	9	1	千葉県立君津青葉高等学校	1	4			5	高校生によるヒメコマツの保全活動	日帰り
160	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1		2 (2)		3 (2)	アジアセンターのさくらサイエンスプラン	日帰り

2018年度 全利用者 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
161	9	1	千葉大学環境リモートセンシング研究センター	1			1	2	人工衛星データ検証のための、UAVを用いた樹林スペクトル計測の事前調査	日帰り
162	9	1	千葉県立中央博物館生態学環境研究科房総の山のフィールドミュージアム	2				2	岩盤河川の蛇行切断と底質(地質)との関係	日帰り
163	9	3	千葉科学大学危機管理学部動物危機管理学科	5	8			13	南房総地域におけるヘア・トラップ法を用いた樹上性哺乳類の生息状況	清澄宿泊施設2
164	9	5	千葉大学環境リモートセンシング研究センター	11	15 (5)	5	5	36	人工衛星データ検証のための、UAVを用いた樹林スペクトル計測	日帰り
165	9	1	千葉県立中央博物館植物学研究科	1			1	2	演習林内に産する大型菌類(きのこ類)を調査する	日帰り
166	9	1	グリーン航業株式会社				2	2	平成30年度森林吸収源インベントリ情報整備事業「森林経営」対象森林率調査(現地調査業務)(関東ブロック)の実施のため	日帰り
167	9	1	鴨川市立天津小学校	3			38	41	総合的な学習の時間で、天津の森林の良さや森林と人間の関わりについて学習するため	日帰り
168	9	4	千葉県環境生活部大気保全課				6	6	ダイオキシン類に係る大気環境調査及び非汚染地域大気環境調査	日帰り
169	9	4	安房土木事務所鴨川出張所				8	8	県単災害防止委託(清澄・伐採)業務内、伐採業務	日帰り
170	10	16	鴨川市有害鳥獣対策協議会				32	32	有害鳥獣捕獲	日帰り
171	10	2	千葉県環境生活部大気保全課				2	2	ダイオキシン類に係る大気環境調査及び非汚染地域大気環境調査	日帰り
172	10	6	千葉県環境生活部自然保護課 鳥獣対策班				9	9	特定外来生物キョンの生態及び捕獲等に関する調査研究	日帰り
173	10	2	安房土木事務所用地課				4	4	県単災害防止委託業務(清澄・立木調査)	日帰り
174	10	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	4		4		8	周囲の環境に対するマダケ地下茎の伸長方向に関する選択性の検証	清澄宿泊施設2
175	10	18	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター		18			18	科研費課題「森林経営史料と旧空中写真を用いたスギ高齢人工林の長期成長過程の定量的復元」にかかる予備調査への参加	清澄宿泊施設2
176	10	1	千葉県立中央博物館植物学研究科	1				1	演習林内に産する大型菌類(きのこ類)を調査する	日帰り
177	10	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性(カシノナガキイムシ調査)	日帰り
178	10	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	展示に伴う資料調査	日帰り
179	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	3	21			24	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(秋編)」	日帰り
180	10	4	鹿児島大学農学部農林環境科学科育林学研究室	7	4			11	コウヨウザンにおけるコンテナ苗の植栽技術の開発	清澄宿泊施設2
181	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	4		3		7	新田・袋山沢における水文観測	日帰り
182	10	1	鴨川市立天津幼稚園	3				3	マツボックリ等の採集(リース等の材料)	日帰り
183	10	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				8	8	試験研究補助、どんぐり拾いと加工	日帰り
184	10	2	東京都市大学知識工学部自然科学科	4		4		8	酸性土壌における尿素処理によるアンモニア菌の発生	日帰り
185	10	1	東京大学大学院理学系研究科附属植物園	1	3			4	ミヤマトベラの果実の色と種子散布様式の研究	日帰り
186	10	3	日本大学生物資源科学部森林資源科学科森林動物学研究室	3	6	3		12	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	清澄宿泊施設2
187	10	1	箱根植木株式会社				2	2	種子の採取地調査・種子採取	日帰り
188	10	1	千葉大学大学院理学研究院	1		1		2	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(メンテナンス)	日帰り

2018年度 全利用者 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
189	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1		1		2	周囲の環境に対するマダケ地下茎の伸長方向に関する選択性の検証	日帰り
190	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	10				10	農学生命科学研究科技術職員による機械グループ研修の事前相談のため	清澄宿泊施設
191	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	スギこぶ病菌の生態の解明	日帰り
192	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2				2	温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答の解明	日帰り
193	10	1	茨城大学農学部資源生物科学科	1		2		3	シバヤナギに形成される虫えい(ゴール)の形成機構の解明	日帰り
194	10	1	南房総桜守の会				1	1	どんぐり活動の相談	日帰り
195	10	1	安房土木事務所鴨川出張所				4	4	樹木の生長調査	日帰り
196	10	1	内浦山県民の森管理事務所				2	2	内浦山県民の森催事「晩秋のハイキング」下見	日帰り
197	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	1		2		3	新田・袋山沢における水文観測	日帰り
198	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	1	1			2	イチイガシの開花結実に関する研究	日帰り
199	10	1	千葉県立中央博物館植物学研究科	1				1	演習林内に産する大型菌類(きのこ類)を調査する	日帰り
200	10	1	千葉県立中央博物館植物学研究科	2		1		3	演習林内に産する大型菌類(きのこ類)を調査する	日帰り
201	10	2	千葉県農林水産部森林課	32			72	104	ナラ枯れ情報交換会議及び現地研修	清澄宿泊施設
202	11	1	君津市教育委員会生涯学習文化課	5	14		5	24	君津市立阪畑小学校スクールミュージアム自然観察会	日帰り
203	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	3		17		20	生圏システム学持論	日帰り
204	11	1	君津市上総公民館				5	5	事業下見	日帰り
205	11	18	鴨川市有害鳥獣対策協議会				34	34	有害鳥獣捕獲	日帰り
206	11	1	千葉県立中央博物館植物学研究科	1			1	2	演習林内に産する大型菌類(きのこ類)を調査する	日帰り
207	11	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				12	12	清澄講義室及び郷台畑周辺と猪ノ川林道の一部	日帰り
208	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1		1		2	周囲の環境に対するマダケ地下茎の伸長方向に関する選択性の検証	日帰り
209	11	3	日本大学生物資源科学部森林資源科学科森林動物学研究室		12	3		15	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	札郷宿泊施設
210	11	4	日本大学生物資源科学部森林資源科学科森林動物学研究室	2	16	4		22	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	清澄宿泊施設2
211	11	4	千葉県環境生活部自然保護課 鳥獣対策班				4	4	特定外来生物キョンの生態及び捕獲等に関する調査研究	日帰り
212	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	20				20	秋の研修会	日帰り
213	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林				24	24	鴨川市・東京大学交流事業 野鳥の巣箱をかけよう「巣箱作り」	日帰り
214	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	7		4		11	新田・袋山沢における水文観測	清澄宿泊施設2
215	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	2	7	1		10	フィールド科学専修, 森圏管理実学習	日帰り

2018年度 全利用者 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
216	11	2	森林総合研究所林木育種センター遺伝資源部・探索収集課	6				6	ユリノキの成長・遺伝変異の解明, 優良系統の選抜	日帰り
217	11	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻生物圏機能学研究室	2		2 (2)		4 (2)	12期広葉樹林試験地の下見(院生の博士論文研究の下見)	清澄宿泊施設2
218	11	1	樹木医会千葉県支部南ブロック				8	8	樹木医会千葉県支部南ブロック研修会	日帰り
219	11	1	内浦山県民の森管理事務所				2	2	内浦山県民の森催事下見	日帰り
220	11	1	千葉県農林総合研究センター森林研究所				2	2	クロマツでの高接ぎを目指して高接ぎ方法の情報収集	日帰り
221	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻生物多様性科学研究室	2		3		5	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	清澄宿泊施設2
222	11	1	首都大学東京観光学科	1				1	照葉樹天然林におけるモチノキの存在様式と樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の解明	日帰り
223	11	1	株式会社 野生動物保護管理事務所本社調査事業部				3	3	兵庫県立大学発注「平成30年度千葉県イノシシ密度指標調査業務」のため	日帰り
224	11	1	千葉県森林インストラクター会				6	6	自然観察会	日帰り
225	11	1	箱根植木株式会社				4	4	種子の採取地調査・種子採取	日帰り
226	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	スギこぶ病菌の生態の解明(スギの枝の採集と調査木の位置図作成のための測量)	日帰り
227	11	1	君津市市民環境部環境衛生課				25	25	君津市自然保護審議会主催イベント「巨木ツアー」	日帰り
228	11	1	千葉県森林インストラクター会				6	6	自然観察	日帰り
229	11	2	東京都市大学知識工学部自然科学科	4		2		6	酸性土壌における尿素処理によるアンモニア菌の発生	札郷宿泊施設
230	11	1	君津市上総公民館				32	32	上総公民館主催事業「上総の山と歩くを楽しむ教室」にて散策	日帰り
231	11	1	上越教育大学	1		1		2	木材生産技術の指導内容の研究ならびに書籍執筆のための資料収集	日帰り
232	11	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	39				39	農学生命科学研究科技術職員による機械グループ研修のため	清澄宿泊施設
233	11	1	千葉大学大学院理学研究院	1		1		2	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(メンテナンス)	日帰り
234	11	1	千葉県森林インストラクター会				7	7	自然観察	日帰り
235	11	1	千葉県立中央博物館植物学研究室	1			1	2	演習林内に産する大型菌類(きのこ類)を調査する	日帰り
236	11	1	内浦山県民の森管理事務所				1	1	内浦山県民の森催事「晩秋のハイキング」下見	日帰り
237	11	2	一般財団法人自然環境研究センター				4	4	千葉演習林内におけるシカ糞塊密度調査のルート下見	札郷宿泊施設
238	11	4	千葉県環境生活部大気保全課				5	5	ダイオキシン類に係る大気環境調査及び非汚染地域大気環境調査	日帰り
239	12	18	鴨川市有害鳥獣対策協議会				37	37	有害鳥獣捕獲	日帰り
240	12	1	内浦山県民の森管理事務所				1	1	内浦山県民の森催事「晩秋のハイキング」片づけ	日帰り
241	12	8	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター		8	4		12	科研費課題「森林経営史料と旧空中写真を用いたスギ高齢人工林の長期成長過程の定量的復元」にかかる予備調査への参加	清澄宿泊施設2
242	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	1				1	イチイガシの開花結実に関する研究	日帰り
243	12	3	日本大学生物資源科学部森林資源科学科森林動物学研究室		12			12	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	札郷宿泊施設

2018年度 全利用者 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設	
244	12	3	株式会社 野生動物保護管理事務所本社調査事業部				18	18	千葉県発注「平成30年度ニホンジカ・キョン生息状況調査業務委託」のための糞粒調査	日帰り	
245	12	1	鴨川市立天津小学校	3				19	22	総合的な学習の時間で、天津の森林の良さや森林と人間の関わりについて学習するため	日帰り
246	12	2	一般財団法人自然環境研究センター				4	4	千葉演習林内におけるシカ糞塊密度調査のルート下見	札郷宿泊施設	
247	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答の解明	日帰り	
248	12	1	千葉県森林インストラクター会				45	45	自然観察	日帰り	
249	12	2	千葉県環境生活部大気保全課				2	2	ダイオキシン類に係る大気環境調査及び非汚染地域大気環境調査	日帰り	
250	12	8	千葉県環境生活部自然保護課 鳥獣対策班				8	8	特定外来生物キョンの生態及び捕獲等に関する調査研究	日帰り	
251	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	23			2	25	特別ガイド「千葉演習林で楽しむ紅葉とランチ」実施のため	日帰り	
252	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	スギこぶ病菌の生態の解明(スギの枝の採集と調査木の位置図作成のための測量)	日帰り	
253	12	2	房総横断・鋸山トレイル実行委員会				16	16	山岳マラソン(トレイルラン)のコース整備	日帰り	
254	12	2	房総横断・鋸山トレイル実行委員会				4	4	山岳マラソン(トレイルラン)のコースマーキング	日帰り	
255	12	1	房総横断・鋸山トレイル実行委員会				766	766	山岳マラソン(トレイルラン)のコースとして	日帰り	
256	12	1	千葉大学大学院理学研究院	1		1		2	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(メンテナンス)	日帰り	
257	12	1	千葉県立中央博物館植物学研究科	1			1	2	演習林内に産する大型菌類(きのこ類)を調査する	日帰り	
258	12	11	安房土木事務所鴨川出張所				30	30	県単災害防止工事(清澄・法面工)	日帰り	
259	12	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	12	80			92	森林経理学実習	清澄宿泊施設	
260	12	1	東京大学大学院理学系研究科附属植物園	2	1			3	ミヤマトベラの果実の色と種子散布様式の研究	日帰り	
261	12	1	箱根植木株式会社				4	4	種子の採取地調査・種子採取	日帰り	
262	1	19	鴨川市有害鳥獣対策協議会				38	38	有害鳥獣捕獲	日帰り	
263	1	8	千葉県環境生活部自然保護課 鳥獣対策班				8	8	特定外来生物キョンの生態及び捕獲等に関する調査研究	日帰り	
264	1	11	千葉県環境生活部大気保全課				14	14	ダイオキシン類に係る大気環境調査及び非汚染地域大気環境調査	日帰り	
265	1	1	東京大学大学院理学系研究科附属植物園	1	3			4	ミヤマトベラ果実における表皮構造の解析と種子散布様式の解明	日帰り	
266	1	9	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター		9			9	科研費課題「森林経営史料と旧空中写真を用いたスギ高齢人工林の長期成長過程の定量的復元」にかかる研究打合せ	清澄宿泊施設2	
267	1	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	8				8	全学体験ゼミナールで使用する炭窯の試し焼きのため	清澄宿泊施設2	
268	1	1	千葉県立君津亀山少年自然の家				8	8	ハイキング実施にあたり下見実踏	日帰り	
269	1	1	千葉県勤労者山岳連盟ハイキング委員				5	5	「第35回ロングハイキング」(1/27)の下見	日帰り	
270	1	1	森林総合研究所材木育種センター遺伝資源部	4				4	コウヨウザン林分の視察	日帰り	
271	1	1	清澄癒しの里づくりの会				19	19	清澄山林道散策・観察会・森林博物資料館見学	日帰り	
272	1	1	よもぎベース したなおい				14	14	イベント実施	日帰り	
273	1	1	千葉県勤労者山岳連盟ハイキング委員				52	52	「第35回ロングハイキング」の実施	日帰り	
274	1	20	安房土木事務所鴨川出張所				89	89	県単災害防止工事(清澄・法面工)	日帰り	

2018年度 全利用者 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
275	1	1	株式会社ガッツエンターテイメント				4	4	テレビ番組制作に係る取材・撮影	日帰り
276	1	1	南房総校守の会				2	2	どんぐり活動の相談	日帰り
277	2	1	千葉県立君津亀山少年自然の家				2	2	ハイキング実施にあたり下見実踏	日帰り
278	2	10	千葉県環境生活部自然保護課 鳥獣対策班				10	10	特定外来生物キョンの生態及び捕獲等に関する調査研究	日帰り
279	2	2	千葉県環境生活部大気保全課				2	2	ダイオキシン類に係る大気環境調査及び非汚染地域大気環境調査	日帰り
280	2	17	鴨川市有害鳥獣対策協議会				25	25	有害鳥獣捕獲	日帰り
281	2	4	日本大学生物資源科学部森林資源科学科森林動物学研究室		12			12	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	札郷宿泊施設
282	2	1	千葉大学大学院理学研究院	1		1		2	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(メンテナンス)	日帰り
283	2	8	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター		8			8	科研費課題「森林経営史料と旧空中写真を用いたスギ高齢人工林の長期成長過程の定量的復元」にかかる予備調査への参加	清澄宿泊施設2
284	2	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				2	2	清澄作業所構内及び森林博物資料館	日帰り
285	2	1	内浦山県民の森管理事務所				3	3	内浦山県民の森催事「早春ハイク『烏帽子山から初日山』」下見	日帰り
286	2	1	内浦山県民の森管理事務所				2	2	内浦山県民の森催事「烏帽子山から初日山」下見	日帰り
287	2	1	内浦山県民の森管理事務所				2	2	内浦山県民の森催事「晩秋のハイキング」片づけ	日帰り
288	2	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				7	7	ボランティア会Abies役員会	日帰り
289	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	2			17	19	森林博物資料館一般公開	日帰り
290	2	1	千葉県立君津亀山少年自然の家				18	18	ハイキング実施	日帰り
291	2	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻生物多様性科学研究室	3		3		6	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	札郷宿泊施設
292	2	1	千葉県農林総合研究センター森林研究所				2	2	ヒメコマツ苗木の譲り受け	日帰り
293	2	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	15	64			79	全学体験ゼミナール「房総の森と生業を学ぶ」現地実習	清澄宿泊施設
294	2	2	鴨川市地域おこし協力隊				12	12	全学体験ゼミナール「房総の森と生業を学ぶ」見学	日帰り
295	2	1	千葉県中部林業事務所				5	5	猪ノ川林道現地確認	日帰り
296	2	1	埼玉県北本市立南小学校	1				1	抵抗性アカマツ苗木の受け取り	日帰り
297	2	1	東京大学情報理工学系研究科	1			1	2	空撮画像のAIによる物体認識(放牧されている牛・馬、及び害獣のイノシシ・シカ・サルなど)	日帰り
298	2	1	世界らん展組織委員会				5 (4)	5 (4)	ラン科植物の見学	日帰り
299	2	1	筑波大学生命環境系	1				1	近代における日独学術交流が日本の緑地計画に果たした役割の評価	日帰り
300	2	1	千葉県環境生活部自然保護課 鳥獣対策班				4	4	指定管理鳥獣捕獲等事業におけるニホンジカ捕獲候補地の下見	日帰り
301	2	1	箱根植木株式会社				4	4	種子の採取地調査・種子採取	日帰り
302	2	2	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	4				4	コケ類相調査	清澄宿泊施設2
303	2	12	安房土木事務所鴨川出張所				57	57	県単災害防止工事(清澄・法面工)	日帰り
304	3	10	千葉県環境生活部自然保護課 鳥獣対策班				10	10	特定外来生物キョンの生態及び捕獲等に関する調査研究	日帰り
305	3	2	千葉県環境生活部大気保全課				2	2	ダイオキシン類に係る大気環境調査及び非汚染地域大気環境調査	日帰り
306	3	23	鴨川市有害鳥獣対策協議会				44	44	有害鳥獣捕獲	日帰り

2018年度 全利用者 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
307	3	1	東京大学大学院理学系研究科附属植物園	1	3			4	ミヤマトベラ果実における表皮構造の解析と種子散布様式の解明	日帰り
308	3	3	立正大学地球環境学部	3				3	第三紀層における岩盤の侵食と風化	札郷宿泊施設
309	3	1	内浦山県民の森管理事務所				18	18	内浦山県民の森催事「早春ハイク鳥帽子山から初日山」実施	日帰り
310	3	1	フィールズ有限公司				509	509	山岳マラソン(第11回-SATOYAMA- 養老溪谷トレイルラン)	日帰り
311	3	2	東京大学情報理工学系研究科	1		1	2	4	空撮画像のAIによる物体認識(放牧されている牛・馬、及び害獣のイノシシ・シカ・サルなど)	日帰り
312	3	1	川崎市民アカデミー				48	48	資料館の見学	日帰り
313	3	2	千葉大学大学院理学研究院	6	8	2		16	鴨川市周辺の地質・岩石を観察する	清澄宿泊施設
314	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	3				3	森林科学基礎実習1の下見	日帰り
315	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			1		1	Abies総会における修士論文研究の発表会	日帰り
316	3	1	国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総研研究所森林昆虫研究領域				2	2	千葉演習林内ナラ枯れ被害木の調査	日帰り
317	3	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				13	13	ボランティア会Abies総会	日帰り
318	3	2	東京学芸大学自然科学系広域自然科学講座環境科学分野	2	12			14	上総層群の地層を対象とした地質調査技術習得研修	清澄宿泊施設
319	3	2	東京海洋大学海洋資源エネルギー学部門	14	6			20	養老川沿いに露出する上総層群の地層を対象とした地質調査研修	清澄宿泊施設
320	3	1	慶應義塾大学経済学部生物学教室	1				1	森林性両生類の生息モニタリング及び生態特性に関する調査	日帰り
321	3	17	安房土木事務所鴨川出張所				68	68	県単災害防止工事(清澄・法面工)	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 5277

利用件数 321

2) 北海道演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	30	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			30 (30)		30 (30)	樹木に寄生するアンブrosiアキイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
2	4	30	マレーシアサバ大学		30 (30)			30 (30)	インターンシップ	山部国際宿泊施設
3	4	30	マレーシアサバ大学		60 (60)			60 (60)	研究インターン(科研費研究補助:マレーシアで採集したサンプルの解析)	山部国際宿泊施設
4	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	2	2			4	暗色雪腐病の伝播・繁殖様式の解明	山部宿泊施設
5	4	1	森林総合研究所	1				1	カバノキ類の着花結実動態に関する研究調査	日帰り
6	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	4		2		6	気候変動の影響緩和を目指した北方針葉樹の環境適応ゲノミクス	山部宿泊施設
7	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	12				12	全国スケールでの相互移植による気候変動に対する北方針葉樹ダケカンバの応答解明	山部宿泊施設
8	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	温暖な環境に移植された北方針葉樹のストレス応答評価	日帰り
9	5	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	樹木に寄生するアンブrosiアキイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
10	5	31	マレーシアサバ大学		31 (31)			31 (31)	インターンシップ	山部国際宿泊施設
11	5	31	マレーシアサバ大学		62 (62)			62 (62)	研究インターン(科研費研究補助:マレーシアで採集したサンプルの解析)	山部国際宿泊施設
12	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	2	2			4	暗色雪腐病の伝播・繁殖様式の解明	山部宿泊施設
13	5	2	帯広畜産大学生命科学研究部門	2	4	4		10	エゾモモンガ・ヒメネズミ調査	日帰り
14	5	1	東京大学農学生命科学研究科環境安全管理室	2				2	廃棄試葉・農薬の現地確認および林内作業現場の視察	日帰り
15	5	1	公益財団法人アイヌ民族文化財団	4				4	アイヌ伝統の丸太舟・板敷船の技術伝承及び展示・体験交流活動について	日帰り
16	5	1	北海道地方環境事務所				2	2	猛禽類の保護増殖事業に関わる猛禽類生息状況調査及び巣箱の状況調査・保守	日帰り
17	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林				18	18	神社山自然観察路春季一般公開	日帰り
18	5	1	酪農学園大学農食環境学群環境共生学類環境GIS研究室				6 (6)	6 (6)	JICA研修「市場メカニズムを活用した持続的森林・自然資源管理」	日帰り
19	5	1	北海道地方環境事務所				2	2	猛禽類の保護増殖事業に関わる猛禽類生息状況調査及び巣箱の状況調査・保守	日帰り
20	6	30	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			30 (30)		30 (30)	樹木に寄生するアンブrosiアキイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
21	6	30	マレーシアサバ大学		30 (30)			30 (30)	インターンシップ	山部国際宿泊施設
22	6	31	マレーシアサバ大学		62 (62)			62 (62)	研究インターン(科研費研究補助:マレーシアで採集したサンプルの解析)	山部国際宿泊施設
23	6	3	北海道地方環境事務所				6	6	猛禽類の保護増殖事業に関わる猛禽類生息状況調査及び巣箱の状況調査・保守	日帰り
24	6	30	マレーシアサバ大学		30 (30)			30 (30)	インターンシップ	山部国際宿泊施設
25	6	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			5 (5)		5 (5)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リストに影響する環境要因と系統的制約性	山部宿泊施設

2018年度 全利用者 北海道演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
26	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所	1				1	エゾマツの立ち枯れ病等の病害防除に関する研究	宿泊なし
27	6	2	帯広畜産大学生命科学研究部門	2	6	6		14	エゾモモンガ・ヒメネズミ調査	宿泊なし
28	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	6				6	全国スケールでの相互移植による気候変動に対する北方針葉樹ダケカンバの応答解明	山部宿泊施設
29	6	4	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	16		4	10	30	サイバーフォレスト研究・英国アバディーン大学との国際交流	セミナーハウス
30	6	1	北海道地方環境事務所				8	8	猛禽類の保護増殖事業に関わる猛禽類生息状況調査及び巣箱の状況調査・保守	日帰り
31	6	1	株式会社ベンチャーウィスキー秩父蒸留所				4	4	林分施業法や単木管理システムによって管理された天然林、道産優良広葉樹の視察	日帰り
32	6	2	特定非営利活動法人 バードリサーチ				4	4	全国鳥類繁殖分布調査	山部宿泊施設
33	6	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	55				55	平成30年度 北海道東北地区大学演習林等技術職員研修 テーマ:森林におけるドローンの活用	セミナーハウス
34	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林		8 (4)			8 (4)	将来の研究課題の相談	山部宿泊施設
35	6	2	同志社大学研究開発推進機構	2		2		4	野生コウモリの音響ナビゲーション戦略の解明	山部宿泊施設
36	6	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1	1	1		3	エゾモモンガ・ヒメネズミ調査	日帰り
37	6	2	北海道地方環境事務所				4	4	猛禽類の保護増殖事業に関わる猛禽類生息状況調査及び巣箱の状況調査・保守	宿泊なし
38	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林				16	16	公開セミナー	日帰り
39	6	1	富良野市生涯学習センター	9	3		22	34	森林学習プログラム推進事業	日帰り
40	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所	1				1	エゾマツの立ち枯れ病等の病害防除に関する研究	日帰り
41	7	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	樹木に寄生するアンブrosiアキイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
42	7	31	マレーシアサバ大学		31 (31)			31 (31)	インターンシップ	山部国際宿泊施設
43	7	28	マレーシアサバ大学		56 (56)			56 (56)	研究インターン(科研費研究補助:マレーシアで採集したサンプルの解析)	山部国際宿泊施設
44	7	4	マレーシアサバ大学		4 (4)			4 (4)	インターンシップ	山部国際宿泊施設
45	7	1	富良野市生涯学習センター	5	3		16	24	森林学習プログラム推進事業	日帰り
46	7	1	富良野市商工観光課	6			56 (51)	62 (51)	台北市私立華興中学教育旅行	宿泊なし
47	7	5	新潟大学大学院自然研究科環境科学専攻			5		5	空知層群・蝦夷層群の層序と海洋プレートとの復元	山部宿泊施設
48	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻木材物理学研究室	6	4	12		22	木質構造科学演習・生物材料科学演習の一環	セミナーハウス
49	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			4		4	北海道演習林の林分施業法の見学	山部宿泊施設
50	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	3		18		21	持続的森林圏経営論	セミナーハウス
51	7	28	北海道大学大学院農学研究院森林生態系管理学研究室	2	28	30 (2)		60 (2)	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り

2018年度 全利用者 北海道演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
52	7	17	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2		17 (17)		19 (17)	Application of innovative remote sensing and growth modeling techniques for the single-tree management system of high-value hardwood species in northern Japan	山部宿泊施設
53	7	1	新日本製鉄株式会社OB				8	8	林分施業法の見学	日帰り
54	7	1	上川農業改良普及センター富良野支所				12	12	富丘地区女性農業者夏期視察研修	日帰り
55	7	3	北海道大学大学院地球環境科学研究院	3		12 (12)		15 (12)	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	山部長期宿泊施設
56	7	1	富良野市立布部中学校	10			9	19	自然体験学習	日帰り
57	7	1	NPO法人どんころ野外学校	1			21	22	南富良野町町民登山	日帰り
58	7	2	帯広畜産大学生命科学研究部門	2	6	4		12	エゾモモンガ・ヒメズミ調査	日帰り
59	7	2	北海道大学大学院地球環境科学研究院	2		8 (8)		10 (8)	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	山部宿泊施設
60	7	5	東京環境工科専門学校	10	60			70	東京大学北海道演習林における実習に準ずる活動	セミナーハウス
61	7	1	北海道大学大学院農学研究科森林生態系管理学研究室		1	1		2	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
62	7	1	北海道大学大学院地球環境科学研究院	1		3 (3)		4 (3)	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
63	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	5		1		6	気候変動の影響緩和を目指した北方針葉樹の環境適応ゲノミクス	宿泊なし
64	8	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	樹木に寄生するアンプロシアキイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
65	8	4	マレーシアサバ大学		4 (4)			4 (4)	インターンシップ	山部国際宿泊施設
66	8	3	富良野市生涯学習センター	15	4		96	115	森林学習プログラム推進事業	日帰り
67	8	8	北海道大学大学院農学研究科森林生態系管理学研究室		8	8		16	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
68	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	15		3		18	気候変動の影響緩和を目指した北方針葉樹の環境適応ゲノミクス	宿泊なし
69	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所	8	28	4		40	全学体験ゼミナール「森に学ぶ(ふらの)」	セミナーハウス
70	8	3	北海道札幌啓成高等学校	6			60	66	北海道札幌啓成高等学校SSH道内研修B(自然環境)	セミナーハウス
71	8	3	北海道大学大学院農学研究科森林生態系管理学研究室		9	6		15	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
72	8	1	北海道大学大学院農学研究科森林生態系管理学研究室			3 (3)		3 (3)	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
73	8	1	富良野市生涯学習センター	2				2	博物館事業「湿地林植生調査」	日帰り
74	8	5	東京大学教育学部附属中等教育学校	10			160	170	夏期生物教室	セミナーハウス
75	8	2	帯広畜産大学生命科学研究部門	2	4	8		14	エゾモモンガ・ヒメズミ調査	山部宿泊施設
76	8	10	新潟大学大学院自然研究科環境科学専攻	2		10		12	空知層群・蝦夷層群の層序と海洋プレートの復元	山部宿泊施設
77	8	4	北海道大学大学院農学研究科森林生態系管理学研究室			4		4	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	山部宿泊施設
78	8	1	北海道大学大学院農学研究科森林生態系管理学研究室	1		1		2	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
79	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	4				4	職員との懇談会及び林内視察	山部宿泊施設

2018年度 全利用者 北海道演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
80	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	3		3	(3)	6 (3)	旧空中写真を用いた針広混交天然林の林分構造変化の解析	山部宿泊施設
81	8	1	北海道帯広農業高等学校	2			40	42	森林科学科1年生宿泊研修	日帰り
82	8	1	同志社女子大学現代社会学部	1	16		1	18	富良野の森林形成と混合林のありかた	日帰り
83	8	1	北海道新聞社富良野支局				1	1	布礼別小森林学習の取材	日帰り
84	8	1	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター	7				7	苗圃及び育苗作業の見学	日帰り
85	8	1	山口大学大学院創成科学研究科	1		2		3	富良野地域に分布する珪長質火成岩類の地質学的・岩石学的研究	山部宿泊施設
86	9	30	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			30	(30)	30 (30)	樹木に寄生するアンブrosiアキイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
87	9	1	富良野市生涯学習センター	12	3		19	34	森林学習プログラム推進事業	日帰り
88	9	4	山口大学大学院創成科学研究科	4		8		12	富良野地域に分布する珪長質火成岩類の地質学的・岩石学的研究	山部宿泊施設
89	9	17	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			17	(17)	17 (17)	樹木に寄生するアンブrosiアキイムシ類の攻撃性に関する研究	山部宿泊施設
90	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	4	48	4		56	森林科学総合実習	セミナーハウス
91	9	1	NHKエデュケーション・特集文化部				12	12	NHK「神様の木に会う〜巨木の旅(仮)」の下見・撮影	日帰り
92	9	2	東京大学空間情報科学研究センター	4		2		6	自然体験と気候変動学習を定点連続写真・録音で繋ぐ省察プロセスの解明	宿泊なし
93	9	1	株式会社地域環境計画北海道支社	1				1	「平成30年度環境に配慮した再生可能エネルギー導入検討に向けた植生調査植生図作成委託業務」	日帰り
94	9	2	帯広畜産大学生命科学研究部門	2	8	5		15	エゾモモンガ・ヒメネズミ調査	日帰り
95	9	1	富良野市生涯学習センター				20	20	博物館事業「魅力再発見！レトロ建築めぐり」	日帰り
96	9	2	公益財団法人アイヌ民族文化財団	6				6	アイヌ伝統の丸太舟・板綴船の技術伝承及び展示・体験交流活動について	宿泊なし
97	9	1	一般社団法人フォレスト・サーバイ				2	2	林野庁委託「平成30年度森林吸収源イベント情報整備事業「森林経営」対象森林率調査(現地調査業務)」	日帰り
98	9	1	北海道大学大学院農学研究大学院森林生態系管理学研究室			2		2	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
99	9	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター		6			6	体験活動プログラム「森が社会に貢献するー持続可能な森づくりへの挑戦ー」	山部宿泊施設
100	9	1	株式会社遠藤建築アトリエ				10	10	建築物(事務所)へのエゾマツの利用について	日帰り
101	9	1	北海道大学大学院農学研究大学院森林生態系管理学研究室			2		2	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
102	10	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			31	(31)	31 (31)	樹木に寄生するアンブrosiアキイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
103	10	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター		4			4	体験活動プログラム「森が社会に貢献するー持続可能な森づくりへの挑戦ー」	山部宿泊施設
104	10	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1	3	3		7	エゾモモンガ・ヒメネズミ調査	日帰り
105	10	2	帯広畜産大学生命科学研究部門	2				2	エゾシマリス調査	日帰り
106	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	3	3			6	暗色雪腐病の伝播・繁殖様式の解明	山部宿泊施設
107	10	1	上川南部森林管理署	18				18	林分施業法等の管理手法について(北海道森林管理局長等の視察)	日帰り

2018年度 全利用者 北海道演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
108	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林				20	20	神社山自然観察路秋季一般公開	日帰り
109	10	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1	3	3		7	エゾモモンガ・ヒメズミ調査	日帰り
110	10	1	海外林業コンサルタンツ協会	3			13 (13)	16 (13)	地域住民の参加による多様な森林保全(JICA研修)	日帰り
111	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	45				45	第44回北海道地方演習林業務担当者会議	セミナーハウス
112	10	3	北海道大学地球環境科学 院生物圏科学専攻			6 (3)		6 (3)	富良野地方におけるサケ科魚類の保全生態学的研究	山部宿泊施設
113	10	1	NHKエデュケーショナル・特集文化 部				14	14	NHK「神様の木に会う～巨木の旅(仮)」の下見・撮影	日帰り
114	10	2	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				12	12	富良野地区における生息調査	日帰り
115	10	1	森林総合研究所北海道支所	5 (2)				5 (2)	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためモニタリング手法の開発	日帰り
116	10	1	酪農学園とわの森三愛高校	2			8	10	道内研修	日帰り
117	10	1	森林総合研究所北海道支所	1				1	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためモニタリング手法の開発	日帰り
118	10	4	北海道大学地球環境科学 院生物圏科学専攻			12 (4)		12 (4)	富良野地方におけるサケ科魚類の保全生態学的研究	山部宿泊施設
119	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻 森林植物学研究室	2				2	倒木更新におけるコケ植物-シアバクテリア-菌根菌共生系の窒素供給機構の解明	山部宿泊施設
120	10	9	北海道大学大学院農学研究 院森林生態系管理学研究 室		7	13		20	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	山部宿泊施設
121	10	1	福井県治山林道協会				7	7	福岡県治山林道協会役員研修	日帰り
122	10	1	三菱マテリアル株式会社				2	2	天然林施業における有用広葉樹の育成と気象災害に強い施業技術について	日帰り
123	11	30	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			30 (30)		30 (30)	樹木に寄生するアンブrosiアキイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
124	11	1	富良野市生涯学習センター				8	8	森林学習プログラム推進事業	日帰り
125	11	1	北海道大学大学院農学研究 院森林生態系管理学研究 室			2		2	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	山部宿泊施設
126	11	1	NPO法人富良野自然塾				7	7	東大演習林を活用した新しい森林学習の視察	日帰り
127	11	4	北海道大学大学院地球環 境科学研究院	4		12 (12)		16 (12)	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	山部宿泊施設
128	11	1	北海道大学大学院農学研究 院森林生態系管理学研究 室		1	1		2	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
129	11	1	公益財団法人アイヌ民族文化財団				8	8	アイヌ伝統の丸太舟・板綴船の技術伝承及び展示・体験交流活動について	日帰り
130	11	1	NHK札幌放送局				4	4	アイヌ民族博物館設立準備に係る木材調達・儀式的取材	日帰り
131	11	1	オホーツク総合振興局東部 森林室				17	17	北見市林業グループ 道内視察研修	日帰り
132	11	2	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				10	10	富良野地区における生息調査	日帰り
133	11	6	森林総合研究所北海道支所				6	6	生物多様性と森林生産性の関係に関する研究	山部宿泊施設
134	11	1	北海道大学大学院地球環 境科学研究院	1		2		3	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
135	11	1	帯広畜産大学保全生態学 研究室	2	5	5		12	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
136	11	1	上川南部森林管理署	12				12	林分施業法等の管理手法について(北海道森林管理局計画保全部長等の視察)	日帰り

2018年度 全利用者 北海道演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
137	11	1	公益財団法人アイヌ民族文化財団				2	2	アイヌ伝統の丸太舟・板綴船の技術伝承及び展示・体験交流活動について	日帰り
138	12	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	樹木に寄生するアンブrosiアキイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
139	12	2	北海道大学大学院地球環境科学研究院	2		6 (6)		8 (6)	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	山部宿泊施設
140	12	18	チェンマイ大学	36 (36)				36 (36)	タイ山岳地帯におけるキクイムシ類群集と樹木の関係の解析	山部国際宿泊施設
141	12	1	森林総合研究所	1				1	カバノキ類の着花結実動態に関する研究調査	日帰り
142	1	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	樹木に寄生するアンブrosiアキイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
143	1	31	チェンマイ大学	44 (44)				44 (44)	タイ山岳地帯におけるキクイムシ類群集と樹木の関係の解析	山部国際宿泊施設
144	1	7	マレーシアサバ大学		14 (14)			14 (14)	研究インターン(科研費研究補助:マレーシアで採集したサンプルの解析)	山部国際宿泊施設
145	1	1	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				4	4	富良野地区における生息調査	日帰り
146	2	28	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			28 (28)		28 (28)	樹木に寄生するアンブrosiアキイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
147	2	28	チェンマイ大学	28 (28)				28 (28)	タイ山岳地帯におけるキクイムシ類群集と樹木の関係の解析	山部国際宿泊施設
148	2	28	マレーシアサバ大学		56 (56)			56 (56)	研究インターン(科研費研究補助:マレーシアで採集したサンプルの解析)	山部国際宿泊施設
149	2	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	12		5		17	気候変動の影響緩和を目指した北方針葉樹の環境適応ゲノミクス	山部宿泊施設
150	2	1	北海道地方環境事務所				1	1	猛禽類の保護増殖事業に関わる猛禽類生息状況調査及び巣箱の状況調査・保守	日帰り
151	2	1	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				4	4	富良野地区における生息調査	日帰り
152	2	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林		58			58	教養学部全学体験ゼミナール 雪の森林に学ぶ	セミナーハウス
153	3	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	樹木に寄生するアンブrosiアキイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
154	3	13	チェンマイ大学	13 (13)				13 (13)	タイ山岳地帯におけるキクイムシ類群集と樹木の関係の解析	山部国際宿泊施設
155	3	31	マレーシアサバ大学		62 (62)			62 (62)	研究インターン(科研費研究補助:マレーシアで採集したサンプルの解析)	山部国際宿泊施設
156	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林		29			29	教養学部全学体験ゼミナール 雪の森林に学ぶ	セミナーハウス
157	3	1	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				4	4	富良野地区における生息調査	日帰り
158	3	5	東京大学教養学部		5			5	体験活動プログラム「森が社会に貢献するー持続可能な森づくりへの挑戦ー」	山部宿泊施設
159	3	5	東京大学教養学部		5			5	体験活動プログラム「森が社会に貢献するー持続可能な森づくりへの挑戦ー」	山部宿泊施設
160	3	1	NPO法人富良野自然塾				5	5	「東京大学の森」育成資金 記念樹の見学	日帰り
161	3	1	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				3	3	富良野地区における生息調査	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 2918

利用件数 161

3) 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2 (1)				2 (1)	ヒノキ属の遺伝的多様性評価	
2	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	自動撮影カメラのメディア交換, メンテナンス, クマ剥ぎ被害木の測定	
3	4	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	
4	4	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	3	12			15	森林土壌学実験	川俣学生宿舎(食事あり)
5	4	1	首都大学東京理工学研究科生命科学専攻			1		1	湿性攪乱地に生育する植物の種生物学的研究	
6	4	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				3	3	奥秩父における大型猛禽類の生息実態調査	
7	4	2	宇都宮大学農学部森林科学科	2		2		4	ミツミネモミの雑種判別とモミとウラジロモミの雑種形成・遺伝子浸透に関する研究	影森自炊宿舎
8	4	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		3			3	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	影森自炊宿舎
9	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストノタメノ現地情報記録転送システムの開発と運用試験	
10	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストノタメノ現地情報記録転送システムの開発と運用試験	
11	4	2	埼玉昆虫談話会				6	6	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	日帰り
12	4	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				3	3	奥秩父における大型猛禽類の生息実態調査	
13	4	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1				1	文化財の森景観モニタリング	
14	4	2	総合研究大学院大学先端科学研究科	2				2	ニホンヒキガエル(<i>Bufo japonicus</i>)の産卵調査とサンプリング	栃本自炊宿舎
15	4	2	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科治山・緑化学研究室		4			4	冷温帯落葉広葉樹林における蒸発散量の直接計測	影森自炊宿舎
16	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	影森自炊宿舎
17	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	影森自炊宿舎
18	4	3	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科治山・緑化学研究室		6			6	冷温帯落葉広葉樹林における蒸発散量の直接計測	川俣自炊宿舎
19	4	1	個人				1	1	鳥類・生態系調査(温度ロガー調査, 録音機設置)	
20	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	2				2	房総丘陵産ヒメコマツの生息域外保全の有効性の検証	影森自炊宿舎
21	4	1	埼玉県茶業研究所	5				5	茶の山間冷涼地育種	
22	4	1	日本薬科大学	2	18			20	漢方研究部の巡検	
23	4	1	個人				1	1	鳥類・生態系調査(温度ロガー調査, 録音機設置)	
24	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	ニホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	
25	4	16	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			16		16	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	

2018年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
26	5	25	National school for water and environmental engineering (engees) strasbourg			25 (25)		25 (25)	山地・森林流域保全に関するインターンシップ	影森自炊宿舎
27	5	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		3			3	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	影森自炊宿舎
28	5	2	特定非営利活動法人 バードリサーチ	4				4	モニタリングサイト1000 鳥類調査	川俣学生宿舎(自炊泊)
29	5	2	特定非営利活動法人 バードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000 鳥類調査	川俣学生宿舎(自炊泊)
30	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
31	5	1	埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当	1				1	オゾンデータの回収, ミヤマスカシユリの鉢の確認	
32	5	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	
33	5	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	ニホンジカによる森林植生への影響評価と植生回復に関する研究	
34	5	1	埼玉県立川の博物館	1	1			2	タゴガエル <i>Rana tagoi</i> の生態調査	
35	5	1	伝統工芸木炭生産技術保存会	2				2	ホオノキ伐採木選定及び伐採・運搬などに関する打合せ	
36	5	1	埼玉県寄居林業事務所森林研究室	3				3	低コスト広葉樹林更新技術の確立	
37	5	2	埼玉県高体連登山専門部	32			126	158	学校総合体育大会 登山の部 開催のため	テント・幕営
38	5	1	職業能力開発短期大学校 東京建築カレッジ	11	26			37	樹木園の見学	
39	5	1	首都大学東京理工学研究科生命科学専攻			1		1	湿性攪乱地に生育する植物の種生物学的研究	
40	5	1	日本薬科大学薬学部	7	54		54	115	薬用林産資源の現地調査	
41	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	房総丘陵産ヒメコマツの生息域外保全の有効性の検証	
42	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	房総丘陵産ヒメコマツの生息域外保全の有効性の検証	影森自炊宿舎
43	5	2	埼玉昆虫談話会				6	6	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	川俣自炊宿舎
44	5	1	秩父宮記念三峯山博物館	2				2	野生動物調査(設置されているカメラのメンテナンス)	
45	5	1	秩父宮記念三峯山博物館	2				2	野生動物調査	
46	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		12 (4)			12 (4)	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」現地講義	川俣学生宿舎(食事あり)
47	5	1	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科		4			4	冷温帯落葉広葉樹林における水収支の計測	
48	5	3	東京大学大学院新領域創成科学研究科	12 (3)		36 (9)	3	51 (12)	自然環境デザインスタジオ, 自然環境学研究	川俣学生宿舎(食事あり)
49	5	2	個人				2	2	鳥類調査(標識調査, 録音機設置)	外部宿泊
50	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	影森自炊宿舎
51	5	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				3	3	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	
52	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム専攻森圏管理学研究室	1	1			2	ヒナウチワカエデの地域スケールでの遺伝構造の把握	
53	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
54	5	2	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科		4			4	冷温帯落葉広葉樹林における水収支の計測	影森自炊宿舎

2018年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
55	5	19	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			19		19	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	
56	5	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	ニホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	
57	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	房総丘陵産ヒメコマツの生息域外保全の有効性の検証	影森自炊宿舎
58	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	
59	6	1	埼玉県寄居林業事務所森林研究室	3				3	低コスト広葉樹林更新技術の確立	
60	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		12 (4)			12 (4)	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」現地講義	外部宿泊
61	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	森林経営史料と旧空中写真を用いたスギ高齢人工林の長期成長過程の定量的復元	
62	6	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	
63	6	1	宇都宮大学農学部森林科学科	1		1		2	ミツミネモミの雑種判別とモミとウラジロモミの雑種形成・遺伝子浸透に関する研究	
64	6	1	埼玉県立川の博物館	1				1	タゴガエル <i>Rana tagoi</i> の生態調査	
65	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	3	12	3		18	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	川俣学生宿舎(自炊泊)
66	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	2				2	自動撮影カメラのメディア交換, メンテナンスおよび昨年度の被害木の調査	
67	6	1	首都大学東京理工学研究科生命科学専攻			1		1	湿性攪乱地に生育する植物の種生物学的研究	
68	6	2	埼玉昆虫談話会	2			14	16	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	川俣学生宿舎(自炊泊)
69	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室			1		1	微生物群集機能に基づく樹木の材腐朽進展プロセスの解明	
70	6	1	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科		2			2	冷温帯落葉広葉樹林における水収支の計測	
71	6	1	個人				1	1	鳥類・生態系調査(録音機回収)	
72	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室			1		1	冷温帯原生林における成長量と樹種構成の長期的な変化	
73	6	2	個人				2	2	鳥類調査(標識調査)	外部宿泊
74	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室			1		1	冷温帯原生林における成長量と樹種構成の長期的な変化	
75	6	1	埼玉県茶業研究所	5				5	茶の山間冷涼地育種	
76	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1				1	外生菌根菌 <i>Cenococcum geophilum</i> における耐塩性の分子基盤の解析	
77	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	
78	6	1	埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当	2				2	オゾンデータの回収, ミヤマスカシユリの鉢の確認, 調査用アサガオ苗の植え付け	
79	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
80	6	16	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			16		16	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	
81	6	10	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			10		10	ニホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	

2018年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
82	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				8	8	ガイドツアー「演習林試験地見学会-亜高山編」	
83	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	
84	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	
85	7	1	埼玉県立秩父農工科学高等学校	2	38			40	樹木採集実習 50種程度の枝葉 生徒38名分の採取	
86	7	1	埼玉県寄居林業事務所森林研究室	3				3	低コスト広葉樹林更新技術の確立	
87	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理研究室	1	1			2	ヒナウチワカエダの地域スケールでの遺伝構造の把握	
88	7	1	首都大学東京理工学研究科生命科学専攻			1		1	湿性攪乱地に生育する植物の種生物学的研究	
89	7	3	東京大学空間情報科学研究センター	3			3	6	新規設置された天然林樹冠部観測鉄塔に関する機材メンテナンス作業	川俣自炊宿舎
90	7	1	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科		4			4	冷温帯落葉広葉樹林における水収支の計測	
91	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	3	3			6	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	影森自炊宿舎
92	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
93	7	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1				1	山火事跡地調査	
94	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	房総丘陵産ヒメコマツの生息域外保全の有効性の検証	
95	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	自動撮影カメラのメディア交換, メンテナンス	
96	7	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	
97	7	2	埼玉昆虫談話会				10	10	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	川俣自炊宿舎
98	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	Genetic diversity of genes Chamaecyparis in East Asia	
99	7	2	東京大学空間情報科学研究センター	2			2	4	新規設置された天然林樹冠部観測鉄塔に関する機材メンテナンス作業	川俣学生宿舎(自炊泊)
100	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	6	60 (3)	3		69 (3)	森林植物学実験の野外実習	栃本自炊宿舎
101	7	2	個人				2	2	鳥類調査(標識調査)	
102	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	2		2		4	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	影森自炊宿舎
103	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		4			4	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	影森自炊宿舎
104	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室		1			1	産地別ブナの木部の水分通導特性の解明	
105	7	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				1	1	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	
106	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	6				6	2018年度 森林植物学実験 野外実習の現地視察	栃本自炊宿舎
107	7	1	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科治山・緑化学研究室		2			2	冷温帯落葉広葉樹林における蒸発散量の直接計測	

2018年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
108	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	4	8	4		16	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	影森自炊宿舎
109	7	1	東京大学空間情報科学研究センター	1			1	2	新規設置された天然林樹冠部観測鉄塔に関する機材メンテナンス作業	
110	7	1	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科		1			1	冷温帯落葉広葉樹林における水収支の計測	
111	7	15	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			15		15	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	
112	7	12	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			12		12	ニホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	
113	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	
114	8	1	埼玉県寄居林業事務所森林研究室	3				3	低コスト広葉樹林更新技術の確立	
115	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	4				4	温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答の解明	
116	8	2	特定非営利活動法人 パードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000 鳥類調査	川俣学生宿舎(自炊泊)
117	8	4	首都大学東京理工学研究科生命科学専攻	4	28	4		36	動物系統学野外実習	川俣学生宿舎(食事あり)
118	8	4	立教大学全学共通カリキュラム運営センター	24	20			44	立教ゼミナール発展編	川俣学生宿舎(食事あり)
119	8	1	埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当	2				2	オゾンデータの回収, ミヤマスカシユリの鉢の確認, オゾンによるアサガオ被害調査	
120	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	自動撮影カメラのメディア交換, メンテナンス	
121	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
122	8	3	秩父市立秩父第二中学校		6			6	職業観・勤労観を学ぶ 社会人としてのルールを学ぶ	
123	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	房総丘陵産ヒメコマツの生息域外保全の有効性の検証	
124	8	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	
125	8	1	首都大学東京理工学研究科生命科学専攻			1		1	湿性攪乱地に生育する植物の種生物学的研究	
126	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	12			30	42	公開講座「東大の森林で昆虫採集」	川俣学生宿舎(食事あり)
127	8	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	2 (2)		3 (1)	1 (1)	6 (4)	サイバーフォレスト	
128	8	2	埼玉県立蕨高等学校	12	32			44	荒川流域の森林調査・水生生物調査を通して荒川流域の生態系と人間の関係を学ぶ	外部宿泊
129	8	2	埼玉県環境科学国際センター	4				4	ニホンジカによる森林植生への影響評価と植生回復に関する研究	
130	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	
131	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム専攻森圏管理学研究室	2	2			4	ヒナウチワカエデの地域スケールでの遺伝構造の把握	栃本自炊宿舎
132	8	2	埼玉昆虫談話会	10			10	20	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	川俣学生宿舎(自炊泊)
133	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム専攻森圏管理学研究室	2	2			4	ヒナウチワカエデの地域スケールでの遺伝構造の把握	栃本自炊宿舎

2018年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
134	8	1	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科治山・緑化学研究室	1	4			5	冷温帯落葉広葉樹林における蒸発散量の直接計測	
135	8	1	埼玉県茶業研究所	4				4	茶の山間冷涼地育種	
136	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1				1	倒木更新におけるコケ植物-シアノバクテリア-菌根菌共生系の窒素供給機構の解明	
137	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		3			3	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	影森自炊宿舎
138	8	2	個人				2	2	鳥類調査(標識調査)	テント・幕営
139	8	20	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			20		20	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	
140	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	ニホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	
141	9	1	埼玉県寄居林業事務所森林研究室	3				3	低コスト広葉樹林更新技術の確立	
142	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻生物素材科学研究室	6	60	3		69	バイオマス科学実習・森林科学実習	外部宿泊
143	9	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	2				2	山火事跡地調査	
144	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	2	1	1		4	シオジの結実に関する研究	
145	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	自動撮影カメラのメディア交換, メンテナンス	
146	9	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	
147	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	
148	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	
149	9	2	東京大学空間情報科学研究センター	2			4	6	新規設置された天然林樹冠部観測鉄塔に関する機材メンテナンス作業	川俣学生宿舎(自炊泊)
150	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	2	2	2		6	産地別ブナの木部の水分通導特性の解明	影森自炊宿舎
151	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	2	2			4	ヒノウチワカエデの地域スケールでの遺伝構造の把握	栃本自炊宿舎
152	9	1	個人				1	1	赤城沢調査地点にドングリのバケツラップ設置	
153	9	1	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科	1	6			7	冷温帯落葉広葉樹林における水収支の計測	
154	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1	1	2	(2)	4	アジアセンターのさくらサイエンスプラン	
155	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	4	22	16		42	ニホンジカの植食圧が樹木実生および萌芽の動態に及ぼす影響	川俣学生宿舎(自炊泊)
156	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	房総丘陵産ヒメコマツの生息域外保全の有効性の検証	
157	9	1	埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当	1				1	オゾンデータの回収, ミヤマスカシユリの鉢の確認	
158	9	1	首都大学東京理工学研究科生命科学専攻			1		1	湿性攪乱地に生育する植物の種生物学的研究	
159	9	2	埼玉昆虫談話会				14	14	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	日帰り
160	9	1	東京大学空間情報科学研究センター	1				1	新規設置された天然林樹冠部観測鉄塔に関する機材メンテナンス作業	

2018年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
161	9	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	2				2	サイバーフォレスト・大プロコンテナ半壊応急措置	
162	9	1	筑波大学生命環境系山岳科学センター菅平高原実験所				4	4	スズタケに生じる菌類の分類・生態学的研究	
163	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	2	2			4	倒木更新におけるコケ植物-シアノバクテリア-菌根菌共生系の窒素供給機構の解明	
164	9	2	千葉大学園芸学部緑地環境学科	2	10	6		18	地形と土壌の諸性質が森林の樹高に及ぼす影響	川俣自炊宿舎
165	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1	1			2	地球温暖化がブナとゴール形成性タマバエのフェノロジカルミスマッチに及ぼす影響	
166	9	1	宇都宮大学農学部森林科学科	6 (3)		1		7 (3)	日本の樹木の標本と種子の採集	
167	9	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	ニホンジカによる森林植生への影響評価と植生回復に関する研究	
168	9	1	東京大学空間情報科学研究センター	1			2	3	IPSTARアンテナのメンテナンス作業・新鉄塔の配線下見	
169	9	1	個人				1	1	鳥類調査(標識調査)	
170	9	1	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科		2			2	冷温帯落葉広葉樹林における水収支の計測	
171	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	
172	9	15	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			15		15	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	
173	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	ニホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	
174	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答の解明	
175	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	Genetic diversity of genes Chamaecyparis in East Asia:ヒノキ属の遺伝的多様性評価	
176	10	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	4	44	15		63	ニホンジカの植食圧が樹木実生および萌芽の動態に及ぼす影響	川俣学生宿舎(自炊泊)
177	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室			2		2	冷温帯原生林における成長量と樹種構成の長期的な変化	栃本自炊宿舎
178	10	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	
179	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室			1		1	冷温帯原生林における成長量と樹種構成の長期的な変化	
180	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1		1		2	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	
181	10	1	筑波大学生命環境系山岳科学センター菅平高原実験所				2	2	スズタケに生じる菌類の分類・生態学的研究	
182	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	2	8			10	フィールド科学専修 森圏管理学実習	
183	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室		1	2		3	J-クレジット制度森林管理プロジェクトのモニタリングにおけるLiderデータの活用	
184	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2	6		8	全学体験ゼミナール「秋の秩父を巡る」現地講義下見	外部宿泊
185	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	4	3			7	J-クレジット制度森林管理プロジェクトのモニタリングにおけるLiderデータの活用	栃本自炊宿舎

2018年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
186	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		3			3	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	影森自炊宿舎
187	10	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1				1	サイバーフォレスト・山火事跡プロット杭確認	
188	10	1	埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当	2				2	入川林道沿いのブナ林視察及びブナの種子と稚樹の採取	
189	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	1	1			2	ヒナウチワカエデの地域スケールでの遺伝構造の把握	
190	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	2	2			4	ヒナウチワカエデの地域スケールでの遺伝構造の把握	影森自炊宿舎
191	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	2	4			6	倒木更新におけるコケ植物-シアノバクテリア-菌根菌共生系の窒素供給機構の解明	川俣学生宿舎(自炊泊)
192	10	1	首都大学東京理工学研究科生命科学専攻	1		1		2	湿性攪乱地に生育する植物の種生物学的研究	
193	10	2	埼玉昆虫談話会				10	10	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	川俣学生宿舎(自炊泊)
194	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	自動撮影カメラのメディア交換, メンテナンス	
195	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室		1			1	産地別ブナの木部の水分通導特性の解明	
196	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室		1			1	産地別ブナの木部の水分通導特性の解明	
197	10	1	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科治山・緑化学研究室		2			2	冷温帯落葉広葉樹林における蒸発散量の直接計測	
198	10	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1				1	樹木集団の縮小が共生微生物に及ぼす遺伝的影響の解明	
199	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	影森自炊宿舎
200	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
201	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		6			6	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」現地講義	外部宿泊
202	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		6			6	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」現地講義	川俣学生宿舎(食事あり)
203	10	2	東京大学総合文化研究科国際環境科学機構	2 (2)		20 (20)		22 (22)	国際環境科学コース「環境科学フィールドワーク2」下見	川俣学生宿舎(食事あり)
204	10	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	4	16	3		23	ニホンジカの植食圧が樹木実生および萌芽の動態に及ぼす影響	栃本自炊宿舎
205	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
206	10	1	NPO 秩父百年の森				2	2	秩父地域におけるミネカエデの分布状況に関する研究	
207	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室		1			1	産地別ブナの木部の水分通導特性の解明	
208	10	1	個人				4	4	樹木観察	
209	10	1	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科		4			4	冷温帯落葉広葉樹林における水収支の計測	
210	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				18	18	公開講座「樹木のボディランゲージ」	
211	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	3	3	3		9	ニホンジカの植食圧が樹木実生および萌芽の動態に及ぼす影響	栃本自炊宿舎
212	10	1	秩父市立影森中学校		4		4	8	職場体験	

2018年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
213	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	影森自炊宿舎
214	10	22	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			22		22	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	
215	10	8	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			8		8	ニホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	
216	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1	1	1		3	ニホンジカの植食圧が樹木実生および萌芽の動態に及ぼす影響	日帰り
217	11	2	秩父市立影森中学校		8		8	16	職場体験	
218	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	日帰り
219	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録	
220	11	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1				1	サイバーフォレスト・山火事跡プロット杭確認	
221	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室	1		2 (2)		3 (2)	森林昆虫－共生微生物の共進化と温度反応及び気候変動から予測される動態予測	
222	11	1	(株)野生動物保護管理事務所				2	2	研修会開催に向けての現地見	
223	11	1	首都大学東京理工学研究科生命科学専攻	1		1		2	湿性攪乱地に生育する植物の種生物学的研究	
224	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				18	18	ガイドツアー「森林調査体験と秋の溪畔林散策」	
225	11	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	
226	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
227	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
228	11	1	埼玉県茶業研究所	4				4	茶の山間冷涼地育種	
229	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1	2			3	倒木更新におけるコケ植物－シアノバクテリア－菌根菌共生	
230	11	1	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科治山・緑化工学研究室		5			5	冷温帯落葉広葉樹林における蒸発散量の直接計測	
231	11	3	東京大学大学院新領域創成科学研究科	3		15 (3)		18 (3)	自然環境デザインスタジオ, 自然環境学研究	川俣学生宿舎(食事あり)
232	11	2	埼玉昆虫談話会				8	8	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	川俣学生宿舎(自炊泊)
233	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				2	2	しおじの会と巡る東大秩父演習林樹木園	
234	11	1	埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当	1				1	オゾンデータの回収, ミヤマスカシユリの鉢の回収	
235	11	1	秩父宮記念三峯山博物館				2	2	野生動物調査	
236	11	1	秩父宮記念三峯山博物館				2	2	野生動物調査	
237	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1	1			2	地球温暖化がブナとゴール形成性タマバエのフェノロジカルミスマッチに及ぼす影響	
238	11	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科	2				2	サイバーフォレスト・山火事跡プロット杭確認	入川コンテナハウス1
239	11	1	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科		2			2	冷温帯落葉広葉樹林における水収支の計測	
240	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	1				1	シオジの結実に関する研究	

2018年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
241	11	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				3	3	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	
242	11	2	秩父市立秩父第一中学校					4	職場体験学習	
243	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	影森自炊宿舎
244	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1	2			3	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	影森自炊宿舎
245	11	1	埼玉県茶業研究所	3				3	茶の山間冷涼地育種	
246	11	1	埼玉県立大滝げんきプラザ					3	平成31年度主催事業検討・下見のため	
247	11	2	個人					2	赤城沢調査地点にドングリのバケツトラップ設置	
248	11	21	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			21		21	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	
249	11	15	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			15		15	ニホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	
250	12	1	個人					1	赤城沢調査地点にドングリのバケツトラップ設置	
251	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	房総丘陵産ヒメコマツの生息域外保全の有効性の検証	
252	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	
253	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	自動撮影カメラのメディア交換、メンテナンス	
254	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答の解明	
255	12	1	伝統工芸木炭生産技術保存会					2	伝統工芸用研磨炭に使用するホウノキに関する調査(伐採立ち合い・幹周調査)	
256	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林風致計画学研究室	1				1	新鉄塔の電源配線に向けての現地確認	
257	12	2	株式会社野生動物保護管理事務所					52	鳥獣被害対策コーディネーター育成研修会の開催	
258	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1	1			2	地球温暖化がブナとゴール形成性タマバエのフェノロジカルミスマッチに及ぼす影響	
259	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	2				2	全国多地点におけるコナラ丸太の分解と生物間相互作用	
260	12	1	埼玉県寄居居林業事務所森林研究室	3				3	地域資源を活用した特用樹種苗木生産技術と露地栽培技術の開発	
261	12	1	埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当	1				1	オゾンデータの回収、ミヤマスカシユリの鉢の設置	
262	12	1	秩父宮記念三峯山博物館					2	野生動物調査	
263	12	20	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			20		20	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	
264	12	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	ニホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	
265	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1				1	自動撮影カメラのメディア交換、メンテナンス	
266	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		1			1	森林植生と土壌環境が菌寄生植物の標高分布と遺伝的多様性に及ぼす影響	
267	1	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	森林植生と土壌環境が菌寄生植物の標高分布と遺伝的多様性に及ぼす影響	影森自炊宿舎

2018年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
268	1	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	
269	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	
270	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1				1	地球温暖化がブナとゴール形成性タマバエのフェノロジカルミスマッチに及ぼす影響	
271	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1				1	地球温暖化がブナとゴール形成性タマバエのフェノロジカルミスマッチに及ぼす影響	
272	1	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				2	2	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	
273	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	
274	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		1			1	卒業研究のための調査地見学	
275	1	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		3			3	森林植生と土壤環境が菌寄生植物の標高分布と遺伝的多様性に及ぼす影響	影森自炊宿舎
276	1	16	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			16		16	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	
277	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	
278	2	2	特定非営利活動法人 パードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000 鳥類調査	川俣学生宿舎(自炊泊)
279	2	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	ニホンジカによる森林植生への影響評価と植生回復に関する研究	
280	2	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	
281	2	1	埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当	1				1	オゾン計とオゾンデータの回収, ミヤマスカシユリの鉢の確認	
282	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	
283	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1				1	樹木の開葉フェノロジー:積算温量モデルのパラメータ推定のための恒温実験	
284	2	18	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			18		18	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	
285	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1				1	樹木の開葉フェノロジー:積算温量モデルのパラメータ推定のための恒温実験	
286	3	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
287	3	1	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科治山・緑化学研究室	1	2			3	冷温帯落葉広葉樹林における蒸発散量の直接計測	
288	3	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	2				2	房総丘陵産ヒメコマツの生息域外保全の有効性の検証	影森自炊宿舎
289	3	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	
290	3	1	特定非営利活動法人 パードリサーチ	1				1	モニタリングサイト1000 鳥類調査	
291	3	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				2	2	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	
292	3	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	ニホンジカによる森林植生への影響評価と植生回復に関する研究	

2018年度 全利用者 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
293	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	
294	3	1	埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当	1				1	オゾン計の設置, ミヤマスカシユリの鉢の確認	
295	3	1	埼玉県茶業研究所	4				4	茶の山間冷涼地育種	
296	3	2	埼玉昆虫談話会				4	4	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	影森自炊宿舎
297	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1				1	樹木の開葉フェノロジー:積算温量モデルのパラメータ推定のための恒温実験	
298	3	15	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			15		15	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	
299	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	ニホンジカの植食圧が樹木実生の動態に及ぼす影響	

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 1811

利用件数 299

4) 田無演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	NPO法人チルドリン	1			3	4	見学・相談	
2	4	1	シダレザクラ 里親				3	3	見学	
3	4	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖状況のモニタリング調査	
4	4	2	千葉県森林インストラクター会				51	51	2018年度野外講座(県外) 第2回目の下見(4/17)と実施(4/24)	
5	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	2	20			22	造林学実験	
6	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	講義「森林生態圏管理学」で用いる枝の採取	
7	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構	4	13			17	緑地環境実地実習	
8	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室	2	11			13	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクスギの育成	
9	4	10	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			10 (10)		10 (10)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
10	4	1	東京都環境公社東京都環境科学研究所環境資源研究科				1	1	全天球画像を活用した緑地の立体構造把握に関する研究	
11	4	1	個人				1	1	樹木の音波投射に関する調査	
12	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1				1	スギとアーバスキュラー菌根菌との共生に関する研究	
13	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	1				1	アカマツ実生の移植に伴う土壌微生物層の変化に関する予備研究	
14	4	3	ツリークライミングジャパン	4			59	63	ツリークライミング体験会（下見，準備，実施）	
15	4	1	一般個人見学者				111	111	見学	
16	4	1	一般個人見学者				176	176	見学	
17	5	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖状況のモニタリング調査	
18	5	1	個人				8	8	見学(案内あり)	
19	5	1	練馬区立関町リサイクルセンター				30	30	見学(案内あり)	
20	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	2	20			22	造林学実験	
21	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクスギの育成	
22	5	9	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			9 (9)		9 (9)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
23	5	1	個人				1	1	樹木の音波投射に関する調査	
24	5	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		3		4	スギとアーバスキュラー菌根菌との共生に関する研究	
25	5	1	小金井市公民館緑分館				3	3	見学と見学の下見	
26	5	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			3		3	土壌中の障害物がタケ実生の成長に与える影響	
27	5	1	東大農場・演習林の存続を願う会	1			14	15	植栽樹を含めた東京都樹木相の概要調査	
28	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	2				2	ピットホールトラップを使った地表徘徊性甲虫相の調査	
29	5	2	千葉大学大学院理学研究院	2	2			4	樹木におけるセシウム吸収経路について	
30	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	6				6	基盤データ生物部門鳥類分野による鳥類調査とWEB鳥本の打合せ	

2018年度 全利用者 田無演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
31	5	1	大気汚染測定運動西東京連絡会				1	1	二酸化窒素測定	
32	5	4	東大農場・演習林の存続を願う会				44	44	東大農場・演習林の生き物調査・観察記録の継続と25年のデータベース化、公表	
33	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1		1		2	サクラ類の樹脂生産に対するジャスモン酸およびエチレンの影響	
34	5	1	個人				4	4	見学	
35	5	2	NHK柏文化センター(森を楽しむ野外講座)				24	24	NHK柏文化センター(森を楽しむ野外講座)の案内と下見	
36	5	1	実践学園中学校	5			69	74	校外授業(理科特別授業)	
37	5	1	多摩六都科学館				4	4	西東京市立本町小学校4年生を対象とした野外観察プログラムの実施6/8(下見5/17)	
38	5	1	一般個人見学者				85	85	見学	
39	5	1	一般個人見学者				150	150	見学	
40	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室		7			7	五月祭植木市の下見4/7と植木の掘り取り5/16	
41	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室	1	20			21	森林動物学実験	
42	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1			1	2	育成資金寄附希望のため祈念樹の下見と選定	
43	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所	1				1	造林学実験作業協力	
44	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	6	4			10	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成ー子供に伝える自然体験ー」	
45	6	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖状況のモニタリング調査	
46	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	1				1	造林学実験	
47	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	
48	6	8	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			8	(8)	8	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
49	6	1	個人				1	1	樹木の音波投射に関する調査	
50	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		3		4	スギとアーパスキュラー菌根菌との共生に関する研究	
51	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			1		1	土壌中の障害物がタケ実生の成長に与える影響	
52	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	4				4	基盤データ生物部門鳥類分野による鳥類調査とWEB鳥本の打合せ	
53	6	1	大気汚染測定運動西東京連絡会				1	1	二酸化窒素測定	
54	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	16				16	基盤データ生物部門昆虫分野による担当者会議、昆虫採集、標本製作実習	
55	6	3	東大農場・演習林の存続を願う会				36	36	東大農場・演習林の生き物調査・観察記録の継続と25年のデータベース化、公表	
56	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	1			1	2	樹幹注入剤が材変色に与える影響	
57	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2		2	(2)	4	サクラ類の樹脂生産に対するジャスモン酸およびエチレンの影響	

2018年度 全利用者 田無演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
58	6	1	多摩六都科学館				71	71	西東京市立本町小学校4年生を対象とした野外観察プログラムの実施6/8 (下見5/17)	
59	6	1	西東京市立田無小学校	3			91	94	校外学習(地域の土地の使われ方の調査)	
60	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	3	2			5	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成ー子供に伝える自然体験ー」	
61	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	6	3		82 (1)	91 (1)	第32回子ども樹木博士認定会	
62	6	1	小金井市公民館緑分館				161	161	自然観察	
63	6	1	西東京市立田無小学校	3			104	107	校外学習(見学)	
64	6	1	林野庁OBグループ				9	9	散策	
65	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	1				1	ナツツバキの核SSRマーカーの開発	
66	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2				2	クロカタビロオサムシの飼育実験	
67	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室			3		3	田無演習林におけるオオタカ <i>Accipiter gentilis</i> 育雛期の給餌内容	
68	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	8	1	5	2	16	2018年度田無演習林利用者交流会	
69	6	1	河南科技大学				6 (6)	6 (6)	田無演習林視察	
70	6	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター	2 (1)		1 (1)		3 (2)	田無演習林の外生菌根菌の多様性に関する調査	
71	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	3			2	5	北側分譲地に関する住友不動産の説明	
72	6	1	一般個人見学者				26	26	見学	
73	6	1	一般個人見学者				124	124	見学	
74	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	現場の視察, 苗畑, 林地管理作業の協力, 実技試験準備	
75	7	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖状況のモニタリング調査	
76	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	
77	7	17	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			17 (17)		17 (17)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
78	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室			4		4	スギとアーバスキュラー菌根菌との共生に関する研究	
79	7	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1		5	2	8	土壌中の障害物がタケ実生の成長に与える影響	
80	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	2				2	ビットホールトラップを使った地表徘徊性甲虫相の調査	
81	7	4	東大農場・演習林の存続を願う会				44	44	東大農場・演習林の生き物調査・観察記録の継続と25年のデータベース化, 公表	
82	7	8	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	8		8 (8)		16 (8)	サクラ類の樹脂生産に対するジャスモン酸およびエチレンの影響	
83	7	1	社会福祉法人てつなぎの会 田無ひまわり保育園	3			17	20	七夕の笹の分譲	
84	7	1	東大農場・演習林サマースクール2018実行委員会				7	7	「東大農場・演習林サマースクール2018」の実踏(7/31)と実施(8/2)	
85	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	クロカタビロオサムシの飼育実験	

2018年度 全利用者 田無演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
86	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室			2		2	田無演習林におけるオオタカ <i>Accipiter gentilis</i> 育雛期の給餌内容	
87	7	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター	1 (1)			1 (1)	2 (2)	田無演習林内のキノコの調査	
88	7	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター	2 (1)		1 (1)		3 (2)	田無演習林の外生菌根菌の多様性に関する調査	
89	7	2	NPO法人チルドリン				12	12	見学と下見, 相談	
90	7	1	一般個人見学者				121	121	見学	
91	7	1	個人				1	1	田無演習林画像データの譲渡とそれに関する相談	
92	8	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖状況のモニタリング調査	
93	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	
94	8	12	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			12 (12)		12 (12)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
95	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	スギとアーバスキュラー菌根菌との共生に関する研究	
96	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	2				2	ピットホールトラップを使った地表徘徊性甲虫相の調査	
97	8	1	東大農場・演習林の存続を願う会				4	4	東大農場・演習林の生き物調査・観察記録の継続と25年のデータベース化, 公表	
98	8	13	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	13		13 (13)		26 (13)	サクラ類の樹脂生産に対するジャスモン酸およびエチレンの影響	
99	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室			1		1	田無演習林におけるオオタカ <i>Accipiter gentilis</i> 育雛期の給餌内容	
100	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	現場の視察, 苗畑, 林地管理作業の協力	
101	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	2	6		1	9	体験活動プログラム「都内でも農林作業フィールドワーク体験」	
102	8	1	個人				1	1	田無演習林自然観察記録の譲渡とそれに関する相談	
103	8	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター	1			1	2	マツノマダラカミキリの生物地理に関する研究	
104	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1		1		2	トマツの標高適応に関連する形態生理特性の解明	
105	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室	3	7	1		11	教養学部全学自由研究ゼミナール「昆虫と節足動物の生物学」に関連した昆虫の野外実習	
106	8	1	東京大学本部広報戦略本部	2 (2)				2 (2)	Insect concass collection	
107	8	1	一般個人見学者				57	57	見学	
108	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	2	20			22	造林学実験	
109	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	
110	9	8	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			8 (8)		8 (8)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
111	9	10	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	7		10		17	土壌中の障害物がタケ実生の成長に与える影響	
112	9	4	東大農場・演習林の存続を願う会				40	40	東大農場・演習林の生き物調査・観察記録の継続と25年のデータベース化, 公表	

2018年度 全利用者 田無演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
113	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	1			1	2	樹幹注入剤が材変色に与える影響	
114	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	4		4 (4)		8 (4)	サクラ類の樹脂生産に対するジャスモン酸およびエチレンの影響	
115	9	1	多摩六都科学館				2	2	西東京市立けやき小学校5年生を対象とした野外観察プログラムの実施	
116	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室	2	20			22	森林動物学実験	
117	9	1	西東京市立住吉小学校	4				4	生活科見学（下見，打合せ，見学）	
118	9	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター	5 (4)		19 (19)		24 (23)	環境調和特別演習 持続可能な農林畜水産業 1.環境負荷	
119	9	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター	3 (3)		32 (32)		35 (35)	南京農業大学との学術交流	
120	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室	1		2		3	森林昆虫-共生微生物の共進化と温度反応及び気候変動から予測される動態予測	
121	9	1	個人				3	3	散策	
122	9	1	一般個人見学者				56	56	見学	
123	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室		6			6	平成30年度推薦入学者の田無演習林見学	
124	10	9	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			9 (9)		9 (9)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
125	10	2	個人				2	2	樹木の音波投射に関する調査	
126	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1		2	スギとアーバスキュラー菌根菌との共生に関する研究	
127	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			1		1	土壌中の障害物がタケ実生の成長に与える影響	
128	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	2				2	ピットホールトラップを使った地表徘徊性甲虫相の調査	
129	10	4	東大農場・演習林の存続を願う会				44	44	東大農場・演習林の生き物調査・観察記録の継続と25年のデータベース化，公表	
130	10	7	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	7		7 (7)		14 (7)	サクラ類の樹脂生産に対するジャスモン酸およびエチレンの影響	
131	10	1	西東京市立住吉小学校	4			125	129	生活科見学（下見，打合せ，見学）	
132	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	3				3	田無演習林のコウモリ相の把握(基盤データ整備委員会)	
133	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			1		1	トドマツの標高適応に関連する形態生理特性の解明	
134	10	1	自由学園リビングアカデミー	2			6	8	自由学園リビングアカデミー樹木クラス校外学習	
135	10	2	自由学園初等部	8			72	80	生活科見学(10/11下見)	
136	10	1	個人				1	1	ニホンミツバチの観察	
137	10	1	いであ株式会社				2	2	希少植物の移植後のモニタリング 調査	
138	10	4	西東京市立ひばりが丘中学校				16	16	職場体験（事前訪問10/26，お礼のあいさつ11/1）	
139	10	1	西東京市立中原小学校	5			122	127	生活科見学	
140	10	1	西東京市立田無第二中学校				5	5	職場体験(事前訪問10/26)	
141	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	東アジアにおけるヒノキの国際産地試験(JSPS C2C)に用いる苗木の育成	
142	10	1	(株)自由が丘フラワーズ				2	2	見学	
143	10	1	一般個人見学者				94	94	見学	

2018年度 全利用者 田無演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
144	11	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	7				7	温暖地に植栽した北方針葉樹3種の地上部と地下部の乾燥重量比較	
145	11	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			6 (6)		6 (6)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
146	11	1	個人				1	1	樹木の音波投射に関する調査	
147	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1		1	1	3	スギとアーバスキュラー菌根菌との共生に関する研究	
148	11	4	東大農場・演習林の存続を願う会				44	44	東大農場・演習林の生き物調査・観察記録の継続と25年のデータベース化、公表	
149	11	1	練馬区立関町リサイクルセンター				30	30	見学(案内あり)	
150	11	1	西東京市立ひばりが丘中学校				4	4	職場体験(事前訪問10/26, お礼のあいさつ11/1)	
151	11	3	西東京市立田無第二中学校				15	15	職場体験(事前訪問10/26)	
152	11	1	千葉県森林インストラクター会				8	8	昆虫観察(職員の案内付き)	
153	11	1	昭島市公立小学校教育研究会理科部	23				23	見学(職員の案内付き)	
154	11	1	(一財)日本森林林業振興会				4	4	「木質バイオマス利用の意義を国民に普及する事業」に関する打合せ	
155	11	1	西東京市立田無小学校	3			103	106	生活科見学	
156	11	1	東学退職者友の会				10	10	見学(職員の案内付き)	
157	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1				1	雪腐病菌に対する感受性と病徴の樹種間比較(スギ苗の分譲)	
158	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			1		1	ニホンジカが森林土壌の改変を通じて実生動態に及ぼす影響	
159	11	1	一般個人見学者				163	163	見学	
160	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	6	1		78	85	第33回子ども樹木博士認定会	
161	11	1	一般個人見学者				13	13	見学	
162	12	7	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	8				8	温暖地に植栽した北方針葉樹3種の地上部と地下部の乾燥重量比較	
163	12	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室	3				3	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	
164	12	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			3 (3)		3 (3)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
165	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林植物学研究室	1				1	スギとアーバスキュラー菌根菌との共生に関する研究	
166	12	4	東大農場・演習林の存続を願う会				44	44	東大農場・演習林の生き物調査・観察記録の継続と25年のデータベース化、公表	
167	12	2	大気汚染測定運動西東京連絡会				20	20	二酸化窒素測定	
168	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			2		2	ニホンジカが森林土壌の改変を通じて実生動態に及ぼす影響	
169	12	1	一般個人見学者				99	99	見学	
170	12	1	個人				3	3	見学(里親木シリブカガシのドングリ拾い)	
171	12	1	早稲田ウォーキングサークル				35	35	散策	
172	12	1	所沢市高齢者大学OB				15	15	散策	
173	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	22			16	38	2018年度教職員リースづくり体験会	
174	12	1	一般個人見学者				89	89	見学	

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
175	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	2				2	スローラインを使った危険枝除去技術の研修	
176	1	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	6				6	温暖地に植栽した北方針葉樹3種の地上部と地下部の乾燥重量比較	
177	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構	4	7			11	緑地環境実地実習	
178	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			1 (1)		1 (1)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
179	1	4	東大農場・演習林の存続を願う会				44	44	東大農場・演習林の生き物調査・観察記録の継続と25年のデータベース化、公表	
180	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	4	4		2	10	全学体験ゼミナール「森のエネルギーを使いこなす」	
181	1	1	西東京市立田無保育園	4			11	15	散策	
182	1	1	一般個人見学者				50	50	見学	
183	1	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	11				11	高所作業車取り扱い、および高所作業研修	
184	2	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖状況のモニタリング調査	
185	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻造林学研究室	1		1		2	造林学実験	
186	2	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	5				5	温暖地に植栽した北方針葉樹3種の地上部と地下部の乾燥重量比較	
187	2	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			5 (5)		5 (5)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
188	2	4	早稲田大学理工学術院			11		11	環境モニタリングロボットの視覚機能に関する研究	
189	2	4	東大農場・演習林の存続を願う会				44	44	東大農場・演習林の生き物調査・観察記録の継続と25年のデータベース化、公表	
190	2	1	(株)総合環境計画(平成30年度東京都カラス生息状況調査委託)				1	1	平成30年度東京都カラス生息状況調査	
191	2	1	西東京市立田無保育園	4			15	19	散策	
192	2	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	2		2		4	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	
193	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	17				17	基盤データ整備委員会GIS部門 平成30年度GIS操作技術研修会	
194	2	2	東京大学大学院農学生命科学研究科One Earth Guardiansオフィス	10				10	One Earth Guardians育成プログラム紹介動画の撮影	
195	2	1	一般個人見学者				57	57	見学	
196	3	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖状況のモニタリング調査	
197	3	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林			2 (2)		2 (2)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
198	3	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2		2		4	土壌中の障害物がタケ実生の成長に与える影響	
199	3	4	東大農場・演習林の存続を願う会				44	44	東大農場・演習林の生き物調査・観察記録の継続と25年のデータベース化、公表	
200	3	2	(一財)日本森林林業振興会		2		17	19	「木質バイオマス利用の意義を国民に普及する事業」に関する打合せ、高校生、大学生を対象とした現地セミナーの開催	

2018年度 全利用者 田無演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
201	3	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	2		2		4	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	
202	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1				1	エピジェネティクスによるニホンジカの齢推定手法の開発	
203	3	3	東京大学アジア生物資源環境研究センター	3		3		6 (3)	サクラ属における雑種不和合性に関する遺伝子の探索	
204	3	1	一般個人見学者					90	見学	

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 4392

利用件数 204

5) 生態水文学研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	30	マレーシアサバ大学		30 (30)			30 (30)	インターン	長期滞在者用宿舎
2	4	1	信州大学教育学部附属志賀自然教育研究施設	1				1	気象要因に基づくコナラ属樹木の空間的な豊凶推定技術	日帰り
3	4	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会 定例会	日帰り
4	4	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	定例自主活動	日帰り
5	4	2	愛知県芸術大学美術学部デザイン専攻	2	6	2		10	デザイン実技3 自然と人をつなぐデザイン	日帰り
6	4	1	犬山研究林利用者協議会				3	3	ギフチョウ観察会	日帰り
7	4	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	ギフチョウ観察会	日帰り
8	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	表面流プロット内樹木伐採の選木	日帰り
9	4	1	犬山市経済環境部環境課	3			24	27	「犬山の森」春のふれあい自然観察会	日帰り
10	4	1	シデコブシの会				16	16	シデコブシの会 総会と所長講演	日帰り
11	4	1	犬山研究林利用者協議会				3	3	蝶モニター活動	日帰り
12	4	1	犬山研究林利用者協議会				4	4	ギフチョウ観察会・センサーカメラ回収	日帰り
13	4	1	猿投の森づくりの会				9	9	間伐	日帰り
14	4	1	愛日緑化造園株式会社				5	5	森の循環を学ぶツアー	日帰り
15	4	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	ギフチョウ観察会	日帰り
16	4	1	犬山研究林利用者協議会				8	8	定例自主活動	日帰り
17	5	31	マレーシアサバ大学		31 (31)			31 (31)	インターン	長期滞在者用宿舎
18	5	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会 定例会	日帰り
19	5	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	定例自主活動	日帰り
20	5	1	中部大学応用生物学部環境生物学科	2		3		5	傾斜地湿地の保全に関わる研究	日帰り
21	5	1	猿投の森づくりの会				9	9	間伐	日帰り
22	5	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	蝶モニター活動	日帰り
23	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	1		1		2	日本の山地森林流域への土壌侵食モデルの適用	赤津宿泊施設
24	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	4	12	4	19	39	平成30年度利用者研究集会・尾張東部丘陵自然環境研究者の会	日帰り
25	5	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	定例自主活動	日帰り
26	6	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会 定例会	日帰り
27	6	30	National school for water and environmental engineering (engees) strasbourg			30 (30)		30 (30)	国際短期プログラム	長期滞在者用宿舎
28	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	4	33			37	総合科目「森林環境資源学」フィールドワーク	赤津宿泊施設
29	6	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	定例自主活動	日帰り
30	6	1	豊田森林組合総務課とよた森林学校事務局	12			36	48	とよた森林学校 森林セミナー	日帰り
31	6	1	シデコブシの会				6	6	とよた森林学校 森林セミナー見学	日帰り

2018年度 全利用者 生態水文学研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
32	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	12	36			48	森林保全学実習	赤津宿泊施設
33	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室		3			3	公開森林実習「森林と土砂と溪流の実習ーから川に流れる土砂を測ろうー」	赤津宿泊施設
34	6	1	シデコブシの会				9	9	巣箱周辺のコケ調査	日帰り
35	6	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	蝶モニター活動	日帰り
36	6	1	犬山研究林利用者協議会				1	1	センサーカメラデータ回収	日帰り
37	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	7	32			39	全学体験ゼミナール「人の手で造り管理する森林」	赤津宿泊施設
38	6	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	定例自主活動	日帰り
39	7	31	National school for water and environmental engineering (engees) strasbourg			31 (31)		31 (31)	国際短期プログラム	長期滞在者用宿舎
40	7	24	マレーシアサバ大学		24 (24)			24 (24)	インターン	赤津宿泊施設
41	7	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り
42	7	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	定例自主活動	赤津宿泊施設
43	7	1	犬山研究林利用者協議会				1	1	蝶モニター活動	日帰り
44	7	1	犬山研究林利用者協議会				1	1	センサーカメラデータ回収	日帰り
45	7	1	愛知学院大学教養学部				5	5	湧水湿地の分布調査	日帰り
46	7	1	三重高等学校三重中学校	10			130	140	三重中学校夏季合宿	日帰り
47	7	1	岐阜県森林組合連合会森林整備部				63	63	森林生態系多様性基礎調査	日帰り
48	7	1	シデコブシの会				2	2	巣箱内巣材調査会の巣材集め	日帰り
49	7	1	シデコブシの会				11	11	巣箱内巣材調査会	日帰り
50	7	1	犬山研究林利用者協議会				4	4	定例自主活動	日帰り
51	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	3		2		5	日本の山地森林流域への土壌侵食モデルの適用	赤津宿泊施設
52	8	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り
53	8	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	定例自主活動	日帰り
54	8	1	シデコブシの会				3	3	シデコブシの会 イベント前日確認	日帰り
55	8	1	シデコブシの会				50	50	シデコブシの会 親子水生生物観察会	日帰り
56	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	5				5	造園学会中部サマースタジオ2018下見	日帰り
57	8	5	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	8	64	5		77	測量学実習	赤津宿泊施設
58	8	1	犬山研究林利用者協議会				4	4	蝶モニター活動	日帰り
59	8	1	犬山研究林利用者協議会				1	1	センサーカメラデータ回収	日帰り
60	8	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	定例自主活動	日帰り
61	8	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	35	37	9		81	造園学会中部支部DWS「サマスタ2018」	日帰り

2018年度 全利用者 生態水文学研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
62	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所		12			12	東京大学体験活動プログラム	赤津宿泊施設
63	9	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り
64	9	1	犬山研究林利用者協議会				3	3	定例自主活動	日帰り
65	9	1	シデコブシの会				8	8	キノコ観察会	日帰り
66	9	1	犬山研究林利用者協議会				4	4	蝶モニター活動	日帰り
67	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	1		4		5	白坂流域の河道の調査	赤津宿泊施設
68	9	1	犬山研究林利用者協議会				1	1	センサーカメラデータ回収	日帰り
69	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所		4			4	東京大学体験活動プログラム	赤津宿泊施設
70	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	1		5		6	日本の山地森林流域への土壌侵食モデルの適用	赤津宿泊施設
71	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	12		12 (12)		24 (12)	森林圏生態社会学研究室合宿ゼミ	赤津宿泊施設
72	10	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	定例自主活動	日帰り
73	10	1	犬山研究林利用者協議会				3	3	蝶モニター活動	日帰り
74	10	1	猿投の森づくりの会				10	10	間伐	日帰り
75	10	1	豊田市自然観察の森施設ボランティアグループ自然調査の会				4	4	赤津研究林の視察研修会	日帰り
76	10	1	犬山研究林利用者協議会				1	1	センサーカメラデータ回収	日帰り
77	10	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	定例自主活動	日帰り
78	10	1	瀬戸市市民生活部環境課				10	10	せと環境塾「『瀬戸市の東京大学』をのぞいてみよう！～サイエンスキャンプin 東大演習林～」	日帰り
79	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	32 (9)		3 (3)		35 (12)	SATREPS ADAP-T 森林チームのトレーニングコース	赤津宿泊施設
80	11	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り
81	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1			2	3	西垣林業広報誌の取材のための赤津研究林見学	日帰り
82	11	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	定例自主活動	日帰り
83	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室			2		2	白坂流域の調査	赤津宿泊施設
84	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	水源涵養機能モニタリング研究委託	日帰り
85	11	1	犬山市経済環境部環境課	3			25	28	犬山市民総合大学環境学部第3回現地講義	日帰り
86	11	1	犬山研究林利用者協議会				9	9	犬山市民総合大学環境学部第3回現地講義	日帰り
87	11	1	犬山市経済環境部環境課	5			20	25	秋のふれあい自然観察会	日帰り
88	11	1	犬山研究林利用者協議会				9	9	秋のふれあい自然観察会	日帰り
89	11	1	猿投の森づくりの会				10	10	間伐	日帰り

2018年度 全利用者 生態水文学研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
90	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	4 (2)	2	2		8 (2)	白坂流域への土壌侵食モデルの適用	赤津宿泊施設
91	11	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	定例自主活動	日帰り
92	11	1	豊田森林組合総務課とよた森林学校事務局	3			14	17	とよた森林学校 森林と災害～東海豪雨を忘れない～	日帰り
93	12	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会 標石ツアー	日帰り
94	12	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り
95	12	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	定例自主活動	日帰り
96	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室			2		2	白坂流域への土壌侵食モデルの適用	赤津宿泊施設
97	12	1	猿投の森づくりの会				10	10	間伐	日帰り
98	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	4		4		8	大学院「森林流域管理学」集中講義	赤津宿泊施設
99	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	水源涵養機能モニタリング研究委託	日帰り
100	1	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	定例自主活動	日帰り
101	1	1	犬山研究林利用者協議会				8	8	定例自主活動	日帰り
102	1	1	猿投の森づくりの会				10	10	間伐	日帰り
103	1	1	シデコブシの会				12	12	シデコブシの会 巣箱作り	日帰り
104	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	水源涵養機能モニタリング研究委託	日帰り
105	2	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り
106	2	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	定例自主活動	日帰り
107	2	2	シデコブシの会				16	16	シデコブシの会 野生動物の講演とジビエを楽しむ	日帰り
108	2	1	犬山研究林利用者協議会				9	9	定例自主活動	日帰り
109	3	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り
110	3	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	9	48			57	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	赤津宿泊施設
111	3	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	定例自主活動	日帰り
112	3	1	名古屋経済大学市邨高等学校中学校	10			26	36	森の観察と木の測定実習	日帰り
113	3	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	定例自主活動	日帰り
114	3	1	犬山研究林利用者協議会				8	8	定例自主活動	日帰り
115	3	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	定例自主活動	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 1565

利用件数 115

6) 富士癒しの森研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	4	兵庫県立大学経済学部	4				4	共同研究の打ち合わせ、学生実習の下見	富士山中宿泊施設
2	4	1	(株)微動学舎				1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
3	4	1	八幡幼稚園				3	3	夏季宿泊保育で利用させて頂く湖畔広場の下見	日帰り
4	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	2				2	自動撮影カメラデータ整理	日帰り
5	4	1	個人				2	2	薪原木搬出	日帰り
6	4	1	渋谷区教育委員会事務局				29	29	渋谷区立小学校教職員が移動教室の実地踏査を行うため	日帰り
7	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	5			6	11	癒しの森の会定例会の開催と林内見学	日帰り
8	4	1	東京大学空間情報科学研究センター	1			1	2	「森からみえる」(童王小学校)実践授業のための機材設置作業	日帰り
9	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	11			9	20	特別ガイド「春の彩りを訪ねて」	日帰り
10	5	1	(株)微動学舎				1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
11	5	1	(株)日本造型				1	1	演習林及び施設の見学	日帰り
12	5	1	個人				2	2	林内見学	日帰り
13	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所				18	18	癒しの森の会と歩く会	日帰り
14	5	1	ミュージアムパーク茨城県自然博物館				1	1	スコリアの分布状況の確認および写真の撮影	日帰り
15	5	1	酪農学園大学農食環境学群環境共生学類環境GIS研究室	1			7 (6)	8 (6)	JICA研修「市場メカニズムを活用した持続的森林・自然資源管理」	日帰り
16	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	12 (2)	30			42 (2)	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(春編)」	山中寮内藤セミナーハウス
17	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1		4		5	森林生態圏管理学特論	日帰り
18	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1		1 (1)		2 (1)	森林生態圏管理学特論	日帰り
19	5	1	神奈川大学理学部生物学科・丸田恵美子教授研究室	1				1	本調査にむけての下見	日帰り
20	5	1	山中湖村役場				11471	11471	第38回スポニチ山中湖ロードレース大会に伴う参加者の利用スペースとして	日帰り
21	6	1	(株)微動学舎				1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
22	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	6				6	基盤データ整備委員会生物部門鳥類I種定点調査	山中寮内藤セミナーハウス
23	6	3	山梨県高等学校体育連盟ヨット専門部(県立富士北稜高等学校)				450	450	平成30年度関東高等学校ヨット大会開催のため	外部宿泊施設
24	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	8	38			46	総合科目「森林環境資源学(森と癒し)」のフィールドワーク	山中寮内藤セミナーハウス
25	6	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1				1	薪を利用した森林内温浴装置の試運転	日帰り
26	6	1	NPO法人アースバウンダー				4	4	山中湖村宿泊施設に滞在する小学生を対象とした環境教育プログラム実施のための下見	日帰り
27	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林風致計画学研究室	2	10	2		14	環境設計演習	山中寮内藤セミナーハウス

2018年度 全利用者 富士癒しの森研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
28	6	1	神奈川大学理学部生物科学科・丸田恵美子教授研究室	2				2	ジャニンジン <i>Cardamine impatiens</i> のDNA解析用サンプルと種子を採取するため	日帰り
29	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	14	40 (6)			54 (6)	全学体験ゼミナール「癒しの森と地域社会(夏)」	山中寮内藤セミナーハウス
30	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	7	20 (6)			27 (6)	全学体験ゼミナール「癒しの森と地域社会(夏)」	日帰り
31	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	2				2	鳥類観察	日帰り
32	7	1	東京大学運動会馬術部		1		2	3	施設修理	日帰り
33	7	1	(株)微動学舎				1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
34	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	2			7	9	地域住民主体の地域特産物生産を目指したクサボケ増殖技術の検討	日帰り
35	7	1	神奈川大学理学部生物科学科・丸田恵美子教授研究室	1		1		2	本調査にむけての下見	日帰り
36	7	3	京都大学総合博物館	3		6		9	哺乳類調査の研修	山中寮内藤セミナーハウス
37	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	9				9	東京大学富士癒しの森研究所における森林環境とコウモリ類生息分布の関連性およびコウモリ類の遺伝的多様性の解明	山中寮内藤セミナーハウス
38	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生態圏システム学専攻森圏管理学研究室	4	16			20	フィールド科学専修 森圏管理学実験	山中寮内藤セミナーハウス
39	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	32 (8)	32 (32)	20 (20)		84 (60)	中国海南大学サマープログラム	山中寮内藤セミナーハウス
40	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	60			4	64	演習林交歓会	山中寮内藤セミナーハウス
41	7	2	八幡幼稚園	36			132	168	夏季宿泊保育に伴い湖畔の自然に触れる体験学習	日帰り
42	7	1	第一測量株式会社				2	2	東京電力による樹木伐採申請に伴う調査測量業務	日帰り
43	7	1	東京大学農学部獣医学科			4		4	馬術部部活の合宿の下見	日帰り
44	7	1	丸山幼稚園	5			40	45	休憩・昼食・散策	日帰り
45	7	3	神奈川大学理学部生物科学科・丸田恵美子教授研究室	3		3		6	産地の異なるブナの光合成活性の比較	富士山中宿泊施設
46	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生態圏システム学専攻緑地創成学研究室	5		24		29	フィールド科学総論(グループB)での森林散策(7/16)	山中寮内藤セミナーハウス
47	7	1	月江寺幼稚園	4			44	48	お泊まり保育の散策と休憩	日帰り
48	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室	2	20	3		25	森林動物学実験	山中寮内藤セミナーハウス
49	7	1	丸山幼稚園	5			40	45	休憩・昼食・散策	日帰り
50	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林動物学研究室	4	40	6		50	森林動物学実験	山中寮内藤セミナーハウス
51	8	1	東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻	4		24		28	都市工学専攻3年生の「都市工学の技術と倫理」実習	日帰り
52	8	1	(国研)物質・材料研究機構構造材料研究拠点 腐食特性グループ	2				2	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
53	8	1	東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻	3				3	工学部社会基盤学科・学部3年生対象フィールド演習(下見)	日帰り
54	8	1	東京大学空間情報科学研究センター	6			1	7	自然体験と気候変動学習を定点連続写真・録音で繋ぐ省察プロセスの解明(科研・基盤B)「森からみえる」(竜王小学校)実践授業のための現地下見	日帰り
55	8	1	癒しの森の会				4	4	9/16,17のニット展下打ち合わせ	日帰り

2018年度 全利用者 富士癒しの森研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
56	8	16	東京大学農学部獣医学科		186	5		191	馬術部部活の合宿	山中寮内藤セミナーハウス
57	8	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	3 (1)			1 (1)	4 (2)	ライブモニタリングシステムの視察案内、およびメンテナンス	日帰り
58	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	6	2			8	国際開発農学専修「国際農学実験・実習I個別実験」	富士山中宿泊施設
59	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻林政学研究室	16	32			48	森林政策学演習の実習	山中寮内藤セミナーハウス
60	8	1	東京大学空間情報科学研究センター	1			1	2	「森からみえる」(竜王小学校)実践授業のための現地下見	日帰り
61	8	1	やまなかまちづくり委員会	2			5	7	フットパスマップ勉強会	日帰り
62	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	5				5	アルバイトゼンストの実施	日帰り
63	9	1	(株)微動学舎				1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
64	9	1	渋谷区立長谷戸小学校	5			27	32	山中湖畔の見学, 散策	日帰り
65	9	4	東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻	44	208	4		256	工学部社会基盤学科・学部3年生対象フィールド演習	山中寮内藤セミナーハウス
66	9	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター	10 (4)	6 (5)	21 (19)	4 (3)	41 (31)	国際短期プログラム「生物資源環境学入門コースーアジアのフィールドの多様性と研究」および環境調和特別演習「農林畜水産業と環境負荷」及び「農林水畜産業と生態系攪乱」での見学	日帰り
67	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所				9	9	第4回癒しの森の植生調査隊	日帰り
68	9	3	癒しの森の会				90	90	展覧会	日帰り
69	9	5	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	17	2	85 (10)	13	117 (10)	IEDP環境デザイン統合教育プログラム「自然環境デザインスタジオ」	山中寮内藤セミナーハウス
70	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1			2	3	鳥類観察	日帰り
71	9	3	兵庫県立大学経済学部	3	36			39	森林についての実習(炭焼き・間伐等)	山中寮内藤セミナーハウス
72	9	1	聖ヨゼフ学園小学校	6			76	82	レクリエーション	日帰り
73	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	11			17	28	特別ガイド「きのこに親しむ」	日帰り
74	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物科学専攻魚病学研究室	4	1	7 (3)		12 (3)	富士癒しの森研究所の見学	日帰り
75	10	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
76	10	1	個人				2	2	警察犬訓練	日帰り
77	10	1	第一測量株式会社				3	3	東京電力による樹木伐採申請に伴う調査測量業務	日帰り
78	10	1	(国研)物質・材料研究機構構造材料研究拠点 腐食特性グループ	3				3	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
79	10	1	(株)微動学舎				1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
80	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林風致計画学研究室	6	2		68	76	森林教育の一環としての竜王小学校5年生による森林体験学習の実施	日帰り
81	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	10	46			56	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(秋編)」	山中寮内藤セミナーハウス
82	10	1	全国地蜂連合会	1			9	10	クロスズメバチのサンプル採捕	日帰り
83	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	12	12			24	全学体験ゼミナール「森林の魅力をマッピング〜GPSを使ったオリジナル地図づくり」	山中寮内藤セミナーハウス
84	11	1	神奈川大学理学部生物科学科・丸田恵美子教授研究室	1				1	片付けにむけての下見	日帰り

2018年度 全利用者 富士癒しの森研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
85	11	1	(株)微動学舎				1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
86	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	3			7	10	癒しの森の会定例会の開催と林内見学	日帰り
87	11	1	山中湖村観光課				8	8	間伐材(林地残存木)の下見	日帰り
88	12	2	山中湖村観光課				14	14	林地残存木の提供, 搬出作業	日帰り
89	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	8	8			16	全学体験ゼミナール「癒しの森と地域社会(冬)」現地講義	山中寮内藤セミナーハウス
90	12	1	神奈川大学理学部生物科学科・丸田恵美子教授研究室	1	3			4	III林班で使用した器材の整備・片付け	日帰り
91	12	1	(株)微動学舎				1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
92	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	2		2		4	大学院講義「森林圏管理システム学」	日帰り
93	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	4	4			8	体験活動プログラム「癒しの森の森林管理」	山中寮内藤セミナーハウス
94	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1			2	3	演習林内散策	日帰り
95	1	1	神奈川大学理学部生物科学科・丸田恵美子教授研究室	1	1			2	センサーカメラの設置	日帰り
96	1	1	(株)微動学舎				1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
97	1	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	9	12			21	全学体験ゼミナール「森のエネルギーを使いこなす」現地講義	山中寮内藤セミナーハウス
98	1	1	山中湖村観光課				8	8	林地残存木の提供, 搬出作業	日帰り
99	1	2	山中湖村観光課				16	16	林地残存木の提供, 搬出作業	日帰り
100	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1			1	2	演習林内散策	日帰り
101	1	1	神奈川大学理学部生物科学科・丸田恵美子教授研究室	1				1	センサーカメラの回収	日帰り
102	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	19			7 (1)	26 (1)	特別ガイド「冬の散歩みち」	日帰り
103	2	1	(株)微動学舎				1	1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
104	2	1	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科	1	8	1		10	薪の利用に関する研修	日帰り
105	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1			2	3	森林散策カウンセリングの調査	日帰り
106	3	1	(国研)物質・材料研究機構構造材料研究拠点 腐食特性グループ	1			1	2	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
107	3	1	長池成年会				3	3	山中湖村企画まちづくり課・まちづくり助成事業「ベンチ製作」の材料としての木材搬出	日帰り
108	3	1	住友林業(株)勤務、スミンビジネスサービス(株)出向				1	1	富士山「まなびの森」運営の参考のための見学	日帰り
109	3	1	(国研)物質・材料研究機構構造材料研究拠点 腐食特性グループ	1			1	2	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 14221

利用件数 109

7) 樹芸研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科農学国際専攻国際植物材料科学研究室	1	1			2	カカオポットの資源化	日帰り
2	4	1	東京大学大学院薬学系研究科附属薬用植物園	1				1	温室植物の栽培見学	日帰り
3	4	1	個人				4	4	温室植物見学	日帰り
4	5	1	伝統工芸木炭生産技術保存会				7	7	白炭窯選定場所の視察・打ち合わせ	日帰り
5	5	1	個人				6	6	温室植物見学	日帰り
6	6	1	神奈川工科大学応用バイオ科学部・応用バイオ科学科	2				2	パラゴムノキのゴム合成酵素系の解明	日帰り
7	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	4 (2)				4 (2)	樹芸研究所見学	外部施設泊
8	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1				1	山地河道の水理特性解明に向けた調査	日帰り
9	8	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		11			11	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
10	8	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		25			25	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ・1」	スポーティア下賀茂
11	8	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		25 (5)			25 (5)	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ・2」	スポーティア下賀茂
12	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所	19	80			99	森林実習	スポーティア下賀茂
13	9	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		34 (5)			34 (5)	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ・3」	スポーティア下賀茂
14	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		18			18	体験活動プログラム「南伊豆という地域との連携に学ぶ」	加納事務所休憩施設
15	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	9				9	樹芸研究所に生息するコウモリ類の基礎調査	外部施設泊
16	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所				27	27	公開講座「チョコレートつくりを体験しよう」	日帰り
17	10	2	伝統工芸木炭生産技術保存会				4	4	文化財の森クスノキ林及び二ホンアブラギリ林育成状況視察	外部施設泊
18	11	9	個人				45	45	狩猟	日帰り
19	11	1	個人				5	5	温室植物見学	日帰り
20	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	4-5林班長期生態系プロットにおけるカシナガ穿入調査	日帰り
21	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所				27	27	公開講座「林業遺産・岩樟園クスノキ林見学会」	日帰り
22	12	10	個人				50	50	狩猟	日帰り
23	12	1	個人				1	1	温室植物見学	日帰り
24	1	2	伝統工芸木炭生産技術保存会				4	4	二ホンアブラギリ林伐採木の視察及び薪割り	外部施設泊
25	1	11	個人				55	55	狩猟	日帰り
26	2	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		12			12	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
27	2	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		110			110	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶー熱帯植物編ー」	外部施設泊
28	2	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		5			5	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	外部施設泊

2018年度 全利用者 樹芸研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
29	2	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		105			105	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1」	外部施設泊
30	2	5	個人				25	25	狩猟	日帰り
31	2	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		10 (5)			10 (5)	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
32	2	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		83			83	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	外部施設泊
33	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		2 (1)			2 (1)	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	前月より利用(利用終了日)
34	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		21			21	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	前月より利用(利用終了日)
35	3	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		24			24	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
36	3	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		70			70	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ3」	外部施設泊
37	3	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		9			9	体験活動プログラム「南伊豆という地域との連携に学ぶ」	加納事務所休憩施設
38	3	4	個人				20	20	狩猟	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 963

利用件数 38

12. 各演習林所在地および連絡先

演習林名 作業所名	郵便番号	住所	電話	FAX
企画部・ 教育研究センター	113-8657	東京都文京区弥生1-1-1 農学部1号館116号室	03-5841-5497	03-5841-5494
千葉演習林	299-5503	千葉県鴨川市天津770	04-7094-0621	04-7094-2321
清澄作業所	299-5505	千葉県鴨川市清澄135	04-7094-0585	
札郷作業所	292-0537	千葉県君津市黄和田畑字前沢1442-1	0439-39-3122	
郷台作業所	292-0533	千葉県君津市折木沢字相ノ沢		
北海道演習林	079-1563	北海道富良野市山部東町9番61号	0167-42-2111	0167-42-2689
山部樹木園	079-1582	北海道富良野市字山部第一苗圃	0167-39-6017	
セミナーハウス	076-0161	北海道富良野市字麓郷市街地1	0167-42-2111	
秩父演習林	368-0034	埼玉県秩父市日野田町1-1-49	0494-22-0272	0494-23-9620
枳本作業所	369-1901	埼玉県秩父市大滝3450-2	0494-55-0355	0494-55-0355
大血川作業所	369-1901	埼玉県秩父市大滝5198	0494-54-1220	
影森苗畑	369-1871	埼玉県秩父市下影森764	0494-23-9768	
田無演習林	188-0002	東京都西東京市緑町1-1-8	042-461-1528	042-461-2302
生態水文学研究所	489-0031	愛知県瀬戸市五位塚町11-44	0561-82-2371	0561-85-2838
赤津作業所	489-0014	愛知県瀬戸市北白坂町1-1	0561-21-1185	
犬山作業所	484-0094	愛知県犬山市塔野地字大畔178-2		
富士癒しの森研究所	401-0501	山梨県南都留郡山中湖村山中341-2	0555-62-0012	0555-62-4798
樹芸研究所	415-0304	静岡県賀茂郡南伊豆町加納457	0558-62-0021	0558-62-3170
青野作業所	415-0327	静岡県賀茂郡南伊豆町青野851	0558-62-0254	

演習林年報

令和2年1月10日

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林
文京区弥生1丁目1番1号

印刷・製本 明誠企画株式会社

